

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設 計 図

図 番	名 称	図 番	名 称	図 番	名 称	図 番	名 称
A-01	建築工事特記仕様書（その１）	S-01	建築工事特記仕様書 構造関係（その１）	E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書（１）
A-02	建築工事特記仕様書（その２）	S-02	建築工事特記仕様書 構造関係（その２）	E-02	工事区分表	M-02	機械設備工事特記仕様書（２）
A-03	建築工事特記仕様書（その３）	S-03	建築工事特記仕様書 構造関係（その３）	E-03	案内図 配置図	M-03	案内図 全体配置図
A-04	建築工事特記仕様書（その４）	S-04	建築工事特記仕様書 構造関係（その４）	E-04	照明器具 姿図（参考）	M-04	農作業小屋 暖房・換気設備 機器表
A-05	建築工事特記仕様書（その５）	S-05	農作業小屋 構造設計特記仕様	E-05	農作業小屋 電灯分岐設備図	M-05	農作業小屋 暖房・換気設備図
A-06	建築工事特記仕様書（その６）	S-06	農作業小屋 基礎地業伏図・断面図 基礎伏図 スリーブ補強詳細図（参考図）	E-06	農機具庫 電灯分岐設備図	M-06	農作業小屋 衛生設備 機器表・器具表
A-07	建築工事特記仕様書（その７）	S-07	農作業小屋 基礎詳細図 基礎取合詳細図	E-07	車庫 電灯分岐設備図	M-07	農作業小屋 衛生設備 屋外配管図
A-08	建築工事特記仕様書（その８）	S-08	農作業小屋 梁伏図 軸組図	E-08	農作業小屋 コンセント分岐設備図	M-08	農作業小屋 衛生設備図
A-09	建築工事特記仕様書（その９）	S-09	農作業小屋 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図	E-09	農機具庫 コンセント分岐設備図	M-09	農機具庫 換気設備図 機器表
A-10	建築工事特記仕様書（その１０）	S-10	農機具庫 構造設計特記仕様	E-10	車庫 コンセント分岐設備図	M-10	車庫 換気・衛生設備 機器表
A-11	建築工事特記仕様書（その１１）	S-11	農機具庫 基礎地業伏図・断面図 基礎伏図 スリーブ補強詳細図（参考図）	E-11	東屋 コンセント分岐設備図	M-11	車庫 換気設備図
A-12	建築工事特記仕様書（補足）	S-12	農機具庫 基礎詳細図 基礎取合詳細図	E-12	農作業小屋 動力分岐設備図	M-12	車庫 衛生設備 屋外配管図
A-13	工事区分表	S-13	農機具庫 梁伏図 軸組図	E-13	車庫 動力分岐設備図	M-13	車庫 衛生設備図
A-14	案内図 敷地概要 建物概要 配置図	S-14	農機具庫 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図	E-14	農作業小屋・東屋 音響設備図		
A-15	農作業小屋 建物求積図 仕上表 平面図 屋根伏図	S-15	車庫 構造設計特記仕様	E-15	分電盤 単線結線図		
A-16	農作業小屋 立面図 断面図 矩計図	S-16	車庫 基礎伏図 スリーブ補強詳細図	E-16	構内配電線路・構内通信結線図		
A-17	農作業小屋 平面詳細図	S-17	車庫 基礎詳細図 基礎取合詳細図	E-17	外灯 姿図（参考）		
A-18	農作業小屋 展開図	S-18	車庫 梁伏図	E-18	受変電設備 単線結線図（参考）		
A-19	農作業小屋 天井伏図	S-19	車庫 軸組図				
A-20	農作業小屋 建具キープラン 建具表	S-20	車庫 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図				
A-21	農作業小屋 雑詳細図 1						
A-22	農作業小屋 雑詳細図 2						
A-23	農機具庫 建物求積図 仕上表 平面図 屋根伏図						
A-24	農機具庫 立面図 断面図 矩計図						
A-25	農機具庫 平面詳細図						
A-26	農機具庫 建具キープラン 建具表						
A-27	農機具庫 雑詳細図 1						
A-28	車庫 建物求積図 仕上表 平面図 屋根伏図						
A-29	車庫 立面図 断面図 矩計図						
A-30	車庫 平面詳細図						
A-31	車庫 建具キープラン 建具表						
A-32	車庫 雑詳細図 1						
A-33	車庫 雑詳細図 2						
A-34	東屋 建物求積図 仕上表 平面図 立面図 詳細図						
A-35	リンゴ箱倉庫 建物求積図 仕上表 平面図 立面図 断面図 基礎伏図 小屋伏図 基礎詳細図						
A-36	検討書						

青 森 県 教 育 委 員 会
株 式 会 社 青 和 設 計

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

・樹脂製建具	性能値等 (16. 2. 5) (16. 3. 2～5) (表16. 3. 1～3)	○鋼製軽量建具	性能値等 (16. 2. 2) (16. 5. 2～4) (16. 5. 6) (表16. 5. 1)	・木製建具	工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (b角 (切込み後の残り板厚0. 75mm、裏板補強有り)) ・角出し曲げ (c角 (切込み後の残り板厚1. 0mm)) 建具材の加工、組立時の含水率 (16. 7. 2～4) ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書16. 7. 2 (2) (4) (a)による ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 表面材の合板の種類	○建具用金物 (16. 8. 2、3) (表16. 8. 1～5)
	耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 建具表による) ・B種 (建具符号 建具表による) ・C種 (建具符号 建具表による) ・D種 (建具符号 建具表による) ・E種 (建具符号 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 T-2) (建具符号 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ☐ 断熱性の等級 (・H-4 H-5 H-6 H-7 H-8) (建具符号 建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による) ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 標準色 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による ・ 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない 適用する		簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・) (建具符号 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ☐ 断熱性の等級 () (建具符号 建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ (mm) ※標準仕様書 表16. 4. 2による ・ 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ (mm) ※標準仕様書 表16. 4. 2による ・ 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・		材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ (mm) ※標準仕様書 表16. 5. 1による ・ 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL 鏡面仕上げ ・ 表面板の厚さ ※標準仕様書 表16. 7. 6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm 建具表による ・ ・ふすま 張りの種別 (・Ⅰ型 Ⅱ型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm 建具表による ・ ・戸ぶすま 表面板の仕上 建具表による 見込み寸法 ※30mm 建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm 建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・	

[illegible]

○塗装

(18. 4. 1～18. 12. 2)

塗装	種別	塗料の種類	高日射 反射率 塗料
・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	
	木部屋内	※B種 ・A種	
	鉄鋼面	※B種 ・A種	
	亜鉛めっき 鋼面		
・クリヤラッカー塗り (CL)	※B種 ・A種		
・アクリル樹脂系非水分散形 塗料塗り (NAD)	※B種 ・A種		
○耐候性塗料 塗り (DP)	鉄鋼面		上塗り塗料 の等級 () 級
	亜鉛めっき鋼面		上塗り塗料 の等級 (1) 級
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・A種 ・B種 ・C種	
○つや有 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面 押出成形セメント板面 モルタル面 プラスチック板面 せっこうボード面等 その他のボード面等 屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	
	・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP)	※B種 ・A種	
	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種 ・A種	
	・ビグメントステイン塗り ・木材保護塗料塗り (WP)	※B種 ・A種	

高日射反射率塗装 ☑ を適用する場合の適用箇所は
屋上、屋根面の金属面とする。

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する
(着色剤： ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤)

ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

内装工事

・接着剤

・下地の工法

・ビニル床シート

・ビニル床シート

・ビニル床タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

(19. 2. 2)

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

標準仕様書19. 2. 3 (1) (7) ～ (9) 以外の下地の工法
・図示による

(19. 2. 2、3)

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2. 0	

接合部の処理
熱溶接工法

(19. 2. 2)

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2. 0 ・2. 5 ・3. 0	
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2. 0 ・	
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2. 0 ・2. 5 ・3. 0	
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4. 0 ・	
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・	

(19. 2. 2)

・帯電防止床シート
種類 ()
性能 ()
厚さ (mm) ()

・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法 (mm) (×)
厚さ (mm) ()

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 ()
形状 ()

・耐動荷重性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()

・防滑性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()

・防滑性床タイル
種類 ()
寸法 (mm) (×)
厚さ (mm) ()

(19. 2. 2)

材質の種類
・軟質 ・硬質
高さ (mm)
※60 ・75 ・100
厚さ (mm)
※1. 5以上

・ゴム床タイル

・カーペット敷き

(19. 2. 2)

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・
寸法 (mm) (×)

・織じゅうたん (19. 3. 2、3) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2)

織り方	パイル形状	備考 (参考価格)
・ウルトンカーペット ・フェイストフェイスカーペット ・アキスミスターカーペット	・カットパイル ・ルーフパイル ・カット/ルーフパイル	・

色柄
※模様のない無地
パイル系の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)

帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

パイル形状	長さ (mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法 ・ケリッパ工法	・適用する ・適用しない	・
・ルーフパイル	・4～6 ・			
・カット、ルーフ併用	・			

下敷き材 (グリッパ工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考 (参考価格)
※ルーフパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5 ・	・
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5 ・	・
・カット、ルーフ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6. 5 ・	・

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き ・模様流し
階段部分
※模様流し ・市松敷き
見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等 ※図示による

・合成樹脂塗床

・フローリング張り

(19. 4. 2、3) (表19. 4. 4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

(19. 5. 2～5) (表19. 5. 1～6)

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書19. 5. 2 (2) の (7) ～ (9) のいずれか

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
・厚さ (mm)
・大きさ
・間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

・複合フローリング
工法
・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート

No. 25900

DATE R08. 03. 19

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事

設計図

建築工事特記仕様書 (その8)

株式会社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331 (代) 管理建築士 舘 山 良 子

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子

・畳敷き

○せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り

種別

(19. 6. 2) (表 19. 6. 1)

・A種（畳表：・JS ・J1）
・B種
・C種（畳床：・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30）
・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書 表12. 6. 1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン ☑）

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及び
スチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用
したものとする。

衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

(19. 7. 2、3) (表19. 7. 1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19. 7. 2(3) (イ)の(a)～(d)のいずれか

合板の防虫処理の適用
・行う ・行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

種類等	厚さ(mm)、規格等
-----	------------

木質系セメント板 ☑

・木毛セメント板
・硬質(HW)
・中質(MW)
・普通(NW)

※図示による
・15 ・20 ・25

・木片セメント板
・硬質(HF)
・普通(NF)

※図示による
・12 ・15 ・18
・21 ・30

繊維強化セメント板

・けい酸カルシウム板(タイプ2)
普通ボード 0. 8FK

※図示による
・6 ・8

火山性ガラス質複層板（VSボード）

・火山性ガラス質複層板
種類 ※図示による

繊維板 ☑

・ミディアム密度ファイバーボード（MDF）

※図示による
・3 ・7 ・9 ・12

・ハードボード

※図示による
・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7

・スタンダードボード（無処理）
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・内装用化粧ハードボード（DI）
・テンハードボード（処理）
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・外装用化粧ハードボード（DE）

・インシュレーションボード

※図示による
・9 ・12 ・15 ・18

・A級インシュレーションボード（A-IB）
・天井仕上材
・内装仕上材

パーティクルボード ☑

・単板張りパーティクルボード
・無研磨板(VN)
・研磨板(VS)

※図示による
・10 ・12 ・15 ・18

・化粧パーティクルボード
・単板オーバーレイ(DV)
・プラスチックオーバーレイ(DO)
・塗装(DC)

※図示による
・10（難燃）
・12（難燃）

吸音材料

・ロックウール化粧吸音板(DR)
・フラットタイプ
・凹凸タイプ

・ロックウール吸音ボード(1号)

※図示による
・25

・グラスウール吸音ボード(32K)

・25（グラスウロス包み）

せっこうボード

・せっこうボード(GB-R)

※12. 5（不燃）
・15（不燃）

○シーリングせっこうボード(GB-S)

○12. 5（・不燃○準不燃）

・強化せっこうボード(GB-F)

・12. 5（不燃）
・15（不燃）

○化粧せっこうボード(GB-D)

○トラバーチン模様
9. 5（準不燃）

・せっこうラスボード(GB-L)

・9. 5

・不燃積層せっこうボード(GB-NC)

・9. 5（不燃）

・化粧なし（下地張り用）
・化粧あり（トラバーチン模様）

○硬質せっこうボード(GB-R-H)

○12. 5（不燃）

合板類

・普通合板 ☑

※5. 5
・図示による

品名：
単板の樹種名：
板面品質：

・天然木化粧合板 ☑

※図示による

化粧板の単板の樹種名：

・不燃天然木化粧合板 ☑

※図示による

化粧板の単板の樹種名：

・特殊加工化粧合板 ☑

※図示による

品目：
接着の程度：
単板の樹種名：
化粧加工の方法
・オーバーレイ ・プリント
・塗装

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを
行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種 ○B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
※仕上表による

ホルムアルデヒド放散量 (19. 8. 2、3) (表19. 8. 1～3)
※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考 (参考価格)
	紙	繊維	塩化ビニル樹脂	プラスチック	無機質	その他		
							・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらの種別
※B種 ・A種

○断熱材 ☑

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤 (19. 9. 2～4)
のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド
放散量
※F☆☆☆☆
・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材（・）	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スチ層なし） （・2種bA ○3種bA ・3種bC ・3種bD）	○25	農作業小屋 車庫 靴洗い場
・硬質ウレタンフォーム断熱材（・）	・	
・フェノールフォーム断熱材（・）	・	

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類
・A種1 ・A種1H
吹付け厚さ（mm）

施工箇所
・図示による
（品質・性能、試験方法は別表による）

⑳ ユニット及び
その他の工事

・フリーアクセス
フロア

・可動間仕切

・移動間仕切

(20. 2. 2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1. 0G ・0. 6G	・3. 000N ・5. 000N	・帯電防止床タイプ ・タイルカーペット

寸法精度
※標準仕様書20. 2. 2(2) (オ) (a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（
）
パネルの平面形状（精度）の寸法精度
（
）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（
）

帯電防止性能
・評価値（U）≥0. 6以上
・評価値（U）≥1. 2以上

感電防止性能
漏えい抵抗（R）≥1×10⁹Ω
（品質・性能、試験方法は別表による）

(20. 2. 3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド バル	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式（内蔵）		・メラミン樹脂焼付 又は アクリル樹脂焼付	・0 ・12 ・20	・不燃
・スタッド式（露出）		・壁紙張り	・28 ・36	
・スタッドバル式				

パネル内に取付ける建具
・あり（※図示による
・なし

パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、
上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する
材質とする。

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書
19章による。

パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆

(20. 2. 4)

走行方向	操作方法 の種類	バル圧接 装置の 操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)
		材質		仕上げ		
・平行方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・	・焼付 塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章
による。

ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障の
ない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による

パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

No. 25900

DATE R08. 03. 19

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事

設計図 DR. NO. A-09


建築工事特記仕様書（その9）

SCALE

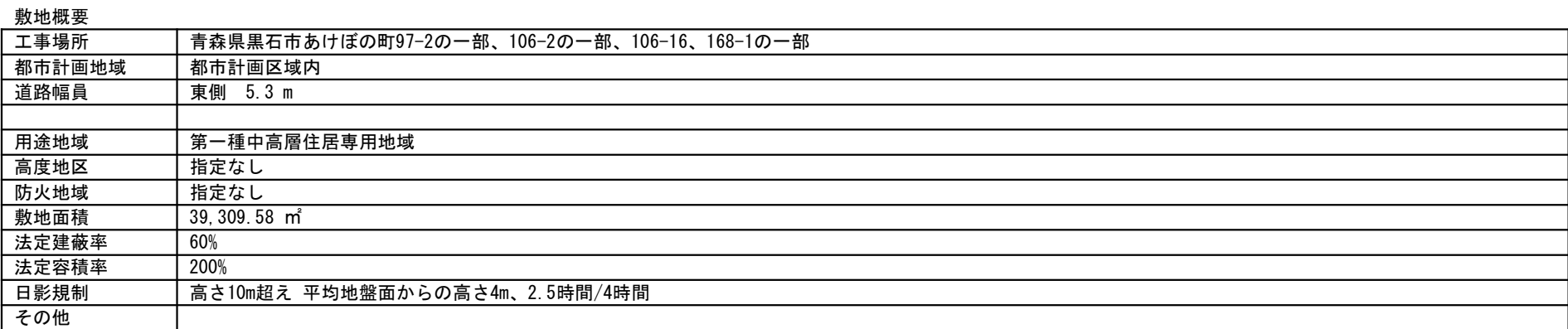
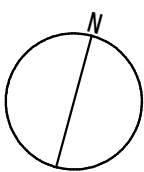
株式会社 青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子

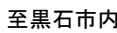
[illegible]

章		項 目		特 記 事 項				
土工 事	① 建設発生土の 処理	※ 場外搬出適正処理（参考標準運搬距離 7.0 km） ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外指示の場所に処分（受入れ施設名、受入れ場所、 仮置場所、搬出調書等を提出する。）		防水 改修 工事	・ 伸縮調整目地 ※ 成形伸縮目地（天端EPTゴム、サイドブチルゴム製）は 評価名簿による。			
地業 工事	・ 杭、地盤の載 荷試験 ・ 六価クロム溶 出試験	杭、地盤の試験の方法及び報告書の記載事項は、国土交 通省大臣官庁官庁営繕部「敷地調査共通仕様書」を標準と する。 地盤改良工事等でセメント及びセメント系固化材を使用 する場合は、六価クロム溶出試験要領により、試験を実施 し試験結果（計量証明書）を監督職員に提出すること。 ・ 配合設計段階（ 検体） ・ 施工段階（ 検体）		内装 改修 工事	・ 材料 樹種 ※ 標準仕様書の「ひのき」は「ひば」と読み替える。 ・ 防虫処理 ラワン材等を使用する場合 ・ 保存処理の性能区分K1 ・ フローリング 張り 本特記事項は、体育館の床には適用しない。			
コン クリ ート 工事	① 骨材 ② 品質管理	構造体に関する耐震安全性の分類がⅠ類以外の建築物で、 地域等によって区分Bの骨材を使用せざるを得ない場合、 監督職員と協議し、次のいずれかの方法により承諾を受け た場合に限り使用できる。 (1) アルカリ総量が3.0kg/m3以下であることを配合計画 書により確認 (2) 抑制効果のある混合セメントを使用 構造体に用いるコンクリート用骨材の品質試験を次によ り実施すること。 (1) アルカリシリカ反応性試験の方法は化学法(JIS A 1145)又は迅速法(JIS A 1804)による。 (2) コンクリート製造工場の選定後、速やかに品質試験 実施計画書を作成し、監督職員に提出すること。 (3) 原則として受注者の立会いのもと試料の採取を行う こと。 (4) 計画調合書の作成前に、原則として試験機関に委託 し実施すること。試験の実施後、6ヶ月を経過する 都度及び産地が変わった場合には再試験を実施する こと。 (5) 試験の結果は書面により速やかに報告すること。 (6) アルカリシリカ反応性試験の結果、区分Bと判定さ れた場合は、監督職員と協議すること。						
木 工 事	・ 材料	樹種 ※ 標準仕様書の「ひのき」は「ひば」と読み替える。						
塗 装 工 事	① 塗装業者	(一社)日本塗装工業会の会員又は監督職員の承諾する者 とする。						
撤 去 工 事	・ 一般事項 ・ 施工計画書 ・ 工法等 ・ 分別解体等に 係る施工方法	(1) 建設廃棄物等の処分は、関係法令に従い安全かつ公 害を発生させない方法で行うこと。 (2) 計画内容は工事施工関係者に広く周知徹底させる。 (3) 騒音、振動は使用機器の能力等により、事前に所要 の手続きをして解体に伴う関係官庁の了解を得ること。 (1) 使用機械器具、各工種の材料、工法、日程等の内容 を記載すること。 (2) 重機械等を建築物等に載せる場合は、構造体の安全 を確認する検討書を添付すること。 内装材の撤去は原則として火気を使用しないこと。やむ を得ず使用する場合は、消火器具等を準備し監視人を配置 するなど防火対策を入念に行う。 内装仕上げ材、建築設備の撤去 ※ ビニル床タイル、間仕切壁、天井材、建具類等の内装 仕上げ材及び建築設備は、コンクリート類の再資源化 を図るため、手作業による先行撤去とし、コンクリー ト類とは分別解体とすること。 ・ 手作業、機械作業の併用による。 屋根ふき材 ※ 手作業による。 ・ 手作業、機械作業の併用による。 石膏ボードの 処分方法 撤去は手作業を原則とし、管理型処分場で処分すること。 ひ素・カドミウム含有せっこうボードは、出来る限り製 造業者に処分を依頼すること。						
				No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図 DR. NO. A-12	
				DATE	R08.03.19			SCALE
								
						株式会社 青 和 設 計		
						1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子		

工事区分表（他工事との取合い等）																																								
項 目					A	E	M	EV		備 考					項 目					A	E	M	EV		備 考															
躯体関係															仕上げ関係										<div><div><div>11. その他（続き）</div><div>排煙口等の天井仕上材の取付け</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div>排煙口はM</div></div><div><div>消火器ボックス設置工事</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>誘導標識（誘導灯を除く）</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>煙突底部排水目皿・排水管</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>床排水金物（目皿共）・排水管</div><div></div><div></div><div>○</div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>くつつ洗い流し部排水金物・排水管</div><div></div><div></div><div></div><div>○</div><div></div><div></div></div><div><div>ルーフドレン</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>雨水流入配管</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div><div>雨水利用設備集水管</div><div></div><div></div><div>○</div><div></div><div></div><div>電動遮断弁以降はM</div></div><div><div>屋上緑化</div><div>○</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div>屋上緑化用灌水装置までの配管はM</div></div><div><div>ポンプ及びボンプアップ配管</div><div></div><div></div><div>○</div><div></div><div></div><div></div></div></div>															
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け				○	○	○	○							1. 軽量鉄骨天井下地・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強				○																				
	補強を要する型枠材及び取付け				○											補強を要しないボードの切り込み					○	○																		
	補強を要しない型枠材及び取付け				○	○	○	○								開口部の墨出し					○	○																		
	貫通孔・開口部の墨出し				○	○	○	○																																
	貫通孔・開口部の補強				○										2. 可動間仕切り	切込み及び補強				○																				
	スリーブ・型枠の穴埋め				○	○	○	○		防火区画、防煙区画						位置ボックス				○																				
2. S・SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強				○										3. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用					○	○																		
	使用されたスリーブの穴埋め				○	○	○	○		防火区画、防煙区画																														
	予備スリーブの穴埋め				○	○	○	○		防火区画、防煙区画																														
3. 設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）				○										4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ				○																				
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）					○	○									ウエザーカバー、ベントキャップ（シール共）						○																		
	屋外・屋上の基礎				○											換気扇（取付枠共）						○																		
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの					○	○									サッシパネル開口				○																				
	機器取付け用アンカー・架台					○	○																																	
	屋内受水タンク用の基礎				○										5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台				○																				
太陽電池アレイ用架台（支持金物）				○	○				AとEの区分は図示					フード（標準詳細図のもの、シール共）				○					その他はM																	
機械室・昇降路の躯体				○										ミニキッチン（照明、水栓含む）				○																						
4. 昇降機関連	機械室の床開口				○										6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット						○																		
	機械室の床配管ビット・ふた				○											既製浴槽（ふたを含む）						○																		
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上				○											浴室及び便所の床排水金物						○																		
	機械室・昇降路内換気設備						○								7. 便所まわり	洗面カウンター				○															洗面器はM					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷							○								鏡（規格寸法のみ）						○													規格外はA					
	昇降路内ビット防水・集水桝				○											衛生器具ユニット						○																		
	点検用タラップ							○							8. 事務室まわり	手すり、背もたれ				○															衛生器具ユニットの場合はM					
	各階出入口穴あけ・同補強				○																																			
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修							○																																
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材				○										9. フリーアクセスフロア	ファンコイルカバー				○																				
	出入口扉・三方枠及び幕板							○								家具組み込みの洗面器						○			切り込みはA															
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨				○																																			
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式							○							10. 自動扉電動シャッターまわり	コンセント					○																			
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース				○											床パネルの切り込み加工				○																				
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）				○																																			
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口				○										11. その他	防火戸の自動開閉装置					○																			
	点検用コンセント・煙感知器					○										上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置				○																				
	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事					○										排煙窓本体・自動開閉装置				○																				
	EV警報盤又はEV監視盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホンまでの配管・配線工事							○		監視カメラ及びインターホン含む						防煙たれ壁本体・駆動装置				○																				
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの配管・配線工事					○				電気設備のモニタ装置に映像を表示する場合						上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器				○																				
	EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事					○										自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）				○																				
	EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管工事					○										自動扉の手元電源スイッチ					○																			
	EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及びインターホンの配管・配線工事					○				結線及び試験調整は、E V 工事						電気錠の本体、扉内配線				○																				
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事						○									電気錠の扉までの配管及び配線					○																			
	5. その他	トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽				○										11. その他	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ				○																			
		同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等				○											自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への配管・配線工事				○																			
		雷保護設備・同接地工事					○										自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線					○																		
ALC板の壁開口・補強				○											2重ビット及びびトレンチのマンホールふた				○																					
厨房排水溝				○											機器搬入用フック、ビーム				○					EV用フック含む																
厨房グリース阻集器							○							チェーンブロック					○	○																				
オイルサービスタンクの防油堤				○											化粧マンホール上ふたの表面仕上げ				○																					
フリーアクセスフロア内の防水堤				○											点検口（天井・床下）				○																					
既設埋設配管配線調査（×線探査含む）				○	○	○																																		
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。				この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。																																			
	<div><div>No.25900</div><div>DATER08.03.19</div><div></div><div></div><div></div></div> <div>黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事</div> <div>設計図DR. NO. A-13</div> <div>工事区分表</div> <div>SCALE</div> <div><div>株式会社 青 和 設 計</div><div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子</div></div>																																							



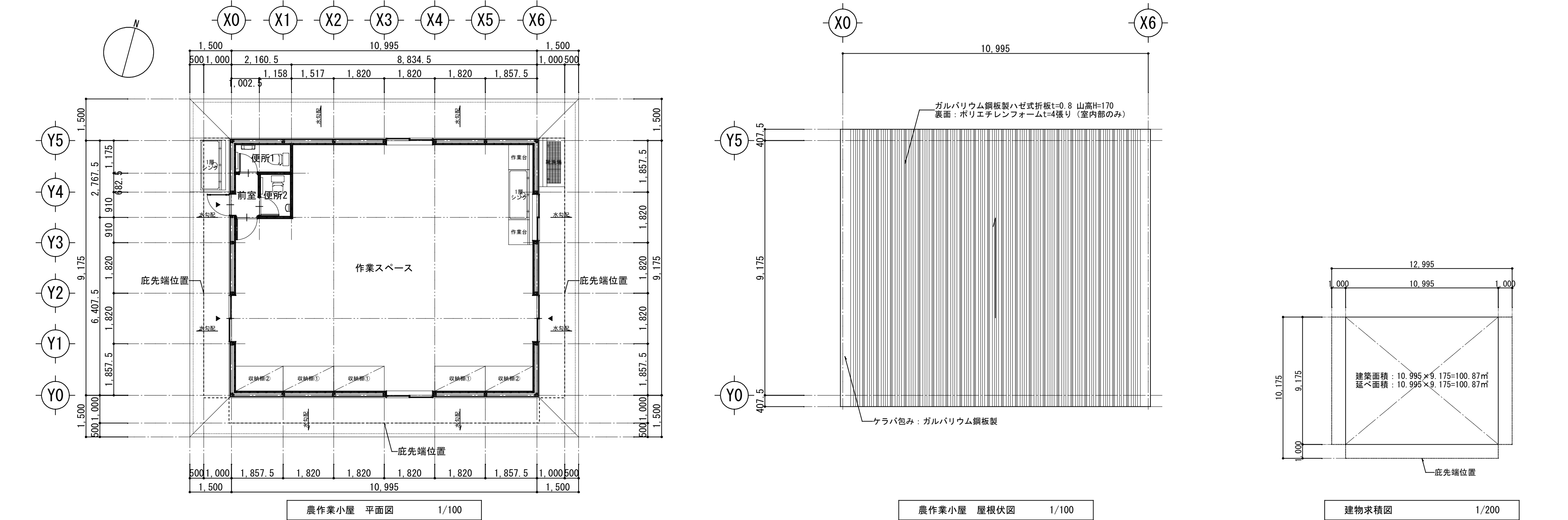
- 高さ制限の検討
 - ・道路斜線制限
容積率200%のため適用距離20mより申請建物6以外は適用距離外のため検討不要
 - 申請建物6
前面道路幅員 9.900m \times 1.25 = 12.375m > 申請建物6最高高さ 4.895m より、 \therefore O K
 - ・隣地斜線制限
3m以下のため検討不要
 - ・北側斜線制限
除外規定に該当し検討不要



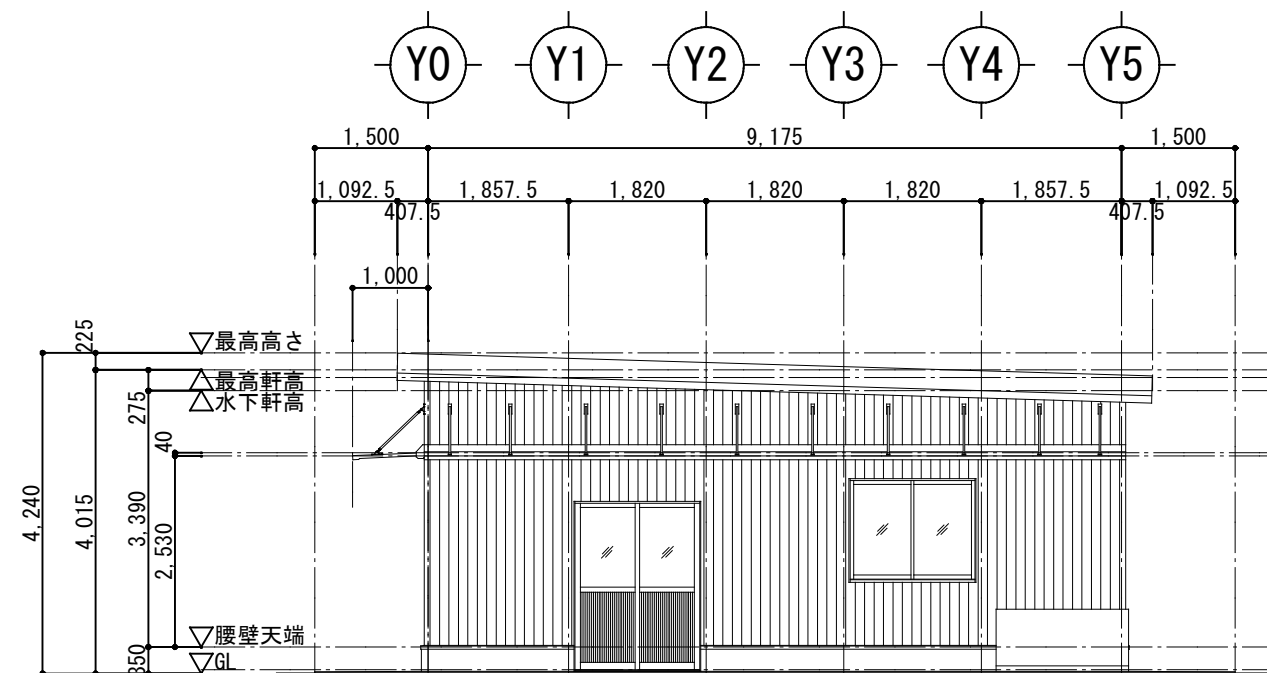
No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計 図	DR. NO. A-14
DATE R08.03.19	案内図 配置図 敷地概要 建物概要		SCALE	(A2) 1/800
			 	
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子	
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			

外 部 仕 上 表					
屋 根	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8 山高H=170 裏面：ポリエチレンフォームt=4張り（室内部のみ） ケラバ包み・軒先見切面戸：ガルバリウム鋼板製 庇：アルミ形材製（高強度タイプ） 吊材共 樹ダイケン RS-K2 同等品以上			防湿処理 断 熱 材	土間下：ポリエチレンフィルムt=0.15（重ね250以上・端部250立下） 外周壁：グラスウール断熱材16k t=50 天井裏：グラスウール断熱材16k t=100
軒 裏	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8現し			犬 走 り	コンクリート直均し仕上
外 壁	ガルバリウム鋼板製金属角波サイディングt=0.5 塗装品 縦張り 出隅カバー・水切・開口部周囲見切：外壁同材加工			靴 洗 場	鉄筋コンクリート製 W1,750×D790×H850 水平面：コンクリート直均し仕上 壁面：コンクリート打放しB種仕上 ステンレス製グレーチング ノンスリップ柵付（T-2） 500×1,000+500×500 ブラシ掛けフック：φ6 SUS304 2か所
開 口 部	アルミ製片開き戸 アルミ製引違い戸 アルミ製引違い窓 建具周囲シーリング：MS-2			水 飲 場	ステンレス製1層シンク W1,800×D750×H800 1か所 ライニングバック：鉄筋コンクリート製 W1,800×D150×H1,100 水平面：コンクリート直均し仕上 壁面：コンクリート打放しB種仕上
基礎立上	コンクリート打放しB種仕上			室 名 札	AD-2壁面付近：ピクトサイン 200×200 平付 白アクリルt=5+シルク印刷

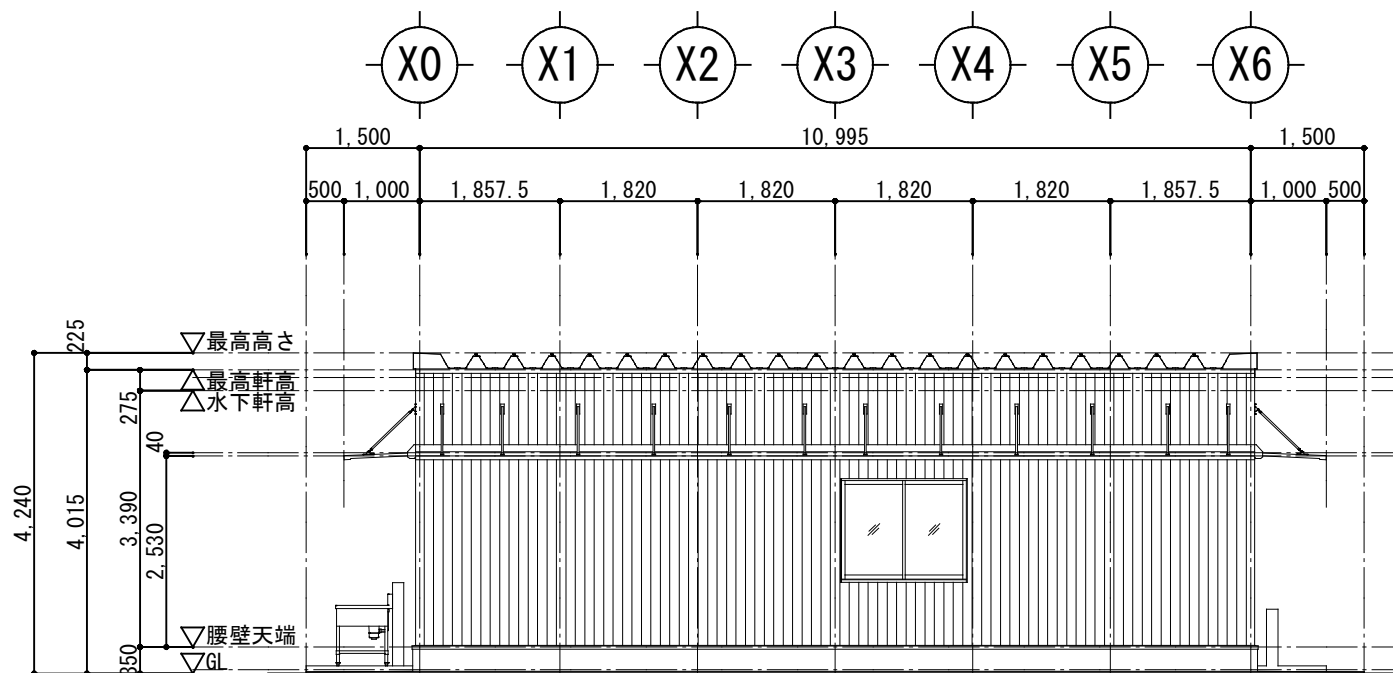
内 部 仕 上 表										
階	室 名	床		巾 木		壁		天 井		備 考
1	作業スペース	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	外周部： コンクリート打放しB種仕上 上記以外： ステンレス製 t=0.8接着張り	300	Ⓔ ★ 硬質石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 LGS壁下地	Ⓔ ★ 化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	3,000	ライニングバック天端：メラミン樹脂板ポストフォーム t=20 ライニングバック壁：硬質石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 H=970 収納棚①：木製 W1,820 ×D900×H1,600 3か所 収納棚②：木製 W1,707.5×D900×H1,600 2か所 1層シンク：ステンレス製 W1,800×D750×H800 1か所 作業台：ステンレス製 W900×D750×H800 2か所 床カッター目地：W10×H10 タデヨコ#3,640以内 室名札：ピクトサイン 200×200 平付 白アクリルt=5+シルク印刷 2か所
	前 室	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	外周部： コンクリート打放しB種仕上 上記以外： ステンレス製 t=0.8接着張り	300	Ⓔ ★ 硬質石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 LGS壁下地 便所1・便所2間間仕切壁内部：グラスウール24k t=50充填 ※断熱材の施工範囲 作業スペースの壁に面する部分は、H=3,000まで充填すること。	Ⓔ ★ 化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	2,400	室名札：ピクトサイン 200×200 平付 白アクリルt=5+シルク印刷 2か所
	便所1	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	外周部： コンクリート打放しB種仕上 上記以外： ステンレス製 t=0.8接着張り	300	Ⓔ ★ 硬質石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 LGS壁下地 間仕切壁内部：グラスウール24k t=50充填 ※断熱材の施工範囲 作業スペースの壁に面する部分は、H=3,000まで充填すること。	Ⓔ ★ 化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	2,400	
	便所2	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	ステンレス製 t=0.8接着張り	300	Ⓔ ★ 硬質石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 LGS壁下地 間仕切壁内部：グラスウール24k t=50充填 ※断熱材の施工範囲 作業スペースの壁に面する部分は、H=3,000まで充填すること。	Ⓔ ★ 化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	2,400	



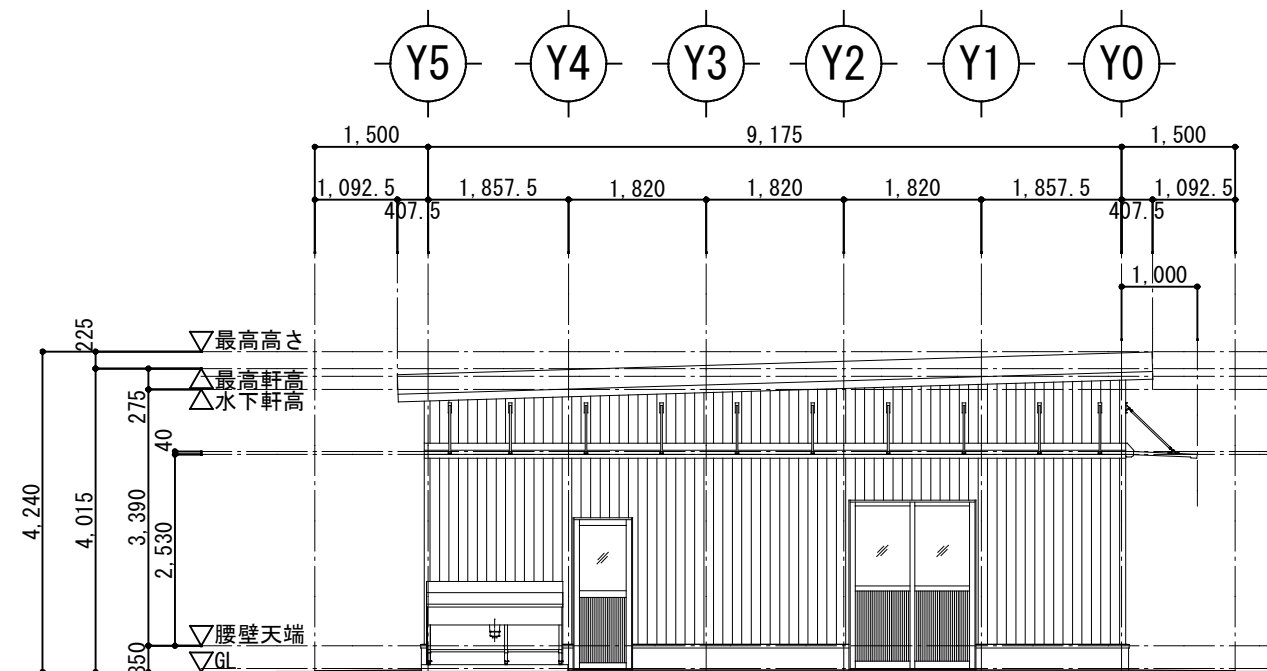
特 記		材 料 認 定 番 号	凡 例	No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設 計 図 DR. NO. A-15
1. 廻縁は、塩ビ製突付とする。		硬質石こうボードt=12.5	Ⓔ：告示対象外建築材料	DATE R08.03.19	
2. 額縁は、樹脂製見付25とする。		化粧石こうボードt=9.5	★：F☆☆☆☆建築材料		
3. 壁及び天井の仕上下地は、全て軽量鉄骨（LGS）下地とする。			EP-G：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		
4. 使用する建材は、全て石綿含有率0.1%以下のものを使用すること。					
5. 小屋裏等に使用する建材も告示対象外建材及びF☆☆☆☆建材を使用すること。					1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子



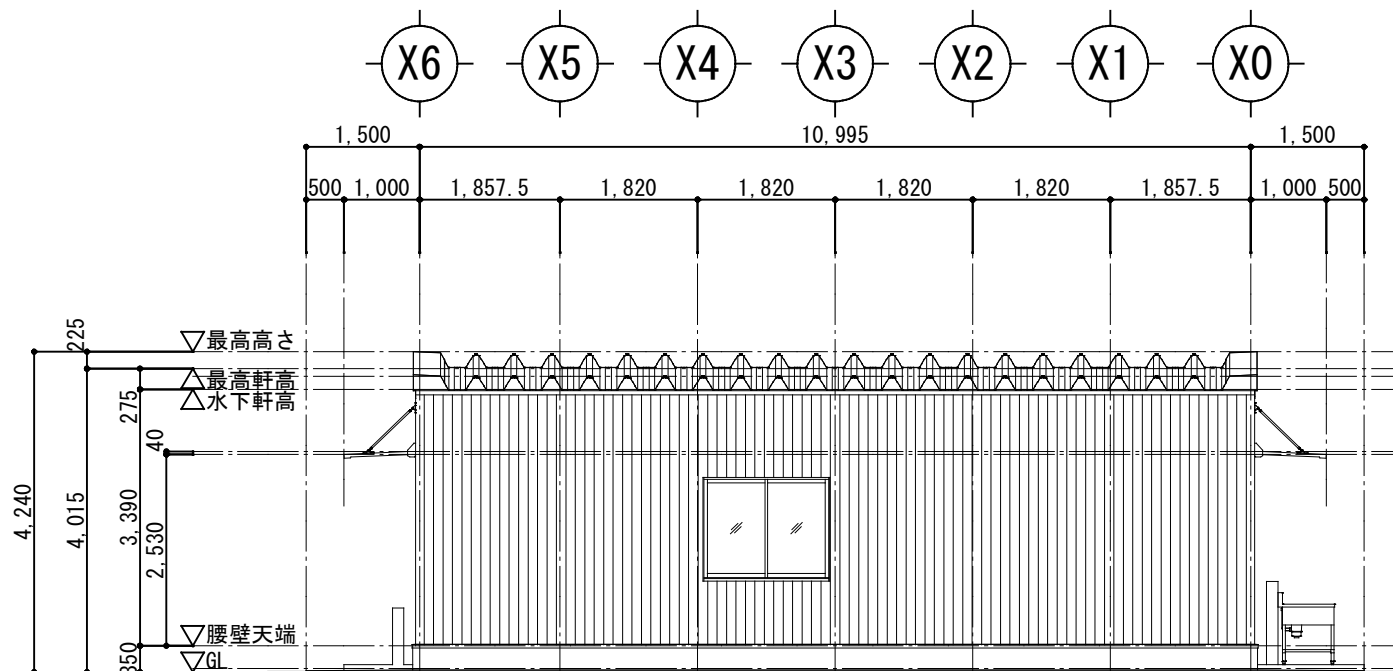
農作業小屋 東側立面図 1/100



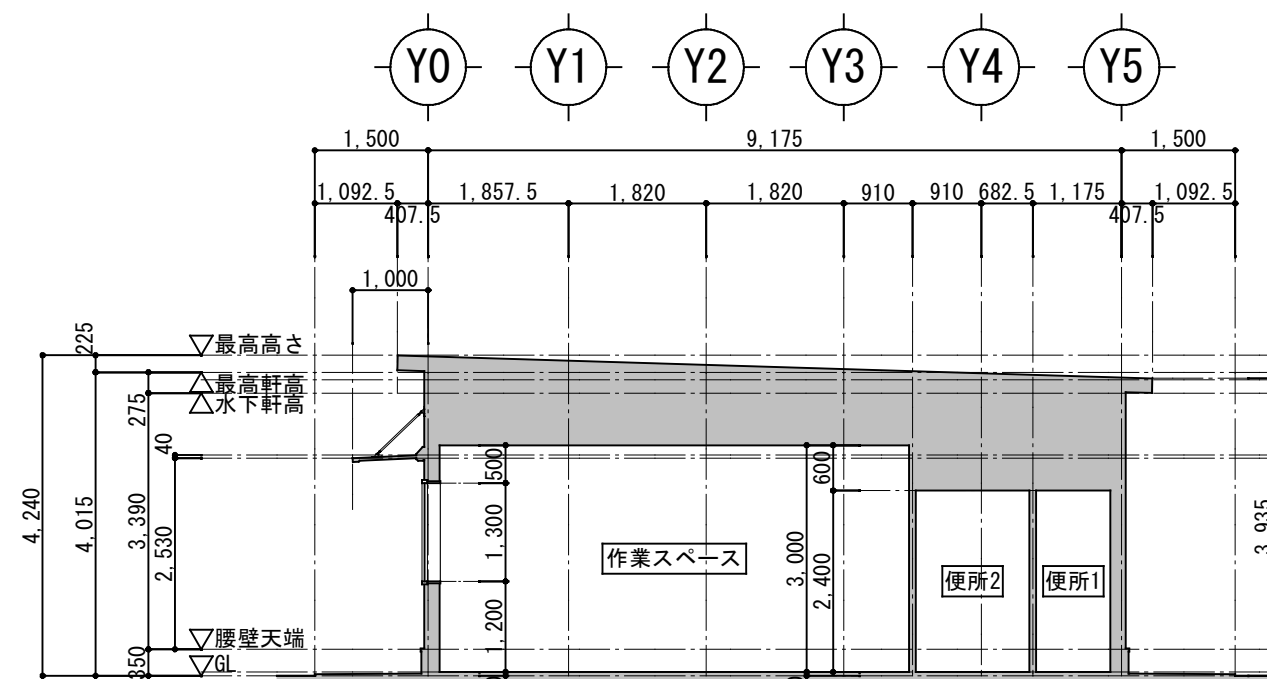
農作業小屋 南側立面図 1/100



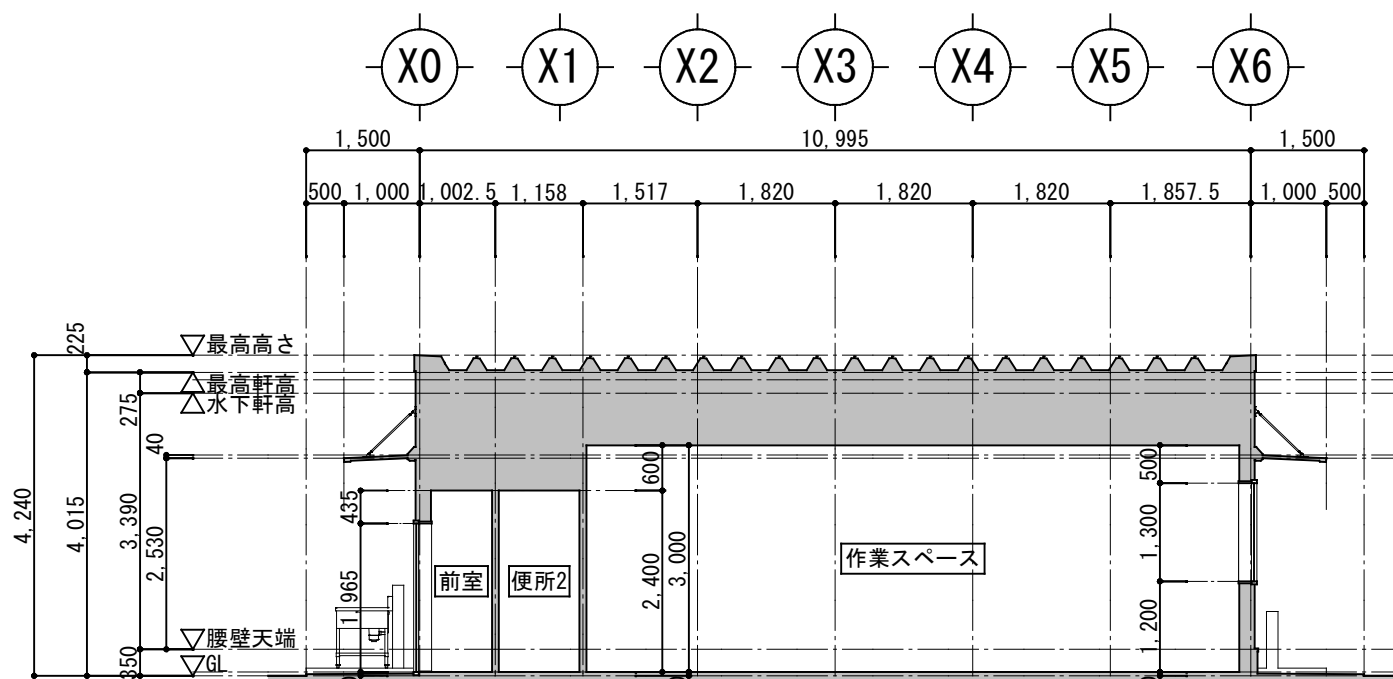
農作業小屋 西側立面図 1/100



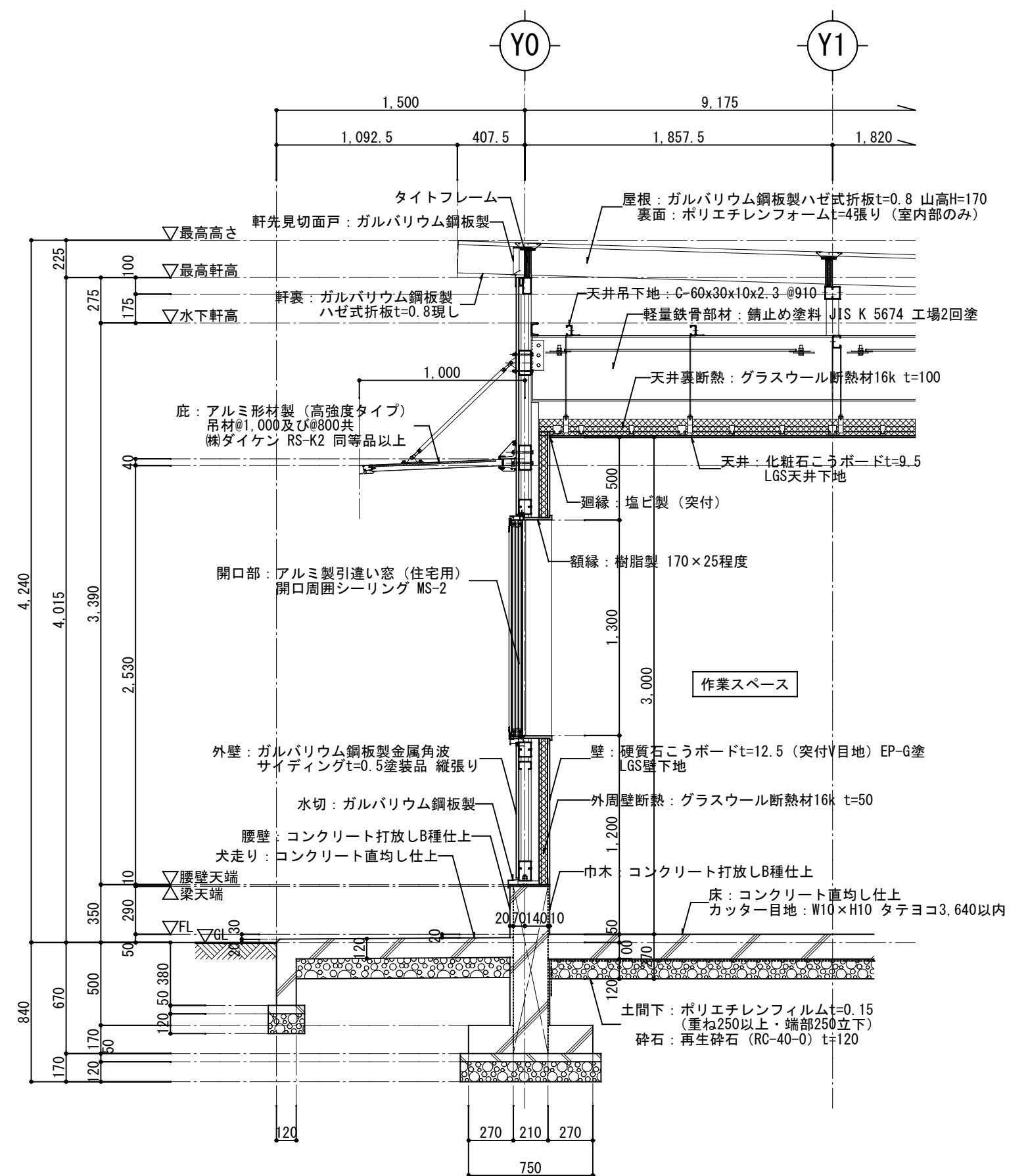
農作業小屋 北側立面図 1/100





農作業小屋 断面図1 1/100

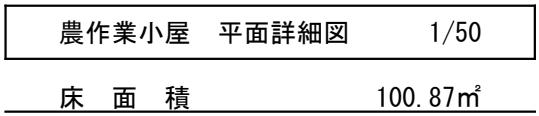


農作業小屋 断面図2 1/100





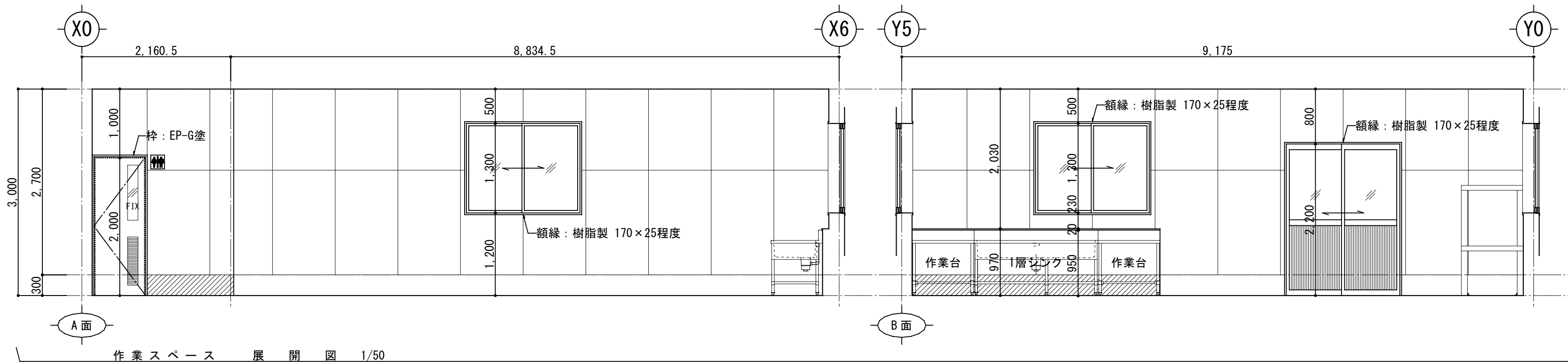
農作業小屋 矩計図 1/30

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO.	A-16
DATE	R08. 03. 19				
		農作業小屋	立面図	断面図	矩計図
		SCALE (A2) 1/30 1/100			
		 			
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 2級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子	
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			

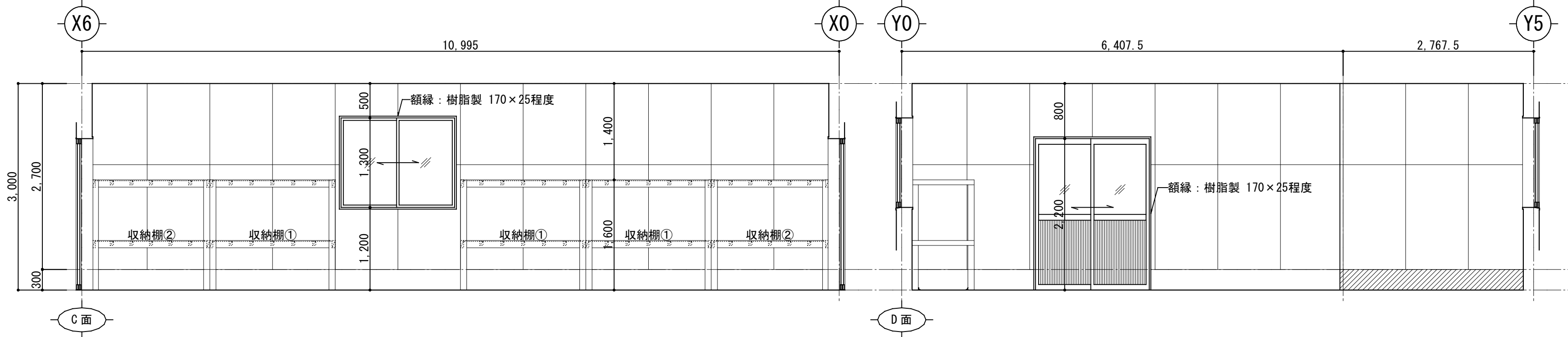


展開表示

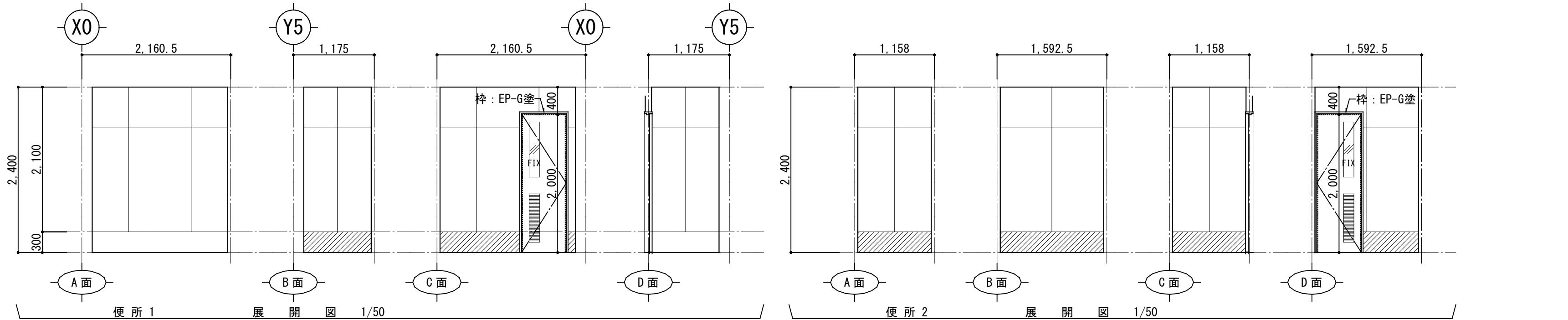
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR.NO.	A-17
DATE	R08.03.19	農作業小屋 平面詳細図	SCALE	(A2) 1/50	
			 		
		株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		
		青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL・0173(35)8331(代)			



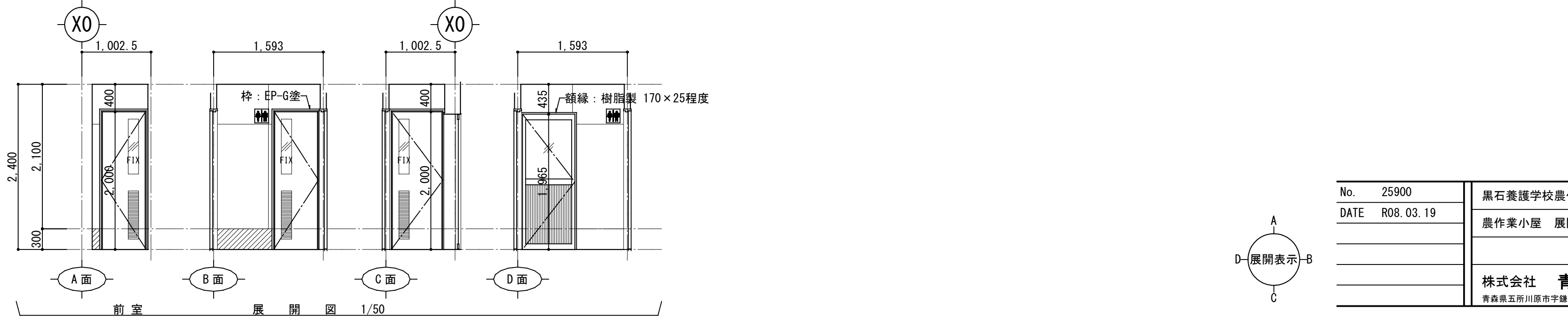
作業スペース		CH=3,000
床	コンクリート直均し仕上	
巾木	外周部：コンクリート打放しB種 斜線部：ステンレス製 t=0.8接着張り	
壁	硬質石こうボードt=12.5 (突付V目地) EP-G塗 LGS壁下地	
天井	化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	
廻縁	塩ビ製 (突付)	
備考	ライニングバック天端： メラミン樹脂板ポストフォーム t=20 ライニングバック壁： 硬質石こうボードt=12.5 (突付V目地) EP-G塗 収納棚①： 木製 W1,820 ×D900×H1,600 3か所 収納棚②： 木製 W1,707.5×D900×H1,600 2か所 1層シンク： ステンレス製 W1,800×D750×H800 1か所 作業台： ステンレス製 W 900×D750×H800 2か所 室名札：ピクトサイン 200×200 平付 白アクリルt=5+シルク印刷 1か所	



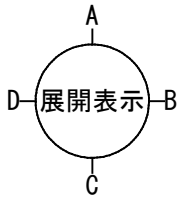
便所1		CH=2,400
床	コンクリート直均し仕上	
巾木	外周部：コンクリート打放しB種 斜線部：ステンレス製 t=0.8接着張り	
壁	硬質石こうボードt=12.5 (突付V目地) EP-G塗 LGS壁下地	
天井	化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	
廻縁	塩ビ製 (突付)	
備考	-	



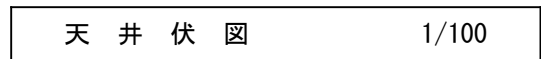
便所2		CH=2,400
床	コンクリート直均し仕上	
巾木	斜線部：ステンレス製 t=0.8接着張り	
壁	硬質石こうボードt=12.5 (突付V目地) EP-G塗 LGS壁下地	
天井	化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	
廻縁	塩ビ製 (突付)	
備考	-	





前室		CH=2,400
床	コンクリート直均し仕上	
巾木	外周部：コンクリート打放しB種 斜線部：ステンレス製 t=0.8接着張り	
壁	硬質石こうボードt=12.5 (突付V目地) EP-G塗 LGS壁下地	
天井	化粧石こうボードt=9.5 LGS天井下地	
廻縁	塩ビ製 (突付)	
備考	室名札：ピクトサイン 200×200 平付 白アクリルt=5+シルク印刷 2か所	




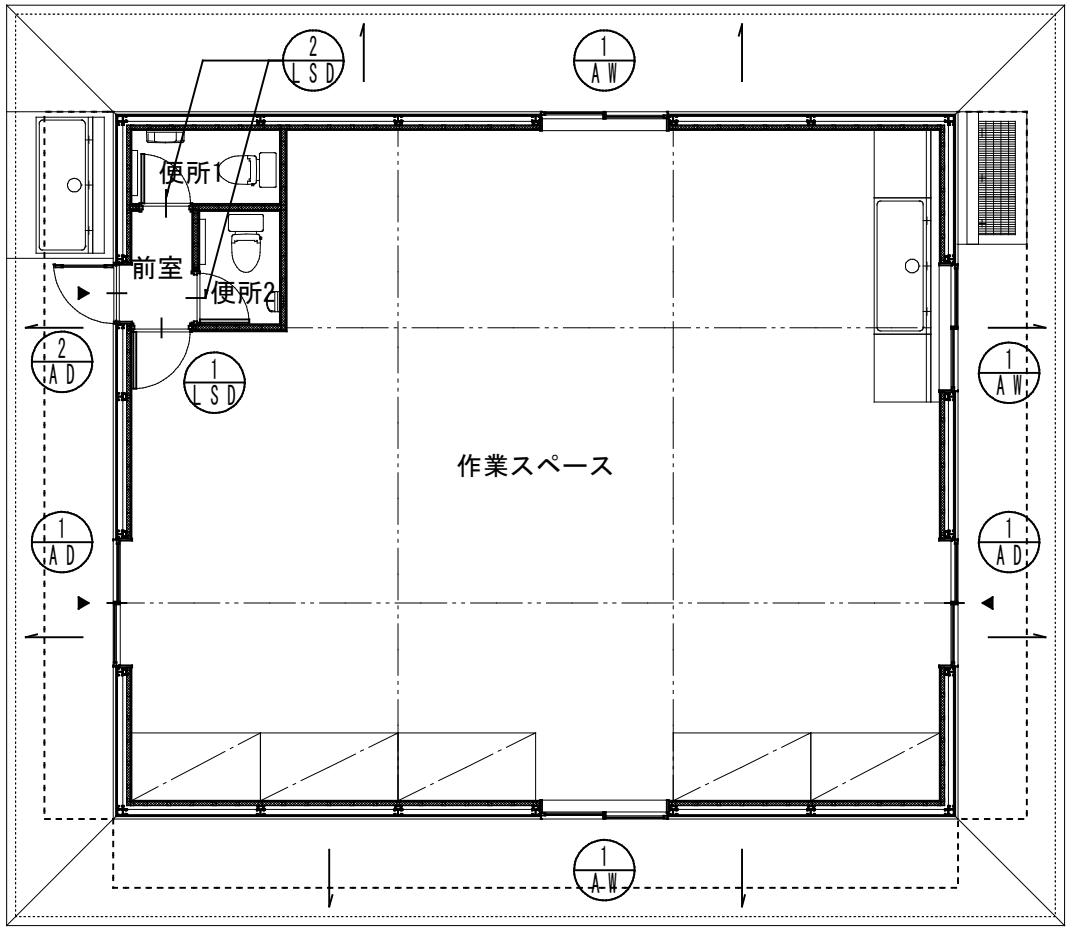
No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計 図	DR. NO. A-18
DATE R08.03.19	農作業小屋 展開図		SCALE (A2) 1/50	
				
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号	
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号	
			管理建築士 館 山 良 子	



開口補強

	450×450	—	1か所（天井換気扇）
	300×300	—	1か所（天井換気扇）

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 農作業小屋 天井伏図 	DR. No.	A-19
DATE	R08. 03. 19		SCALE	(A2) 1/100
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		

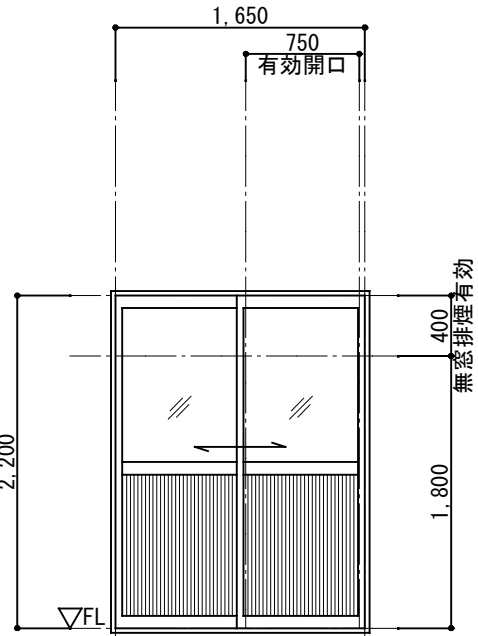


建物キープラン 1/100

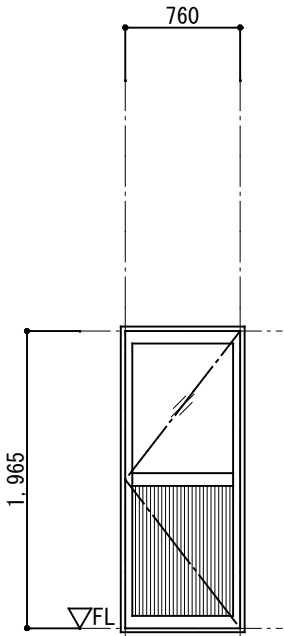
符 号



形 状



※引手操作位置 FL+800～1,500以内とする。

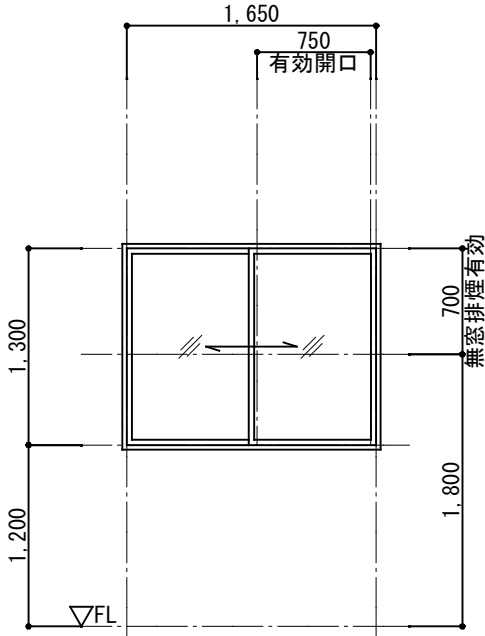


使用ヶ所	作業スペース		前室
個 所 数	2		1
型 式	引違い戸（住宅用）		片開き戸（住宅用）
見込寸法 ・ 材質	70程度	アルミ	70程度
硝子 ・ 仕上	複層ガラス（フロート板t=5+空気層t=12+フロート板t=5） 腰板：両面銅鍍+内部発泡スチロール	電解着色	型板t=4 腰板：アルミパネル
建具金物	引手 シリンダー錠 網戸 他付属金物一式		握り玉 シリンダー錠 サムターン ドアクローザ 他付属金物一式
	下枠：ステンレス製レール 三方額縁：樹脂製 170×25程度		下枠：ステンレスカバー 三方額縁：樹脂製 170×25程度
備 考	耐風圧性能：S-1等級 気密性能：A-4等級 ※三方額縁以外プレハブ建築に含む		耐風圧性能：S-2等級 ※三方額縁以外プレハブ建築に含む

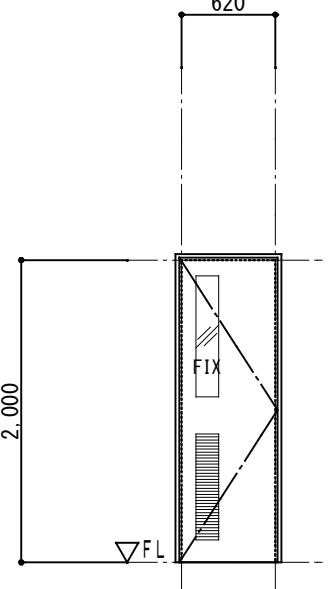
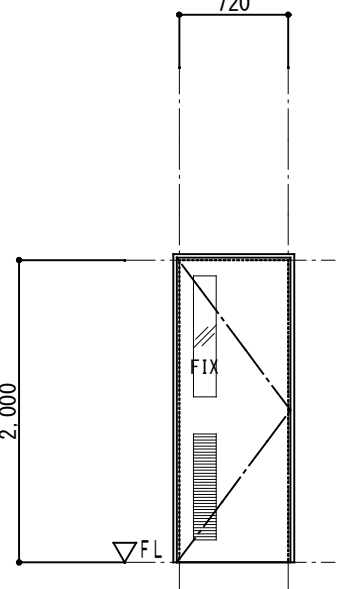
符 号



形 状

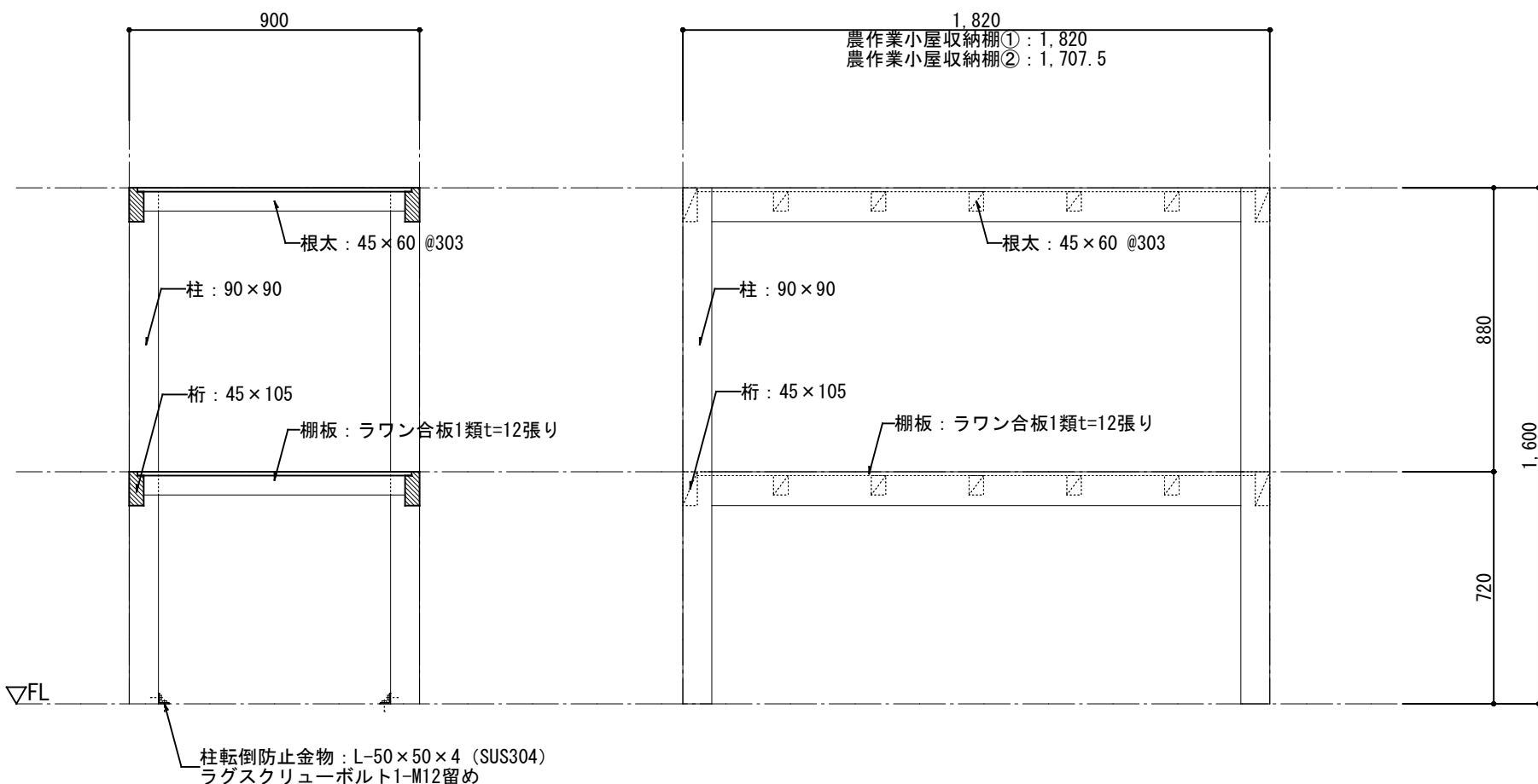
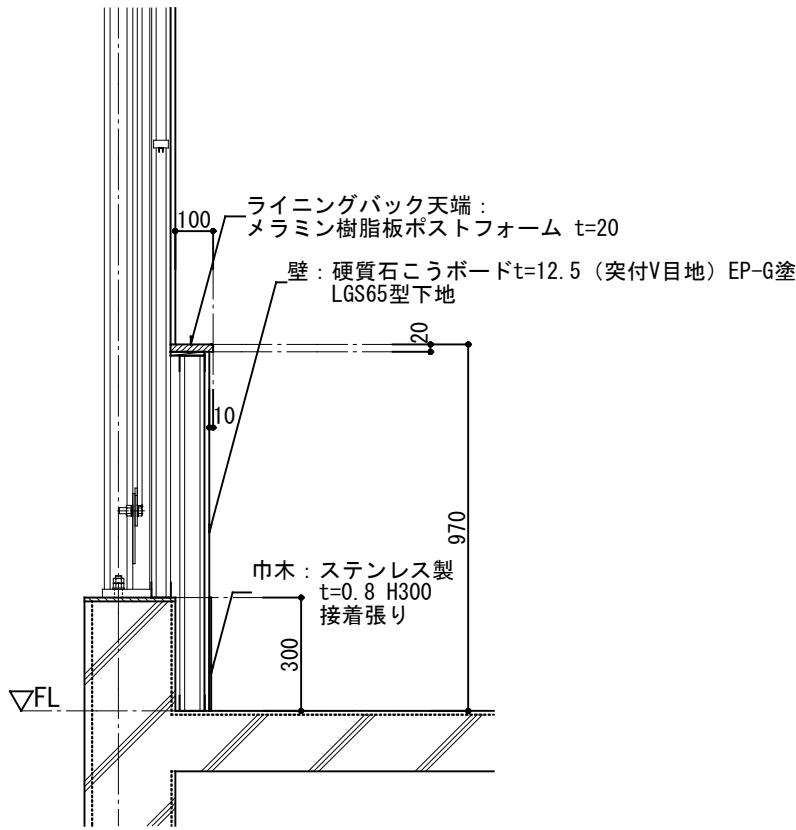
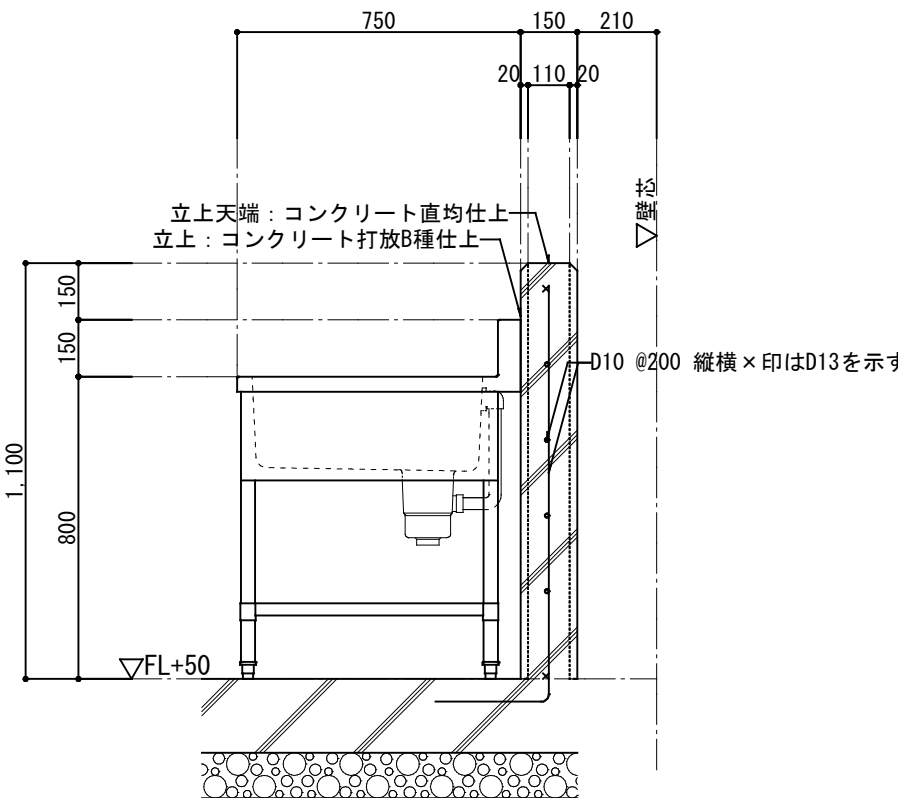
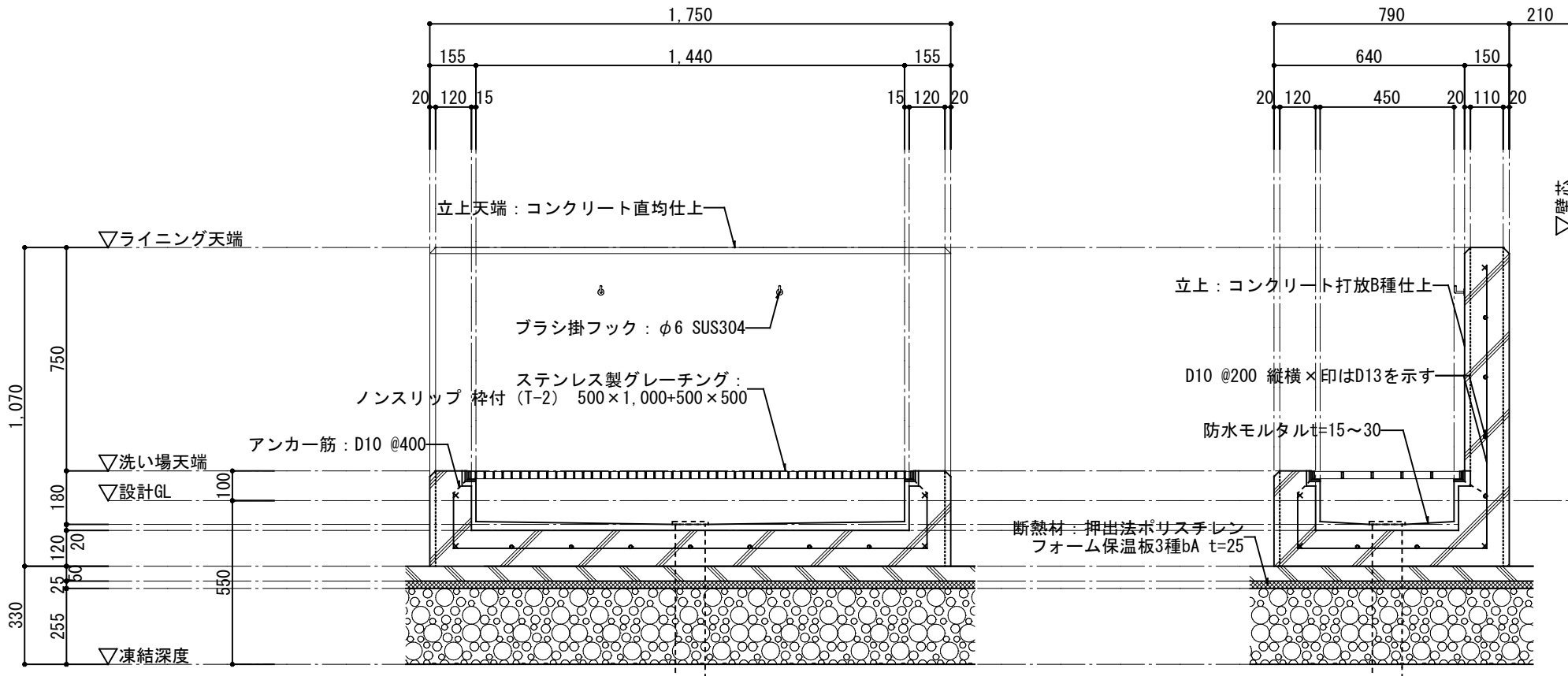





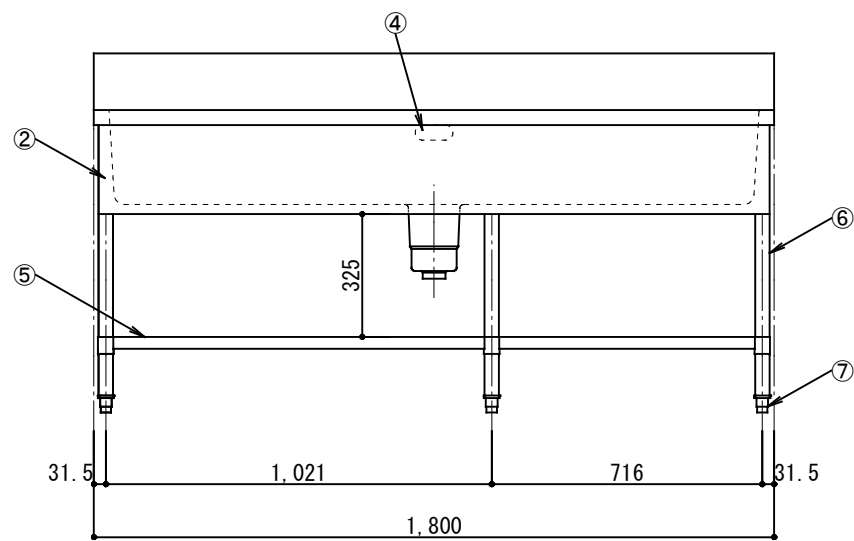
※クレセント操作位置 FL+800～1,500以内とする。



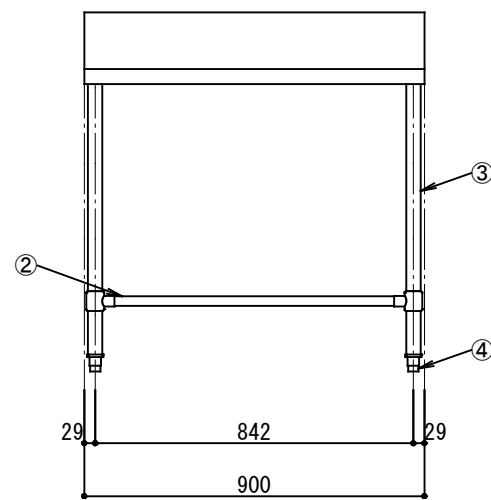
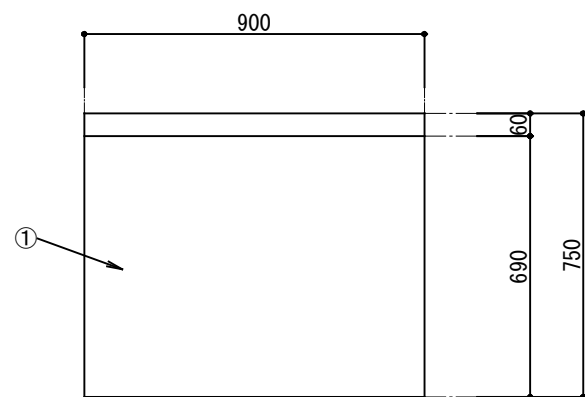
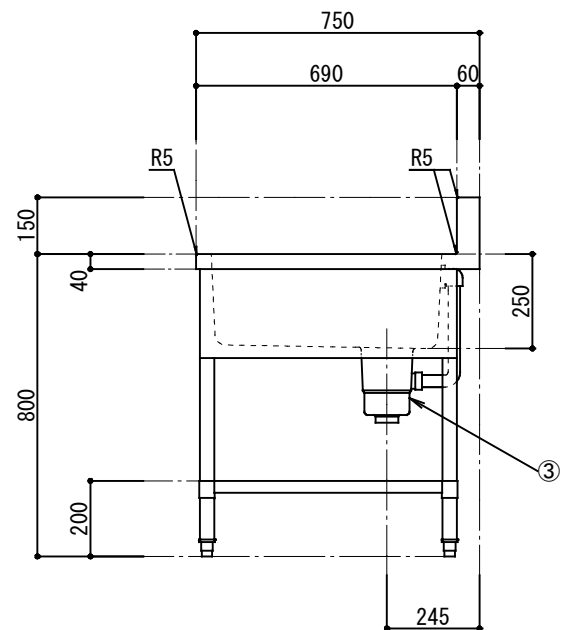
使用ヶ所	作業スペース	前室	便所・1 便所・2	
個 所 数	3	1	2	
型 式	引違い窓（住宅用）	額ガラリ入り片開き戸	額ガラリ入り片開き戸	
見込寸法 ・ 材質	70程度	アルミ	枠：110 扉：40	化粧鋼板t=0.6
硝子 ・ 仕上	複層ガラス（フロート板t=5+空気層t=6+フロート板t=5）	電解着色	型板t=4	
建具金物	クレセント 網戸 他付属金物一式	丁番 レバーハンドル シリンダー錠 サムターン	丁番 レバーハンドル シリンダー錠 サムターン	
	四方額縁：樹脂製 170×25程度	ドアクローザ 他付属金物一式	ドアクローザ 他付属金物一式	
備 考	耐風圧性能：S-3等級 気密性能：A-4等級 水密性能：W-4等級 ※四方額縁以外プレハブ建築に含む	省略：ステンレス製コ型 三方枠：EP-G塗	省略：ステンレス製コ型 三方枠：EP-G塗	

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図 DR. NO. A-20
DATE R08.03.19		
	農作業小屋 建具キープラン 建具表	SCALE (A2) 1/100、1/50
	株式会社 青 和 設 計	
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子	

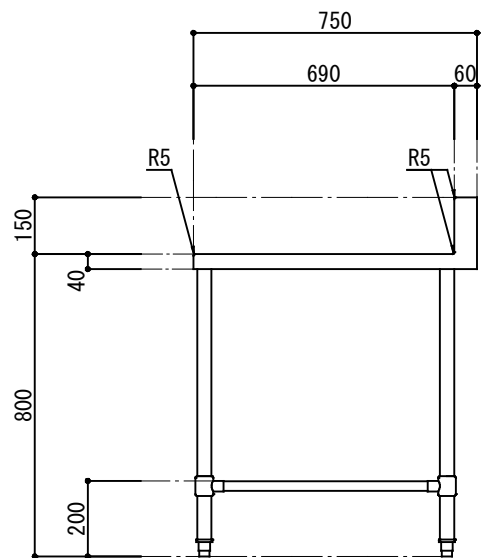
<div>木製収納棚</div> <div>1/20</div> <div>共通事項 1. 木材は、すべて松 A種 小節</div> <div></div>	<div>ライニングバック</div> <div>1/20</div> <div></div>	<div>水飲み場</div> <div>1/20</div> <div>共通事項 1. コンクリート強度：Fc21 2. 鉄筋仕様：SD295A</div> <div></div>																								
<div>靴洗い場</div> <div>1/20</div> <div>共通事項 1. コンクリート強度：Fc21 2. 鉄筋仕様：SD295A</div> <div></div>																										
<table><tr><td>No.</td><td>25900</td><td>黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事</td><td>設計図</td><td>DR. NO.</td><td>A-21</td></tr><tr><td>DATE</td><td>R08.03.19</td><td>農作業小屋 雑詳細図・1</td><td>SCALE</td><td>(A2) 1/20</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="4" style="text-align: center;"></td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">株式会社 青 和 設 計</td><td colspan="2">1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子</td></tr></table>			No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. NO.	A-21	DATE	R08.03.19	農作業小屋 雑詳細図・1	SCALE	(A2) 1/20										株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子	
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. NO.	A-21																					
DATE	R08.03.19	農作業小屋 雑詳細図・1	SCALE	(A2) 1/20																						
																										
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子																						




寸 法		W1,800×D750×H800	
部 番	品 名	材 質	備 考
①	トップ（シンク）	SUS304	t1.2 No.4仕上
②	化粧板	SUS304	t0.6 No.4仕上
③	排水金具	ポリプロピレン	50A φ186キングドレン
④	オーバーフロー	塩ビ	金具：SUS304
⑤	スノコ板	SUS304	t1.0 No.4仕上 排水孔ゴムリング付
⑥	脚	SUS304	t1.0 φ38
⑦	アジャスト	SUS304	



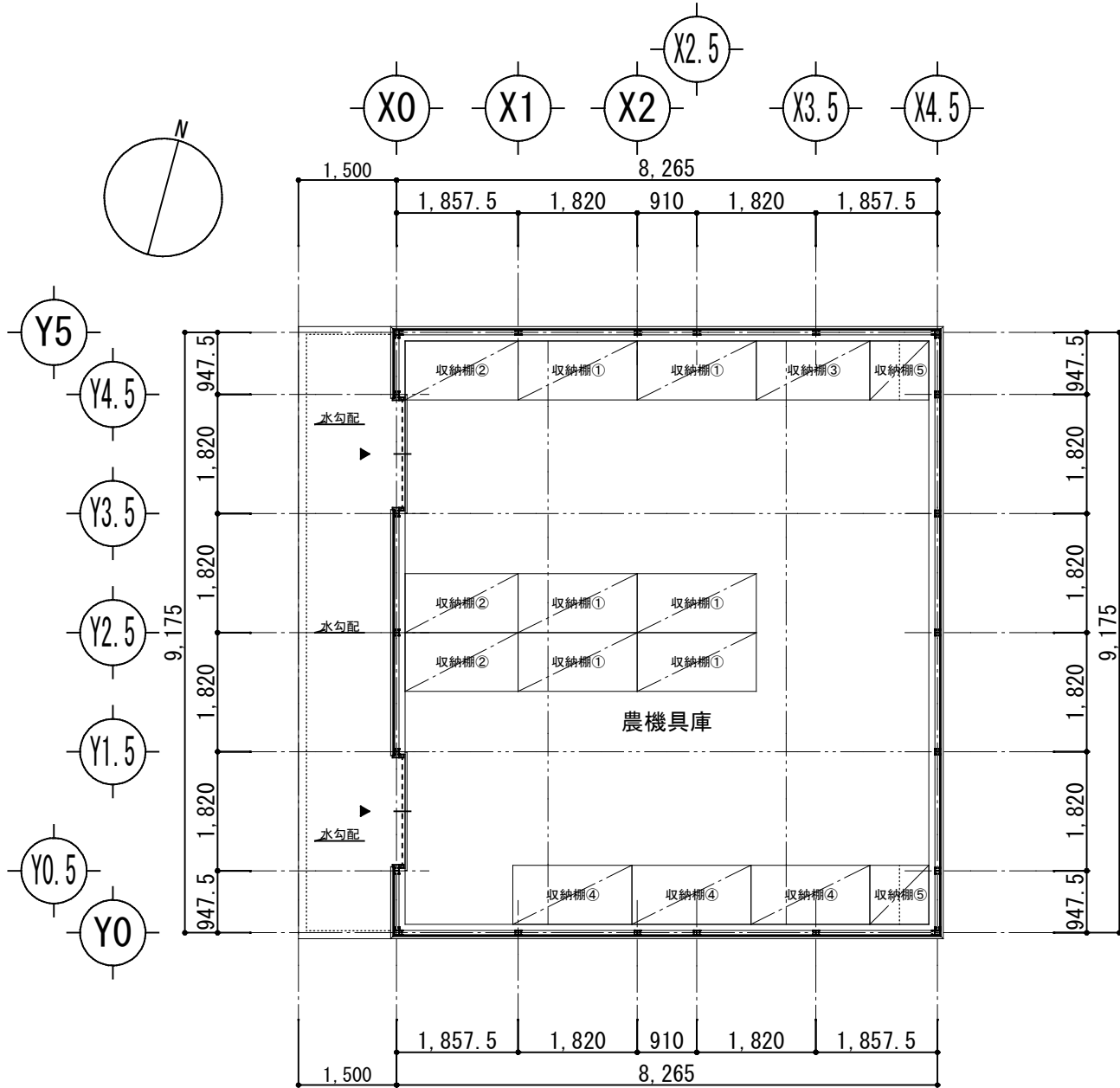
寸 法	W900×D750×H800		
部 番	品 名	材 質	備 考
①	トップ	SUS304	t1.5 No.4仕上
②	3方枠前無し	SUS304	t1.0 φ25
③	脚	SUS304	t1.0 φ38
④	アジャスト	SUS304	



No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. A-22
DATE R08.03.19	農作業小屋 雑詳細図・2	SCALE (A2) 1/20	
			
	株式会社 青 和 設 計 <div style="float: right; text-align: right;"> 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子 </div>		
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL.0173 (35) 8331 (代)		

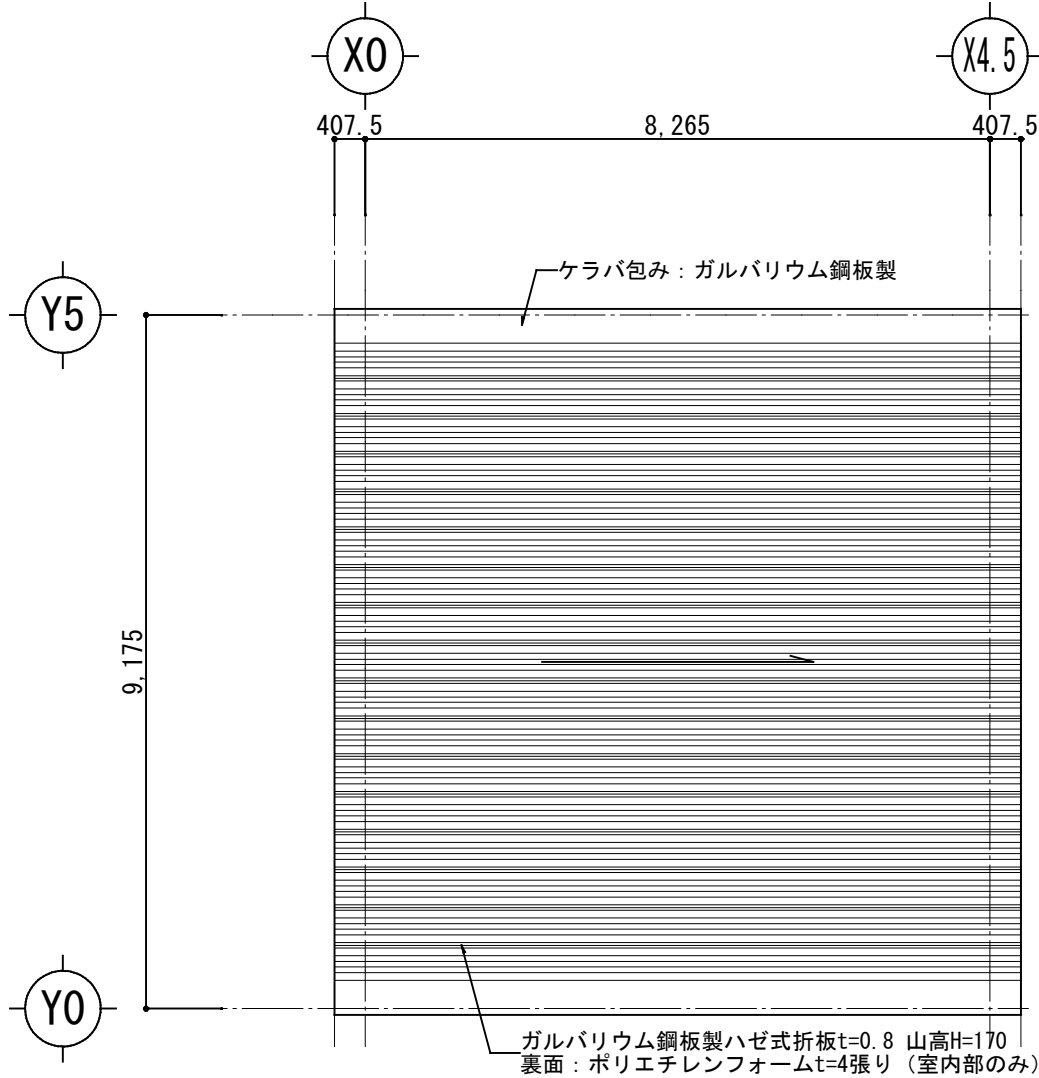
外 部 仕 上 表					
屋 根	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8 山高H=170 裏面：ポリエチレンフォームt=4張り（室内部のみ） ケラバ包み・軒先見切面戸：ガルバリウム鋼板製			基礎立上	コンクリート打放しB種仕上
軒 裏	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8現し			防湿処理	土間下：ポリエチレンフィルムt=0.15（重ね250以上・端部250立下）
外 壁	ガルバリウム鋼板製金属角波サイディングt=0.5 塗装品 縦張り 出隅カバー・水切・開口部周囲見切：外壁同材加工			犬 走 り	コンクリート直均し仕上
開 口 部	鋼製軽量シャッター（手動式） 建具周囲シーリング：MS-2				

内 部 仕 上 表												
階	室 名	床		巾 木		H	壁		天 井		H	備 考
1	農機具庫	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	コンクリート打放しB種仕上	300	Ⓔ ★	軽量鉄骨柱型・壁ブレース及び外壁材現し	Ⓔ ★	屋根材及び鉄骨構造材現し	直天 2,669 (梁下)	収納棚①：木製 W1,820 ×D900×H1,600 6か所 収納棚②：木製 W1,727.5×D900×H1,600 3か所 収納棚③：木製 W1,737.5×D900×H1,600 1か所 収納棚④：木製 W1,820 ×D900×H2,000 3か所 収納棚⑤：木製 W 900. ×D900×H1,000 2か所 床見切：L-30×30×3 溶融亜鉛めっき製（アンカー一筋：D10-@400程度） 床カッター目地：W10×H10 タテヨコ@3,640以内

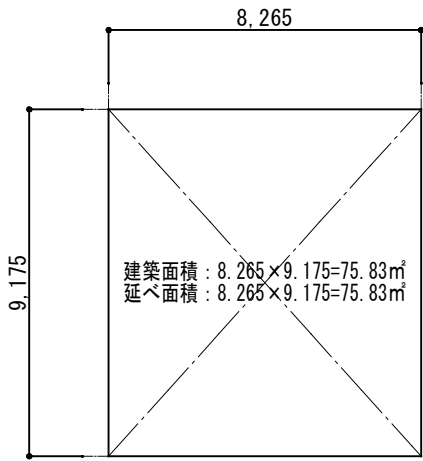


農機具庫 平面図 1/100

床 面 積 75.83㎡

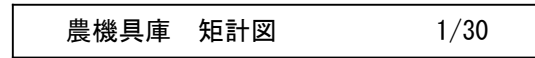
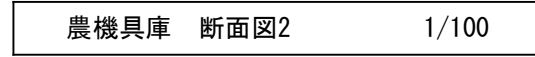
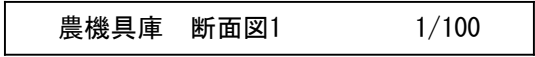
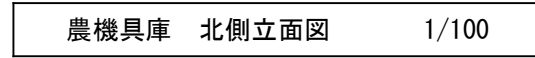
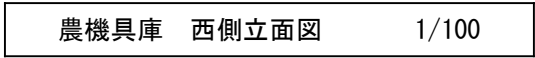
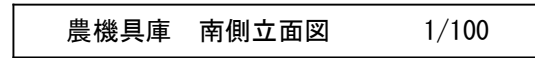
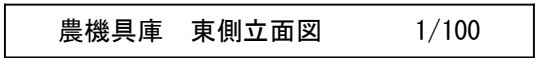



農機具庫 屋根伏図 1/100

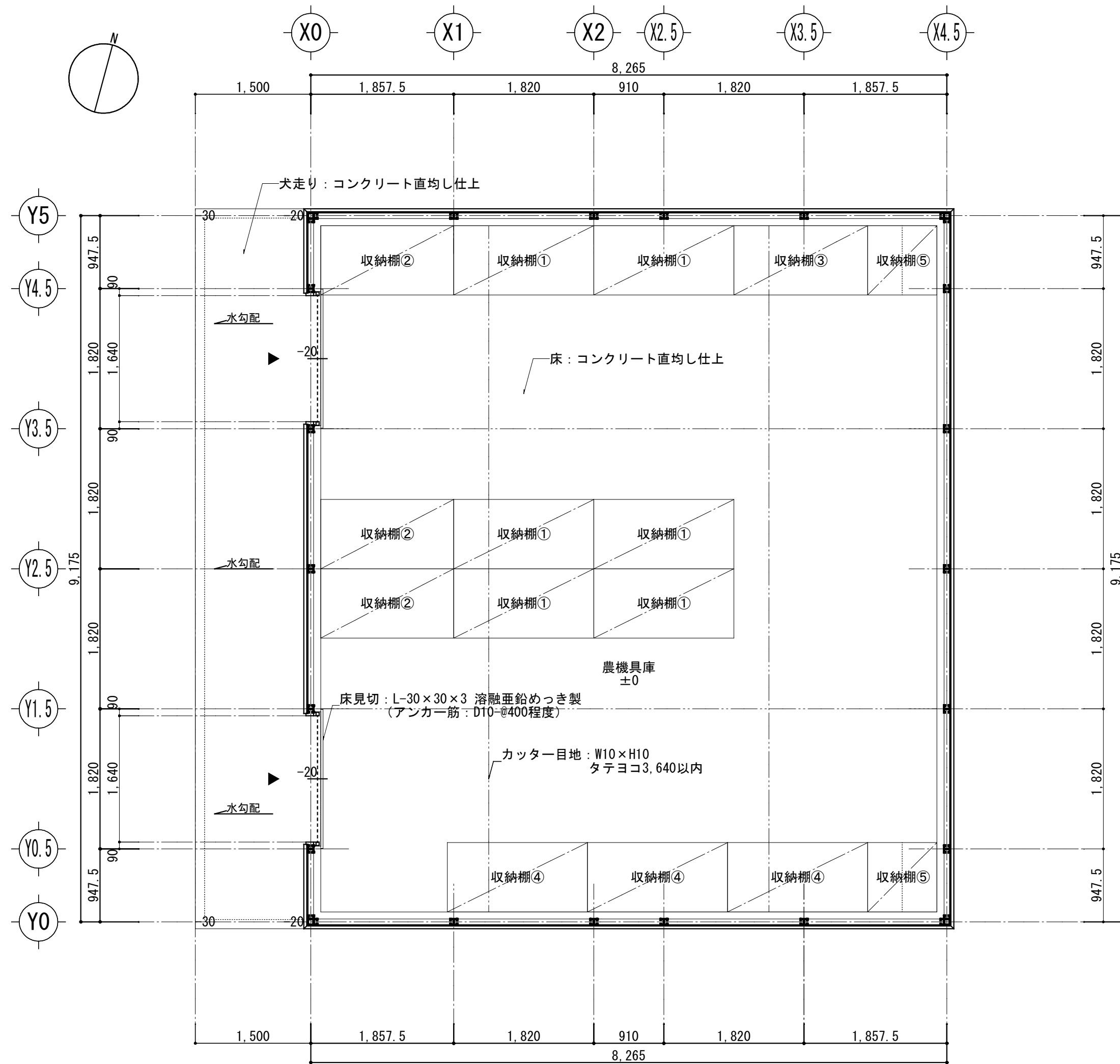


建物求積図 1/200

特 記		材 料 認 定 番 号	凡 例	No. 25900	設計図 DR. NO. A-23
1. 使用する建材は、全て石綿含有率0.1%以下のものを使用すること。			⊕外：告示対象外建築材料	DATE R08.03.19	
2. 鉄骨部材は、錆止め塗料 JIS K 5674 工場 2回塗とする。			★：F☆☆☆☆建築材料		農機具庫 仕上表 平面図 屋根伏図 建物求積図 SCALE (A2) 1/100 1/200
			DP (1級)：常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り		
					株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 1級建築士 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子



No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計図 SCALE (A2) 1/30 1/100 	DR. NO.	A-24	
DATE	R08. 03. 19		農機具庫 立面図 断面図 矩計図		
株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号			
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号			
		管理建築士 館 山 良 子			

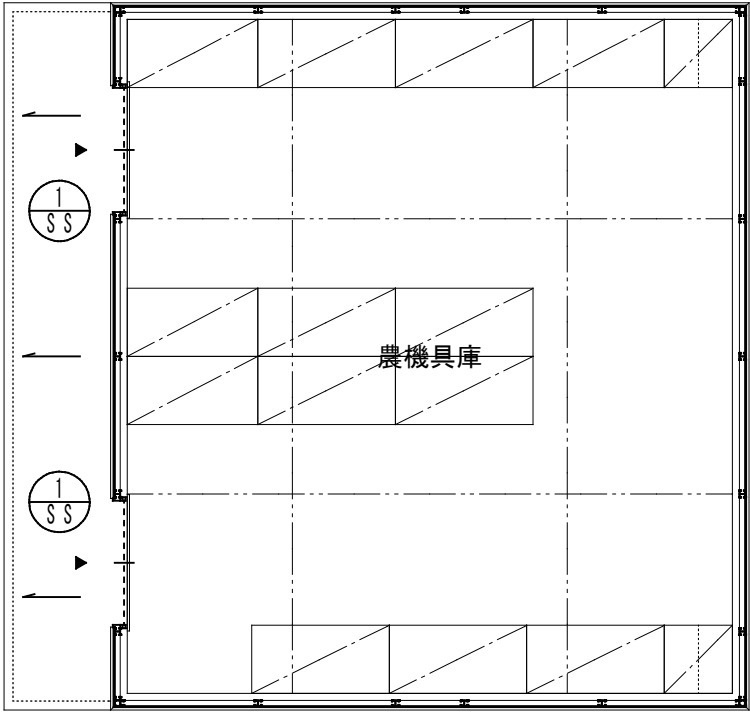


農機具庫 平面詳細図 1/50

床面積 75.83㎡

※特記事項
設計GL+50=基準FL (±0) とする。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計図	DR. NO. A-25
DATE R08.03.19	農機具庫 平面詳細図		SCALE (A2) 1/50	
	株式会社 青和設計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子	
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			



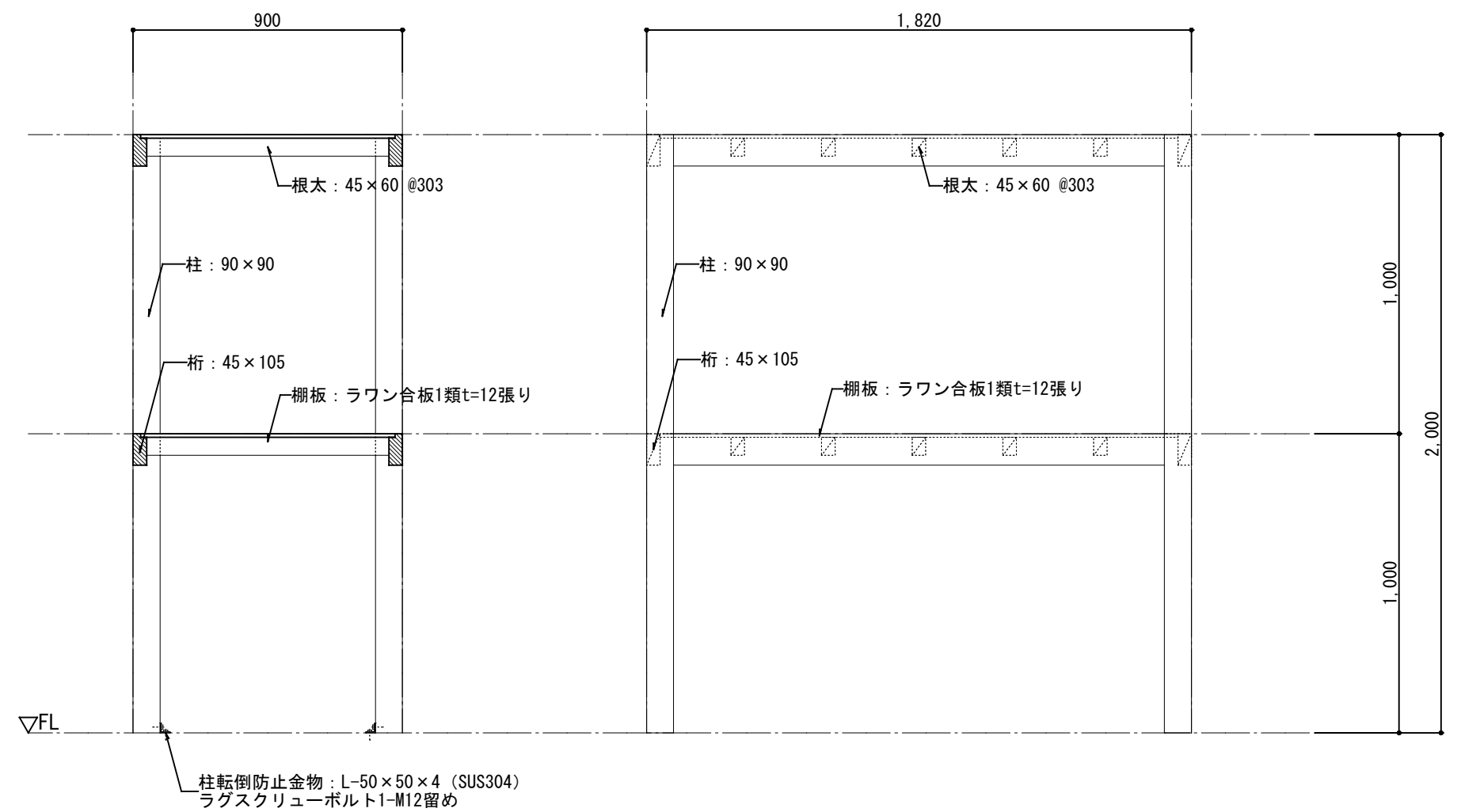
建物キープラン 1/100

符 号	
形 状	
使用ヶ所	農機具庫
個 所 数	2
型 式	軽量鋼製シャッター（手動式）
見込寸法 ・ 材質	スラット：カラー鋼板t=0.5
硝子 ・ 仕上	
建具金物	ガイドレール 他付属金物一式 水圧開錠装置付
	三方枠：スチール製t=1.6 DP塗（1級）
備 考	※三方枠塗装以外プレハブ建築に含む

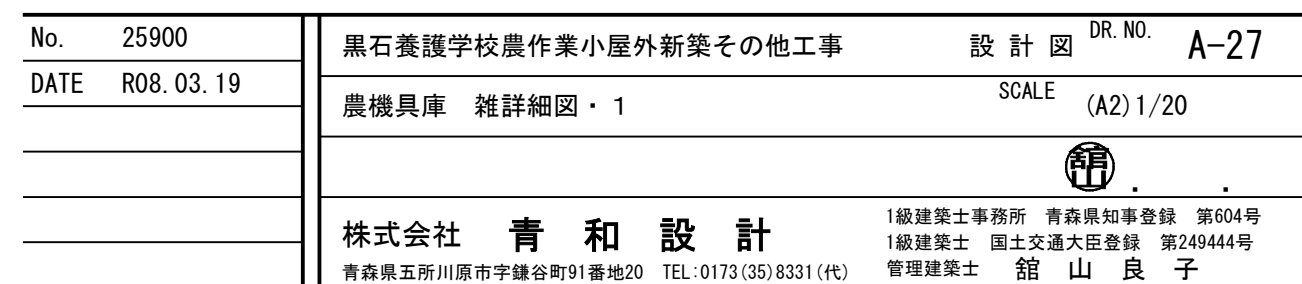
符 号	
形 状	
使用ヶ所	
個 所 数	
型 式	
見込寸法 ・ 材質	
硝子 ・ 仕上	
建具金物	
備 考	

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. A-26
DATE R08. 03. 19	農機具庫 建具キープラン 建具表	SCALE	(A2) 1/100、1/50
	株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号	
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号	
		管理建築士 舘 山 良 子	

共通事項
1. 木材は、すべて松 A種 小節

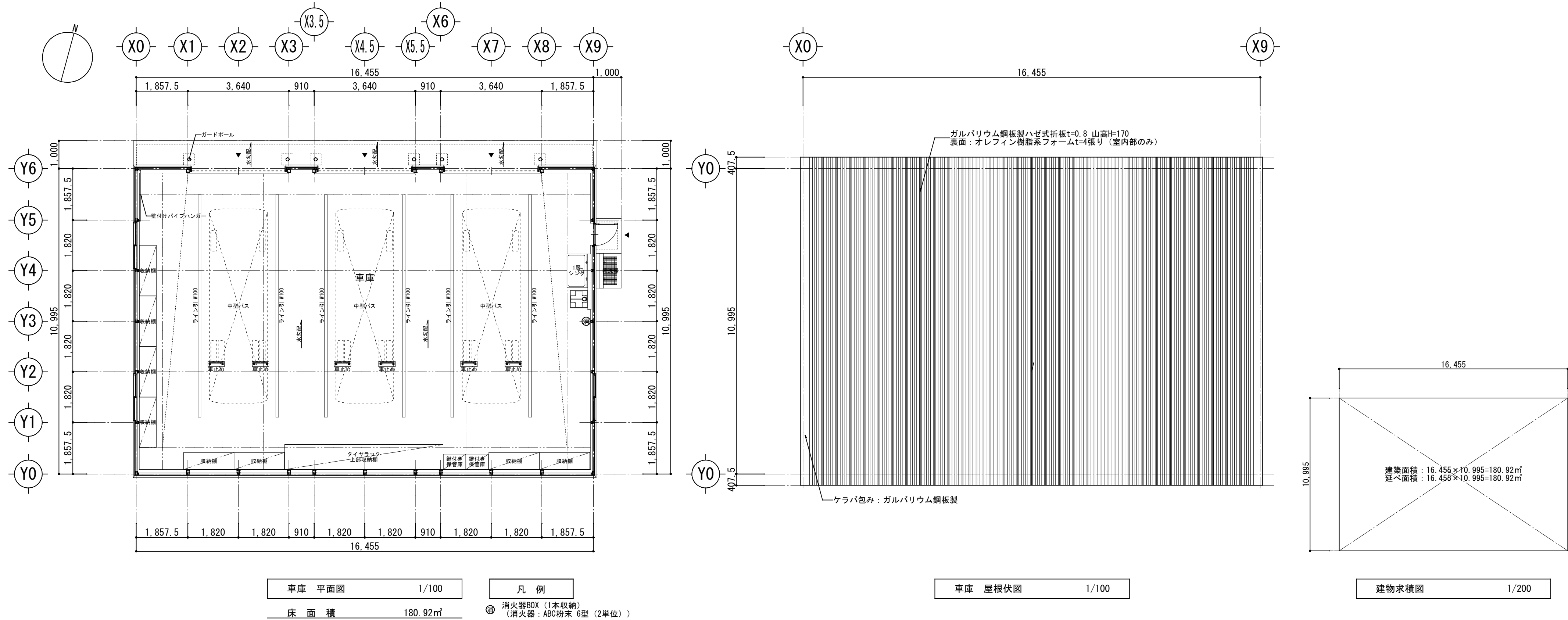



1/20

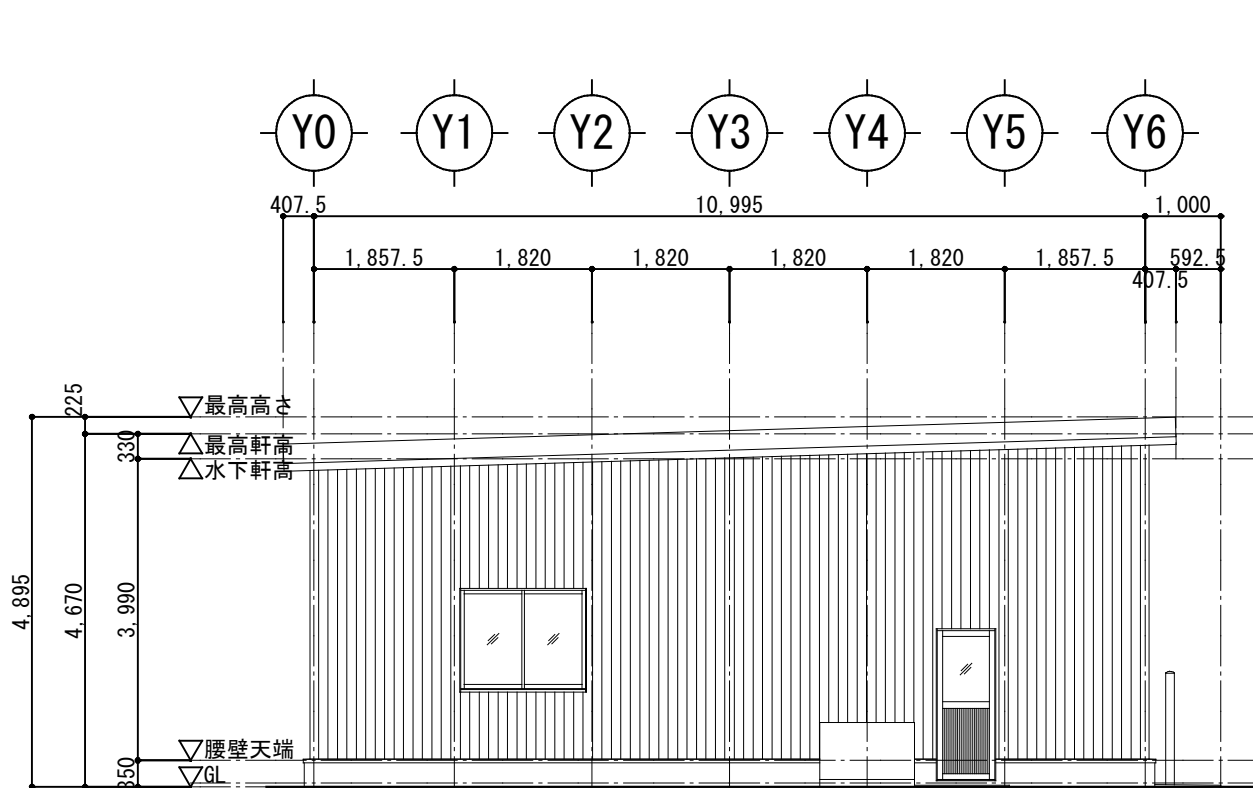


外 部 仕 上 表						
屋 根	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8 山高H=170 裏面：オレフィン樹脂系フォームt=4張り（室内部のみ） ケラバ包み・軒先見切面戸：ガルバリウム鋼板製				基礎立上	コンクリート打放しB種仕上
軒 裏	ガルバリウム鋼板製ハゼ式折板t=0.8現し				防湿処理	土間下：ポリエチレンフィルムt=0.15（重ね250以上・端部250立下）
外 壁	ガルバリウム鋼板製金属角波サイディングt=0.5 塗装品 縦張り 出隅カバー・水切・開口部周囲見切：外壁同材加工				犬 走 り	コンクリート直均し仕上 ガードポール：スチール製焼付塗装（黄色） H1,500 φ114.3 固定式 先付タイプ 6か所
開 口 部	アルミ製片開き戸 アルミ製引違い窓 鋼製軽量シャッター（電動式） 建具周囲シーリング：MS-2				靴 洗 場	鉄筋コンクリート製 W1,250×D790×H850 水平面：コンクリート直均し仕上 壁面：コンクリート打放しB種仕上 ステンレス製グレーチング ノンスリップ枠付（T-2） 500×1,000 ブラシ掛けフック：φ6 SUS304 2か所

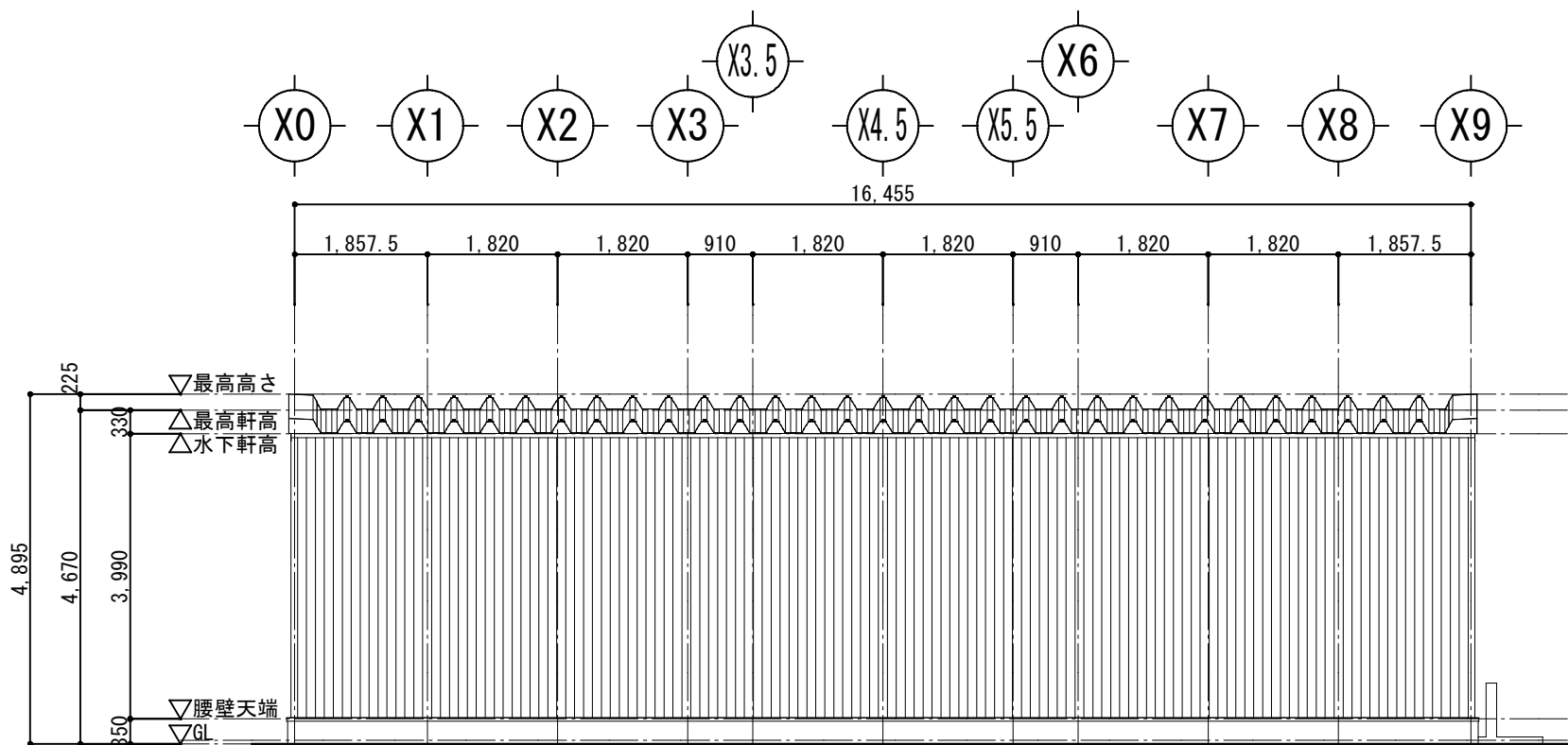
内 部 仕 上 表												
階	室 名	床		巾 木		H	壁		天 井		H	備 考
1	車庫	⑥	コンクリート直均し仕上	⑥	コンクリート打放しB種仕上 ライニングバック部： ステンレス製 t=0.8接着張り	250 ～ 300 100	⑥ ★	軽量鉄骨柱型・壁ブレース及び外壁材現し	⑥ ★	屋根材及び鉄骨構造材現し	直天 3,769 ～ 3,819 (梁下)	ライニングバック天端：メラミン樹脂板ポストフォーム t=20 ライニングバック壁：防水石膏ボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗 H=1,100 床見切：L=30×30×3 溶融亜鉛めっき製（アンカー筋：D10-φ400程度） 床耐油カッター目地：W10×H10 タテヨコφ3,640以内 シーリング PS-2（耐油性） ライン引：W100×L8,000 6か所 車止め：コンクリート製 W600×D120×H120 6か所 壁付けパイプハンガー：ステンレス製 L1,850 1か所 収納棚：スチール製 W1,760×D600×H2,100 8か所 タイヤラック+上部収納棚：スチール製 W5,700×D900×H2,006 1か所 鍵付き保管庫：スチール製 W811×D556×H1,281 2か所 1層シンク：ステンレス製 W1,200×D750×H800 1か所 消火器BOX：スチール製（1本収納用）1か所



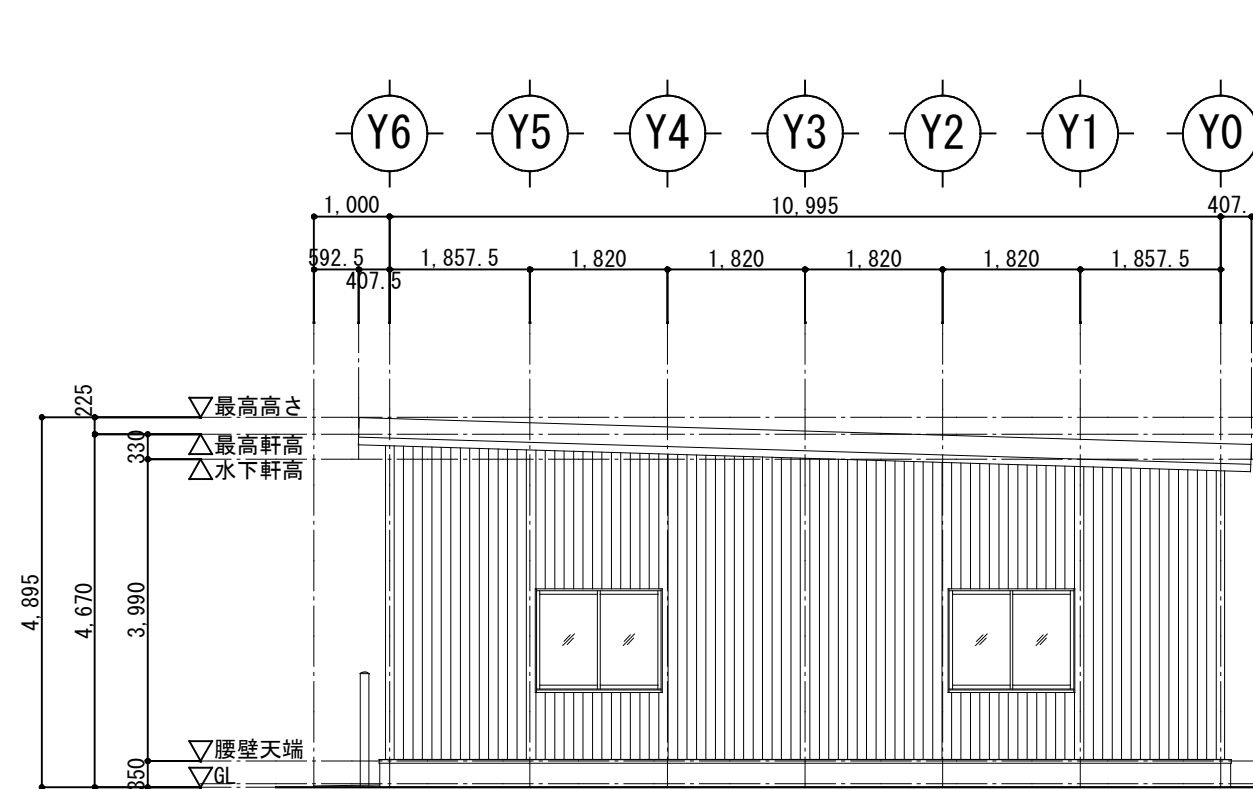
特 記		材 料 認 定 番 号		凡 例		No. 25900		黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設 計 図 DR. NO. A-28	
1. 使用する建材は、全て石綿含有率0.1%以下のものを使用すること。		鉄骨柱・鉄骨梁（主要構造部）		⑥：告示1400-1-八		DATE R08.03.19		車庫 仕上表 平面図 屋根伏図 建物求積図 SCALE (A2) 1/100 1/200	
2. 鉄骨部材は、錆止め塗料 JIS K 5674 工場 2回塗とする。		屋根材・外壁材（主要構造部）		☆：F☆☆☆☆建築材料					
		屋根材+裏張り (オレフィン樹脂系フォームt=4)		DP（1級）：常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り					
		防水石膏ボードt=12.5		EP-G：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り					



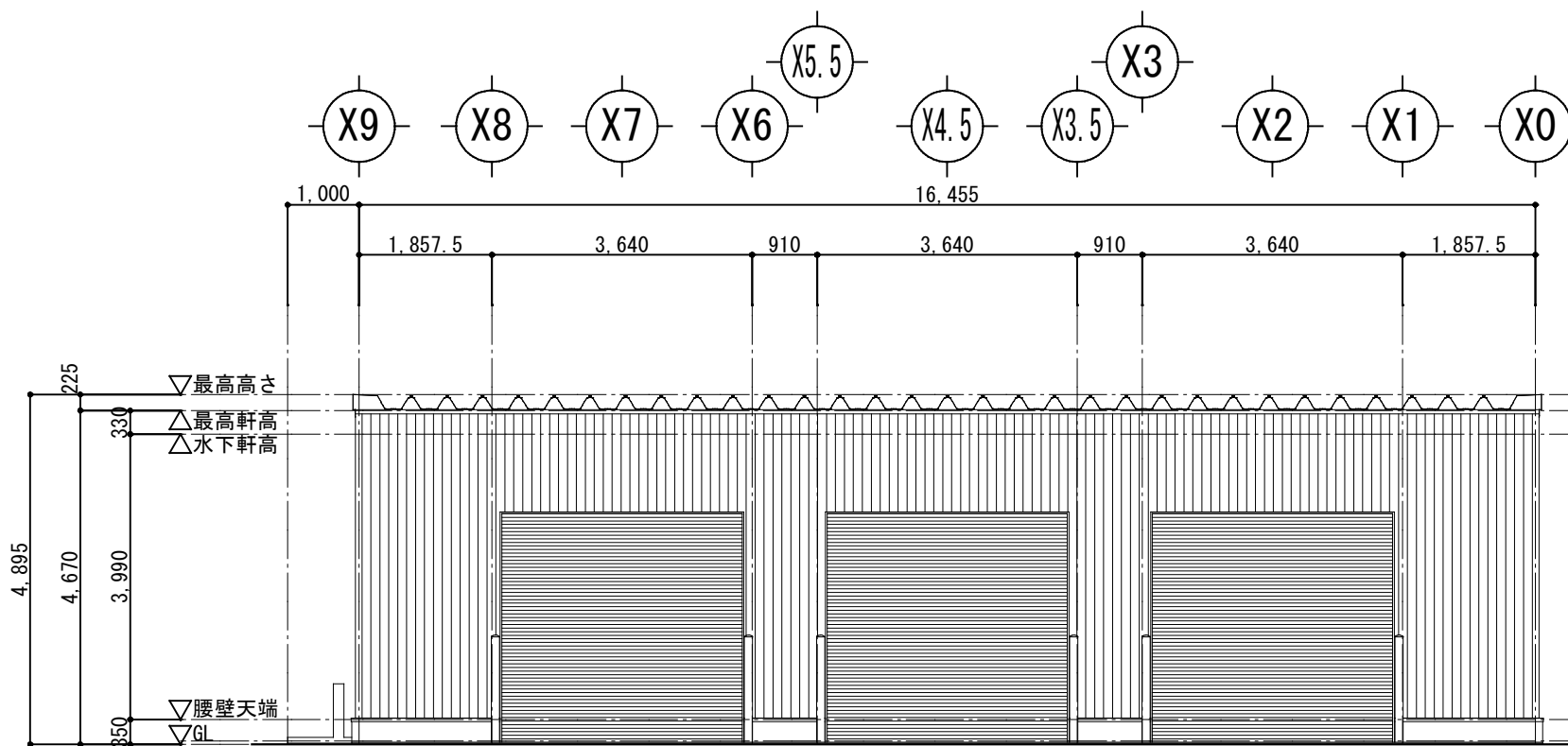
車庫 東側立面図 1/100



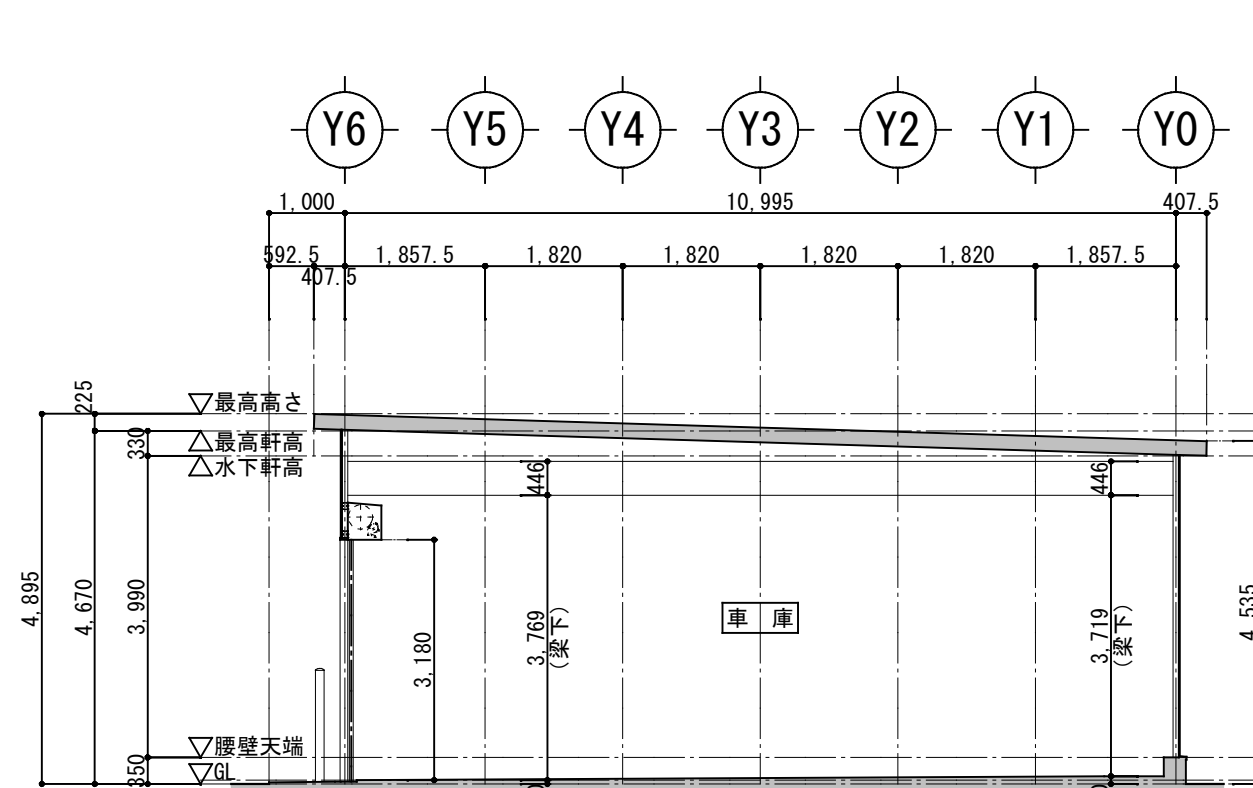
車庫 南側立面図 1/100



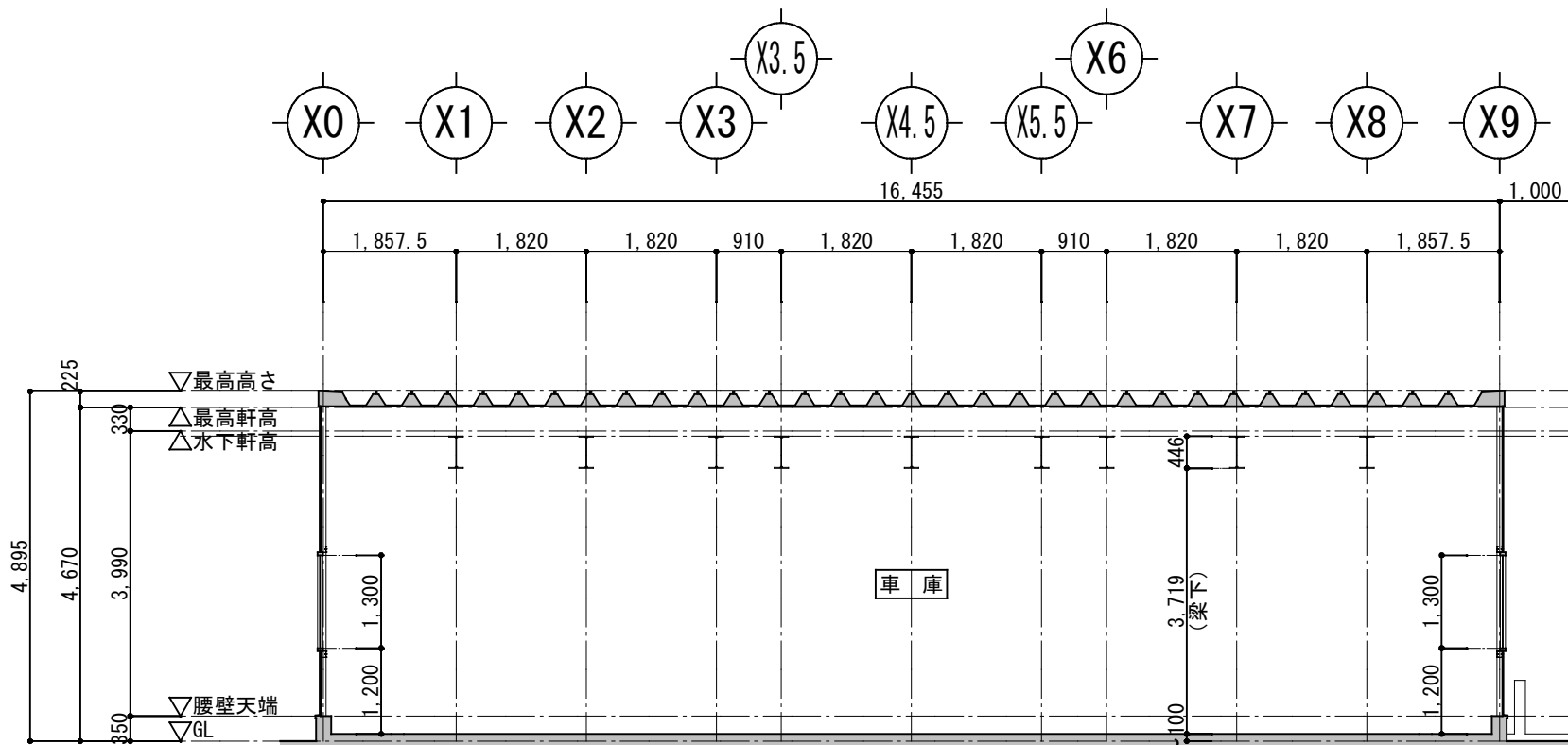
車庫 西側立面図 1/100



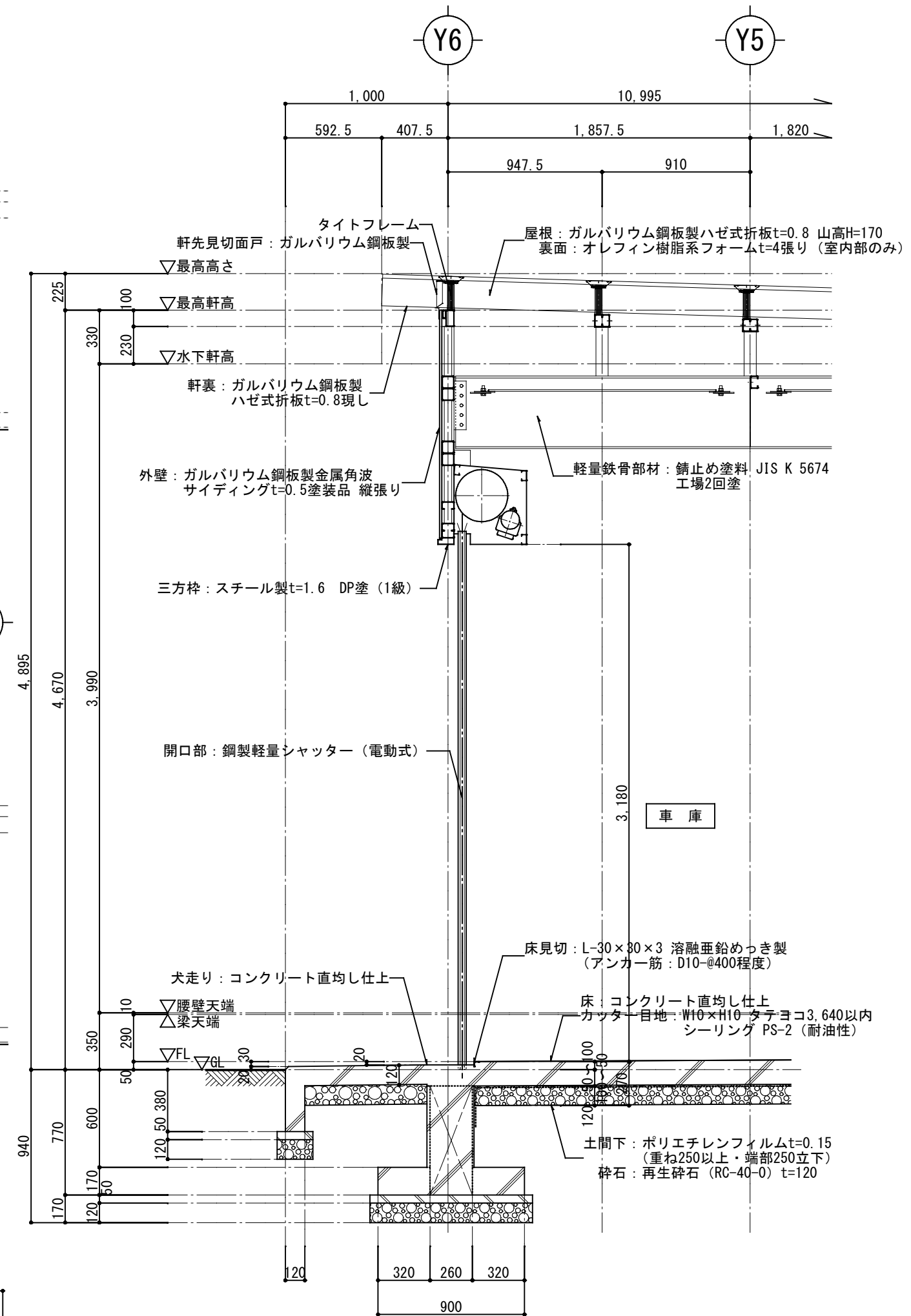
車庫 北側立面図 1/100



車庫 断面図1 1/100

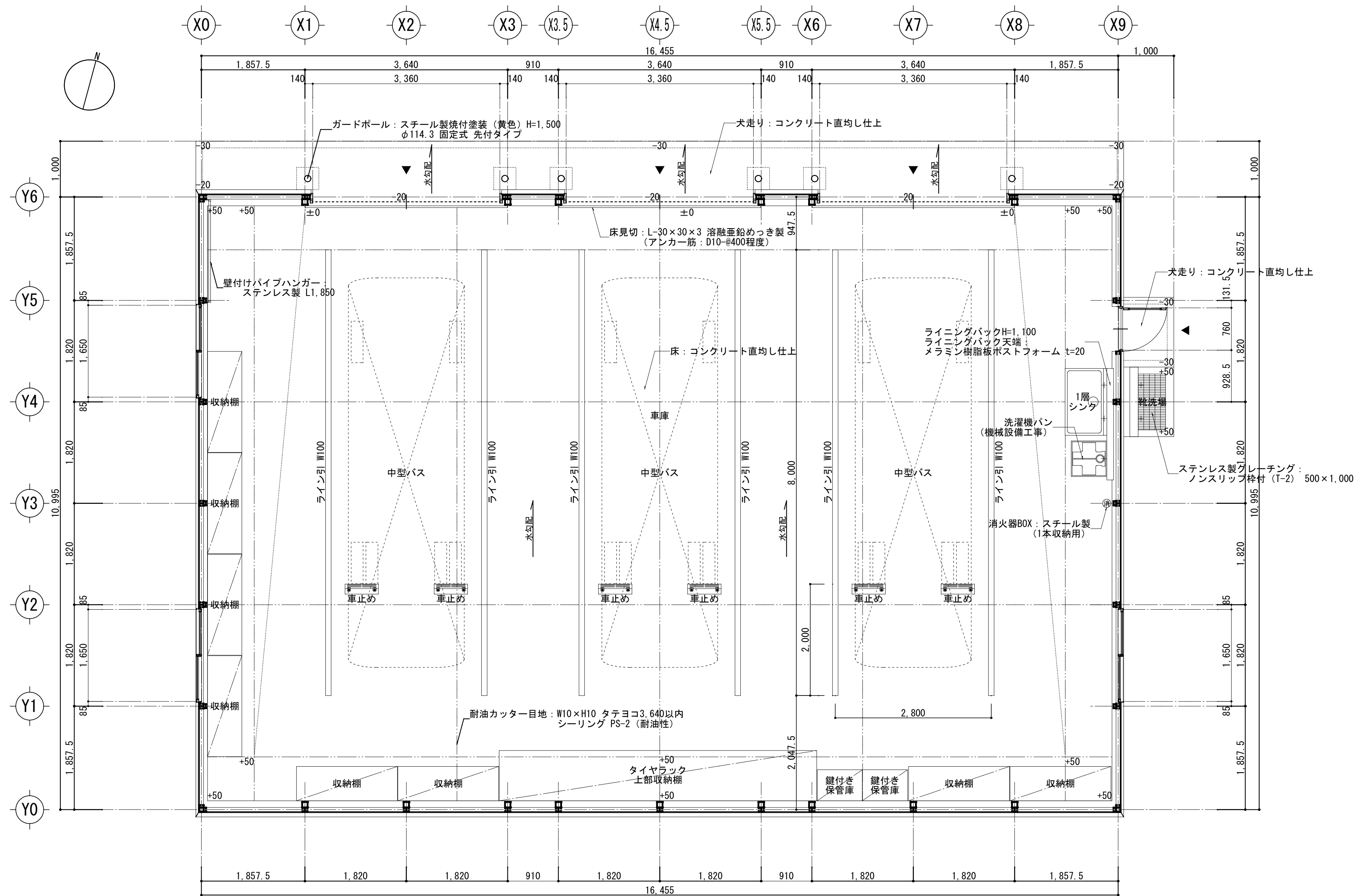


車庫 断面図2 1/100



車庫 矩計図 1/30

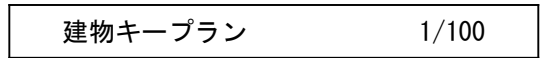
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. No.	A-29
DATE	R08. 03. 19		車庫 立面図 断面図 矩計図	SCALE	(A2) 1/30 1/100
株式会社 青 和 設 計			1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)					





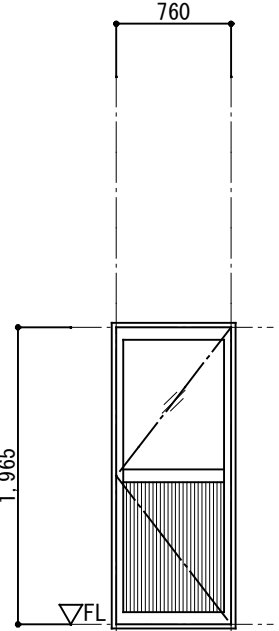
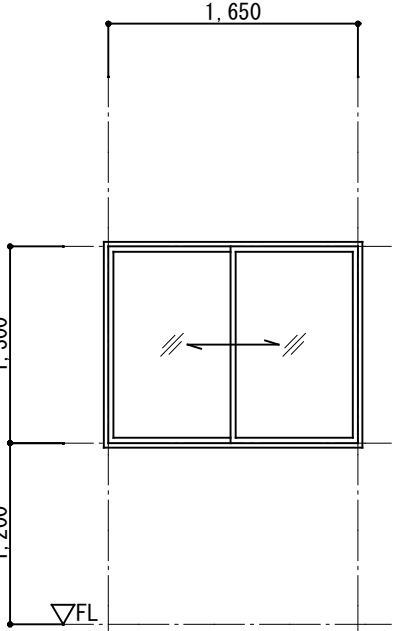
車庫 平面詳細図	1/50
床面積	180.92㎡
※特記事項 設計GL+50=基準FL (±0) とする。	


凡 例
○ 消火器BOX (1本収納) (消火器: ABC粉末 6型 (2単位))

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図 DR. NO. A-30
DATE R08.03.19	車庫 平面詳細図		SCALE (A2) 1/50
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子



符 号	<div><div><div>1A</div><div>SS</div></div><div><div>1B</div><div>SS</div></div></div>
	<div><div><div><div><div></div><div>3,360</div></div><div><div>3,200</div><div>▽FL</div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div></div></div>
形 状	
使用ヶ所	自動車車庫
個 所 数	SS-1A : 1 SS-1B : 2
型 式	軽量鋼製シャッター（電動式）
見込寸法 ・ 材質	スラット：カラー鋼板t=0.8
硝子 ・ 仕上	
建具金物	ガイドレール 水圧開放装置（SS-1Bのみ） 非常電源装置（SS-1Bのみ） リモコン付 他付属金物一式
	三方枠：スチール製t=1.6 DP塗（1級）
備 考	※三方枠塗装以外プレハブ建築に含む

符 号		
形 状		
使用ヶ所	自動車車庫	自動車車庫
個 所 数	1	3
型 式	片開き戸（住宅用）	引違い窓（住宅用）
見込寸法 ・ 材質	70程度 型板t=4 腰板：アルミパネル	70程度 型板t=4 腰板：アルミパネル
硝子 ・ 仕上	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色
建具金物	握り玉 シリンダー錠 サムターン ドアクローザ 他付属金物一式	クレセント 網戸 他付属金物一式
備 考	耐風圧性能：S-2等級 ※プレハブ建築に含む	耐風圧性能：S-3等級 気密性能：A-4等級 水密性能：W-4等級 ※プレハブ建築に含む

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計図 DR. NO. A-31 SCALE (A2) 1/100、1/50 
DATE	R08.03.19	
	車庫 建具キープラン 建具表	
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市宇壁谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子

ライニングバック

1/20

ライニングバック天端：
メラミン樹脂板ポストフォーム t=20

壁：防水石こうボードt=12.5（突付V目地）EP-G塗
LGS65型下地

巾木：ステンレス製
t=0.8 H100
接着張り

▽FL

靴洗い場

1/20

共通事項
1. コンクリート強度：Fc21
2. 鉄筋仕様：SD295A

立上天端：コンクリート直均仕上

立上：コンクリート打放B種仕上

ステンレス製グレーチング：
ノンスリップ 枠付（T-2）500×1,000

ブラシ掛フック：φ6 SUS304

防水モルタルt=15～30

断熱材：押出法ポリスチレン
フォーム保温板3種bA t=25

アンカー筋：D10 @400

▽ライニング天端

▽洗い場天端

▽設計GL

▽凍結深度

ガードポール

1/20

共通事項
1. コンクリート強度：Fc21

本体：φ114.3×3.5
STK400 電気亜鉛めっき+焼付塗装（黄色）

六角ナット・M6
SWRCH 電気亜鉛めっき

▽GL+25～30程度

長ねじボルト：M6×200
SS400 電気亜鉛めっき

ステンレス製1層シンク

1/20

寸 法W1,200×D750×H800

部 番	品 名	材 質	備 考
①	トップ（シンク）	SUS304	t1.2 No.4仕上
②	化粧板	SUS304	t0.6 No.4仕上
③	排水金具	ポリプロピレン	50A φ186キングドレン
④	オーバーフロー	塩ビ	金具：SUS304
⑤	スノコ板	SUS304	t1.0 No.4仕上 排水孔ゴムリング付
⑥	脚	SUS304	t1.0 φ38
⑦	アジャスト	SUS304	

平面図

正面図

断面図

車止め

1/20

共通事項
1. コンクリート製

平面図

正面図

断面図

ピクトグラム

1/10

共通事項
1. 印刷の種別はシルクスクリーン印刷とする。

図一黒、赤 地一白

No.25900

DATE R08.03.19

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事

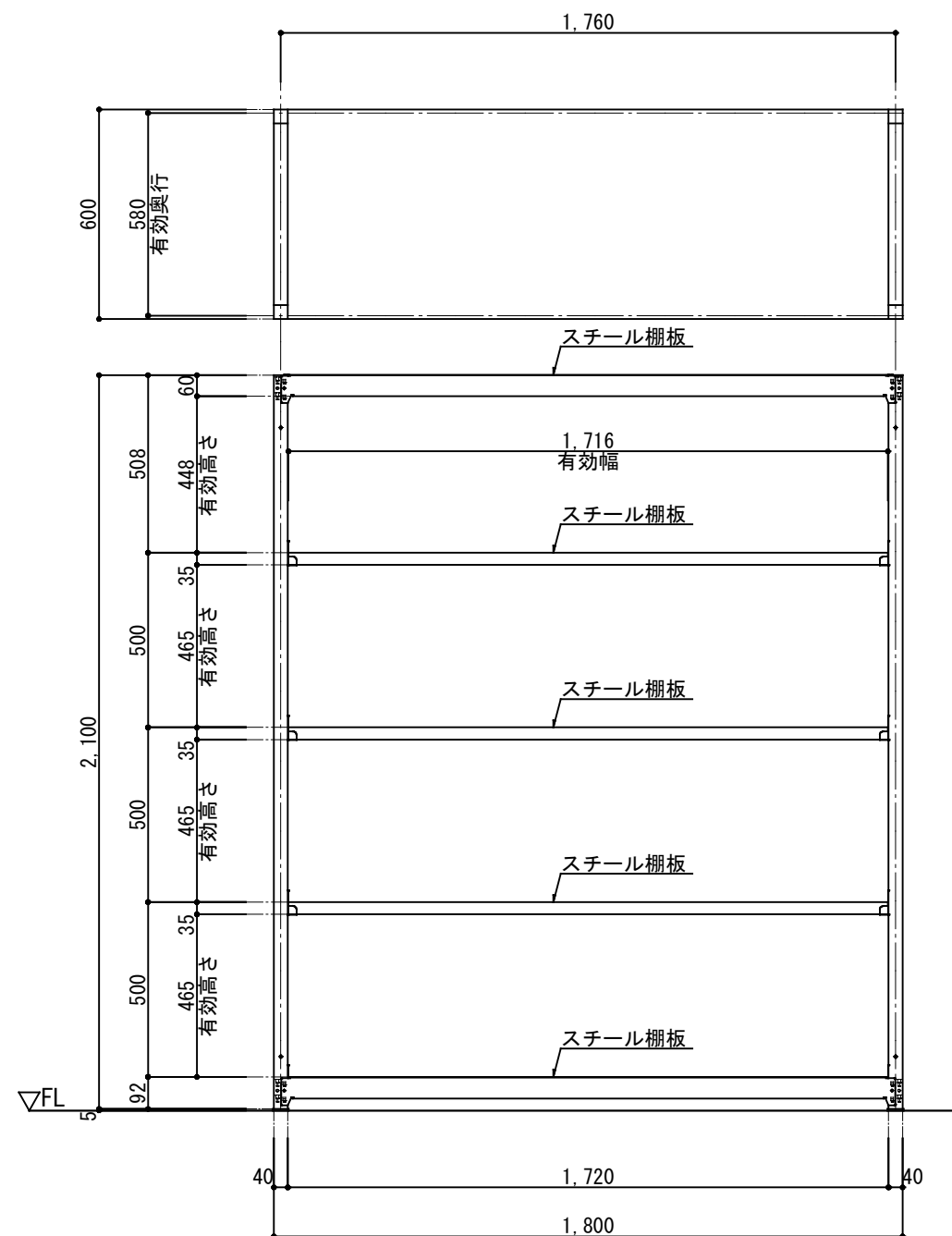
車庫 雑詳細図・1

設計図DR. NO. A-32

SCALE (A2) 1/20 1/10

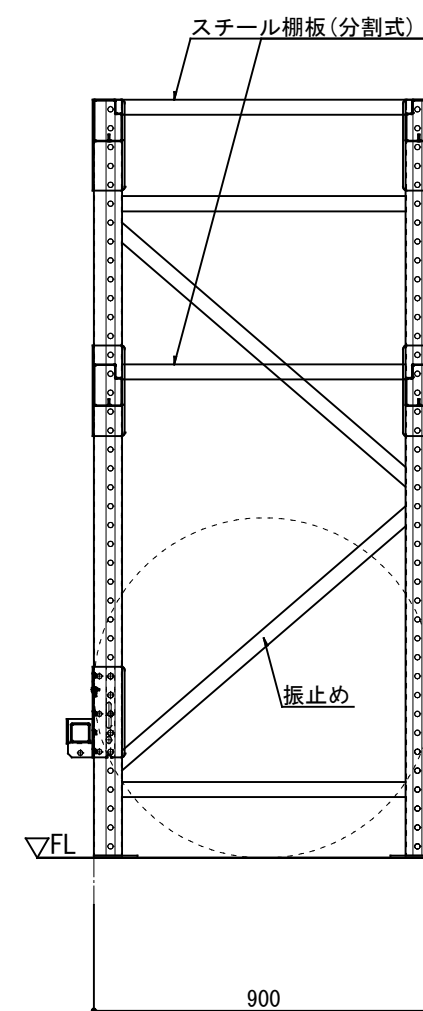
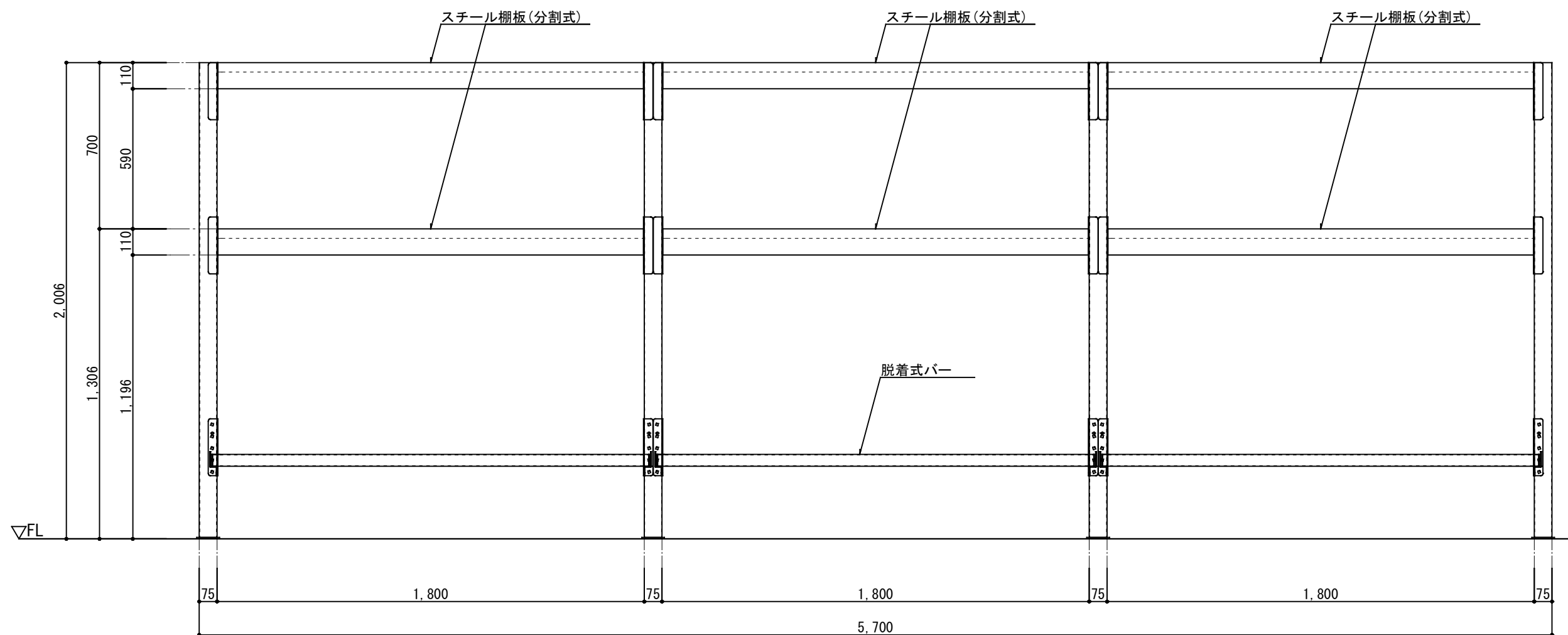
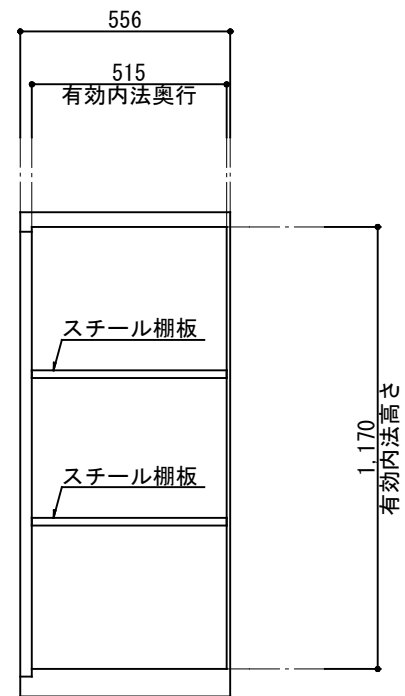
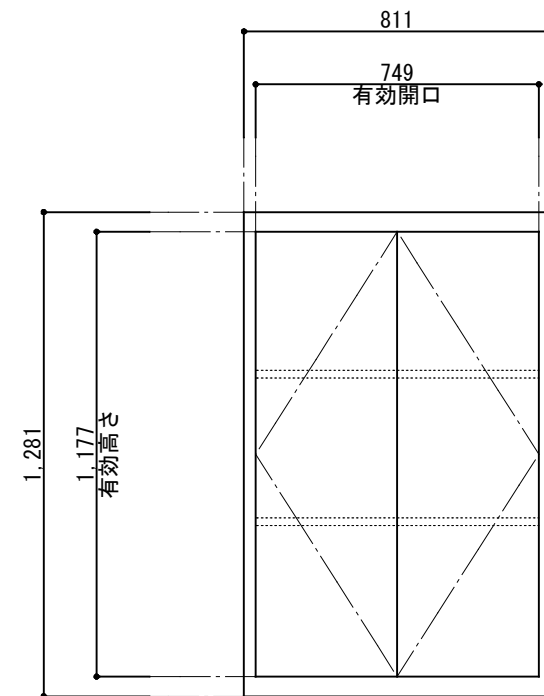
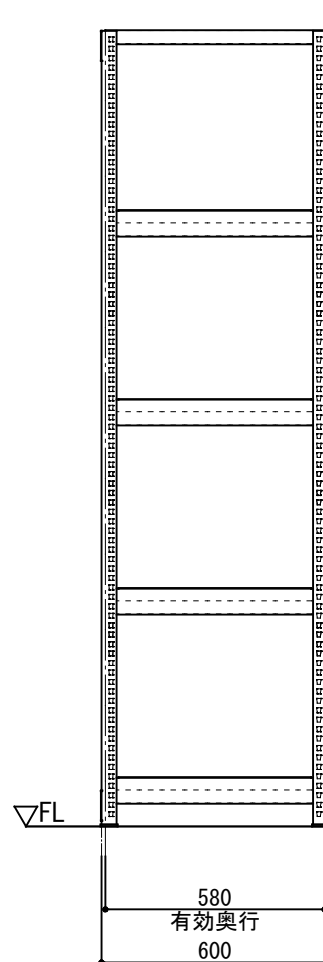
株式会社 青 和 設 計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子




	軽中量ボルトレスラック（JIS規格）	標準色（SG）
寸 法	W1,760×D600×H2,100	
材 質	スチール	
段 組	天地5段	
段 荷 重	200kg/段	
そ の 他	段ピッチ 25mm	

※転倒防止の為、脚部は床面に固定すること。
※最下段の棚板を取外して使用しても強度上問題ない仕様とすること。



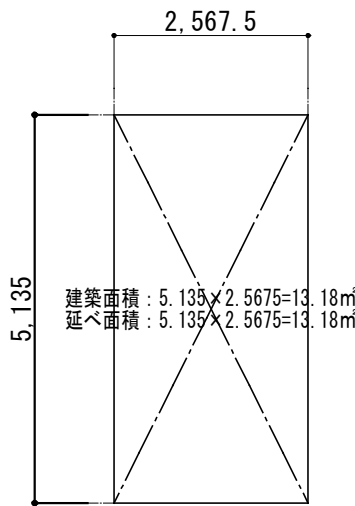
	タイヤラック+収納棚	標準色 (SG)
寸 法	W5,700×D900×H2,006	
材 質	スチール	
支 柱	C-75×75×2.0t	
ビーム (横材)	□-110×75×1.6t	
ベースプレート	6.0t	
落下防止バー	□-38×38	

※転倒防止の為、脚部は床面に固定すること。

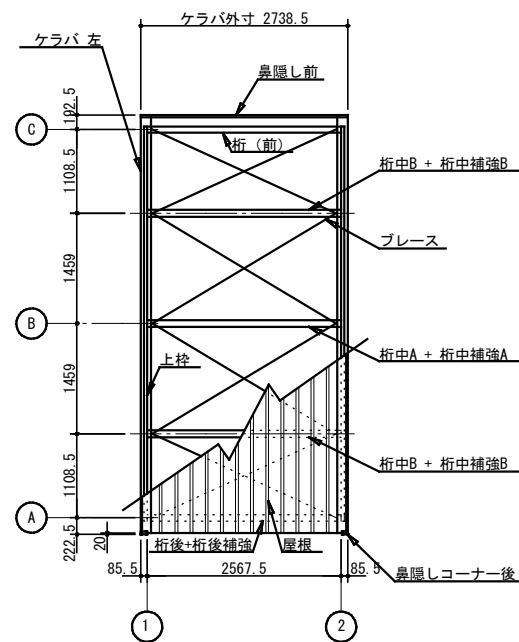
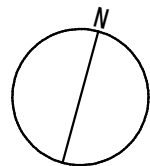
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計 図 SCALE (A2) 1/20 	DR. No.	A-33
DATE	R08.03.19		車庫 雑詳細図・2	
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		

屋 根	ガルバリウム鋼板製折板葺きt=0.6 山高H=88 ケラバ包み・面戸：ガルバリウム鋼板製
軒 裏	ガルバリウム鋼板製折板葺きt=0.6現し
外 壁	ガルバリウム鋼板製金属角波サイディングt=0.5 塗装品 縦張り
開 口 部	鋼製軽量シャッター（手動式）
基礎立上	コンクリート打放しB種仕上

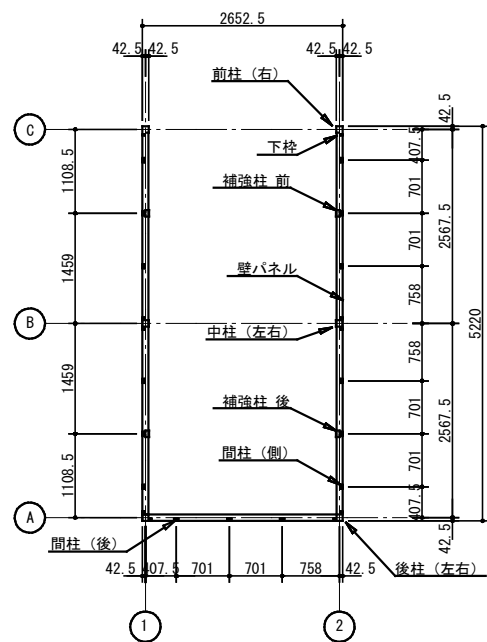
階	室 名	床		巾 木 H		壁		天 井 H		備 考
1	リンゴ箱倉庫	Ⓔ	コンクリート直均し仕上	Ⓔ	コンクリート 打放しB種仕上	200	Ⓔ ★ 外壁材現し	Ⓔ ★ 屋根材現し	直天	白色LED照明 (ソーラータイプ)



1/100



小屋伏図 (S= 1/100)



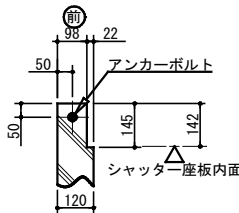
平面图 (S= 1/100)

VGCU-2652 (H) 型 単棟 (ヨドガレージ ラビージュⅢ 豪雪型 同等品以上)		
建築面積	13.18 ^m ² (3.99坪)	2.5675x5.1350

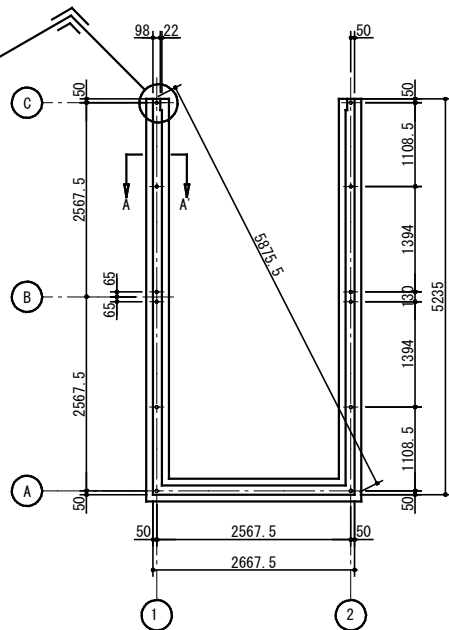
部 材 名	部 状	規 厚	使用材料	有効縦長比
前 柱	□ - 85 × 115	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	70.0
後 柱	□ - 115 × 115	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	70.0
中柱 (左右)	□ - 85 × 85	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	76.6
補 強 柱	□ - 85 × 44	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	134.7
前 桁	□ - 338 × 73	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	
中 桁	□ - 181 × 69.5	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	
桁中補強	□ - 180 × 48	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	
後 桁	□ - 155 × 85	1.2mm	JS1 63322 塗装溶融55%ルニウム亜鉛めっき鋼板 G40C	
下 桁	□ - 138 × 85	1.6mm	JS1 63312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 G60C	
接合パネル	□ - 25 × 701 (350.5)	0.5mm	JS1 63322 塗装溶融55%ルニウム亜鉛めっき鋼板 G40C	
ブレース		7.0φ	JS1 63101 一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル		7.0φ 用	JS1 A5541 建築用ターンバックル鋼材 STKM	
アンカプレート		6.0mm 9.0mm	JS1 63101 一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要部分以外の部材				使用材料
部 材 名	部 状	板 厚		
上 枠	— 430 × 45	1.0mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
中 柱	— 63 × 64	1.0mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
中柱カネ	— 26 × 155	1.0mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
間 柱	— 31 × 21	1.2mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
腰 板	— 88 × 600	0.6mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
腰板カネ	— 14.5 × スラック	0.6mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
縦筋しり目	— C 130 × 113	0.6mm	JIS G3222 炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 Q195	
ケラバ	— 130 × 135.5	0.5mm	炭素鋼板5%アルミニウム—亜鉛めっき鋼板 (ツートカラー)	

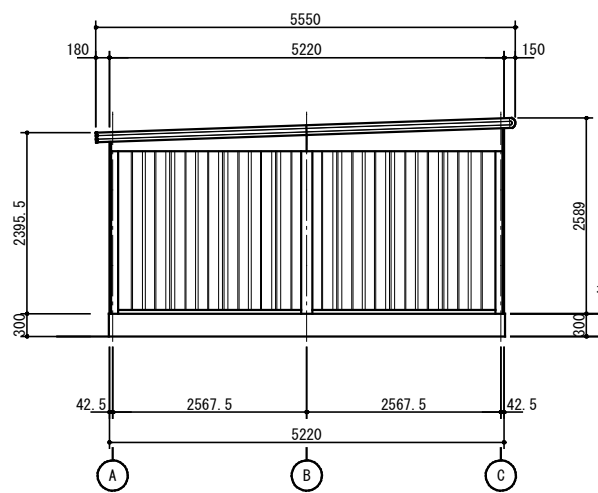
シャッター降下面は土間を水平に仕上げてください。



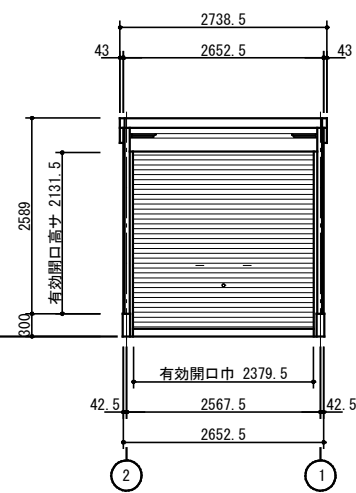
シャッター部分詳細図
(S= 1/25)



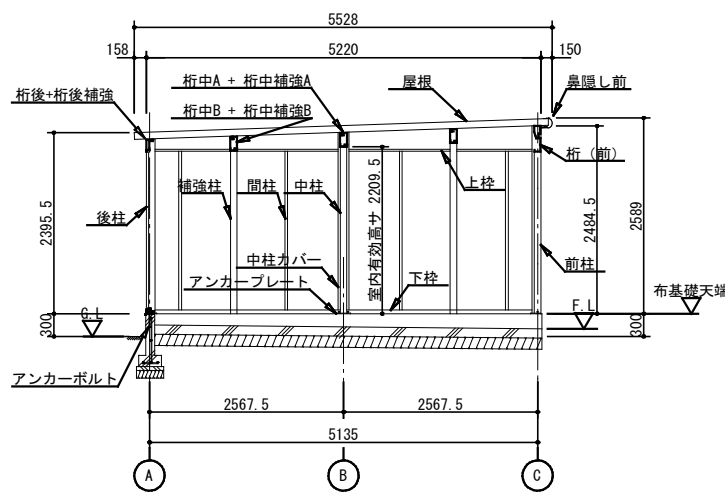
基礎伏図 (S= 1/100)



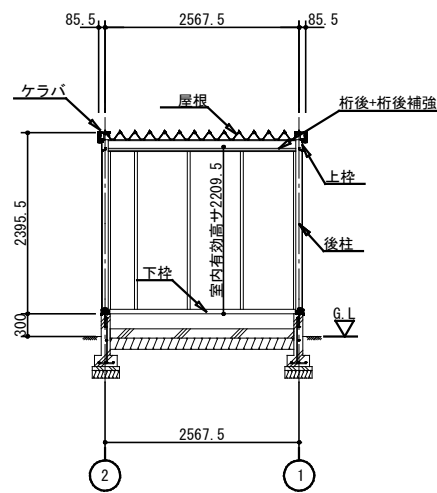
側面立面圖 (S= 1/100)



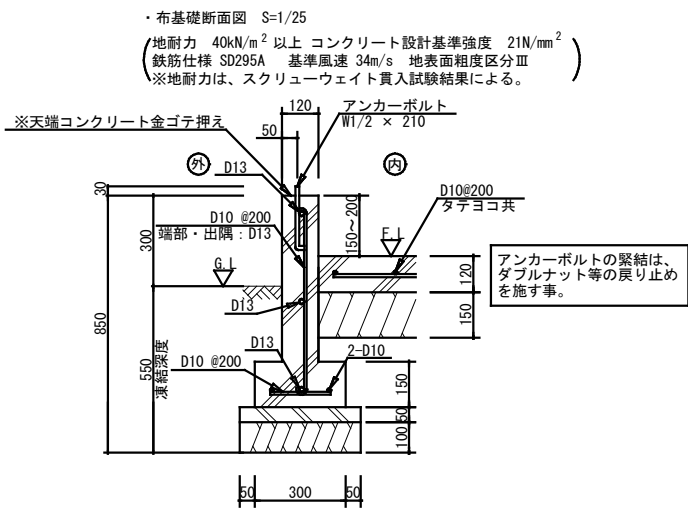
正面立面图 (S= 1/100)



側面断面図 (S= 1/100)



正 面 断 面 图 ($S=1/100$)


$$A \sim$$

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. A-35
DATE R08.03.19	リンゴ箱倉庫 仕上表 平面図 立面図 断面図 建物求積図 基礎伏図 基礎詳細図 部材表	SCALE (A2) 1/100、1/25	
			
	株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子	
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		

農作業小屋

階	室名	床面積	令116条の2第1項二号の居室（排煙）					法28条第2項 換気					法28条第1項令19条（採光） 令116条の2第1項一号の居室（採光）													
			床面積 /50	有効開口部面積				判定	床面積 /20	有効開口部面積				判定	床面積 /5	有効開口部面積				判定						
				符号	W	H	か所			符号	W	H	か所			符号	W	H	A	か所						
1	作業スペース	10.9950 × 6.4075 = 70.45046250	1.90	AD-1	0.750	×	0.400	×2	=	0.60	2.17	OK	4.75	AD-1	0.750	×	2.200	×2	=	3.30	6.22	OK	18.98	25.20	OK	
		8.8345 × 2.7675 = 24.44947875		AW-1	0.750	×	0.700	×3	=	1.575				AW-1	0.750	×	1.300	×3	=	2.925			床面積 /20			AD-1 (1.650-0.150) × (1.100-0.100) ×3 × 2 = 9.00
		94.89994125																	AW-1 (1.650-0.150) × (1.300-0.100) ×3 × 3 = 16.20							
																			25.20							

④

地業工事

○支持地盤等

(3. 2. 1) (4. 2. 4) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 4. 4) (4. 5. 5) (4. 5. 6)

・杭基礎

支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）

・図示による（ ）

・

○直接基礎

支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）

○図示による（S-06図、S-11図 ）

・

試験掘り（根切り底の状態の確認等）

・行わない

・行う

位置等

・図示による（ ）

・

・地盤の載荷試験（平板載荷試験）

載荷試験の方法

・地盤工学会基準 JGS 1521による

・

試験の位置、載荷荷重

・図示による（ ）

・

報告書の記載事項

・図示による（ ）

・

・既製コンクリート杭地業

種類

(4. 2. 2) (4. 3. 1) (4. 3. 3) ～ (4. 3. 6) (4. 3. 8)

・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）

・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）

SC杭の鋼管材料

・SKK400

・SKK490

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分（種別）、寸法、継手の箇所数等

		種類	コンクリート強度(N/mm2)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験	上杭									
	中杭									
	杭下杭									
本	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状

・開放形

・半開放形

・閉そく形

・

工法

・セメントミルク工法

試験杭

試験杭の位置

・図示による（ ）

・

掘削深さ

・図示による（ ）

・

杭の支持層への根入れ長さ

・図示による（ ）

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・杭径の1/4かつ100mm以下

・

建込み時の杭の鉛直度

・1/100以内

・

・特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α =250を採用できる工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法

α =（ ）、 β =（ ）、 γ =（ ）

工法

・

工法

・ブレボーリング拡大根固め工法

・中堀り拡大根固め工法

・

杭周固定液

・使用する

・使用しない

試験杭

試験杭の位置

・図示による（ ）

・

杭の支持層への根入れ長さ

※評定等の評価内容による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

※評定等の評価内容による

杭の継手の工法

・溶接継手

溶接材料

・標準仕様書7.2.5(1)(2)による

・

・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）

工法

※評定等を受けた工法

杭頭の処理等

・処理しない

・処理する

処理方法（切断にともなう補強方法含む）

・図示による（ ）

・

杭頭の中詰め材料

・基礎のコンクリートと同調合のもの

杭施工に伴う発生汚泥の処理

※別途工事

・場内で固化処理した後に搬出

鋼杭の材料

(4. 2. 2) (4. 4. 1) (4. 4. 3) ～ (4. 4. 6)

杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験	上杭								
	中杭								
	杭下杭								
本	上杭								
	中杭								
	下杭								

特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α =250を採用できる工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法

α =（ ）、 β =（ ）、 γ =（ ）

工法

・

試験杭

試験杭の位置

・図示による（ ）

・

杭の支持層への根入れ長さ

※評定等の評価内容による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

※評定等の評価内容による

杭の継手の工法

・溶接継手

形状

・JIS A 5525による

溶接材料

・標準仕様書7.2.5(1)(2)による

・

・機械式継手

工法

※評定等を受けた工法

杭頭の処理

・処理しない

・処理する

処理方法（切断にともなう補強方法含む）

・図示による（ ）

・

杭頭の中詰め材料

・基礎のコンクリートと同調合のもの

工法

(4. 2. 2) (4. 5. 1) (4. 5. 4) ～ (4. 5. 6)

・アースドリル工法

（安定液 ※使用する

・使用しない）

・リバース工法

・オールケーシング工法

（孔内の水張り

・行う

・行わない）

併用する工法

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

鋼管巻き材料

・SKK400

・SKK490

・

・拡底杭工法（安定液

・使用する

・使用しない）

寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	セツ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭						
本杭						

試験杭

試験杭の位置

・図示による（ ）

・

孔壁の保持状況（孔壁測定）

測定箇所

・試験杭（ ）箇所及び本杭（ ）箇所

・

杭の支持層への根入れ長さ

・図示による（ ）

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・杭径の1/4かつ100mm以下

・

・評定等の評価内容による

・

建込み時の杭の鉛直度

・1/100以内

・

・評定等の評価内容による

・

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立

・図示による（ ）

・

鉄筋の最小かぶり厚さ

・100mm

・

○砂利地業

材料

(4. 6. 2) (4. 6. 3)

砂利

・再生クラッシャーラン 図

・切込砂利又は切込碎石

範囲

○基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下

・図示による（ ）

厚さ

※60mm

○ 図示

○捨コンクリート地業

範囲

(4. 6. 4)

・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下

○図示による（S-07図、S-12図、S-17図 ）

厚さ

※50mm

・

コンクリートの類別

○Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）

・Ⅱ類（Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート）

・

コンクリートの種類

※普通コンクリート

・

設計基準強度

※18N/mm2

・

スランブ

※15cm又は18cm

・

○床下防湿層

材料

(4. 6. 2) (4. 6. 5)

※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

・

範囲

○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（庁舎内車庫、ピット下を除く）

No. 25900

DATE R08.03.19

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事

設計図 DR. NO. S-01

建築工事特記仕様書 構造関係（その1）

SCALE

株式会社 青 和 設 計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子

④

地業工事

・地盤改良工法
(深層混合
処理工法)

材料
固化材の種類
工法
方式
※機械攪拌方式
改良体の設計基準強度 (Fc)、改良体長さ、改良率、改良体幅
・図示による
室内配合試験
対象地層、供試体数
・図示による
六価クロム溶出試験
※行う
試験施工
・行わない
・行う
位置等
・図示による
改良工事完了後の試験
検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法
・図示による
六価クロム溶出試験
・行う

・地盤改良工法
(浅層混合
処理工法)

材料
固化材の種類
工法
方式
※原位位置混合方式
改良体の設計基準強度 (Fc)、改良体長さ、改良率、改良体幅
・図示による
室内配合試験
対象地層、供試体数
・図示による
六価クロム溶出試験
※行う
改良工事完了後の試験
検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法
・図示による
六価クロム溶出試験
・行う

○地盤改良工法
(碎石置換)

種類及び施工方法等
○碎石置換 (農作業小屋、農機具庫)

・置換コンクリート地業
(ラップルコンクリート
地業)

形状等
・図示による
支持地盤
・図示による
型枠使用の有無
・無し
・有り

⑤

鉄筋工事

○鉄筋

鉄筋の種類等
種類
呼び径 (mm)
備考
○SD295
D10、D13
○SD345
D19
・
・

・溶接金網

鉄線の形状等
種類
鉄線の形状、網目寸法、
鉄線の径 (mm)
使用部位
・溶接金網
・

○鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等
部位
継手の方法
呼び径 (mm)
柱、梁の主筋
・ガス圧接
・溶接継手
・重ね継手
耐力壁の鉄筋
・重ね継手
その他の鉄筋
(基礎、土間部)
○重ね継手
D10、D13

○鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ
・図示による
○標準仕様書 各部配筋図 参考図による
機械式定着工法
適用箇所
・図示による
種類
・摩擦圧接
・嵌合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

○鉄筋のかぶり
厚さ及び間隔
(溶接金網を含む)

最小かぶり厚さ
・図示による
○標準仕様書5.3.5 表5.3.6による
軽量コンクリートを適用する場合
・あり
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
耐久性上不利な箇所がある場合
(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm

○各部配筋

各部配筋
・図示による
○標準仕様書 各部配筋図 参考図による

・ガス圧接継手

圧接完了後の圧接部の試験
※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等
・図示による

・機械式継手

適用箇所
・図示による
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式
・有機グラウト方式
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目及び適合判定
※標準仕様書 表5.5.1～表5.5.3による
・評定等の評価内容による
・
不合格となった場合の措置
※標準仕様書5.5.6(1)(7)～(9)による
・図示による
・
・超音波測定試験
試験対象
・抜き
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、
最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
・全数

・溶接継手

適用箇所
・図示による
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
・超音波探傷試験
試験対象
・抜き
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、
最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
・全数

⑥

コンクリート工事

○コンクリートの種類

コンクリートの類別
※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類 (Ⅰ類以外で JIS A 5308に適合したコンクリート)
○普通コンクリート
設計基準強度 (N/mm2)
スランブ (cm)
気乾単位容積質量 (t/m3)
適用箇所
・24
※標準仕様書 表6.2.2による
・2.3程度
○21
※標準仕様書 表6.2.2による
○2.3程度
各棟
基礎・土間・付帯部
構造体強度補正值
※標準仕様書 表6.3.2による
・軽量コンクリート
設計基準強度 (N/mm2)
スランブ (cm)
気乾単位容積質量 (t/m3)
種類
適用箇所
・
※21
・
・1種
・2種
・
・
構造体強度補正值
※標準仕様書 表6.3.2による

○セメント

種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、
シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に
示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ
28日目で402J/g以下のものとする)
適用箇所
・高炉セメントB種
適用箇所
・フライアッシュセメントB種
適用箇所

○骨材

アルカリシリカ反応性による区分
※A
・B

○混和材料

○混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による

・寒中コンクリート

適用期間
・図示による
構造体強度補正值
・標準仕様書6.11.2(3)(7)による
・積算温度による

・暑中コンクリート

スランブ
※21m
構造体強度補正值
※標準仕様書 表6.12.1による

No. 25900

DATE R08.03.19

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事

設計図 DR. NO. S-02

建築工事特記仕様書 構造関係 (その2)

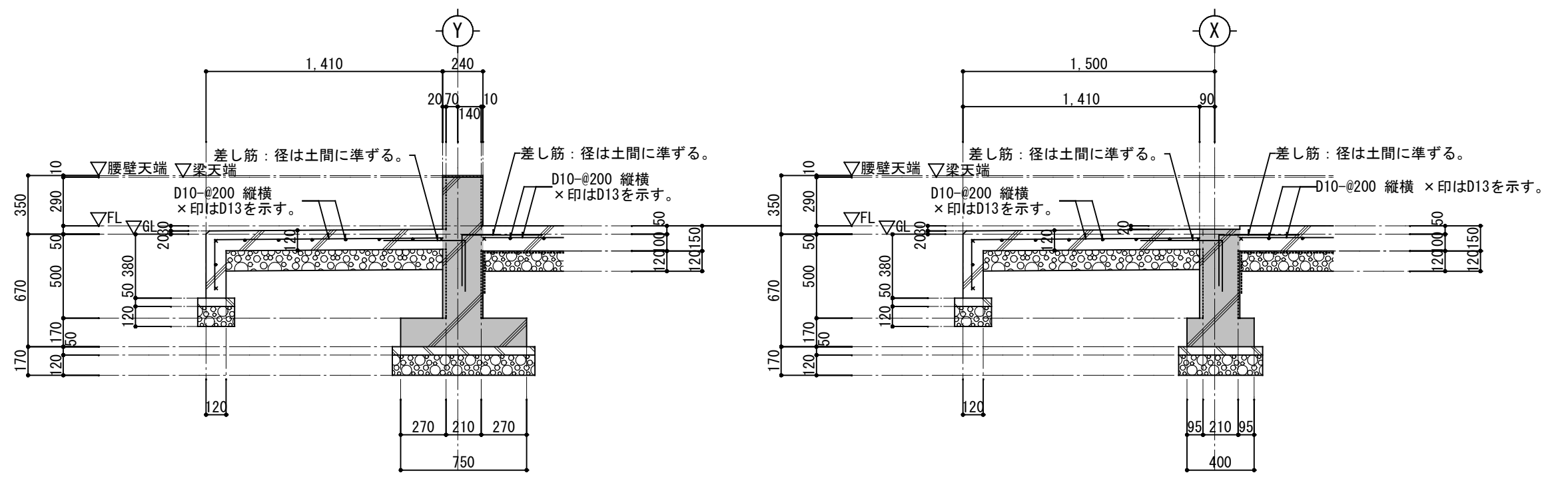
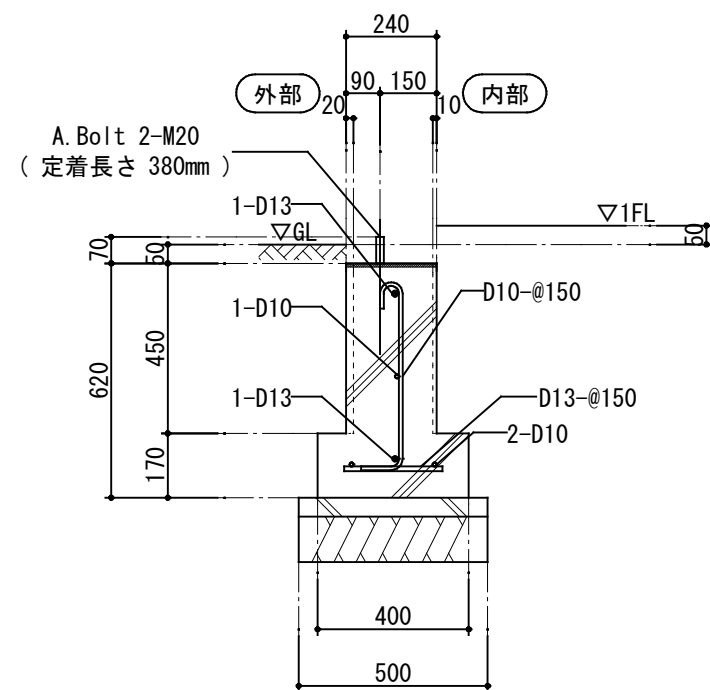
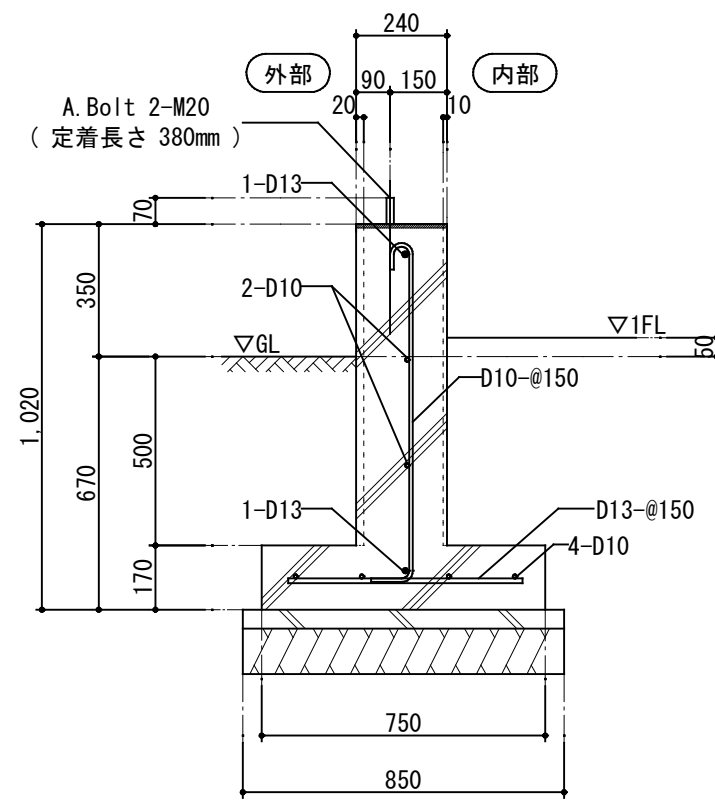
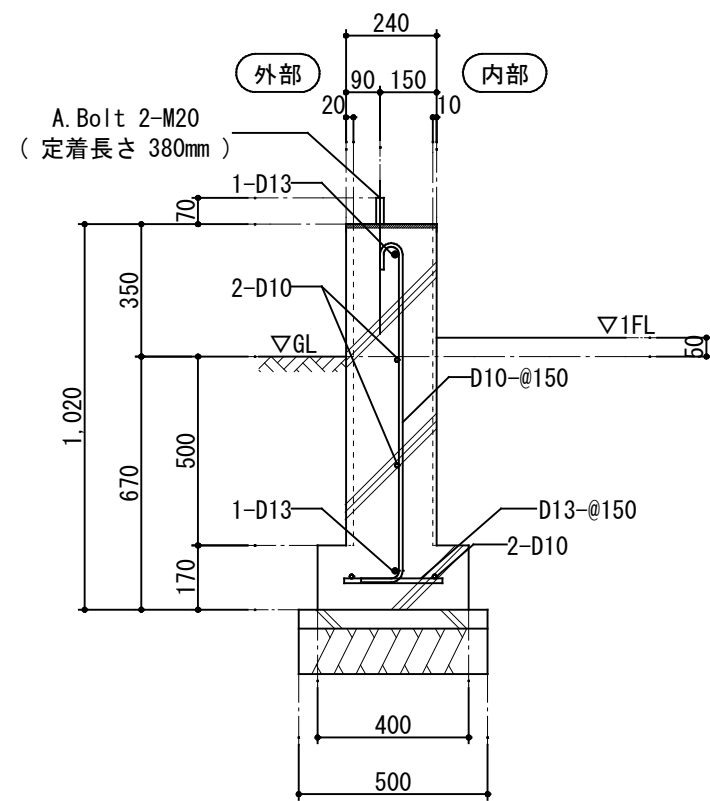
SCALE

株式会社 青和設計

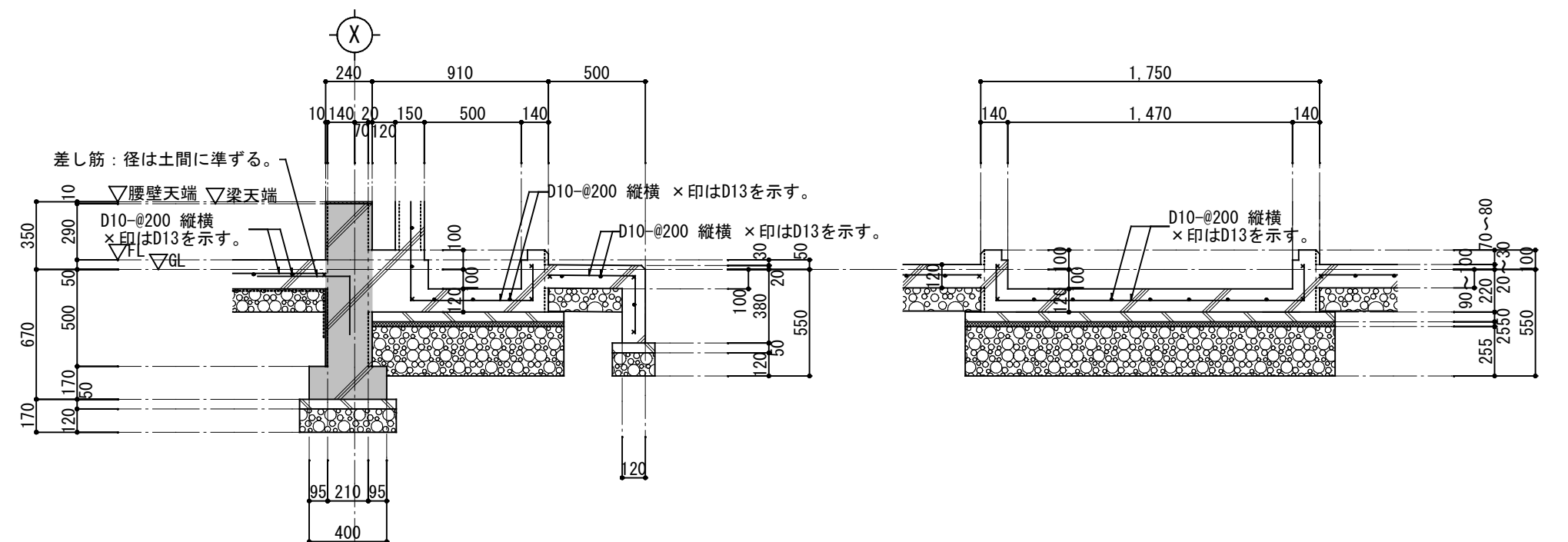
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子

・マスコンクリート	適用箇所 ・図示による（ ）	(6. 13. 1) (6. 13. 2)	コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁） 種別適用箇所 ○a種化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、 接着剤による陶磁器質タイル張り ・b種仕上塗材塗り ・c種セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、 モルタル塗り、胴縁下地 コンクリートの仕上りの平たんさ（床） 種別適用箇所 ○a種合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式） ・b種カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ・c種タイル張り、モルタル塗り、二重床 ○打増し厚さ （打放し 仕上げ部） ○型枠 せき板の材料及び厚さ ○合板 ☑ (※12mm ・) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による（ ） 性能 熱抵抗値を0. 73㎡・K/W以上を有するもの ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による（ ） 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による（ ） スリーブの材質、規格等 ・図示による（ ） ・床型枠用鋼製 デッキプレートの 梁側面の打増し 処理 ・コンクリートの 単位水量測定	○鋼材
-----------	----------------------	-----------------------	--	---

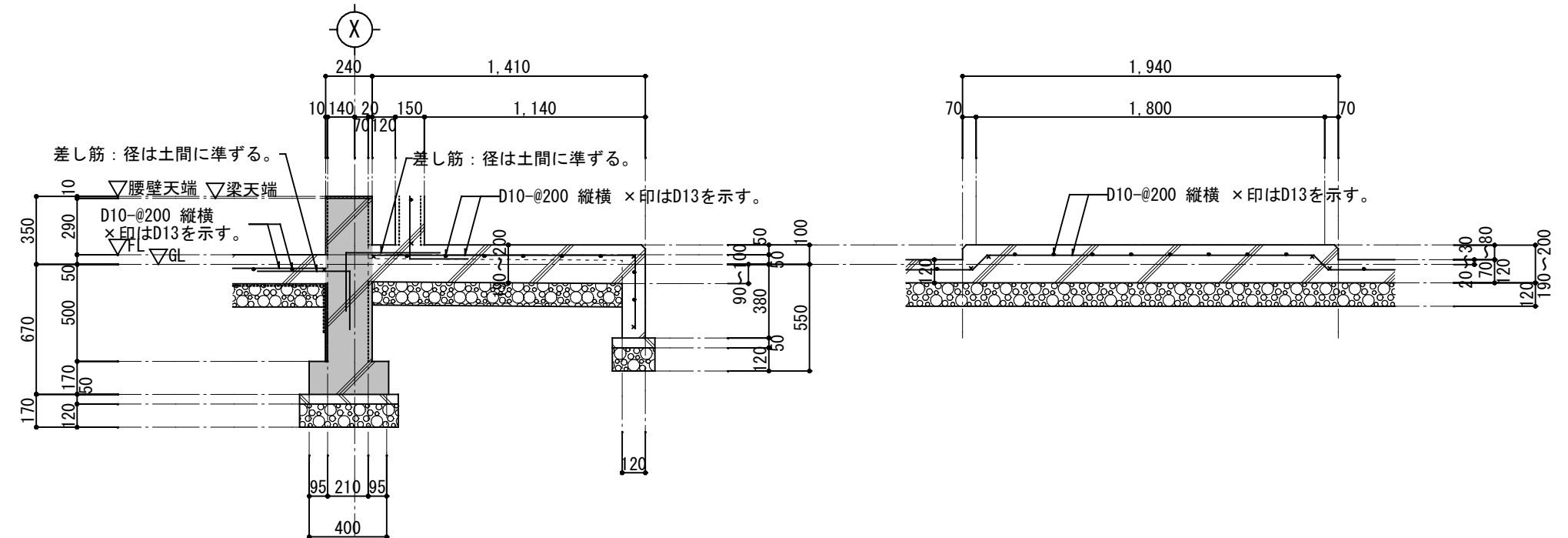
[illegible]



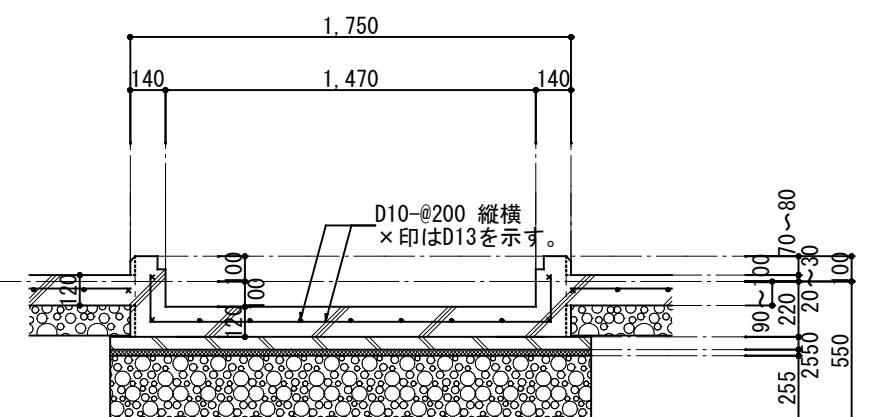
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。



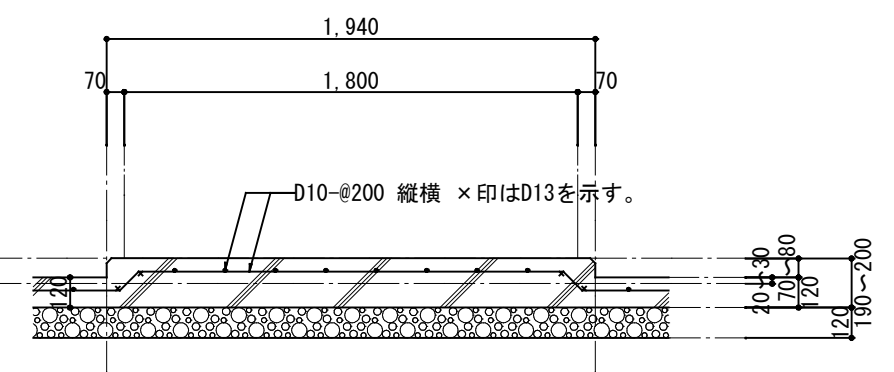
農作業小屋 靴洗場・土間取合詳細図 1/30





農作業小屋 犬走り・土間取合詳細図 1/30

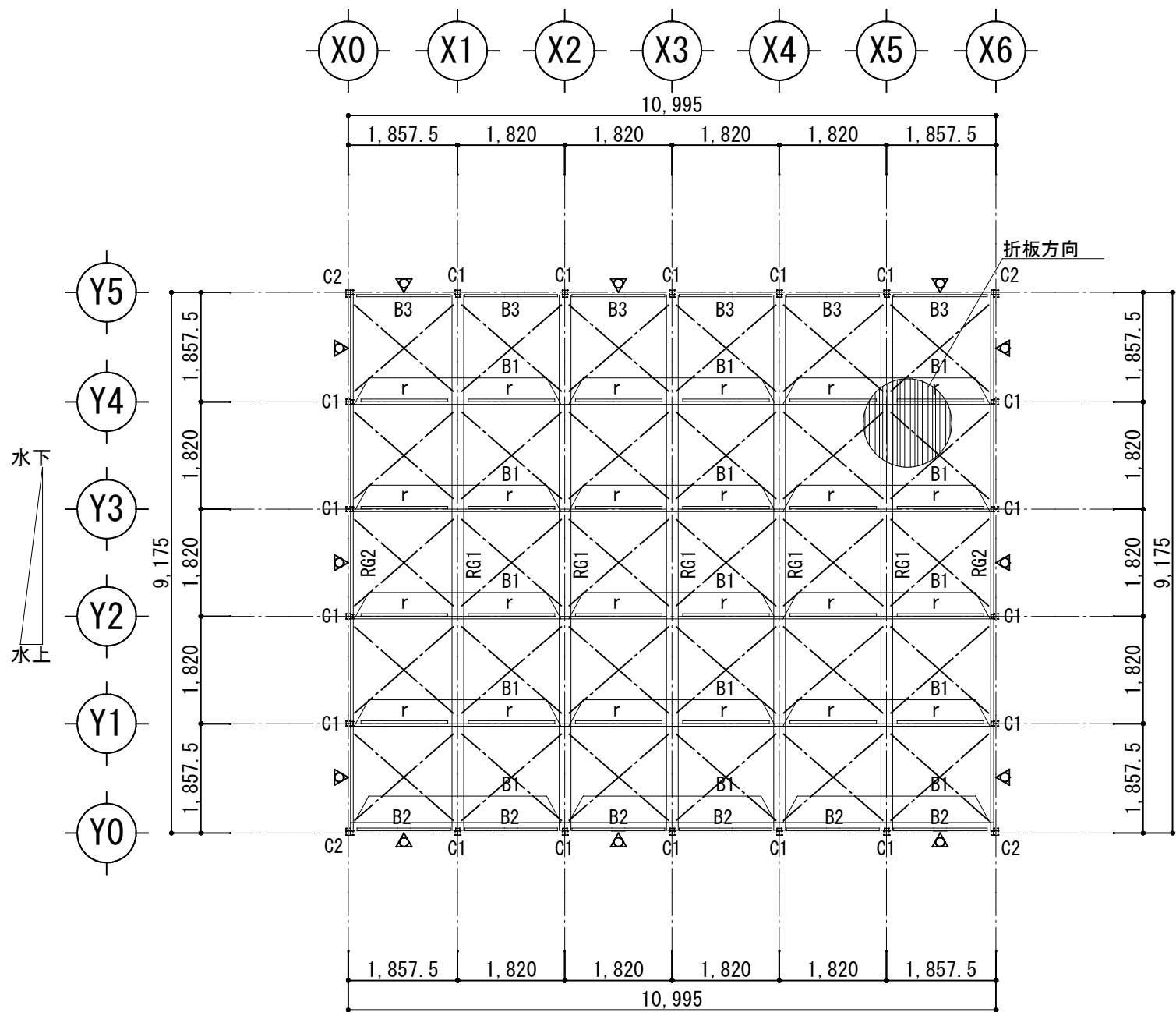


農作業小屋 靴洗場・土間取合詳細図 1/30



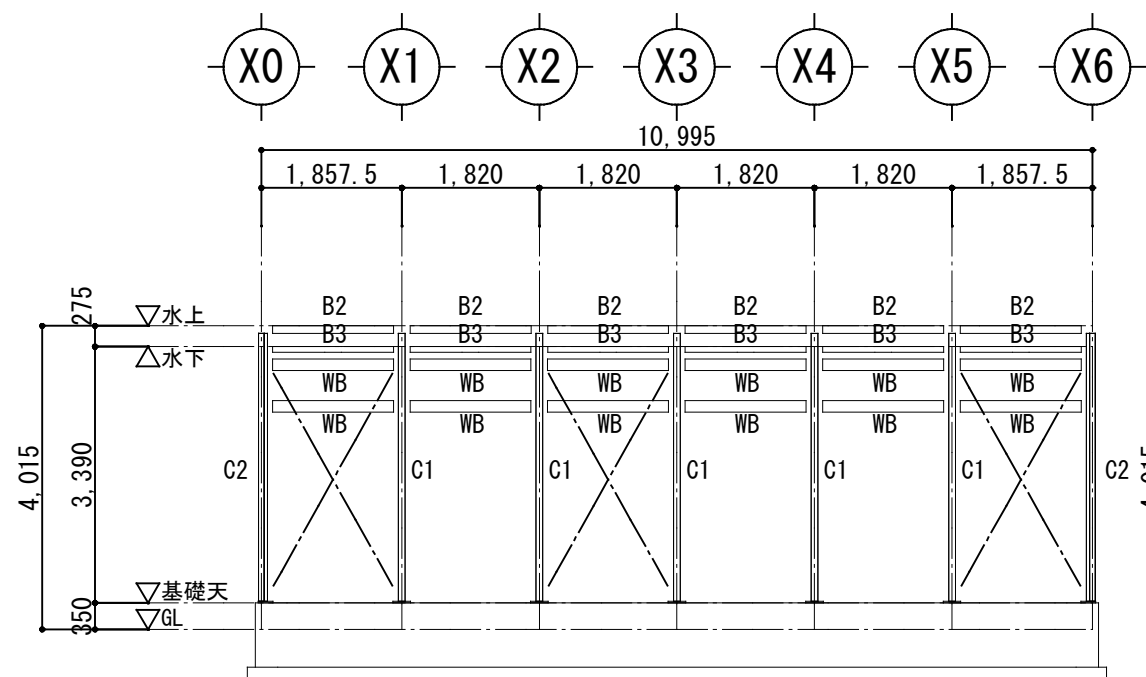
農作業小屋 水飲場・土間取合詳細図 1/30

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. No.	S-07
DATE	R08. 03. 19	農作業小屋 基礎詳細図 基礎取合詳細図	SCALE	(A2) 1/20 1/20	
		 			
		株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)			
		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子			



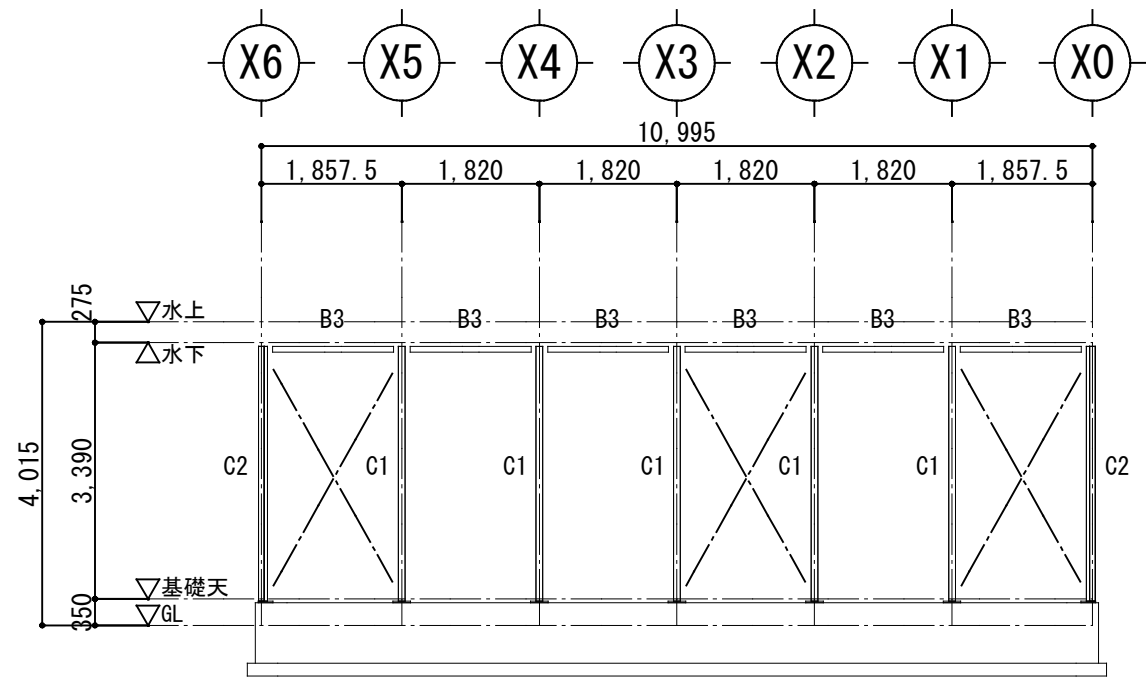
農作業小屋 梁伏図 1/100

--- は、水平ブレースM12を示します。
△ は、柱ブレースM16を示します。



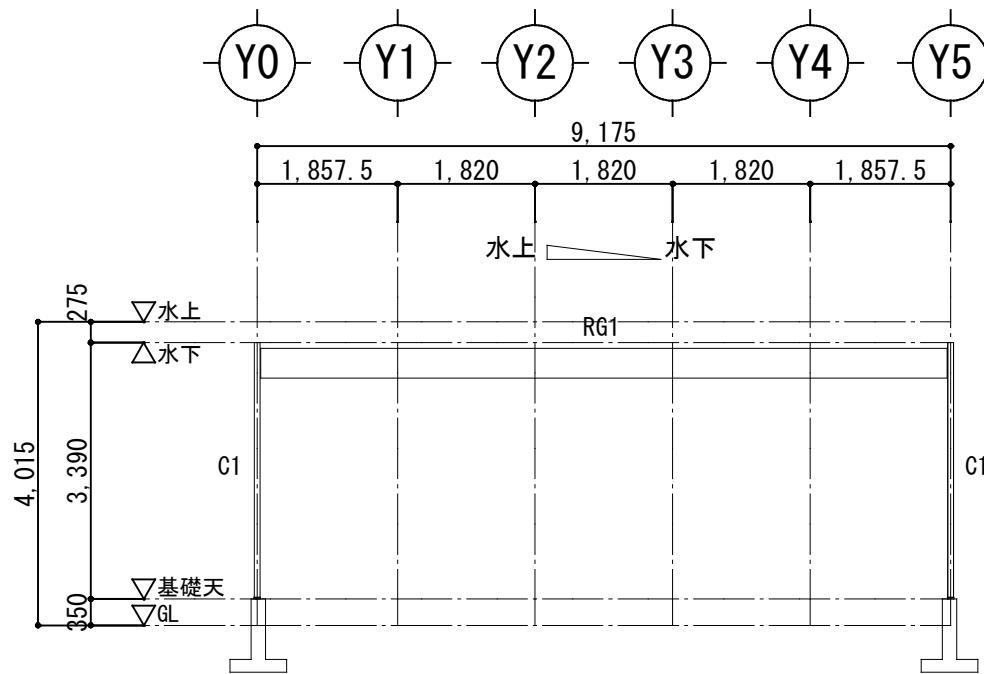
農作業小屋 Y0通り軸組図 1/100

--- は、柱ブレースM16を示します。

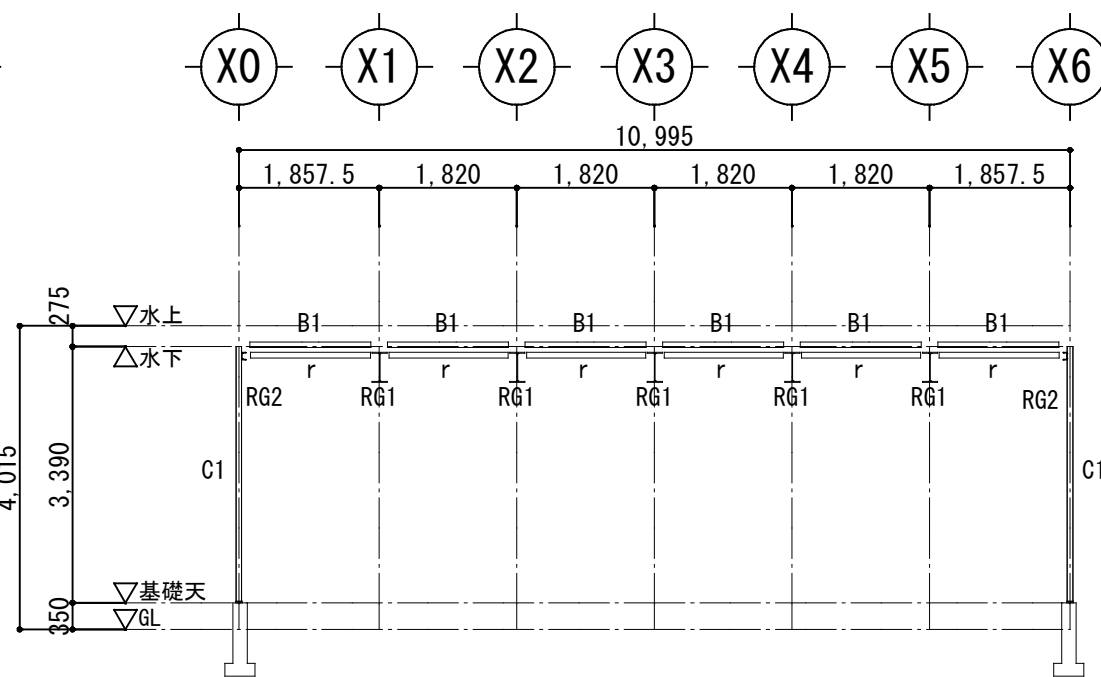


農作業小屋 Y5通り軸組図 1/100

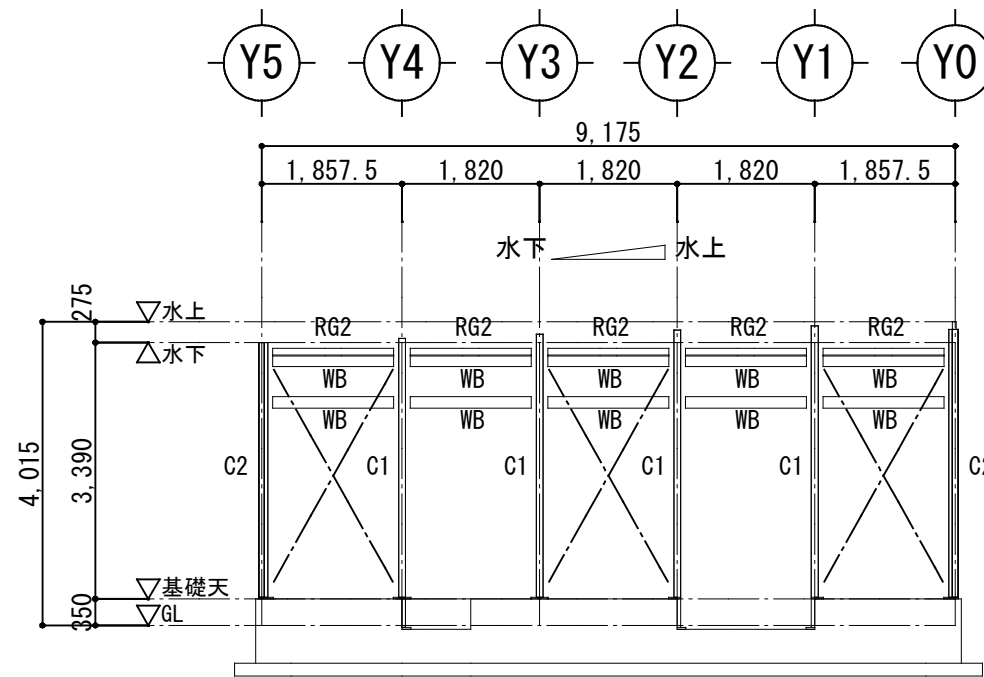
--- は、柱ブレースM16を示します。



農作業小屋 X2通り軸組図 1/100

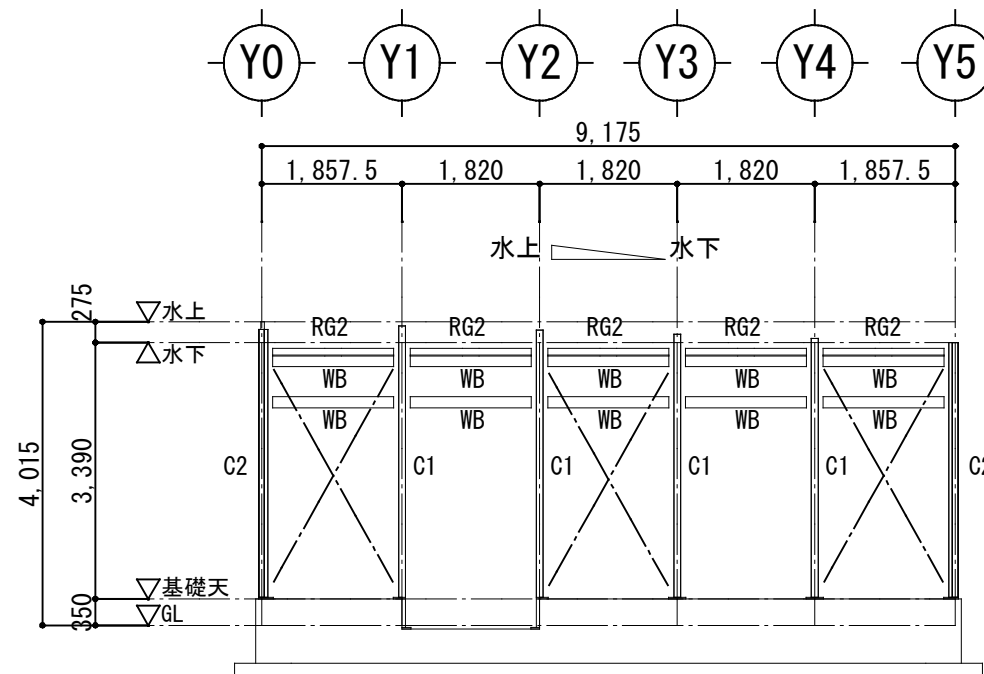


農作業小屋 Y2通り軸組図 1/100



農作業小屋 X0通り軸組図 1/100

--- は、柱ブレースM16を示します。

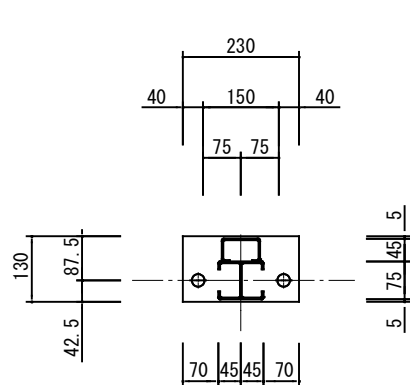


農作業小屋 X6通り軸組図 1/100

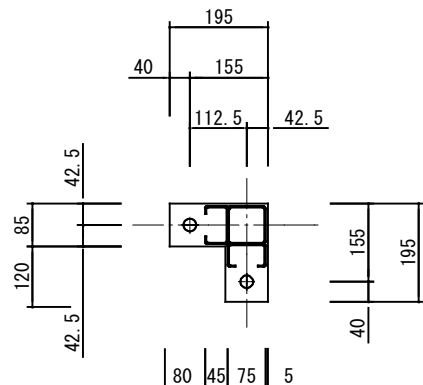
--- は、柱ブレースM16を示します。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計図	DR. NO. S-08
DATE R08.03.19	農作業小屋 梁伏図 軸組図		SCALE (A2) 1/100	
	株式会社 青和設計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	管理建築士 館山良子

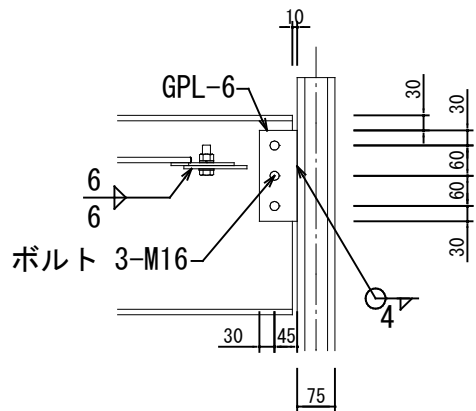
部材リスト					
名称	構造符号	断面・材質	細長比	仕口（プレート）	仕口（ボルト）
妻柱・桁柱	C1	LipH-75x90x15x3.2x3.2 (SWH400L) + C-75x45x15x2.3 (SSC400)	$\lambda=122$	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M20, 定着L=380 (全長L=500)
隅柱	C2	□-75x75x2.3 (STKR400) + 2C-75x45x15x2.3 (SSC400)	$\lambda=92$	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M20, 定着L=380 (全長L=500)
小屋梁(5K W)	RG1	H-396x199x7x11 (SS400)	$\lambda=55$	G. PL-t=6.0	中ボルト 3-M16
小屋梁(S)	RG2	[-100x50x5x7.5 (SS400)	$\lambda=123$		中ボルト 2-M12
梁継	r	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	$\lambda=108$	G. PL-t=4.5	中ボルト 2-M12
中間母屋	B1	2C-75x45x15x2.3@1,820 (SSC400)			中ボルト 1-M12
桁面水上母屋	B2	□-100x50x2.3 (STKR400)	$\lambda=87$		ボルト (強度区分10.9) 1-M12
桁面水下母屋	B3	[-75x40x5x7 (SS400)	$\lambda=156$		ボルト (強度区分10.9) 1-M12
柱ブレース	M16	M16ターンバックル (SNR400B)		ブレースシート-6.0, 羽子板PL-6.0	ボルト (強度区分10.9) 1-M16
水平ブレース	M12	M12ターンバックル (SNR400B)		ブレースシート-6.0, 羽子板PL-6.0	ボルト (強度区分10.9) 1-M16
底受	WB	□-150x75x3.2 (STKR400)	$\lambda=54$	2L-50x50x5	中ボルト 1-M12



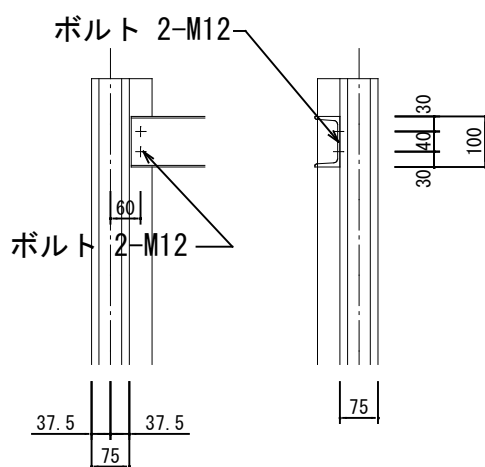
柱部材：LH-75x90x15x3.2x3.2
+C-75x45x15x2.3
BPL：PL-22
A. Bolt：2-M20 L=500（定着Lb= 380）



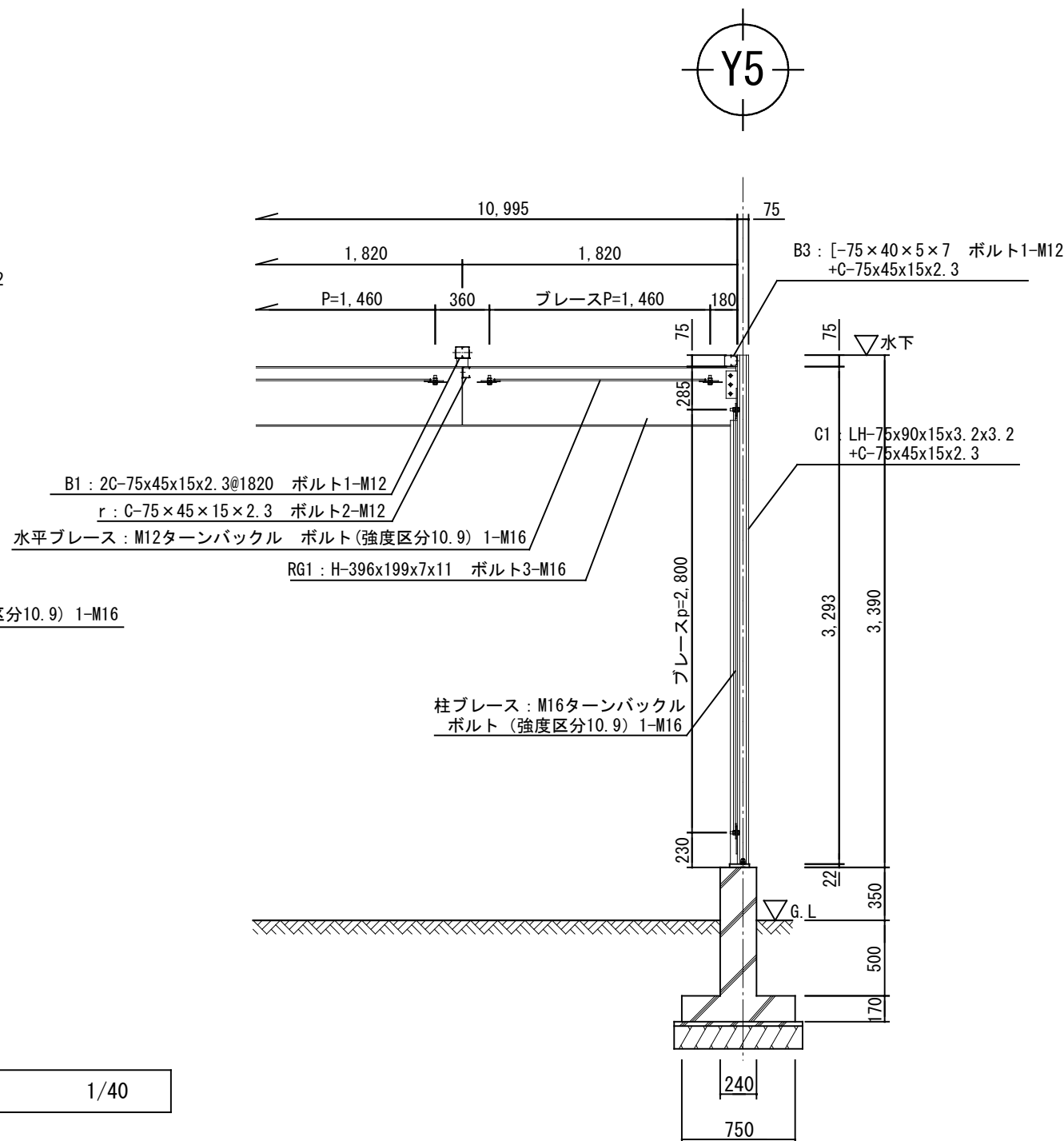
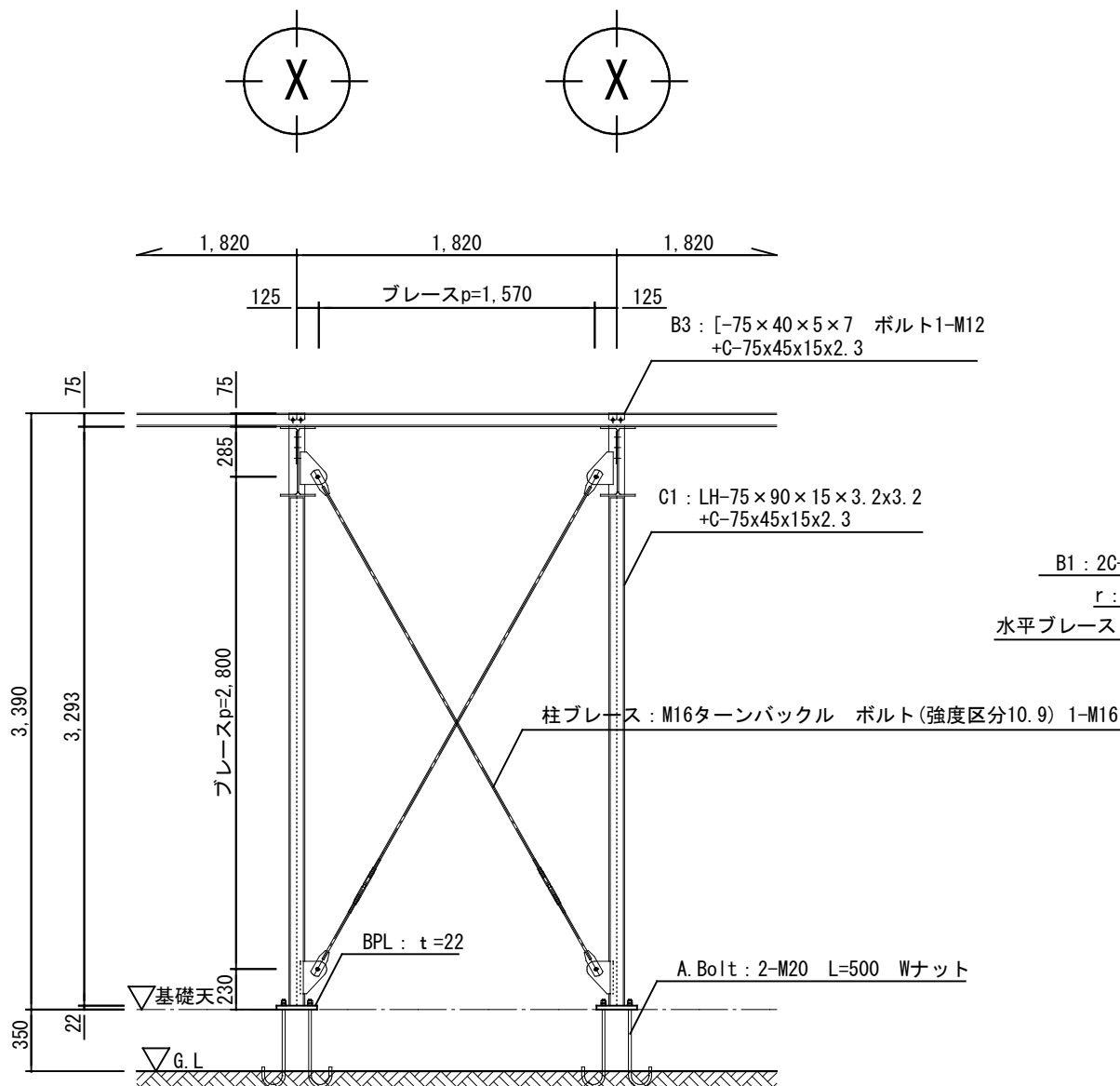
柱部材：2C-75x45x15x2.3
+□-75x75x2.3
BPL：PL-22
A. Bolt：2-M20 L=500 (定着Lb= 380)





梁部材 : H-396x199x7x11
GPL : PL-6
Bolt : 3-M16(中ボルト)



梁部材：[-100x50x5x7.5
Bolt：2-M12(中ボルト)



No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図	DR. NO.	S-09
DATE	R08.03.19	農作業小屋 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図		SCALE	(A2) 1/15 1/40	
				 		
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)				

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

1) 建築名称・場所 高石市立石室小学校小田原新築その他新築工事 / 青森県高田町北谷の町7-20-01、100-02、100-16、168-1の一部

2) 工事種別 ☐ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築

3) 構造設計一級建築士の関与 ☐ 必要 ☒ 必要としない

4) 建築第2号第一号（高さその他）
1) 法別 第2号 ① 高さ 高さ m ② ①より4層以上 ③ 水道高さ m ④ 高さ m ⑤ 高さ m ⑥ 高さ m ⑦ 高さ m ⑧ 高さ m ⑨ 高さ m ⑩ 高さ m ⑪ 高さ m ⑫ 高さ m ⑬ 高さ m ⑭ 高さ m ⑮ 高さ m ⑯ 高さ m ⑰ 高さ m ⑱ 高さ m ⑲ 高さ m ⑳ 高さ m ㉑ 高さ m ㉒ 高さ m ㉓ 高さ m ㉔ 高さ m ㉕ 高さ m ㉖ 高さ m ㉗ 高さ m ㉘ 高さ m ㉙ 高さ m ㉚ 高さ m ㉛ 高さ m ㉜ 高さ m ㉝ 高さ m ㉞ 高さ m ㉟ 高さ m ㊱ 高さ m ㊲ 高さ m ㊳ 高さ m ㊴ 高さ m ㊵ 高さ m ㊶ 高さ m ㊷ 高さ m ㊸ 高さ m ㊹ 高さ m ㊺ 高さ m ㊻ 高さ m ㊼ 高さ m ㊽ 高さ m ㊾ 高さ m ㊿ 高さ m

5) 構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については詳細審査を要しない（確認工事）

6) 構造種別

1) 木造 ☐ 鉄骨コンクリートブロック造（CB）
2) 鉄骨造（S）☐ 鉄筋コンクリート造（RC）
3) 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）
4) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
5) プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）

7) 工業用地	工場	倉庫稼床用	■ 有	■ 有
7) 屋上利用物	■ 高架水橋 ■ 広告塔	■ 緑 ■ 広告塔	■ キュービクル ■ 煙突	■ 緑
8) 特別な荷重	■ エレベータ ■ ホイスト	人乗 (マシルームレス) ローフット、油圧式 ■ 緑	倉庫稼床用 ■ 緑	■ リフト ■ 受水槽 ■ 複式式駐車庫
9) 付帯工事	■ 門扉	■ 塀壁	■ 駐輪場	■ 複式式駐車庫
10) 建築計画	■ 有 ()	■ 有 ()	■ 無	■ 有 ()
1) 構造計算ルール	X方向ルール 1-2	Y方向ルール 1-2		
2) 設定条件	最深積雪量 140cm 基準風速 34m/s	単位積雪重量 30N/cm ² 地震震度区分Ⅱ		

通称箇所	種類	設計基準強度 F _c = N/mm ²	品質基準強度 F _c = N/mm ²	スラブ 厚	備考
捨てコンクリート	■ 普通	1.8	—	—	
土間コンクリート	■ 普通	2.1	1.8	1.8	
基礎、基礎梁	■ 普通	2.1	2.1	1.8	
柱、梁、床、壁	□ 普通 □ 軽量				比重
押入コンクリート	□ 普通 □ 軽量		—	—	比重
細骨材の種類	<input type="checkbox"/> 砂 <input type="checkbox"/> 山砂 <input type="checkbox"/> 人工 <input type="checkbox"/>				
粗骨材の種類	<input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/> 人工 <input type="checkbox"/>				
水の区分	<input type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 工業用水				
混和材料の種類 (US)	<input type="checkbox"/> 減水剤 <input type="checkbox"/> 高性能減水剤				
空気量を確保する材料、養生	<input type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 23 日 <input type="checkbox"/> 90 日				
	<input type="checkbox"/> 養生 <input type="checkbox"/> 現場封かん <input type="checkbox"/> 現場中水 <input type="checkbox"/> 標準				

□ 呼び水量は 185kg/m³ 以下、単位セメント量は 770kg/m³ 以上とする。

[illegible]

種 類		使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
■ S40C	<input type="checkbox"/> 棒	■ S40C A B C	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	JIS G 3101
■ S1040C			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	JIS G 3466
<input type="checkbox"/> S35C	<input type="checkbox"/> S35C	<input type="checkbox"/> S35C	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	大臣部定品目認定番号等
<input type="checkbox"/> S40C A	<input type="checkbox"/> S40C B	<input type="checkbox"/> S40C C	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	JIS B
■ S40C	<input type="checkbox"/> S40M2	■ S40M2	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	JIS G 3550 / JIS B 3551
■ S40M2		母線、異径材、 水平ブレース、壁ブレース	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	JIS S 4540
溶接材料	<input type="checkbox"/> JIS Z			

☐ 高力ポート
 ☐ F107 (JIS B1166)
 ☐ F81 国土交通大臣認定品 (WEL-0050 同等品)
 ☐ H106、H200、H262、H284

☐ プレート (JIS B1169)
 ☐ I2
 ☐ I6
 ☐ 強度区分 4・4・8
 ☐ 強度区分 10

※プレート (JIS B 5540) の場合強度区分 10 を使用し、それ以外の部位は強度区分 4・4・8 を使用する

■ アンカーボルト

☐ S306
 ☐ H
 L = 400
 mm
 (☐ シングル、☒ ダブル)

☐ S306
 ☐ H
 L =
 mm
 ナット (☐ シングル、☐ ダブル)

☐ 鋼付スタッドボルト

φ =
 L =
 mm
 使用箇所 (☐ 柱
 ☐ 大梁
 ☐ 小梁)

φ =
 L =
 mm
 使用箇所 (☐ 柱
 ☐ 小梁)

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構造
板 (JIS A 5416)	厚	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床板	<input type="checkbox"/> スライド <input type="checkbox"/> ボルト止め <input type="checkbox"/> ロッキング <input type="checkbox"/>
折板	ハゼ式 山高φ=170 厚 0.8	<input checked="" type="checkbox"/> 壁板 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特殊デッキプレート (JIS G 3032)	型式 厚	<input type="checkbox"/> 床板 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
デッキプレート (JIS G 3032)	型式 厚	<input type="checkbox"/> 床板 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キーストーンプレート (JIS G 3032)	型式 厚	<input type="checkbox"/> 床板 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<div> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 室内 <input type="checkbox"/> 近隣 </div> <div> <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 調査計画 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 </div>									
調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	
モニタリング調査			特約買入試験			標準買入試験			
半平面弾力係数の測定			土質試験			物理探査			
地盤線（支持層の確認）			平面載荷試験			液状化判定			
スクリーニングテスト買入試験	<input checked="" type="checkbox"/>		現場透水試験			PS検閲			

深 度	土 質	N 値	標準貫入試験						
			10	20	30	40	50	60	
0									○調査地帯
1		1							○柱位置
2		2							
3		3							
4		4							
5		5							○支持地盤、地盤及び深さについてのコメント
6		6							
7		7							
8		8							○杭内水位
9		9							○試験データと調査地帯と設計地帯とは 約 100%の一致がある
10		10							○備考
11		11							
12		12							
13		13							
14		14							
15		15							
16		16							
17		17							
18		18							
19		19							
20		20							

(注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

直接基礎	<input type="checkbox"/> ベタ基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎	<input type="checkbox"/> 独立基礎	試験値	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
深さ 0.0-0.09	m、支持層 シルト0.0	長期許容支持力度	50 確認	載荷試験	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
地盤改良	<input type="checkbox"/> 浅層混合処理工法	<input type="checkbox"/> 深層混合処理工法	<input checked="" type="checkbox"/> 砕石置換			
深さ m	長期許容支持力度	50 確認		載荷試験	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

注：「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築学会2022」を参考とする。

機 種	材 料	施 工 法	備 考
□ 瓦 □ 瓦	珧 (□ 珧 □ 珧 □ 珧)	□ 打ち込み	<div>認 定 年 月 日 号</div>
□ 瓦 □ 珧 □ 珧	珧 (□ 珧 □ 珧 □ 珧)	□ 埋込み (セメントミルク工法)	
□ 珧 □ 珧	珧材 (珧) □ 珧	□	
□ 珧	□ 珧	□	
□ 珧	□ 珧	□	
□ 珧	コンクリート $f_c = \text{N/mm}^2$	□ オールケーシング □ 珧珧	<div>認 定 年 月 日 号</div>
□ 珧	コンクリート $f_c = \text{N/mm}^2$	□ リバースサークキュレーション	
□ 珧	セメント α 以下	□ アースドリル □ ミニアース	
□ 珧	スラブ重量 kg/m^2	□ B H	
□ 珧	鉄 筋 主筋 ϕ	□ 珧珧 (□ 珧珧)	
□ 珧	鉄 筋 HOOP ϕ		

[illegible]

① 標準化試験機 JIS A5000 型電機式コンクリート圧縮機に適合する JIS 5 等級の製品とし、施しに際しては標準化に規定されている事項を遵守し、JIS 5 以上とする。JIS 5 は鉄骨コンクリート JIS 5000 年保証とする。

② せん断試験速度 F_d ■ 短柱 (30φ/20φ) □ 中柱 (24φ/22φ) □ 長柱 (30φ/22φ)

③ 最大荷重 F_u JIS 5010 の普通コンクリート圧縮機を用いる標準とする。

④ 適合計画書、工事開始前工事監督者の承認を受けること。

⑤ 途中、途中で、その他特許コンクリート造法の使用を受ける期間に当たる場合は、得ること、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を受けること。

⑥ フレッシュコンクリートの単位化強度は、原則として工事現場で（財）国土資源技術研究センターの技術評価を受けた測定装置を用いて、試験結果の記録及び測定値の表示部を 1 回の測定ごとに撮影し写真（カラー）を保管し記録する。

⑦ 測定値の数値は、通常の場合、1 日 1 回以上とし、1 回の測定における測定試験は、同一材料より分り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。

清涼水コンクリートについて現場打ち振動試験方法は JASS 1040 によるとし、供試体は現場から発生し、または現場から搬入とし、採取は打ち直後 5 分程度と、打ち込み直後 1 分程度とする。

また、打ち込みが 150ml を超える場合は 150ml ごととし、その数値のごとくに 1 層を標準とする。

1) 測定は供試体は、適当な間隔おおよそ 3 回の選定場所からの必要数値を標準とする。

なお、試験の数値は、特別な指示がない限り、1 層目より 1 層上とし、そのうち 5 層目以上 7 層目以上とする。

●ポンプ圧入コンクリートは、打ち込み位置では測定がばらばらで正確に測定し、コンクリートの自由落下高さでコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧入に際しては、コンクリート圧送技術士または同等以上の技術者がある場合は必ずそうすること。また、打ち込み距離中における経時時間間隔の測定は、外気温が 25℃ 未満の場合は 15 分、25℃ 以上の場合は 10 分以内とする。

●コンクリート打ち込み及び打ち込み後 5 分程度、コンクリートの温度が打ち込み直後より異なる場合は、経緯、変動等によってコンクリートの経緯及び変動が判明しないよう注意する。

鉄筋は JIS B 3132 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。

□ 高強度せん断補強筋は、JIS B 3137 に規定される D 種 1 号適合品とする。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重なり長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。

鉄筋施工方法	① 引張力最大最小部位	② ①以外の部位(注)	鉄筋の径
■ 業仕組手	■ 剛	■ 剛	■ 8 (9) 以下
□ 圧接組手	□ 告示 143 号第 2 項各号	□ 8	□ 8 (9) 以下
□ 溶接組手	□ 告示 143 号第 3 項各号	□ 8	□ 8 (9) 以下
□ 機械組手	□ 告示 143 号第 4 項各号	□ 8	□ 8 (9) 以下

注) ① 以外の部位に接合する場合は、平成 17 年告示第 143 号 4 号 2 に書き添えに基づき、日本鉄筋組手協会、日本建築工学会の認定、評定を受ける取組手の組手として、構造計算にあてて「鉄筋組手使用基準 (建築物の構造関係技術規格標準 2007)」によって定められた部材の条件、仕様とする。

機械検査項目による。

徒手検査の方法は、外観検査 有 ☐ 無 ☐ 引張試験 有 ☐ 無 ☐ 超音波探傷試験 有 ☐ 無 ☐
圧入試験等の検査と超音波探傷試験とを行う場合、最初のロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5回以上とする。

(1) ロット毎に作業組員が同一日に作業した箇所数で100箇所検査とする

点検率（ROR）の判定方法は、☐ H型（圧入）☐ W型（滑動型）☐ S型（スライダ型）とする。

コンクリート及び鉄筋の検査は下記の試験項目を行うこと。

試験機関名—工事監督者が指定する試験機関
代行者名—工事監督者が指定する代行者
代行者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

■材料 合板厚 12mm を標準とする。

項目	壁 仕 様			柱 仕 様		
	基礎、梁、柱、壁	スラブ、床下		スラブ		床下
セメントの標準配合	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種	標準ポルトランドセメント ランダムセメント A種
充填剤の標準配合	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種
コンクリートの 標準配合 (注)	15℃以上 2 5℃以下 3 15℃未満 5	3 5 6 10	4 6 10 1.6	8 10 12 1.5	17 25 2.8	2.8 2.8 2.8
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/m ²	設計基準強度の5.0%		設計基準強度の5.5%		設計基準強度の1.00%

- 1 持ち手、皿、スパン9.0m以上の受下は、工事要領等の指示による。
- 2 大梁の支線の張り又は行わない。また、その他の変形の場合も厳禁して行わない。
- 3 支線の張り又は、必ず直上箇のコンクリート打ち後とする。
- 4 張りかけ後の支線頂部には、厚み厚板、角材または、これ代わるものを設置。
- 5 支線の張りかけは、小がねを使ってから、スラブを打つ。一時しかん支線を張り取って、張りかけを行ってをてならない。
- 6 地上に張りかけは、小型振動杭がある場合においては、支圧(大梁支圧)を厳禁して行わない。
- 7 支線の張りかけは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすその他の振動又は衝撃をえないように行うこと。

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

<input type="checkbox"/> 製作工場	<input type="checkbox"/> 製作要領書	<input type="checkbox"/> 作図図	<input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書
<input checked="" type="checkbox"/> 認定または登録工場 (大匠認定 S H ⑧ R J グレード)	都登録 T1 T2 T3	ランク	
<input type="checkbox"/> 材料規格証明書※、または試験成績書			
<input type="checkbox"/> 鋼材	<input type="checkbox"/> 高力ボルト	<input type="checkbox"/> 特殊ボルト	<input type="checkbox"/> 頭付スタッド

※規格証明書、原本相当規格品証明書、現品証明書

<input type="checkbox"/> 社内検査表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

☐ 計画以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること

<input type="checkbox"/> 引当検査	<input type="checkbox"/> 組立・関係検査	<input type="checkbox"/> 製品検査	<input checked="" type="checkbox"/> 建方検査
-------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--

(4) 接合部の溶接は下記によること

- 平成13年建設省告示第1464年第二号、ロ
- 鉄骨造等の建築物の工事に關する東京都受検要綱
- 日本建築学会「溶接工作基準、同解説 II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- 日本建築学会「教育工技術指針 工事現場用編」

(5) 接合部の検査

検査箇所	検査方法	検査員又は検査数			備考
		工事主担当者	第三者検査員	工事監督者	
□ 完全滑込埋接部 （全面検査）	外観検査（※）	76.0%	76.0%	76.0%	第14号建設省告示 第16号、第2号による （目視及び計測）
□	超音波検査	76.0%	76.0%	76.0%	
□	（内注） ① 目視検査	76.0%	76.0%	76.0%	
□	② 音波探知検査	76.0%	76.0%	76.0%	
□	その他の方法	76.0%	76.0%	76.0%	
■ 鋼肉肉接部	外観検査（※）	100.0%	76.0%	76.0%	（鋼材検査費 等）
第三者検査関係					

第三者検査機関とは、建築士、工事監督員又は工事施工者が、受入れ検査を代行させたものに自ら費した検査費をいう。

注1) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正に対応策を建築主事等に報告すること

☐ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

軸力導入試験 ☐ 要 ☒ 否 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☒ 否

☐ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、同心り等の異常が無いことを確認する

☐ 二次締め後、ビシテールが破断していることを確認する

■ 禁止めのイベント
□ JIS K 5621 、 ■ JIS K 5674

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

7. 設備関係

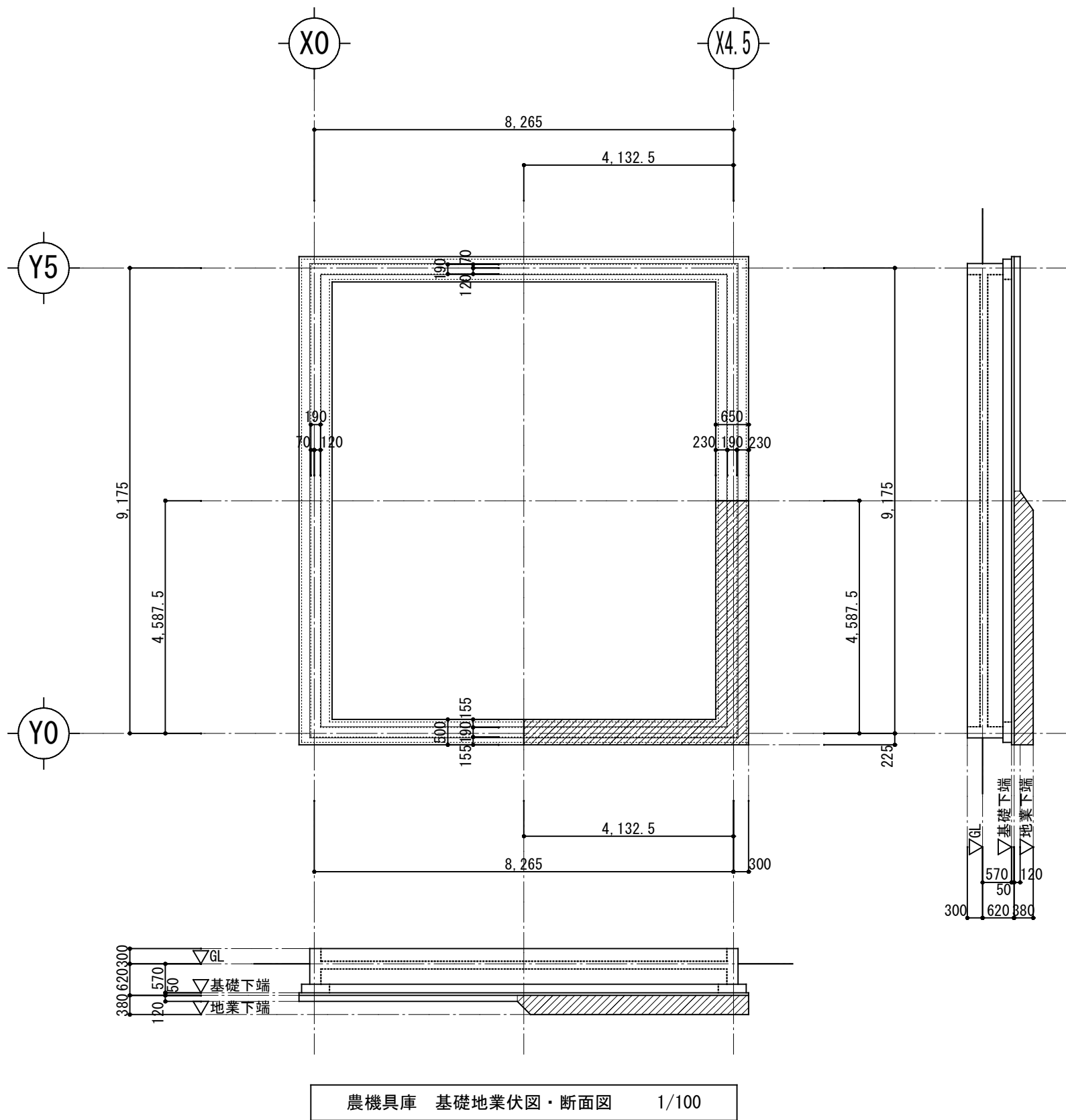
- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- 建築物の支持部分構造及び基礎構造は、地震動、風圧その他の荷役の有無を考慮することとする。
- 建築物の支持部分から生ずる土圧、風圧その他の荷役は、その範囲に於ける土圧、風圧、地震力等として考慮力とみなすものとする。
- 土圧力は、土質と土質断面に於いて、安全であるとする。
- 土圧力は、掘削したコンクリートの壁の入りきり高さ 5 m 以上では該コンクリート壁とすることとする。
- 設備配管は、地震動等の建物変位に於いては、風圧、地震力等として、地震力等に対して適切に支持されているものとする。
- エレベーターの駆動装置等は、構造耐力上安全に設計されているものとする。
- 特記以外の変置透過は原則として設けない。

- 5m以上を要するものを除く。
- 建築物に接する給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く）は、
■ 直圧、直圧及び水圧並びに管内の流動圧に等しい又は安全上支障のない構造とする等
■ 配管部分の貫通に配管を穿通し又は、当該貫通部分に配管スリーブ等をける等
有るべき等の損傷防止のための措置を講ずること。
- 管内の流体その他の変形により、当該配管設備に発生する振動等により、機械手又は可搬手等
を設ける等有害な損傷防止のための措置を講ずること。
- 管を支持し、又は固定する場合には、つり物又は防振ゴム等伸縮する等
有害な地震その他の震動及び衝撃の振動その他の影響を講ずること。
- 給湯設備は、直圧、直圧及び水圧並びに管内の流動圧に等しい又は安全上支障のない構造と
する等、満水時の質量（質量）を越える給湯設備に限定する、を撤去して安全上支障のない
構造として、平成17年建築基準法第18条第3項に規定する構造方法とする。

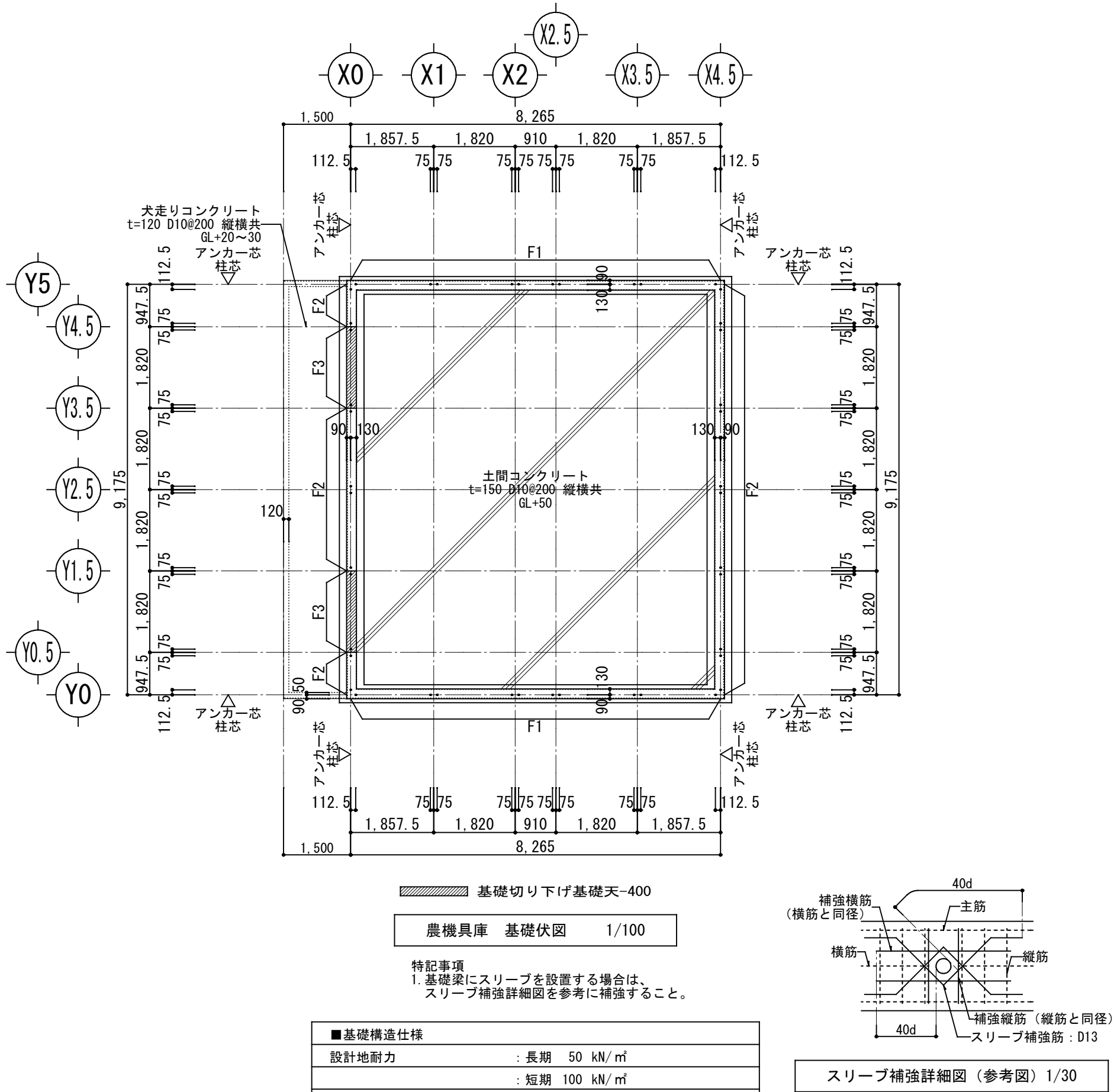
8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

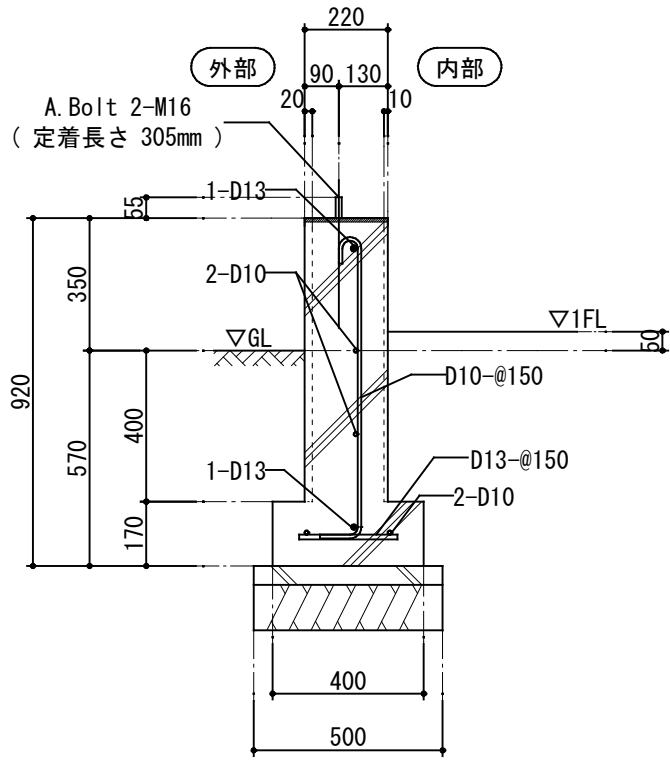
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計 図	DR. NO.	S-10
DATE	R08. 03. 19	農機具庫 構造設計特記仕様	SCALE		
			 		
		株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)			



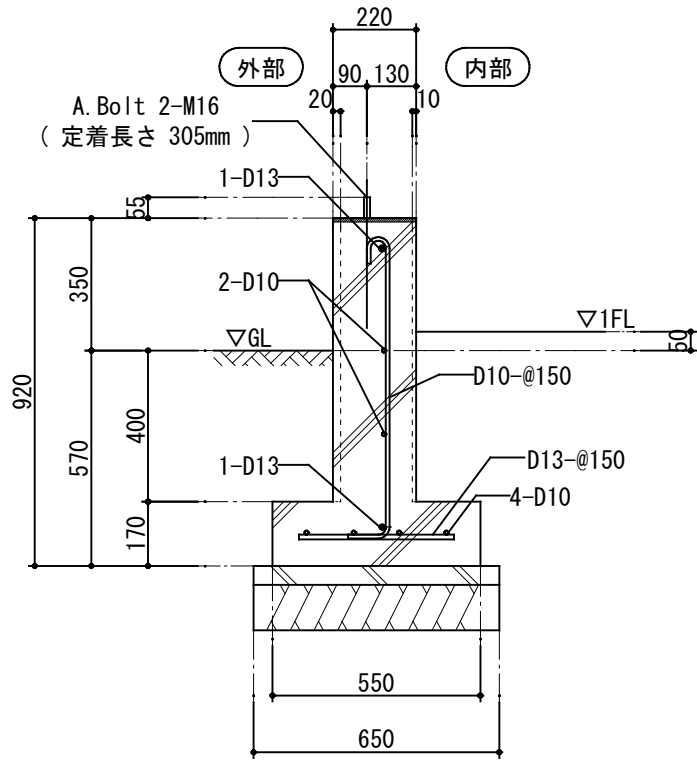
- 特記事項
- 斜線部分の砕石地業は厚さ380mmとする。その他の部分は基礎詳細図を参照すること。
 - 砕石地業は、十分転圧を施すこと。
 - 根切時は、根切底を確認しながら掘削すること。
 - 根切底が軟弱な場合は、監督員並び工事監理者と協議し根切深さを決定すること。



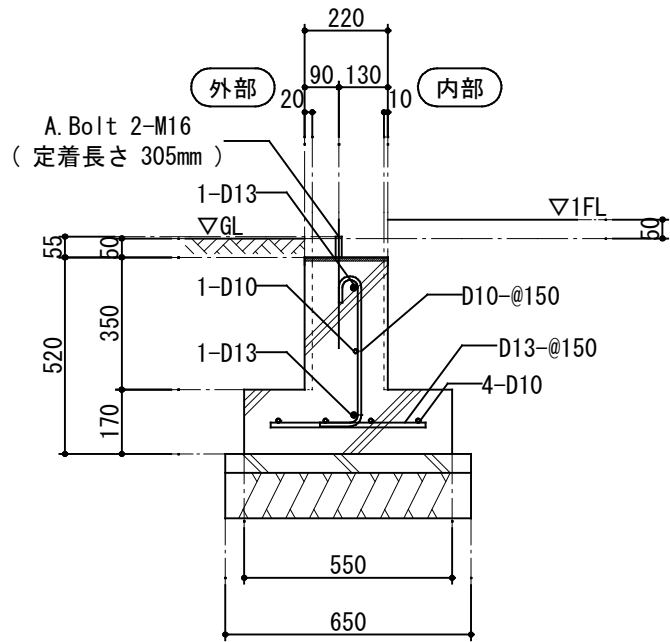
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. NO.	S-11
DATE	R08.03.19	農機具庫 基礎地業伏図・断面図 基礎伏図	SCALE	(A2) 1/100 1/30	
		スリーブ補強詳細図 (参考図)			
		株式会社 青和設計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号		
			管理建築士 館山良子		



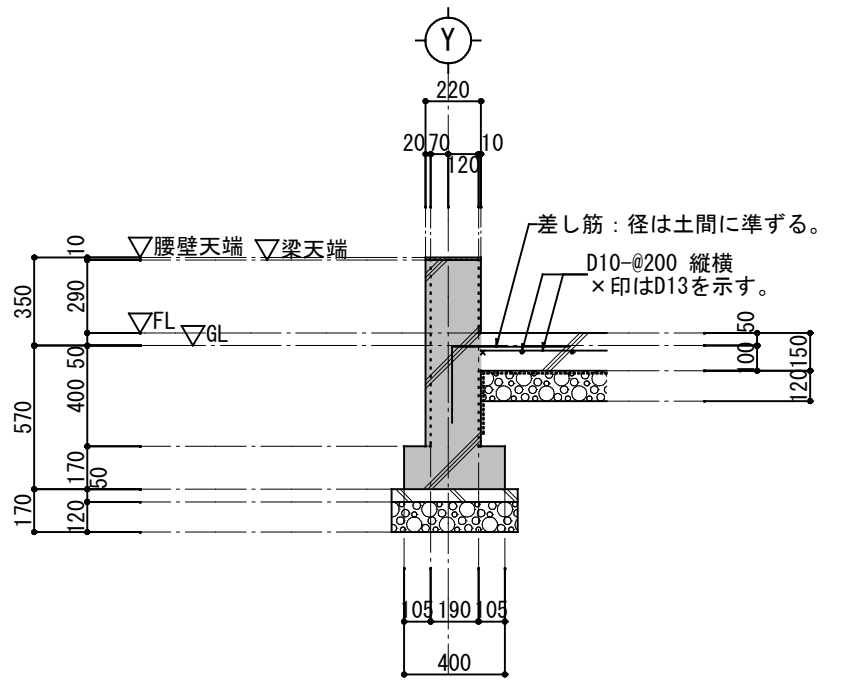
F 1 基礎断面詳細図 1/20



F 2 基礎断面詳細図 1/20

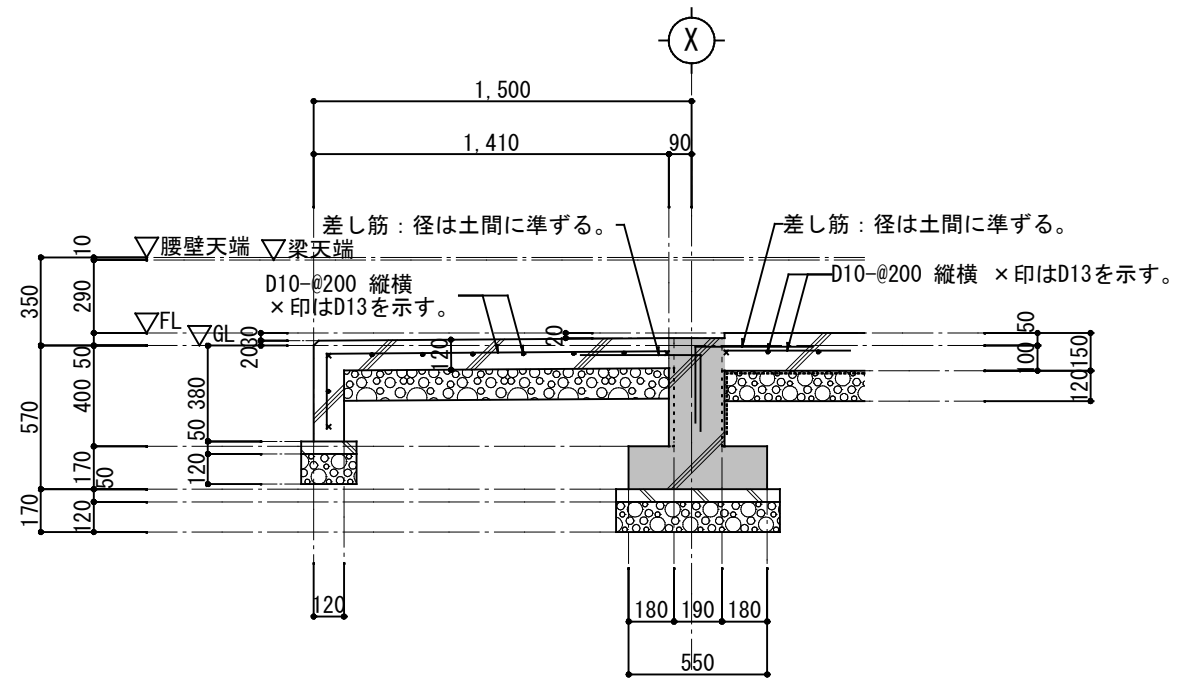


F 3 基礎断面詳細図 1/20



農機具庫 土間取合詳細図 1/30

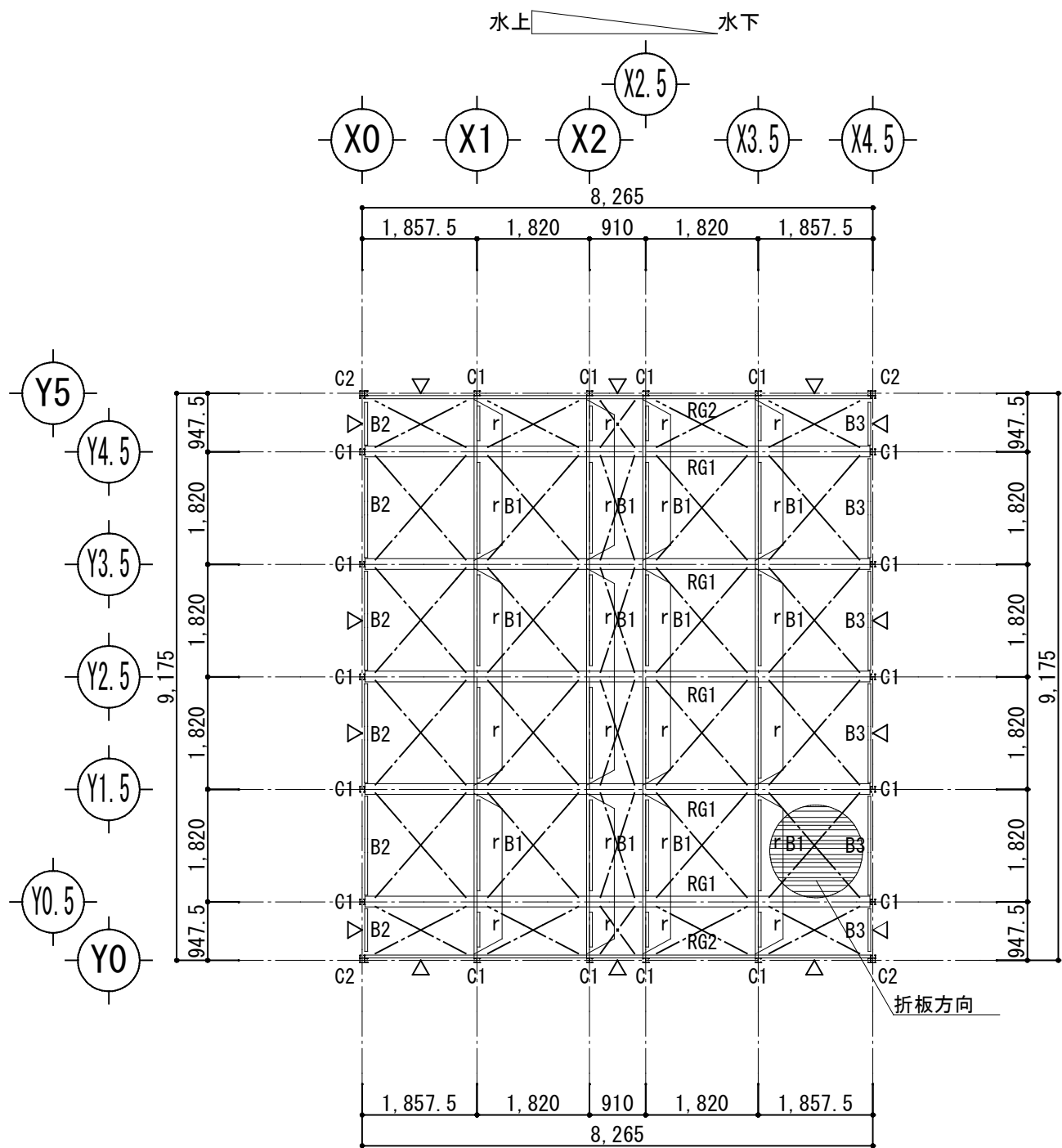
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。



農機具庫 犬走り・土間取合詳細図 1/30

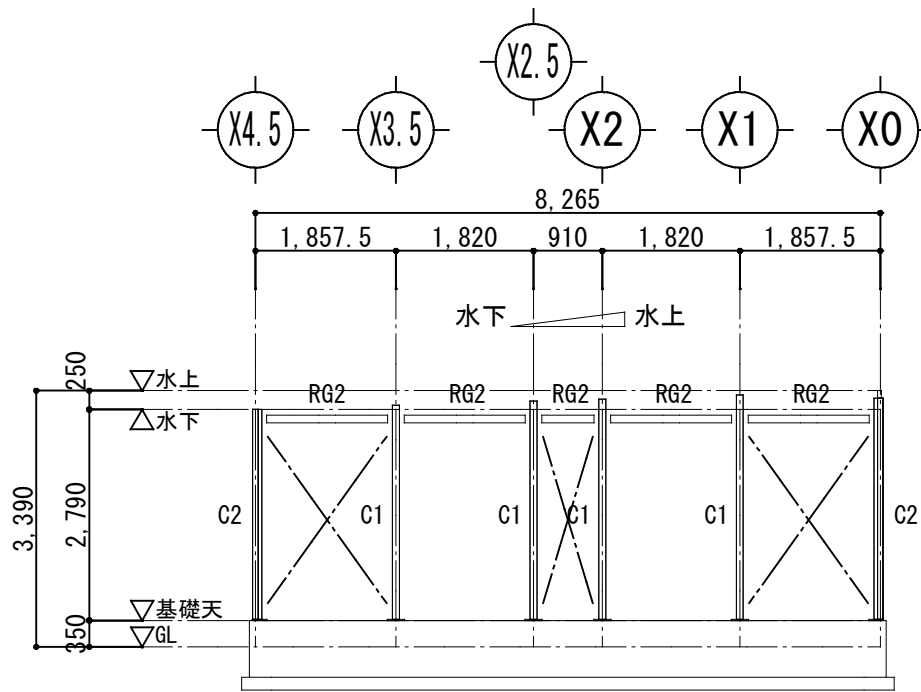
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図 DR. NO. S-12
DATE R08.03.19	農機具庫 基礎詳細図 基礎取合詳細図	SCALE (A2) 1/30 1/20
	株式会社 青和設計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子



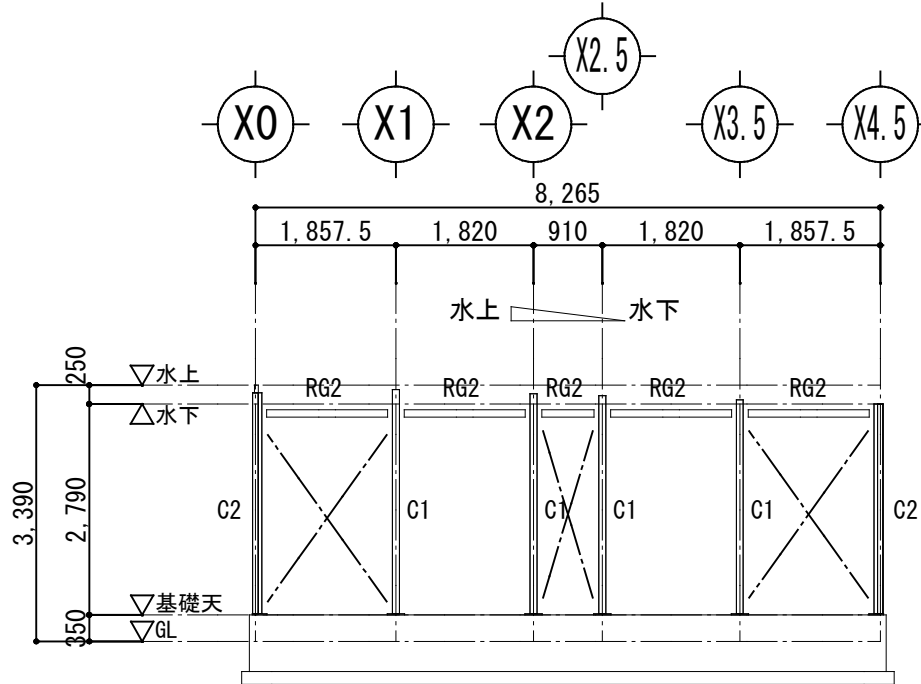
農機具庫 梁伏図 1/100

—— は、水平ブレースM12を示します。
△ は、柱ブレースM14を示します。



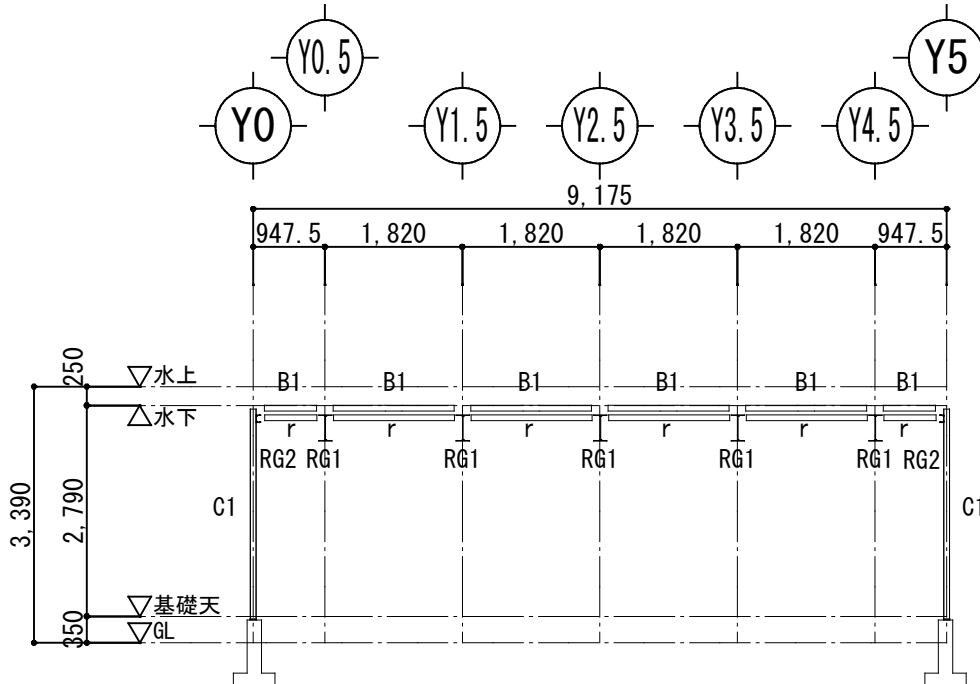
農機具庫 Y0通り軸組図 1/100

—— は、柱ブレースM14を示します。

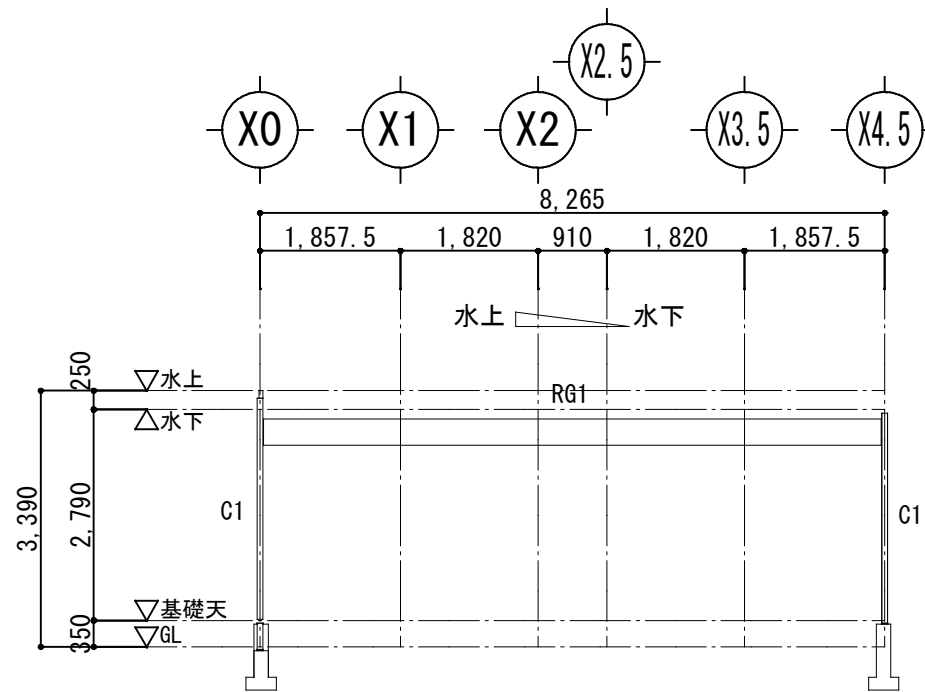


農機具庫 Y5通り軸組図 1/100

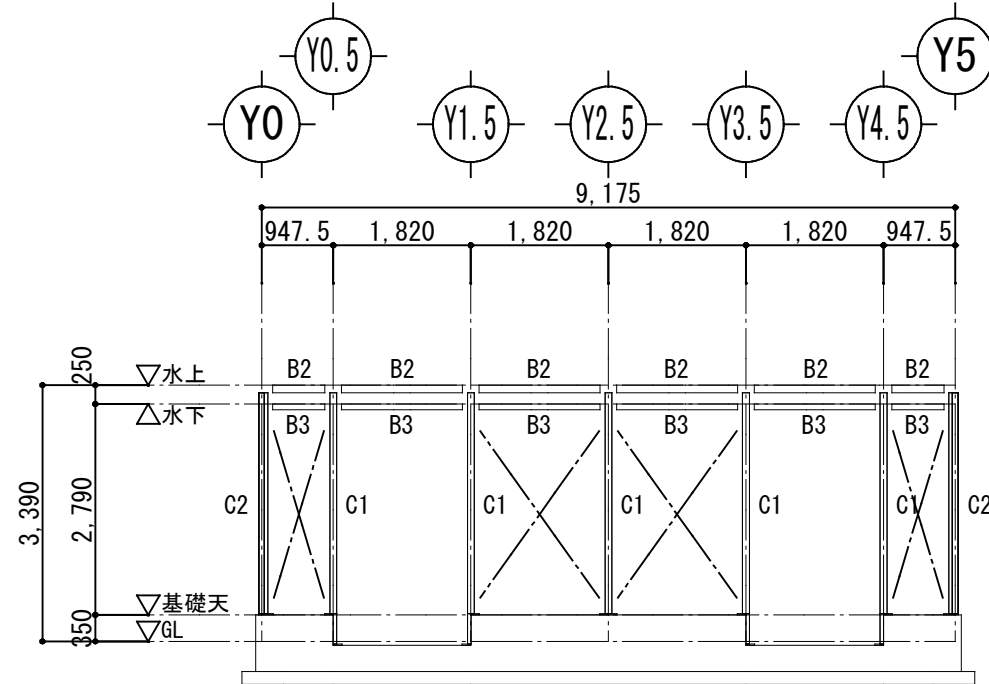
—— は、柱ブレースM14を示します。



農機具庫 X2通り軸組図 1/100

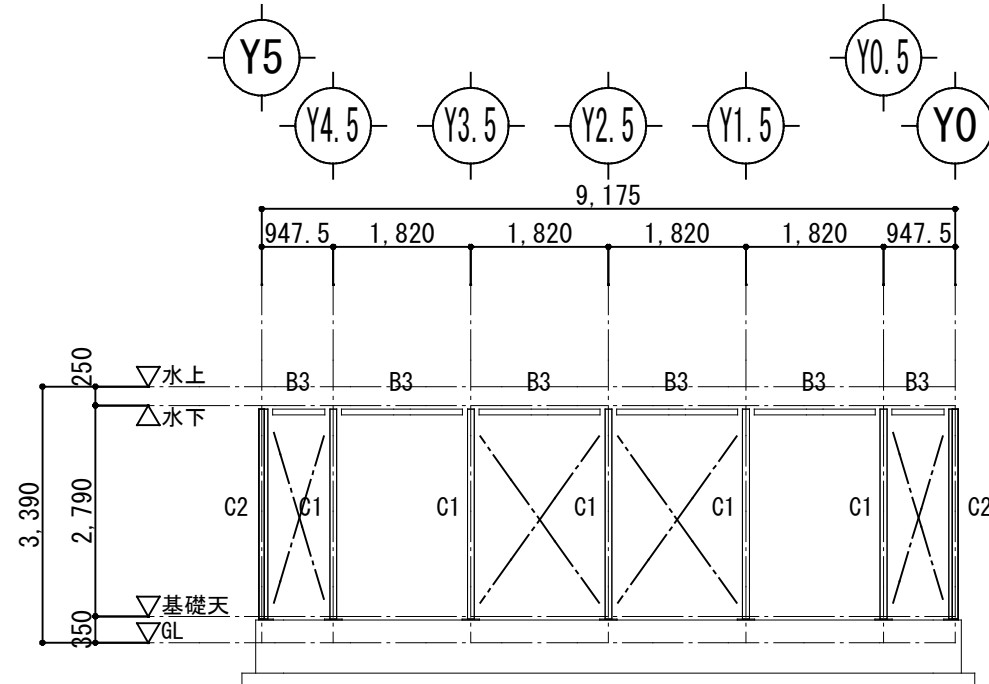


農機具庫 Y3.5通り軸組図 1/100



農機具庫 X0通り軸組図 1/100

—— は、柱ブレースM14を示します。

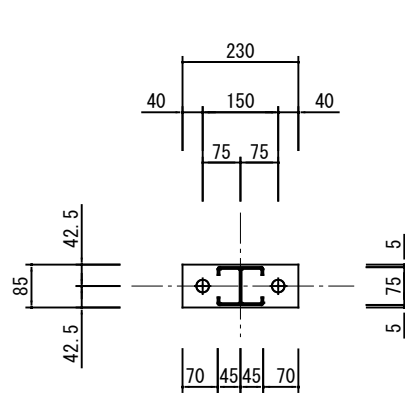


農機具庫 X4.5通り軸組図 1/100

—— は、柱ブレースM14を示します。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図	DR. NO. S-13
DATE R08.03.19	農機具庫 梁伏図 軸組図		SCALE (A2) 1/100	
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	管理建築士 館 山 良 子

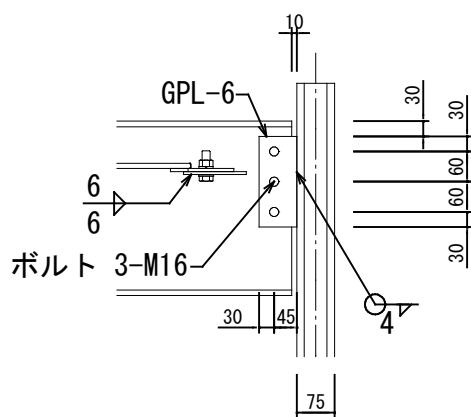
部材リスト					
名称	構造符号	断面・材質	細長比	仕口（プレート）	仕口（ボルト）
妻柱・桁柱	C1	LipH-75x90x15x3. 2x3. 2（SWH400L）	$\lambda=105$	B. PL-t=16	A. BOLT 2-M16, 定着L=305（全長L=400）
隅柱	C2	$\square-75 \times 75 \times 2.3$ （STKR400） + 2C-75x45x15x2. 3（SSC400）	$\lambda=75$	B. PL-t=16	A. BOLT 2-M16, 定着L=305（全長L=400）
小屋梁（4. 5K W）	RG1	H-346x174x6x9（SS400）	$\lambda=57$	G. PL-t=6. 0	中ボルト 3-M16
小屋梁（S）	RG2	$[-100 \times 50 \times 5 \times 7.5$ （SS400）	$\lambda=123$		中ボルト 2-M12
梁継	r	C-75x45x15x2. 3（SSC400）	$\lambda=108$	G. PL-t=4. 5	中ボルト 2-M12
中間母屋	B1	2C-75x45x15x2. 3（SSC400）			中ボルト 1-M12
桁面水上母屋	B2	$\square-100 \times 50 \times 2.3$ （STKR400）	$\lambda=87$		中ボルト 1-M12
柱頭継（水下母屋兼用）	B3	$[-75 \times 40 \times 5 \times 7$ （SS400）	$\lambda=156$		中ボルト 1-M12
柱ブレース	M14	M14ターンバックル（SNR400B）		ブレースシート-6. 0, 羽子板PL-6. 0	ボルト（強度区分10. 9）1-M16
水平ブレース	M12	M12ターンバックル（SNR400B）		ブレースシート-6. 0, 羽子板PL-6. 0	ボルト（強度区分10. 9）1-M16



柱部材 : LH-75x90x15x3.2x3.2

BPL : PL-16

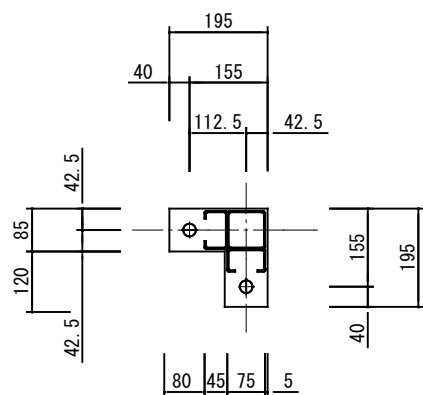
A. Bolt : 2-M16 L=400 (定着Lb= 305)



梁部材：H-346x174x6x9

GPL : PL-6

Bolt : 3-M16 (中ボルト)

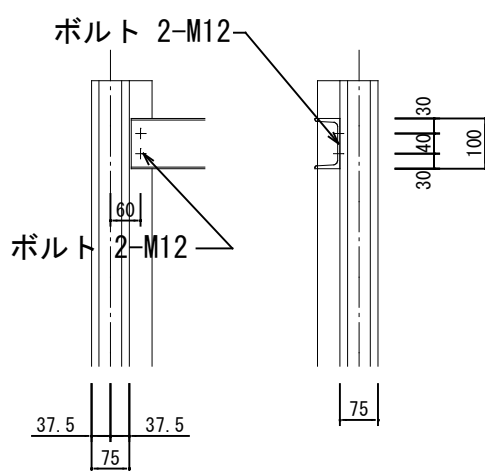


柱部材：2C-75x45x15x2.3

$$+ \square - 75 \times 75 \times 2.3$$

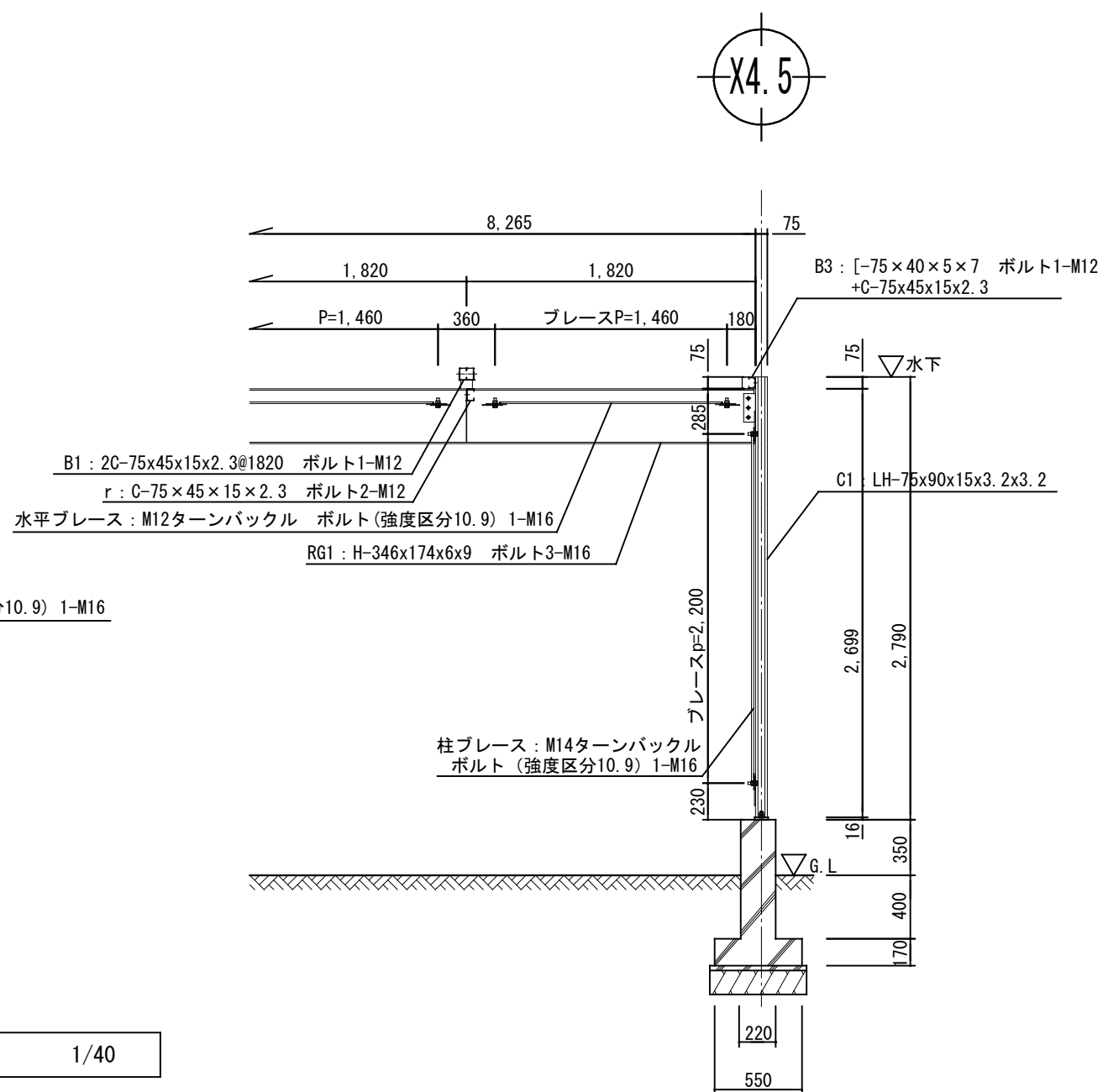
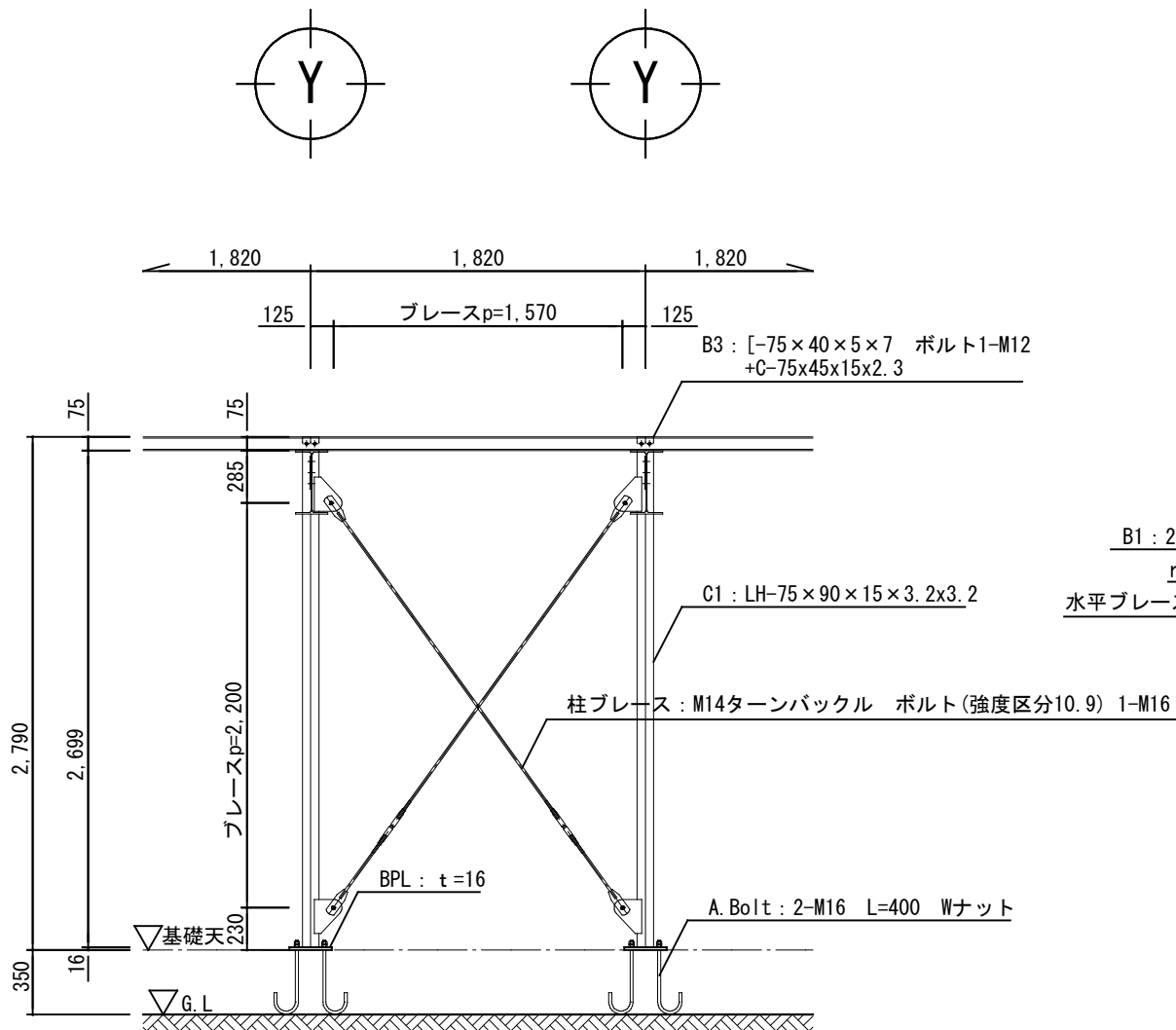
BPL : PL-16



A. Bolt : 2-M16 L=400 (定着Lb= 305)



梁部材：[-100x50x5x7.5

Bolt : 2-M12 (中ボルト)



No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図	DR. NO.	S-14
DATE	R08.03.19	農機具庫 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図		SCALE	(A2) 1/15 1/40	
				 		
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)				

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

5) 階段	機	地下 1 階	地上 1 階	塔屋 1 階
6) 主要用途	工場		倉庫積載用床	＝ N/n ²
7) 屋上付属物	<input type="checkbox"/> 高架水橋	＝ 机	<input type="checkbox"/> キューベック	＝ 机
	広告塔		<input type="checkbox"/> 煙突	
8) 特別な荷重	<input type="checkbox"/> エレベーター	人乗 (マンシユルメス)	ロープス (ワイプス)	
	<input type="checkbox"/> ホスト	＝ 机	<input type="checkbox"/> 倉庫積載用床	＝ N/n
9) 付帯工事	<input type="checkbox"/> 門保		<input type="checkbox"/> 擁壁	<input type="checkbox"/> 船積場
10) 増設計画	<input type="checkbox"/> 有 ()			■ 無
11) 構造計算ルート	X 方向ルート	1-2	Y 方向ルート	1-2
12) 設定条件	最深積雪量 140cm		単位積雪重量 30N/cm ²	
	基準風速 34m/s		地表積雪区分区 III	

1) コンクリート (レディーミクストコンクリートJIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

2) コンクリートブロック (□ JIS A 5406)

材 質		使用箇所	現場溶接	JIS 規格・認定番号等
<input type="checkbox"/> S400 <input type="checkbox"/> S400 <input type="checkbox"/> S400 K 8 C <input type="checkbox"/> S500 <input type="checkbox"/> S500 <input type="checkbox"/> S505 <input type="checkbox"/> S505 <input type="checkbox"/> S505 <input type="checkbox"/> S400 K <input type="checkbox"/> S400 K <input type="checkbox"/> S400 C <input type="checkbox"/> S540 <input type="checkbox"/> S540 <input checked="" type="checkbox"/> S400	柱 梁 桁梁、貫通材 / 柱、梁 水平ブレース、垂直ブレース	<input type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> 有 無	JIS G 3101 JIS G 3466 JIS G 3106 大臣認定認定番号NVL- JIS A 5350 / JIS G 3103 JIS A 5340	
溶接材料	<input type="checkbox"/> JIS Z			

□ 頭付スタッドボルト

$\phi =$	L =	mm	使用箇所 (□ 柱 □ 大梁 □ 小梁)
$\phi =$	L =	mm	使用箇所 (□ 柱 □ 大梁 □ 小梁)

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書
試験杭 (☐有 ☐無) (☐打ち込み・☐載荷・☐孔壁測定) 本

(施工方法等計画書)

2) 鉄筋

- 鉄筋は JIS 5 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
- 高強度せん断補強筋は、JIS 5 3137 に規定される D 種 1 号含合品とする。
- 鉄筋の加工方式、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さとは「鉄筋コンクリート構造記号標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造記号標準図 (1) (2)」による。

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成 12 年告示第 1463 号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。

経手部の検査方法：外観検査 有 ☐ 無 ☐・引張試験 有 ☐ 無 ☐超音波探傷試験 有 ☐ 無 ☐
 ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。

試験機関名－工事監理者が指定する試験機関
 代行業者名－工事監理者が指定する代行業者
 代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

■ 型枠存置期間				
種類 部位	せき板		支 柱	
	基礎、側側、柱、壁	スラブ下、梁下	スラブ下	梁下
普通コンクリート	10日	10日	10日	10日
高強度コンクリート	5日	5日	5日	5日

セメントの種類	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント
		高炉セメント A種		高炉セメント B種		高炉セメント C種	普通ポルト ランドセメント

- 1 片持ち梁、柱、スパン0.0m以上の受下は、工事監理者の指示による。
- 2 大梁の支柱の盛りかたは行わない。また、その受下の場所も原則として行わない。
- 3 支柱の盛りかたは、必ず上層のコンクリート行と一致する。
- 4 盛りかたの受柱箇所には、腐い腐蝕、角材等は、これに代わるものを用いる。
- 5 支柱の盛りかたは、受が終つてから、スラを打つ。一叫に全梁の支柱を張り出す。盛りかたをとしてはならない。
- 6 上層のコンクリートに大梁の腐蝕腐敗がある場合には、大梁（支梁の受梁を除く）の盛りかたを行わないこと。
- 7 支柱の盛りかたは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれがある腐蝕又は腐敗をなさないように行うこと。

(施工方法等計画書)

(5) 接合部の検査

■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

注1) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

□ 高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)



融み入り材除 ☐ 要 ☒ 不要 高力ボルトおよび圧入材除 ☐ 要 ☒ 不要

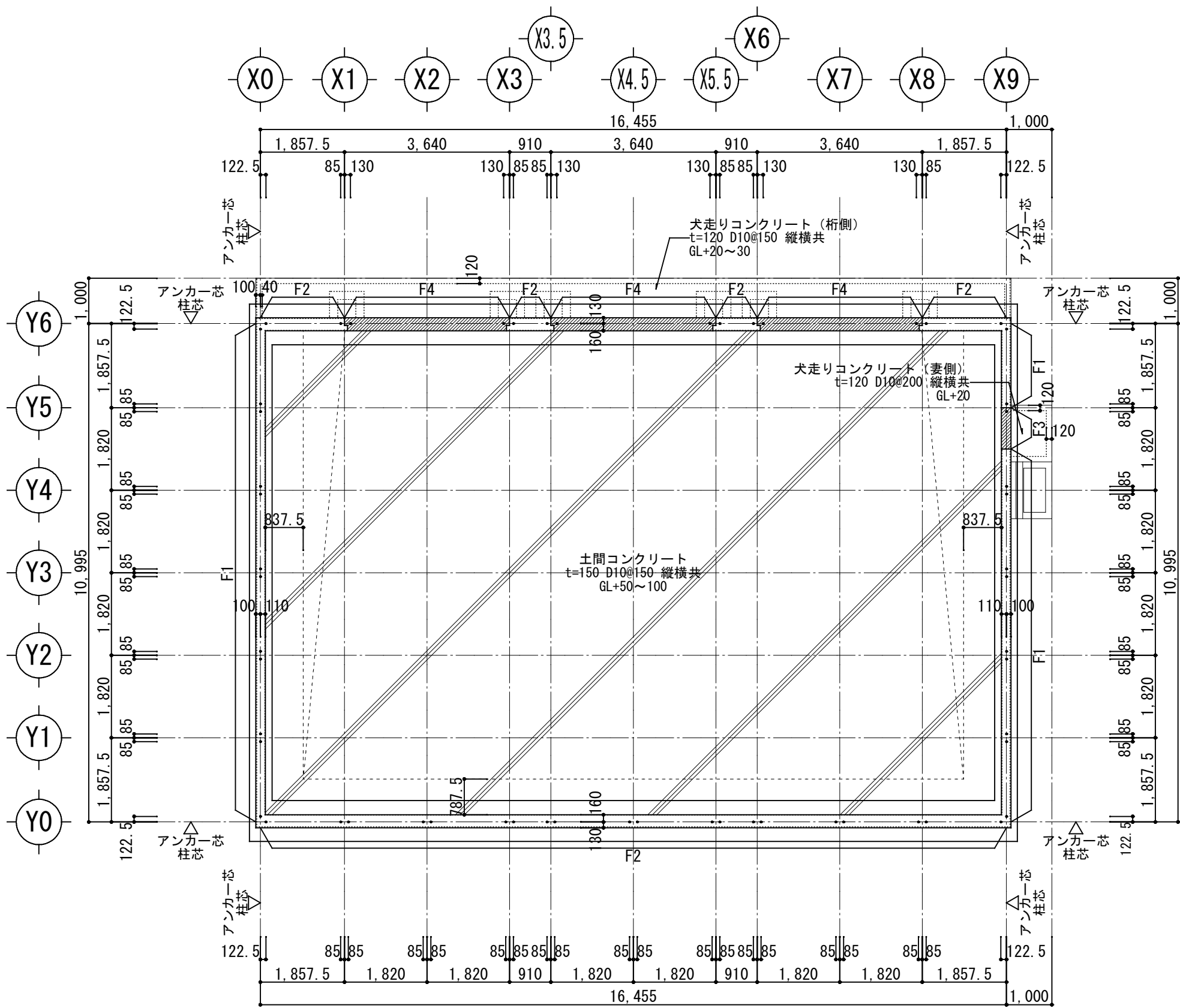
■ 錆止めのペイント
□ JIS K 5621 、 ■ JIS K 5674

7. 設備関係

- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合は、スラブ厚さの $1/3$ 以下とし管の間隔を管径の 3 倍以上かつ 5 cm 以上を原則とする。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く）は、

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計 図	DR. NO. S-15
DATE R08. 03. 19	車庫 構造設計特記仕様	SCALE	
		 	
	株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市土谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子	

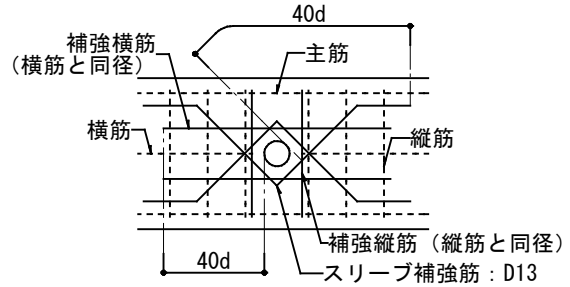


基礎切り下げ基礎天-450

車庫 基礎伏図 1/100

特記事項
1. 基礎梁にスリーブを設置する場合は、
スリーブ補強詳細図を参考に補強すること。

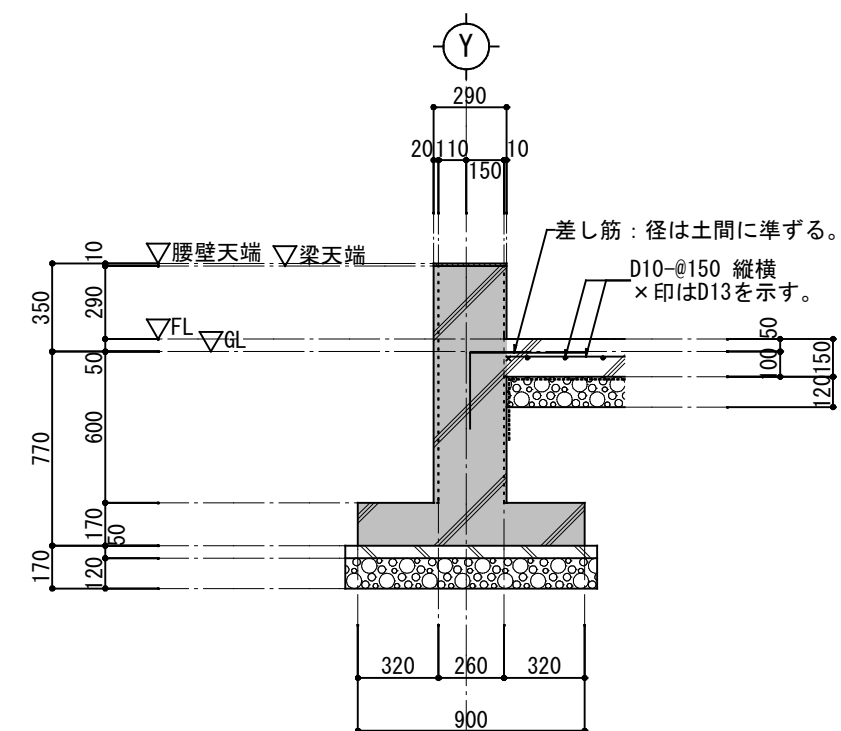
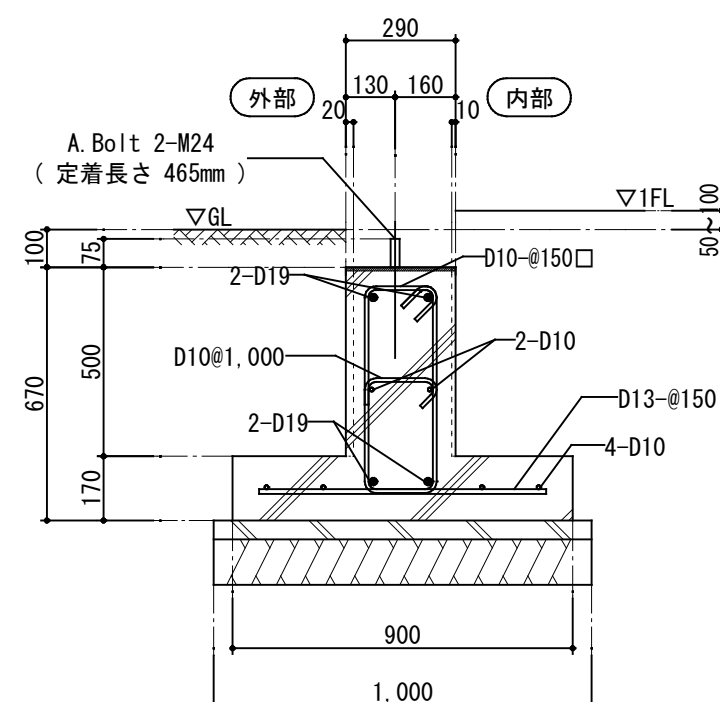
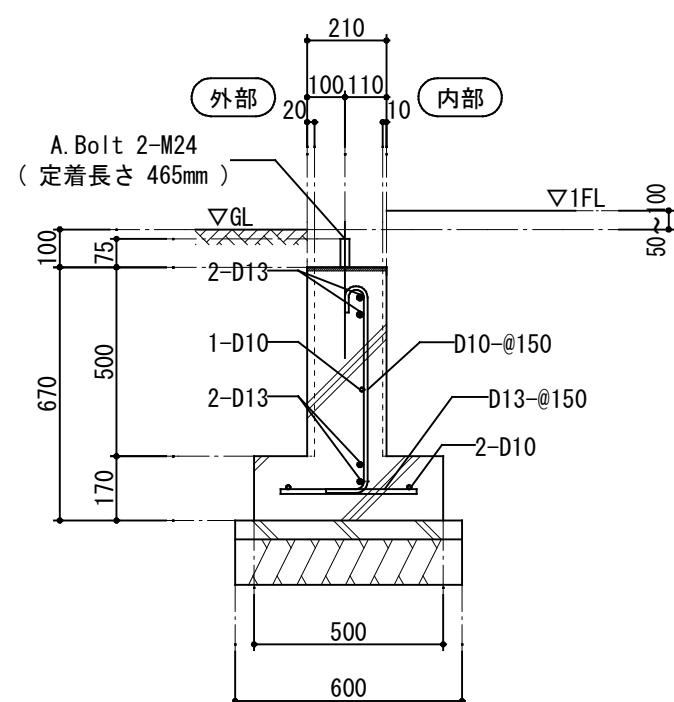
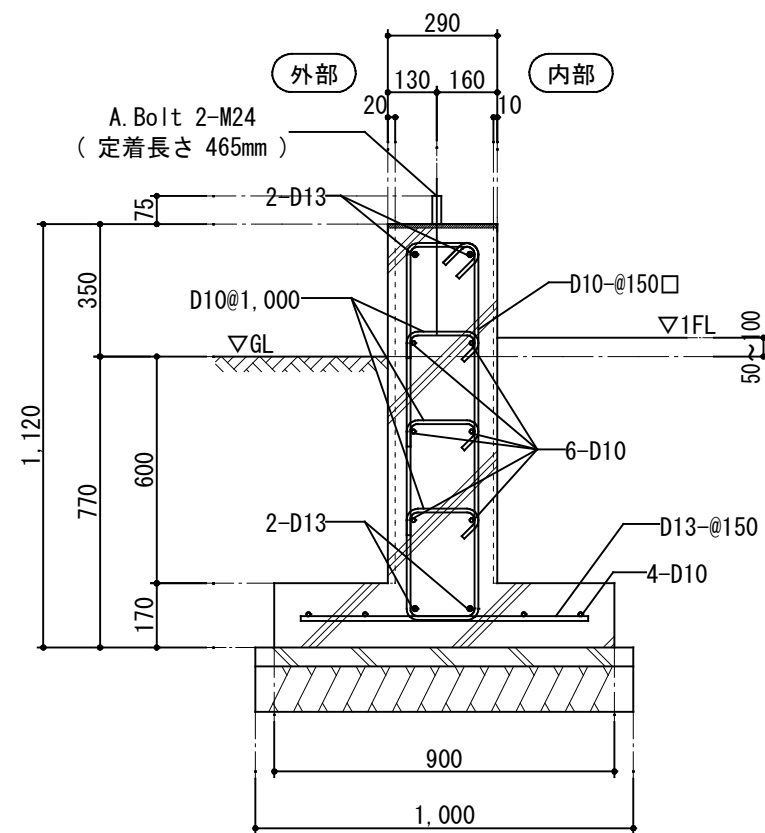
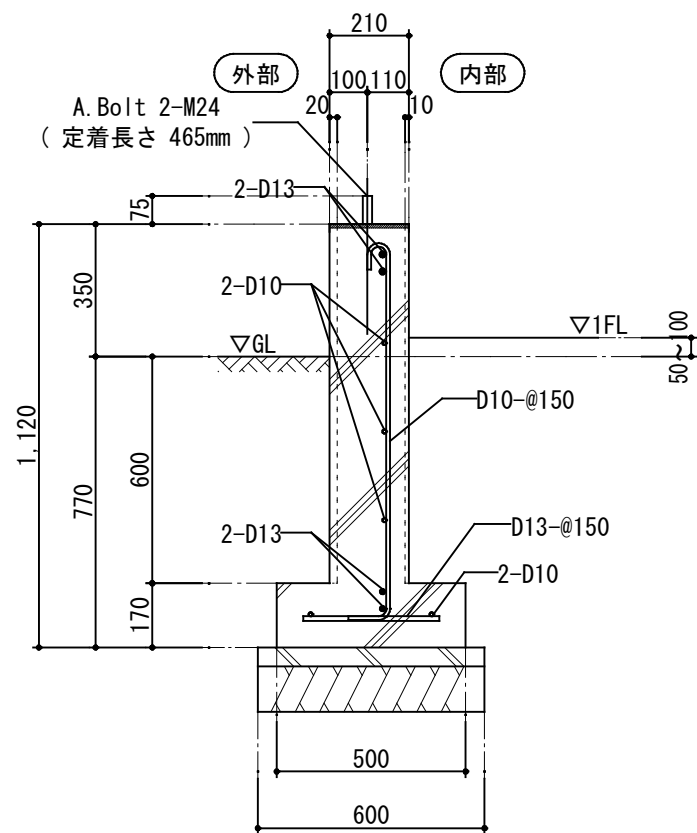
■基礎構造仕様	
設計地耐力	: 長期 50 kN/㎡ : 短期 100 kN/㎡
使用材料	
コンクリート	: Fc 21 N/mm2 (基礎、土間、その他付帯部)
コンクリート	: Fc 18 N/mm2 (捨てコン)
鉄筋	: SD295 (D16以下) SD345



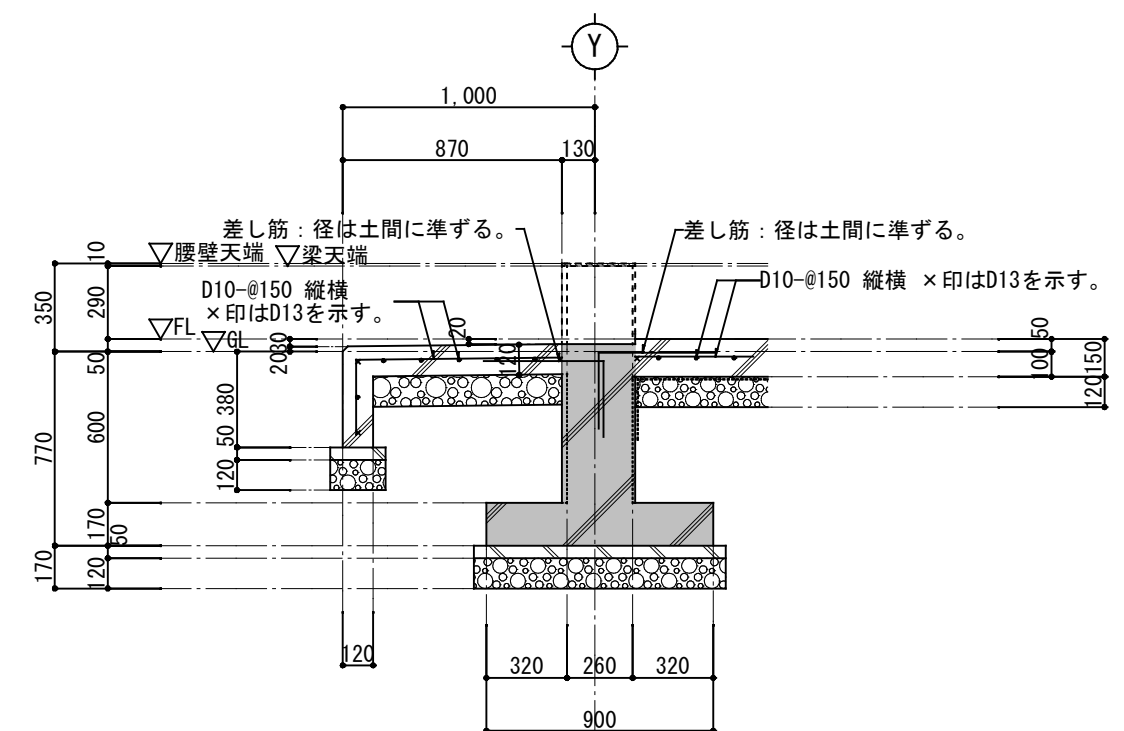
スリーブ補強詳細図 (参考図) 1/30

特記事項
1. スリーブ位置は柱直下を避け出来るだけ柱スパン中央付近とすること。
2. 縦筋及び横筋を切断した場合は、上記のように補強すること。
3. スリーブ周辺の鉄筋のかぶり厚さを必ず確保すること。
4. スリーブ径はφ125以下までとする。
4. 既成品のスリーブ補強筋でも可とする。
但し、既製品の適用範囲内で使用すること。

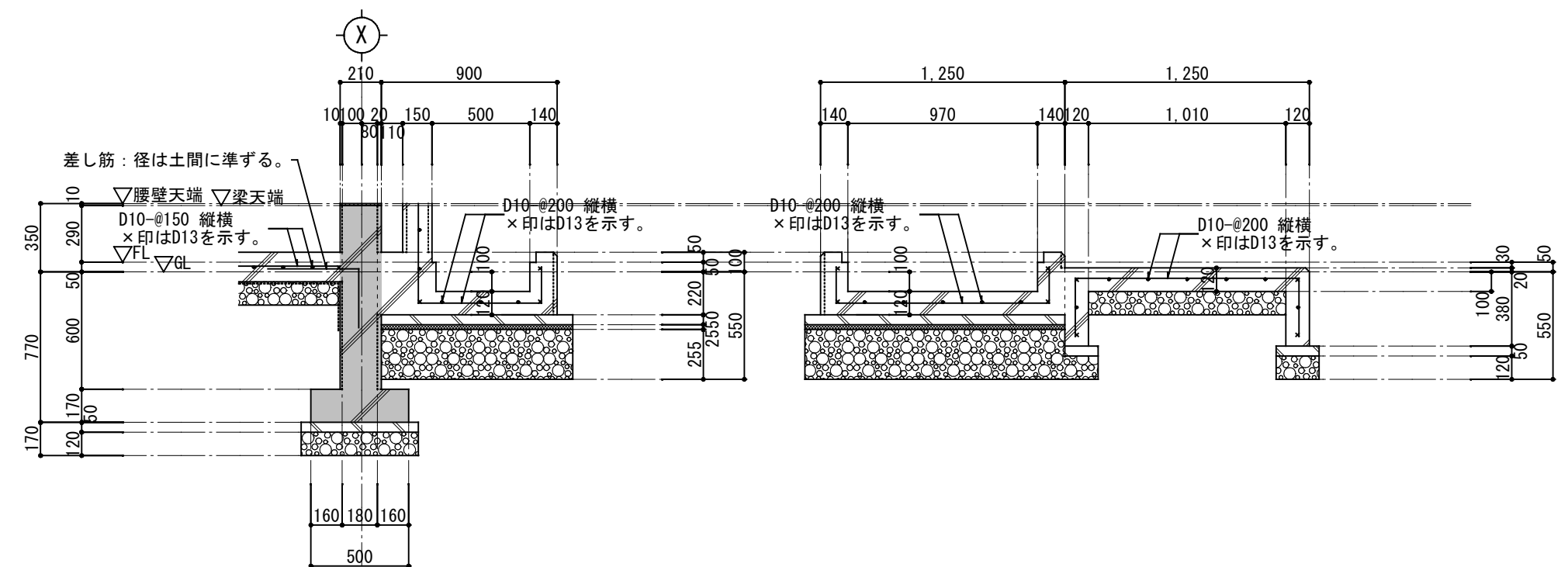
No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計図	DR. NO. S-16
DATE R08.03.19	車庫 基礎伏図 スリーブ補強詳細図 (参考図)		SCALE (A2) 1/100 1/30	
	株式会社 青和設計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子	



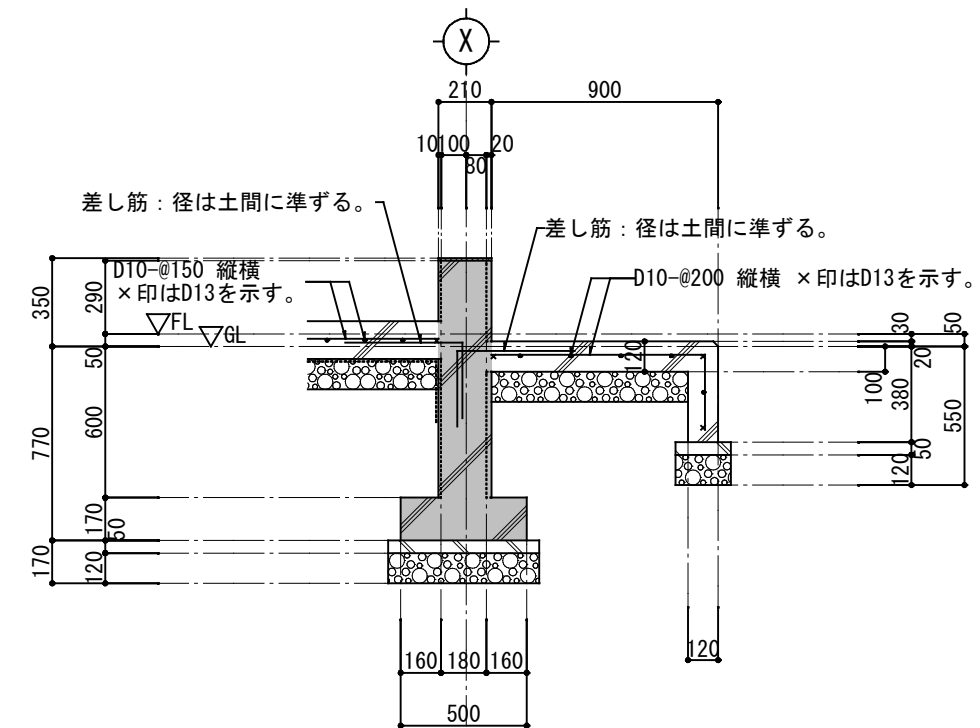
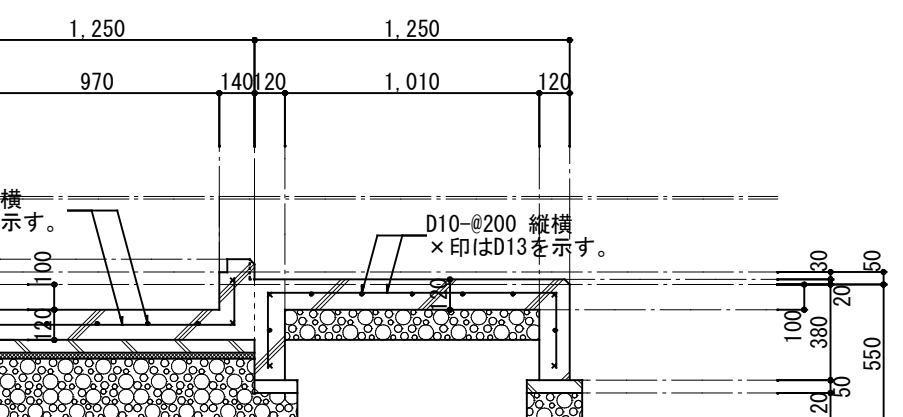
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。




※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。



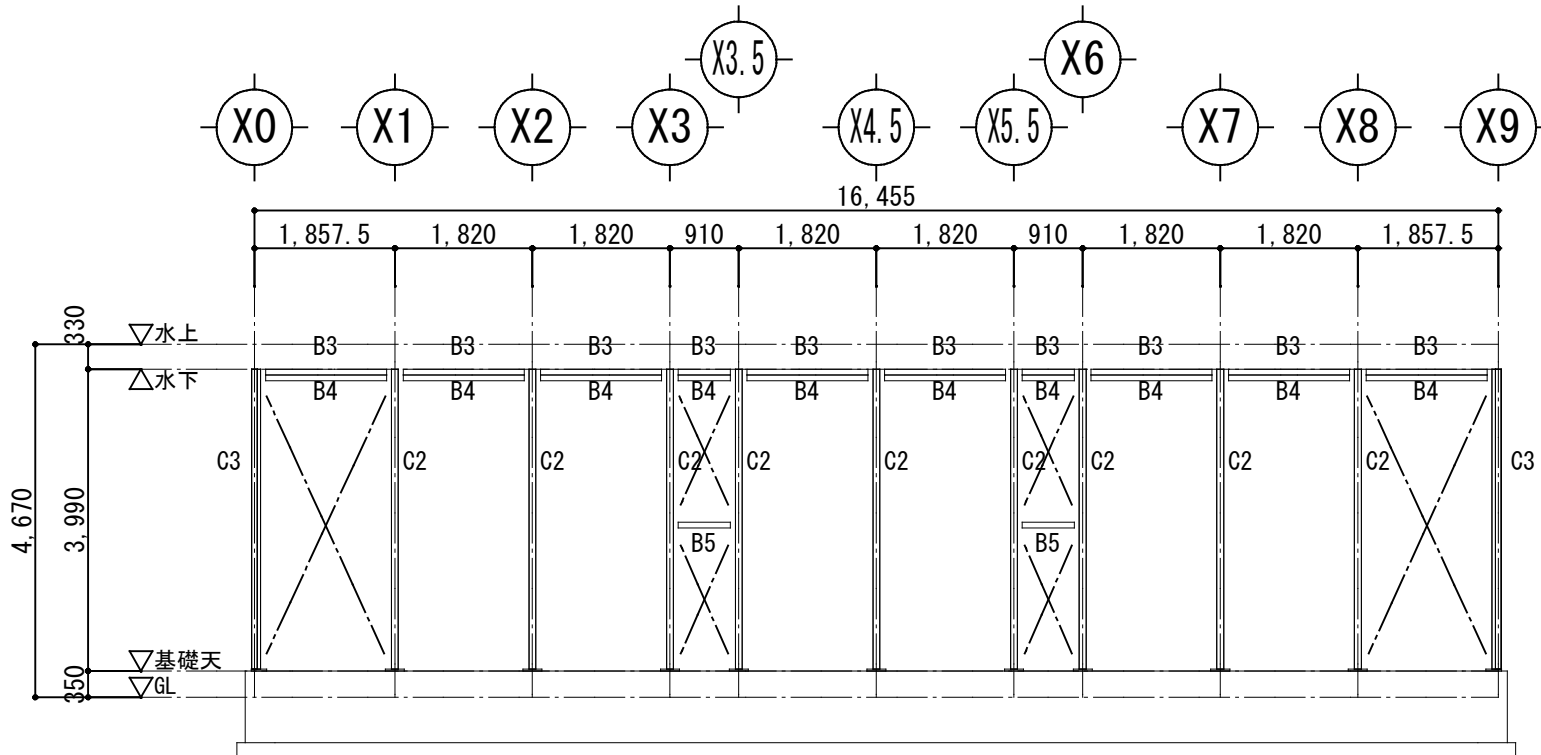
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。



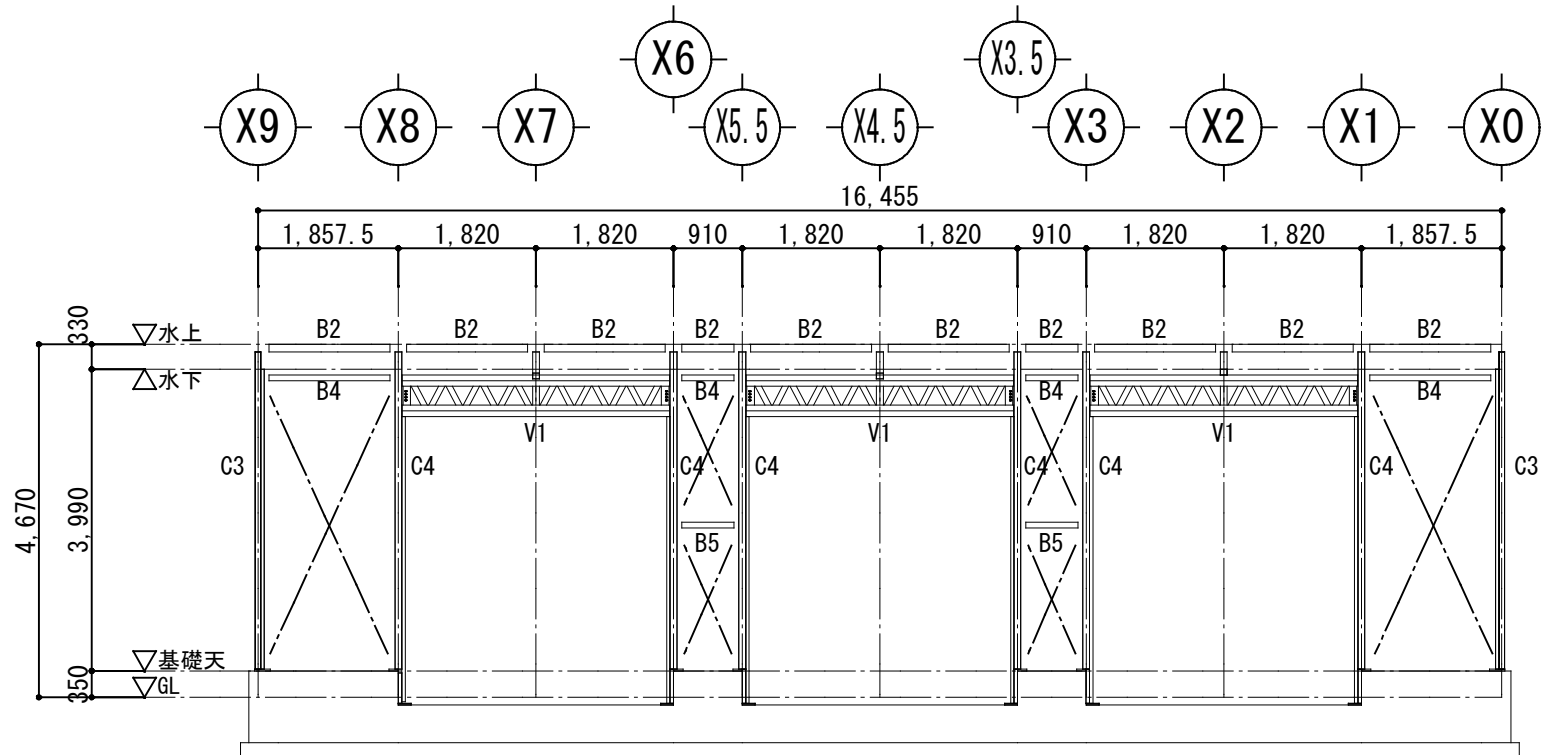
※塗潰し部分の基礎配筋は、各符号基礎断面詳細図による。

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 庫車 基礎詳細図 基礎取合詳細図  	DR. No.	S-17
DATE	R08. 03. 19		SCALE	(A2) 1/30 1/20
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		

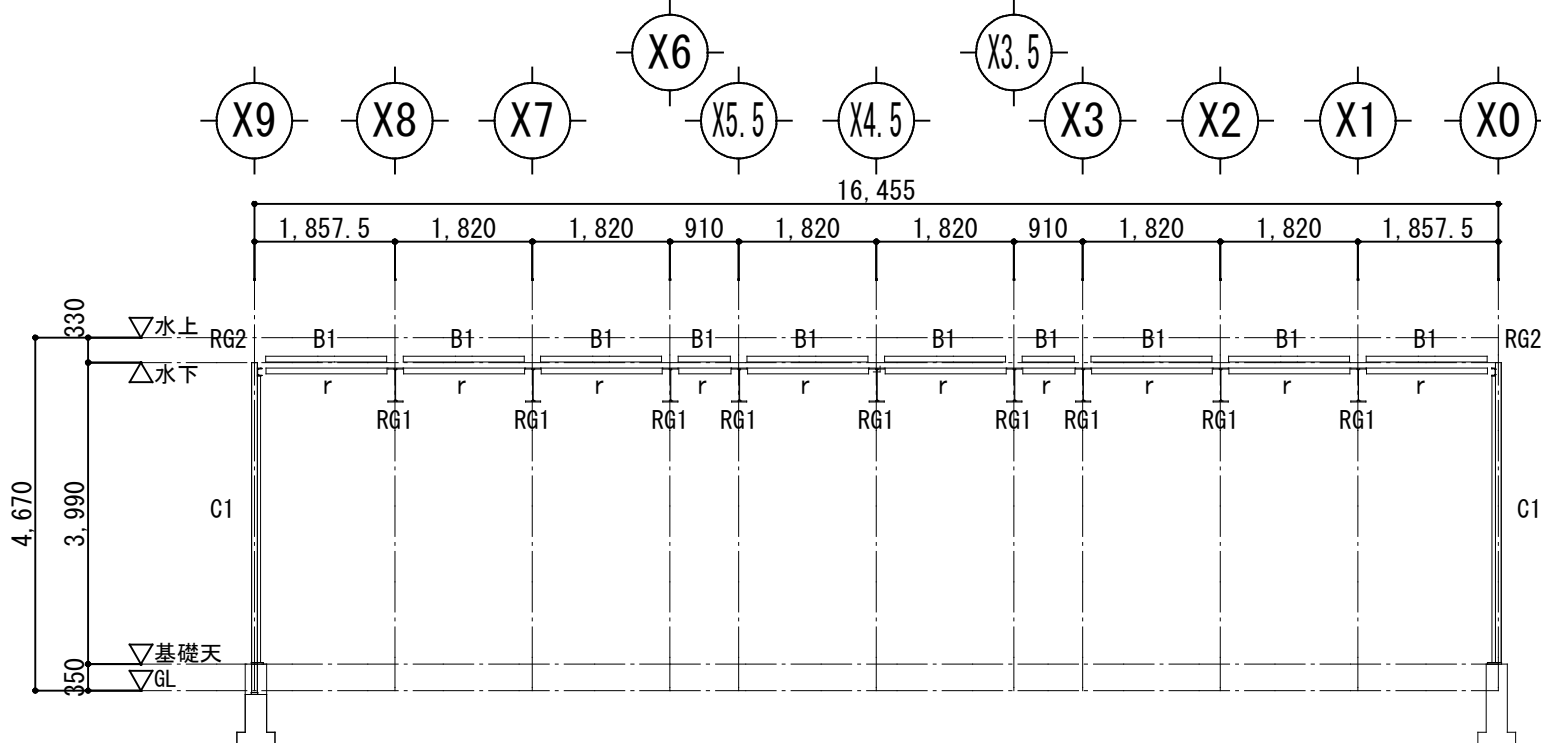
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO.	S-18
DATE	R08.03.19	車庫 梁伏図	SCALE	(A2) 1/100	
				 	
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子	
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			



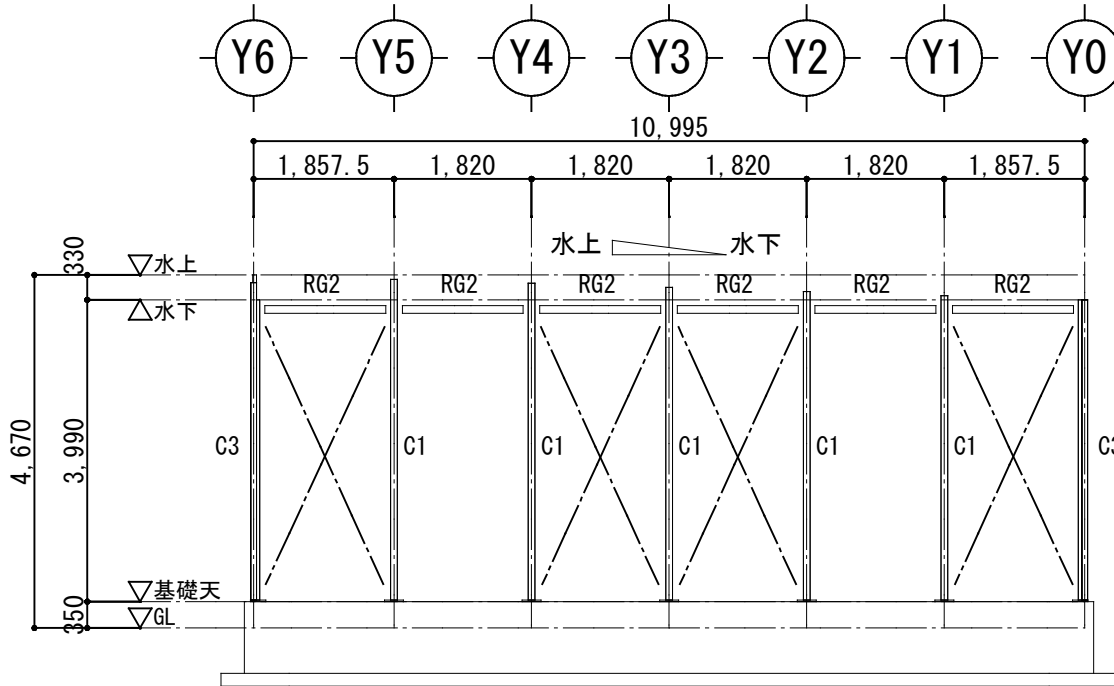
車庫 Y0通り軸組図 1/100
—— は、柱ブレースM20を示します。



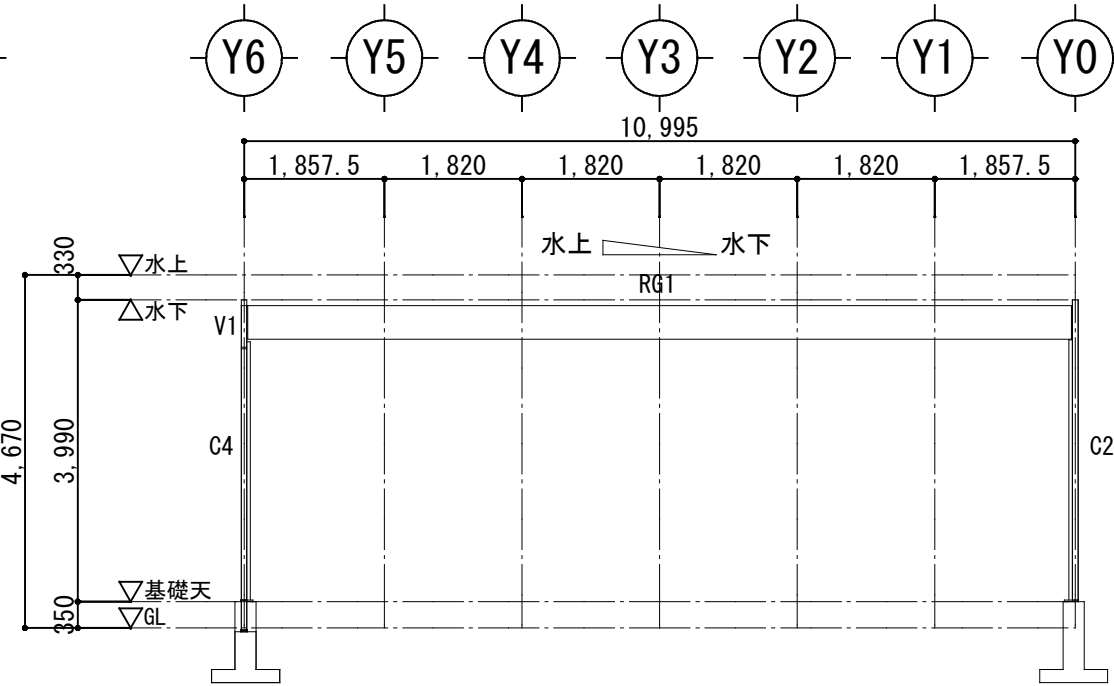
車庫 Y6通り軸組図 1/100
—— は、柱ブレースM20を示します。



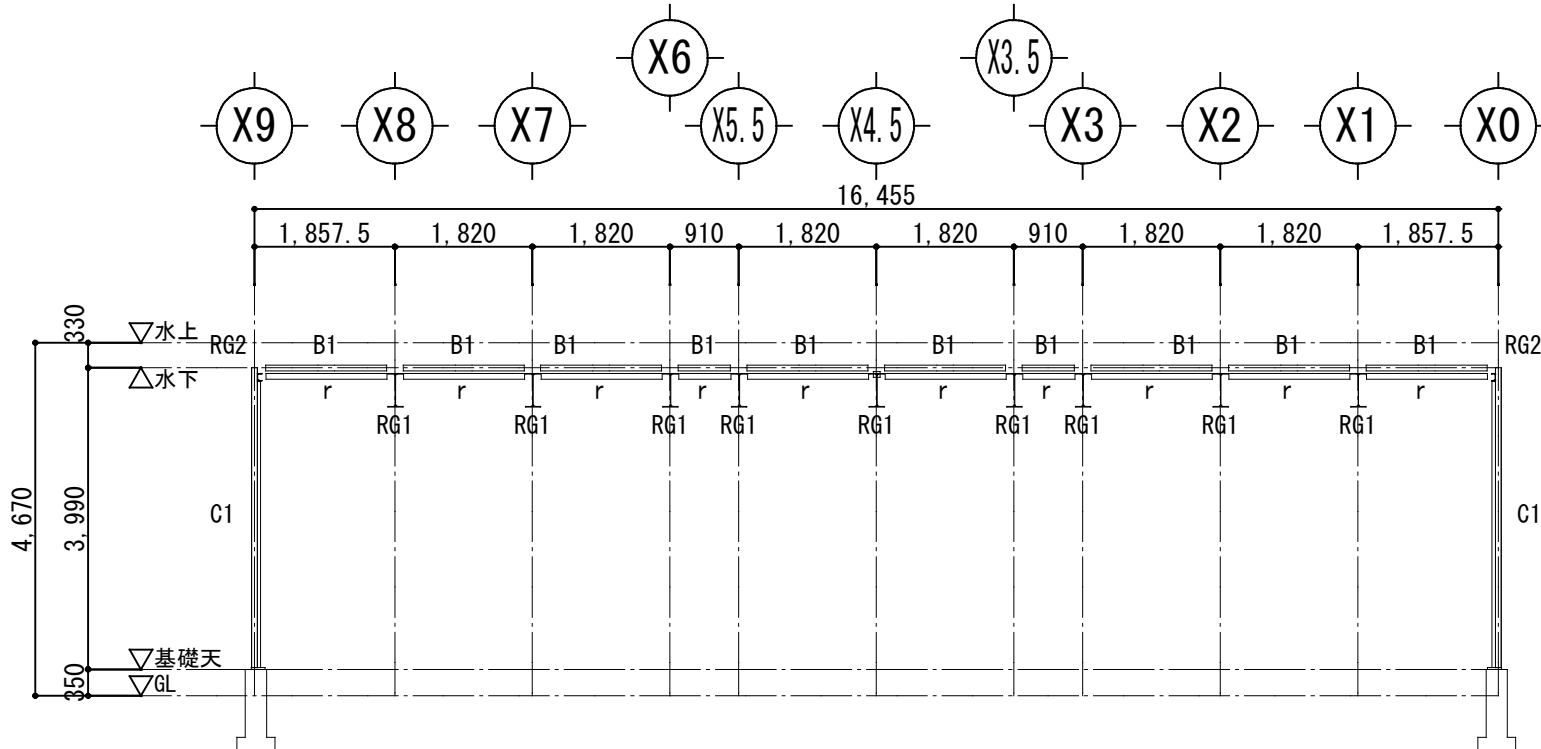
車庫 Y1通り軸組図 1/100



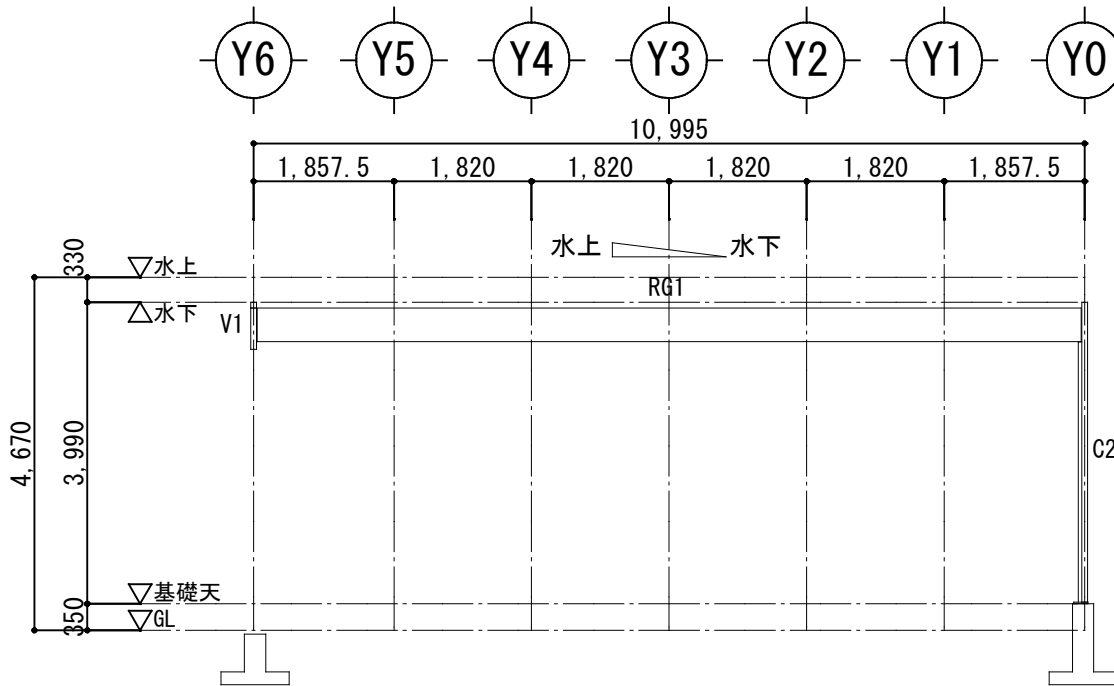
車庫 X0通り軸組図 1/100
—— は、柱ブレースM20を示します。



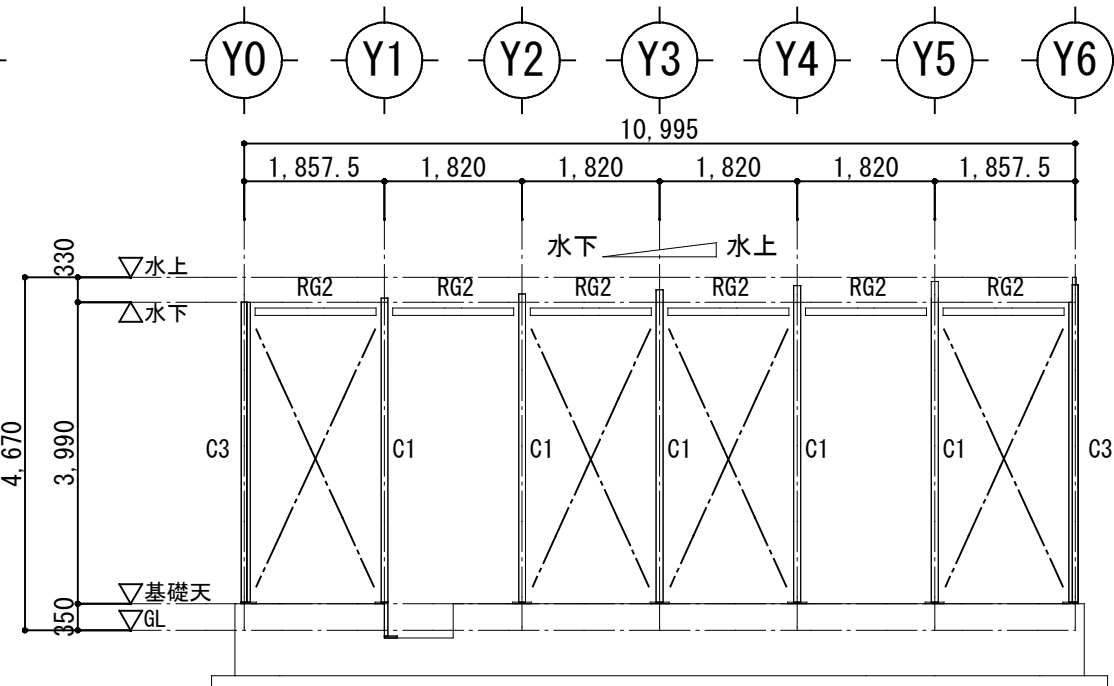
車庫 X1通り軸組図 1/100



車庫 Y4通り軸組図 1/100



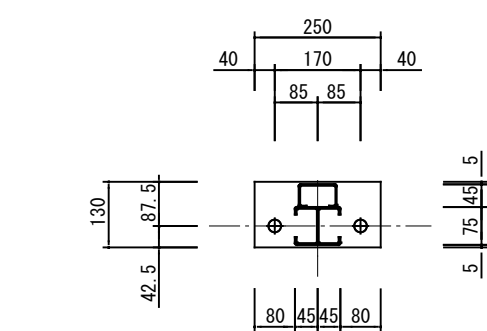
車庫 X4.5通り軸組図 1/100



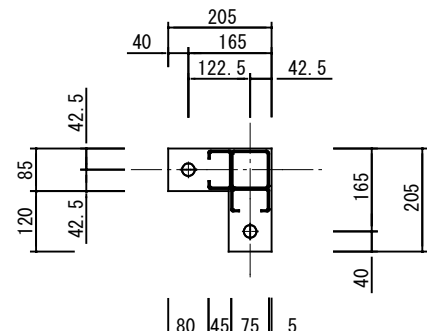
車庫 X9通り軸組図 1/100
—— は、柱ブレースM20を示します。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図	DR. NO. S-19
DATE R08.03.19	車庫 軸組図		SCALE (A2) 1/100	
				
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子	

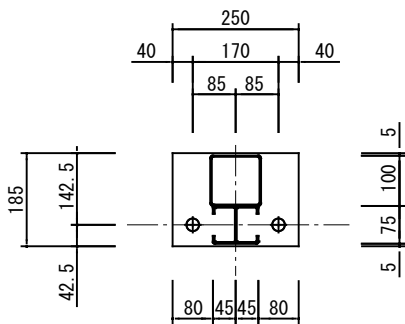
部材リスト					
名称	構造符号	断面・材質	細長比	仕口（プレート）	仕口（ボルト）
妻柱	C1	LipH-75x90x15x3.2x3.2 (SWH400L) + C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=144	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M24, 定着L=465 (全長L=600)
桁柱	C2	LipH-75x90x15x3.2x3.2 (SWH400L) + □-100x100x2.3 (STKR400)	λ=115	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M24, 定着L=465 (全長L=600)
隅柱	C3	□-75x75x2.3 (STKR400) + 2C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=108	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M24, 定着L=465 (全長L=600)
桁面開口柱	C4	LipH-75x90x15x3.2x3.2 (SWH400L) + □-100x100x2.3 (STKR400) + C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=115	B. PL-t=22	A. BOLT 2-M24, 定着L=465 (全長L=600)
小屋梁 (6K W)	RG1	H-446x199x8x12 (SS400)	λ=60	G. PL-t=6.0	中ボルト 5-M16
小屋梁 (S)	RG2	[-100x50x5x7.5 (SS400)	λ=123		中ボルト 2-M12
桁面開口梁	V1	上下弦材：2□-75x75x3.2 (STKR400) ラチス材：□-75x75x3.2 (STKR400)	λ=126 λ=16	G. PL-t=6.0	中ボルト 4-M16
梁継	r	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=108	G. PL-t=4.5	中ボルト 2-M12
中間母屋	B1	2C-75x45x15x2.3 (SSC400) @910			中ボルト 1-M12
桁面水上母屋	B2	□-100x50x2.3 (STKR400)	λ=87		中ボルト 1-M12
桁面水下母屋	B3	[-75x40x5x7 (SS400)	λ=156		中ボルト 1-M12
柱頭継	B4	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=108	G. PL-t=4.5	中ボルト 2-M12
柱中間継	B5	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	λ=54	G. PL-t=4.5	中ボルト 2-M12
柱ブレース	M20	M20ターンバックル (SNR400B)		ブレースシート-6.0, 羽子板PL-9.0	ボルト (強度区分10.9) 1-M20
水平ブレース	M12	M12ターンバックル (SNR400B)		ブレースシート-6.0, 羽子板PL-6.0	ボルト (強度区分10.9) 1-M16



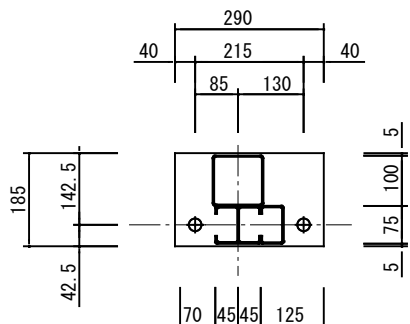
柱部材：LH-75x90x15x3.2x3.2
+C-75x45x15x2.3
BPL：PL-22
A. Bolt：2-M24 L=600（定着Lb=465）



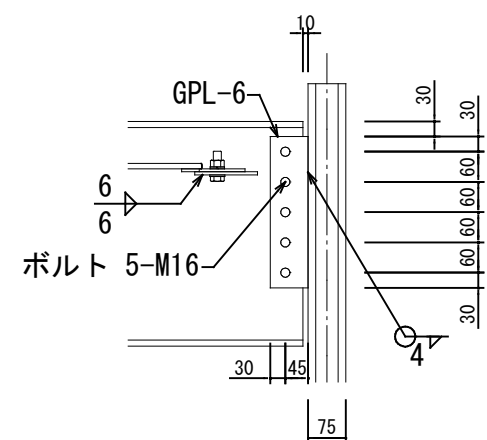
柱部材：2C-75x45x15x2.3
+□-75x75x2.3
BPL：PL-22
A. Bolt：2-M24 L=600（定着Lb=465）



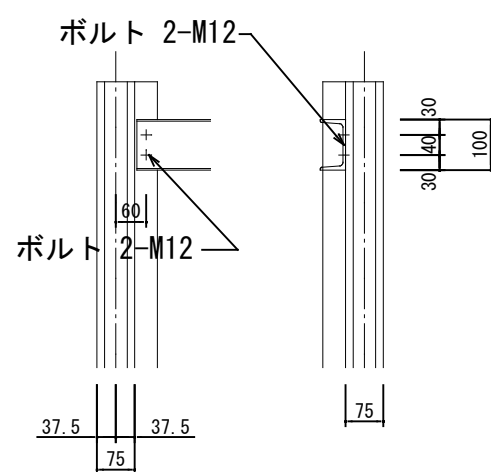
柱部材 : LH-75x90x15x3. 2x3. 2
+□-100x100x2. 3
BPL : PL-22
A. Bolt : 2-M24 L=600 (定着Lb= 465)



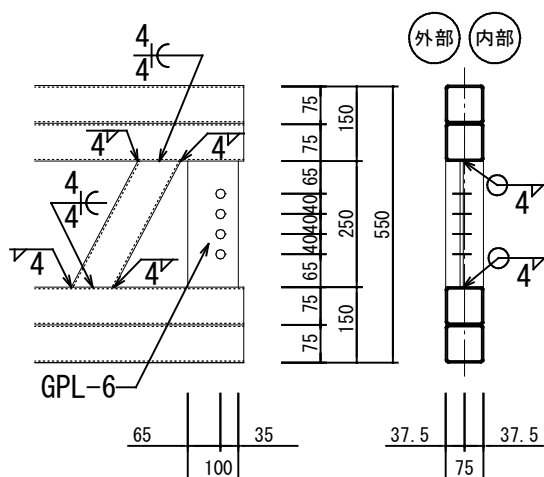
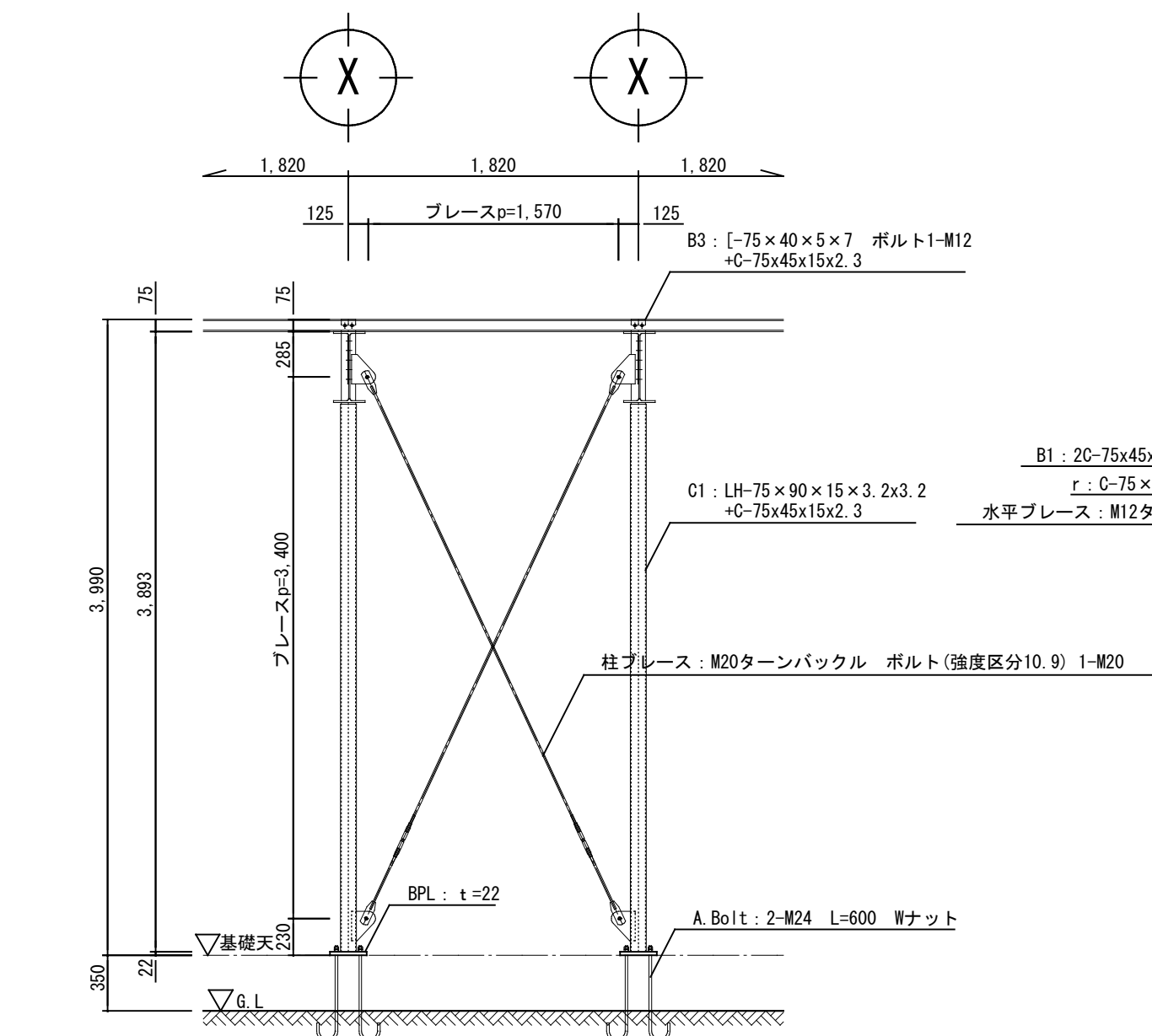
柱部材 : LH-75x90x15x3.2x3.2
+□-100x100x2.3+C-75x45x15x2.3
BPL : PL-22
A. Bolt : 2-M24 L=600 (定着Lb= 465)



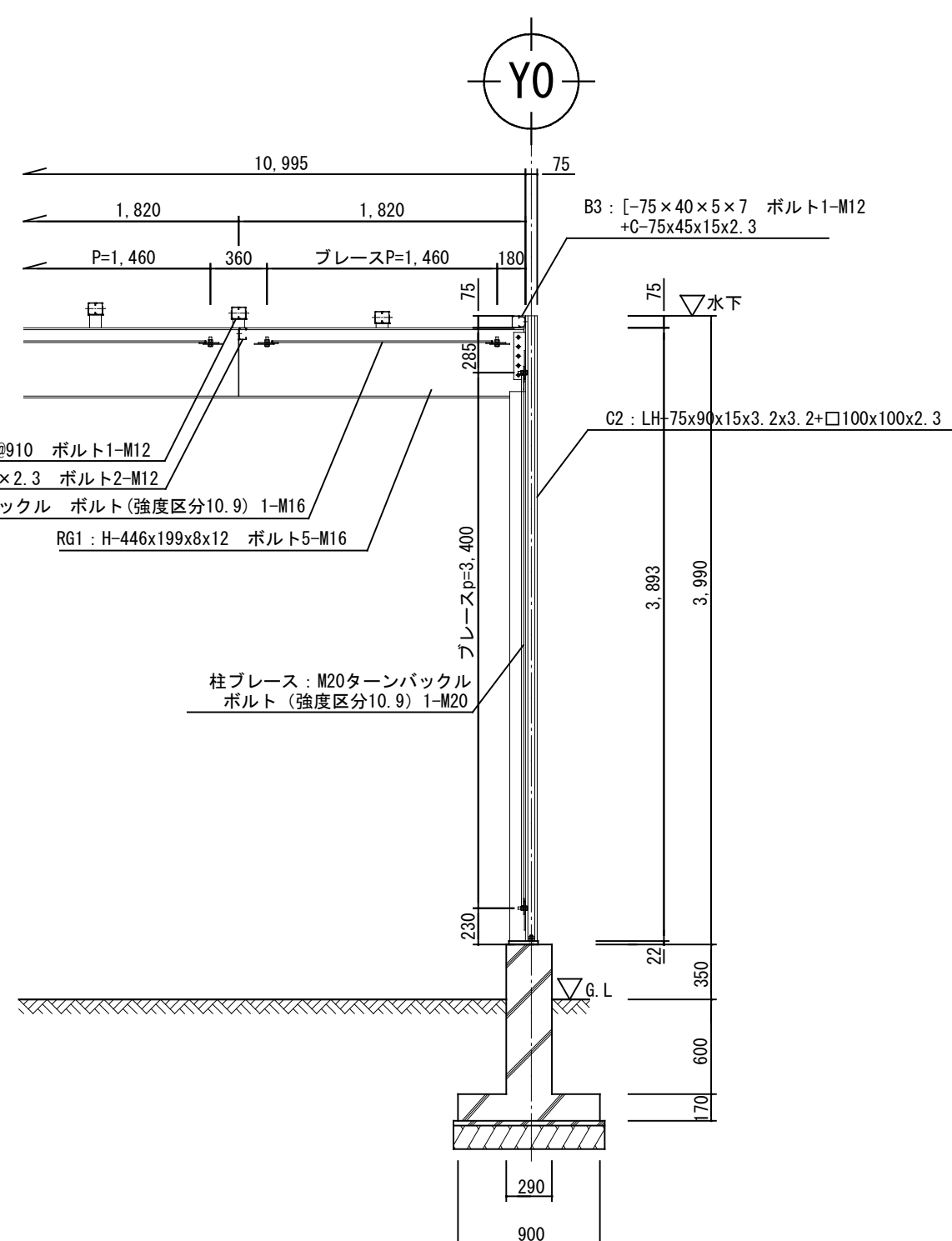
梁部材 : H-446x199x8x12
GPL : PL-6
Bolt : 5-M16(中ボルト)





梁部材 : [-100x50x5x7.5
Bolt : 2-M12(中ボルト)



梁上弦材 : 2□-75x75x3.2
 梁上弦材 : 2□-75x75x3.2
 ラチス材 : □-75x75x3.2
 GPL : PL-6
 Bolt : 4-M16(中ボルト)



No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO.	S-20
DATE	R08.03.19	車庫 部材リスト 柱脚・梁詳細図 架構図	SCALE	(A2) 1/15 1/40	
				 	
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子	
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			

電気設備工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

黒石市あけぼの町 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数			建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備考
		地上	地下	塔屋				
農作業小屋	S造	1階			100.87	(6)項二	一般の施設	新築 1棟
農機具庫	S造	1階			75.83	(14)項	一般の施設	新築 1棟
バス車庫	S造	1階			180.92	(13)項イ	一般の施設	新築 1棟
東屋	S造	1階			25.78			新築 1棟

3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)

工事種目	建物別及び屋外				備考
	農作業小屋	農機具庫	農機具庫	東屋	
●電灯設備	新設一式	新設一式	新設一式	新設一式	
●動力設備	新設一式		新設一式		
○電気自動車用充電設備					
○電熱設備					
○雷保護設備					
○受変電設備					
○電力貯蔵設備					
○発電設備					
○構内情報通信網設備					
○構内交換設備					
○情報表示設備					
●映像・音響設備				新設一式	
○拡声設備					
○誘導支援設備					
○テレビ共同受信設備					
○監視カメラ設備					
○駐車場管制設備					
○防犯・入退室管理設備					
○火災報知設備					
○中央監視制御設備					
○					
●構内配電線路					新設一式 外灯設備を含む
●構内通信線路					新設一式
○					
○					

4. 指定部分

●なし
○あり 範囲: 工期: 令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書のうち、●印が付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

特記事項は、●印の付いたものを適用する。

- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
一般	○ 1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <ul style="list-style-type: none">○ 風圧力 風速（V₀= ） 地表面粗度区分（ ）○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（ ）
	● 2. 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
	● 3. 機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 <ul style="list-style-type: none">① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。③ 安定的な供給が可能であること。④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名

LED照明器具（一般屋内用に限る。）

照明制御装置

可変速運転用インバータ装置

分電盤

制御盤

キュービクル式配電盤

高圧スイッチギヤ（CW）

高圧スイッチギヤ（PW）

高圧交流遮断器

高圧変圧器（特定機器）

高圧進相コンデンサ

高圧限流ヒューズ

高圧負荷開閉器

交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）

太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）

監視カメラ装置

中央監視制御（監視制御装置）

注*

JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤ（図 ～ ）を含む。
JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤの製造業者等は、上記（2）①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ（CW）/（PW）【*を付した機材名を記載】について上記（2）①～⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、「①品質及び性能に関する試験データを整備していること。」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

○ 4. 環境への配慮

（1）本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

- ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
（1）設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
①設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。
設計用標準水平震度

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。

- 配電盤
- 発電装置（防災用）
- 直流電源装置
- 交流無停電電源装置
- 交換装置
- 自動火災報知受信機
- 中央監視制御装置
-

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。
（3）1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。

● 7. 足場その他

※ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で利用できる。
○ 本工事で設置する。（ 図参照 ）
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

● 8. 電源周波数

50Hz

● 9. 支持金物・固定金具

イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
EM-高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。

● 10. 電線・ケーブル

イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
EM-高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。

● 11. ケーブルの種類

屋外でEM-高圧架構ポリエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、端部にシュリンクバック対策を施す。

● 12. ケーブルの接続

屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/㎡以上）」仕上げとする。

● 13. 厚鋼電線管

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 14. 合成樹脂製可とう管

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 15. 電線本数、管路など

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 16. インサート

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 17. フラッププレート

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 18. フロアプレート

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 19. 監視制御システムの監視

外部ネットワークと接続する制御システム
○ あり（対象設備 ○ 受変電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 中央監視制御設備 ○

● 20. 接地極の種別及び位置表示

外部ネットワークと接続する制御システム
○ あり（対象設備 ○ 受変電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 中央監視制御設備 ○

● 21. 塗装

○ なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
対策機器（○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤 ○ 通信キャビネット ○

● 22. 機器取付高さ

図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない

● 23. 保温、結露防止

図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない

● 24. 呼び線

図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない

● 25. 本受電後の基本料金

図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない

各

● 1. タンブラスイッチ

○ 2. O.Aフロア用配線器具の差

○ 3. 人感センサー用プレート

○ 4. 人感センサー用プレート

○ 5. ターミナルユニット付リモコンリレー

● 6. LED照明器具

● 7. 一般照明の照度測定

● 8. 分電盤

○ 9. 制御盤

● 1. タンブラスイッチ

○ 2. O.Aフロア用配線器具の差

○ 3. 人感センサー用プレート

○ 4. 人感センサー用プレート

○ 5. ターミナルユニット付リモコンリレー

● 6. LED照明器具

● 7. 一般照明の照度測定

● 8. 分電盤

○ 9. 制御盤

表1「接地極一覧表」

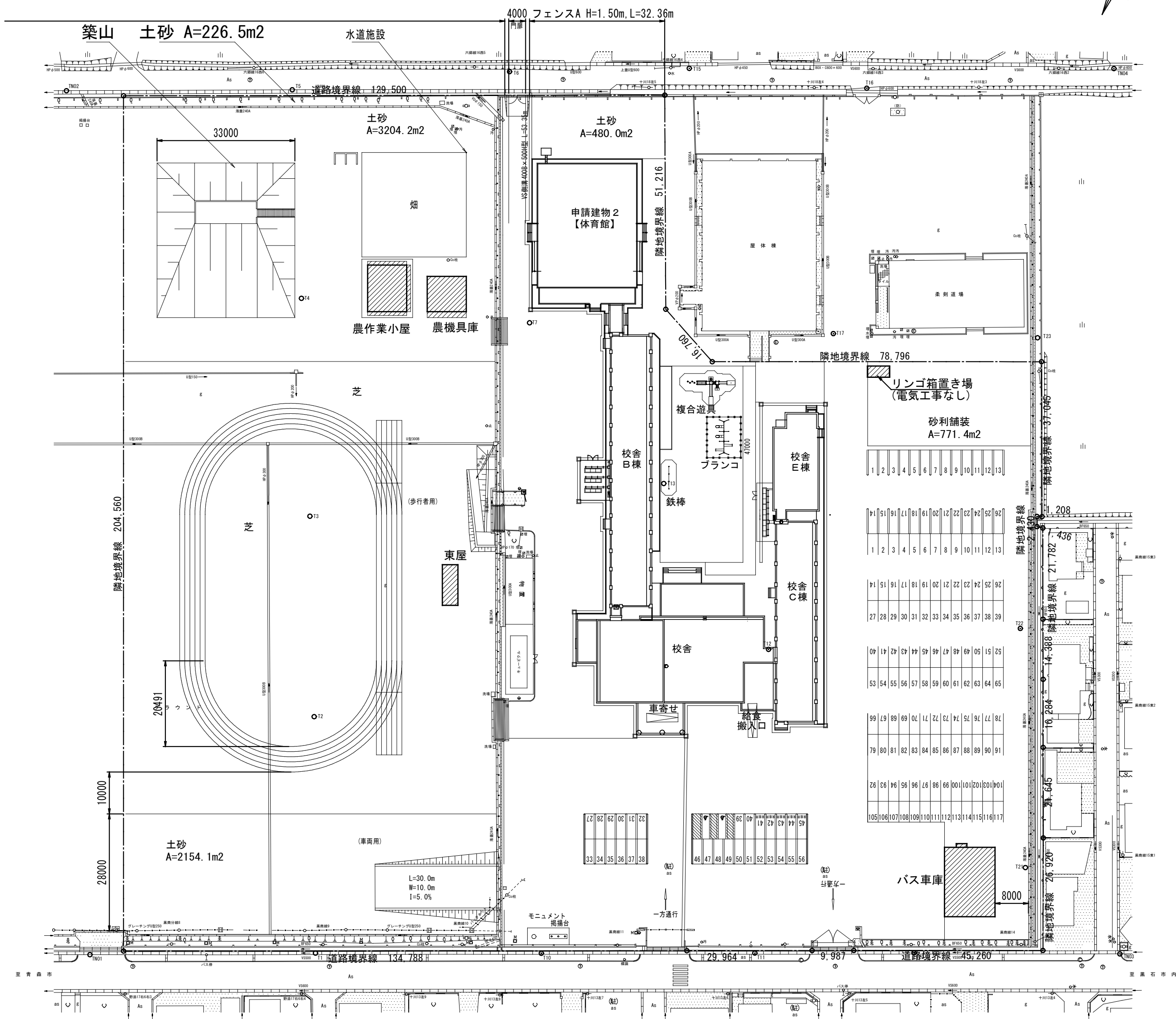
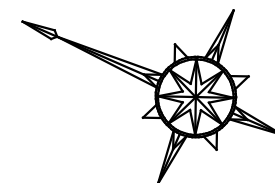
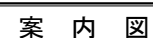
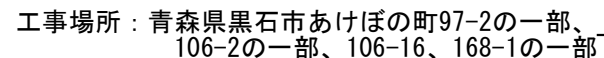
接地極の種別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地極の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○ 雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 共同接地	EAEDEH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 共同接地	EAECEH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ A種接地	EA	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ B種接地	EB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2
○ C種接地	EC	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ D種接地	ED	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
● 漏電遮断器回路	EEL	500Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○ 構内交換機（隠極用）	E+	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 電話引込口の保安装置	ELt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○ アンテナ保安装置	ELt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○ 拡声増幅器	EDt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○ 防犯装置用	ES	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○			
○ 測定用補助接地極	Eo	—	EB（D=10又はW=30）×1
○ 避雷器用（低圧用）	EIL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 避雷器用（高圧用）	EIH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
○ 避雷器用（モテム用）	EMD	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1

表2「機器取付高さ」

機	測	点	取付高(mm)	
共通	積算用計器	地上～	1,800～2,000	
	引込開閉器	窓中心	1,800～2,200	
電	分電盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	スイッチ（一般）	床～中心	1,300	
	スイッチ（ハリフアール）	床～中心	1,100	
	スイッチ（和室）	床～中心	1,200	
	コンセント（一般）	床～中心	300	
	コンセント（和室）	床～中心	150	
	コンセント（台）	台～中心	150～200	
	コンセント（厨房）	床～中心	800～1,000	
	コンセント（車庫）	床～中心	1,300	
	コンセント（機械室）	床～中心	500～1,000	
灯	コンセント（屋外）	地上～中心	1,000～1,300	
	フラット（一般）	床～中心	2,100～2,300	
	フラット（暗場）	床～中心	2,000～2,500	
	フラット（鏡上）	鏡上端～中心	150	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
	試験用接地端子箱	床～下端	800	
	雷保護			
	受変電			
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	900、400 (各1個)	
	壁付インター（親機）	床～中心	1,300	
	壁付インター（玄関子機）	床～中心	1,100	
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床～中心	1,300	
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100	
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900	
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500 (上限1,900以下)	
	開閉器箱	床～中心	1,500	
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	
試験用接地端子箱	床～下端	800		
雷保護				
受変電				
誘導支援等	接地端子箱	床～中心	500	
	呼出しボタン（ハリフアール）	床～中心	9	

工事区分表（他工事との取合い等）																																							
項 目						A	E	M	EV		備 考						項 目						A	E	M	EV		備 考											
躯体関係												仕上げ関係																											
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け					○	○	○	○			1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強					○						11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け					○				排煙口はM					
	補強を要する型枠材及び取付け					○					補強を要しないボードの切り込み						○	○				消火器ボックス設置工事					○												
	補強を要しない型枠材及び取付け					○	○	○	○		開口部の墨出し						○	○				誘導標識（誘導灯を除く）					○												
	貫通孔・開口部の墨出し					○	○	○	○													煙突底部排水目皿・排水管					○												
	貫通孔・開口部の補強					○					2. 可動間仕切り	切込み及び補強					○						くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管					○											
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○	○	○			防火区画、防煙区画					○						くつ洗い流し部排水金物・排水管					○											
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強					○						3. つりボルト 及び インサート													屋外排水設備・外構						○								
	使用されたスリーブの穴埋め					○	○	○	○		防火区画、防煙区画						○	○				雨水流入配管					○				電動遮断弁以降はM								
	予備スリーブの穴埋め					○	○	○	○		防火区画、防煙区画											雨水利用設備集水管							○		屋上緑化用灌水装置 までの配管はM								
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）					○					4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ					○						1. 雨水						○										
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）						○	○				ウエザーカバー、ベントキャップ（シール共）							○					マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ					○				公共下水道が分流式 の場合						
	屋外・屋上の基礎					○						換気扇（取付枠共）							○					雨水公設樹					○										
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの						○	○				サッシパネル開口					○																						
	機器取付け用アンカー・架台						○	○			5. 湯沸室まわり																												
	屋内受水タンク用の基礎					○						流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台					○																						
4. 昇降機関連	太陽電池アレイ用架台（支持金物）					○	○				AとEの区分は図示					○						フード（標準詳細図のもの、シール共）					○				その他はM								
	機械室・昇降路の躯体					○					6. 浴室まわり	ミニキッチン（照明、水栓含む）					○																						
	機械室の床開口					○																																	
	機械室の床配管ビット・ふた					○						浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット							○				2. 雑排水・汚水 電力・通信	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備							○								
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上					○						既製浴槽（ふたを含む）							○					樹及び樹ふた					○										
	機械室・昇降路内換気設備							○				浴室及び便所の床排水金物							○					ハンドホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ					○										
	巻上機周囲のチェッカープレート敷								○		7. 便所まわり													マンホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ					○				公共下水道が合流式 の場合						
	昇降路内ビット防水・集水樹					○						洗面カウンター					○						3. 植栽	排水公設樹							○								
	点検用タラップ								○			鏡（規格寸法のみ）							○					植栽及び客土					○										
	各階出入口穴あけ・同補強					○						衛生器具ユニット							○																				
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修								○		8. 事務室まわり	手すり、背もたれ					○						4. ユニット形 浄化槽	衛生器具ユニットの 場合はM															
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材					○																		タンク室の躯体					○										
	出入口扉・三方枠及び幕板								○			ファンコイルカバー					○							タンク室の砂充てん							○								
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨					○						家具組み込みの洗面器							○					上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等							○								
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式								○		9. フリーアクセスフロア												5. 屋外オイル タンク	タンク室の躯体					○										
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース					○						コンセント						○						タンク室の砂充てん							○	○							
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）					○						床パネルの切り込み加工					○							上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等							○	○							
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口					○					10. 自動扉 電動シャッター まわり													6. その他	配管トレンチ及び蓋					○									
	点検用コンセント・煙感知器						○					防火戸の自動開閉装置						○					駐車場ガソリントラップ（RC造）				○												
	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事						○					上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置					○					屋外キュービクルフェンス（扉・錠共）				○													
	EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事								○			排煙窓本体・自動開閉装置					○																						
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事						○					防煙たれ壁本体・駆動装置					○						電気配線配管																
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事						○				上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器					○						機器附属の制御盤以降の2次側配管配線（接地線共）							○	○										
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事						○				自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）					○						機器附属の制御盤への1次側電源供給配管配線（接地線共）					○													
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事								○		自動扉の手元電源スイッチ						○					自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）					○													
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事								○		電気錠の本体、扉内配線					○						機器と附属操作スイッチの渡り配管配線							○	○										
トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽					○					11. その他		電気錠の扉までの配管及び配線						○					煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				○												
同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等					○						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ					○						全熱交換ユニットから連動する電動ダンパーへの電源供給配管配線				○													
雷保護設備・同接地工事						○					自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事					○						注油口内アース端子よりのアース用配管配線					○	○											
ALC板の壁開口・補強					○						自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線						○					ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線						○											
厨房排水溝					○						11. その他	2重ビット及びびトレンチのマンホールふた					○						ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線						○										
厨房グリース阻集器								○				機器搬入用フック、ビーム					○						機器・電極棒用の電源配管配線						○			電極棒はM							
オイルサーピスタンの防油堤					○							チェーンブロック						○	○				屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置の電源、 信号線の配管・配線						○										
フリーアクセスフロア内の防水堤					○							化粧マンホール上ふたの表面仕上げ					○																						
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）					○	○	○					点検口（天井・床下）					○																						
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。					この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の 工事内容を示すものではないことに留意すること。																																	
																		No. 25900																					
																		DATE R08.03.19																					
																	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設 計 図 DR. NO. E-02																						
																	工事区分表 SCALE																						
																	株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子																						



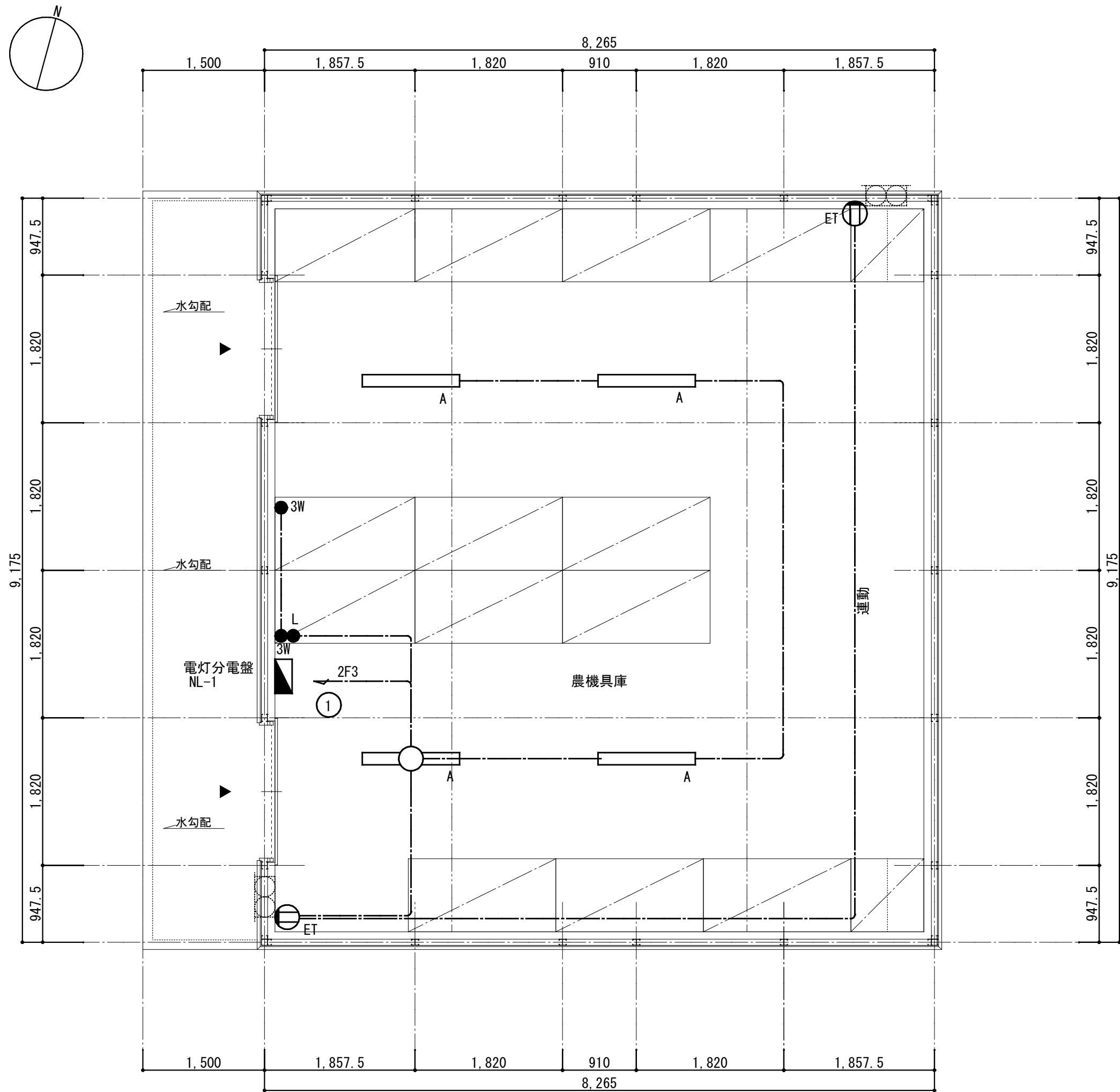
凡例

配置図

1/800

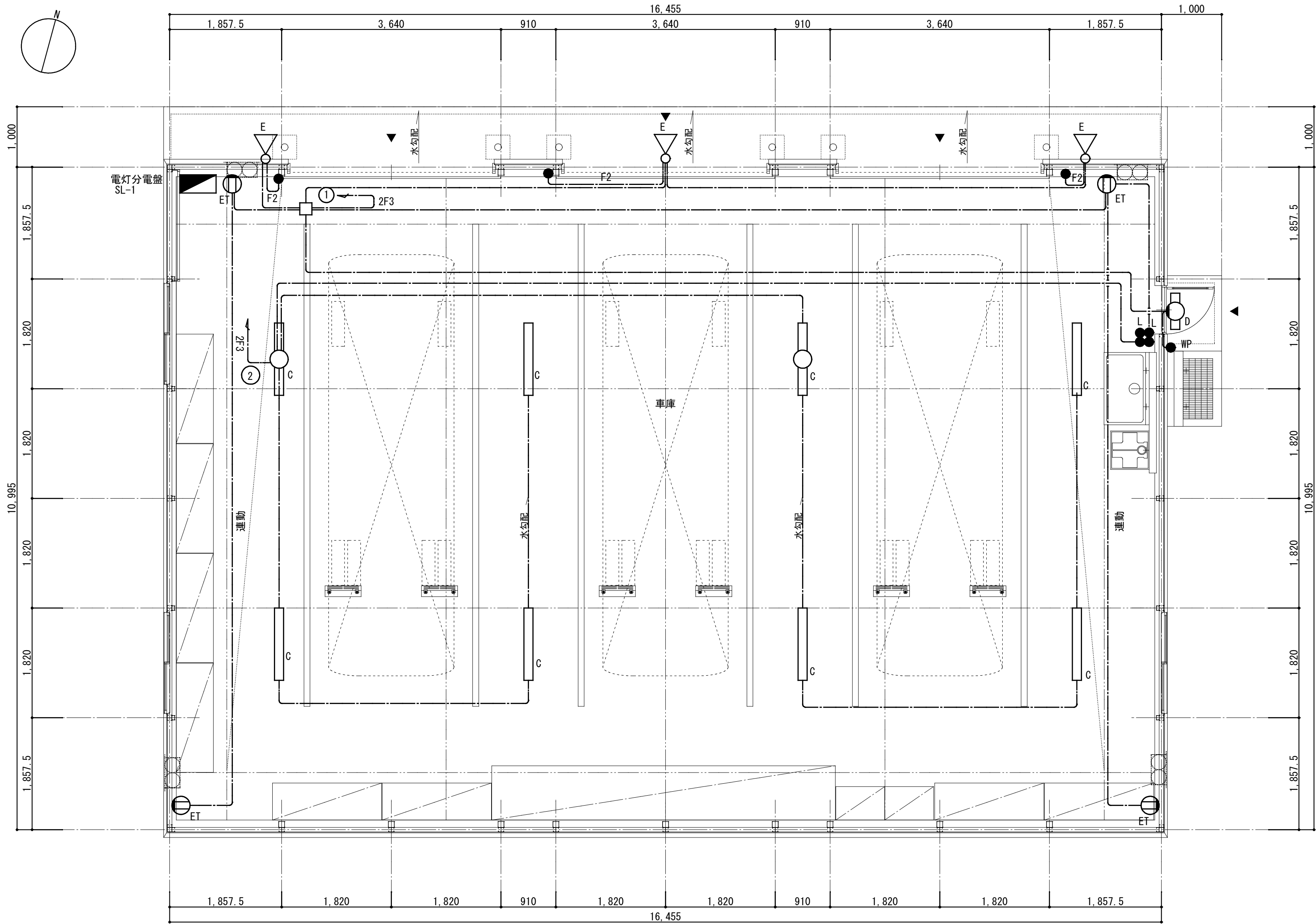
工事対象建物を示す。

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. NO.	E-03
DATE	R08.03.19			SCALE	(A2) 1/800
				案内 配置図	
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号	
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号	
				管理建築士 舘 山 良 子	



農機具庫 電灯分岐設備図 1/50

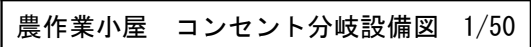
No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設計図	DR. NO. E-06
DATE R08. 03. 19	農機具庫 電灯分岐設備図		SCALE (A2) 1/50	
			青和設計	
			1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子	






車庫 電灯分岐設備図 1/50

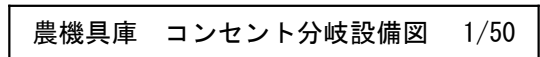
照明器具Cおよび照明器具Eの落下防止ワイヤーの取付金具は
器具取付金具とは別に設けること。




No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図 DR. NO. E-07
DATE R08.03.19	車庫 電灯分岐設備図		SCALE (A2) 1/50
			青和設計
			1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子

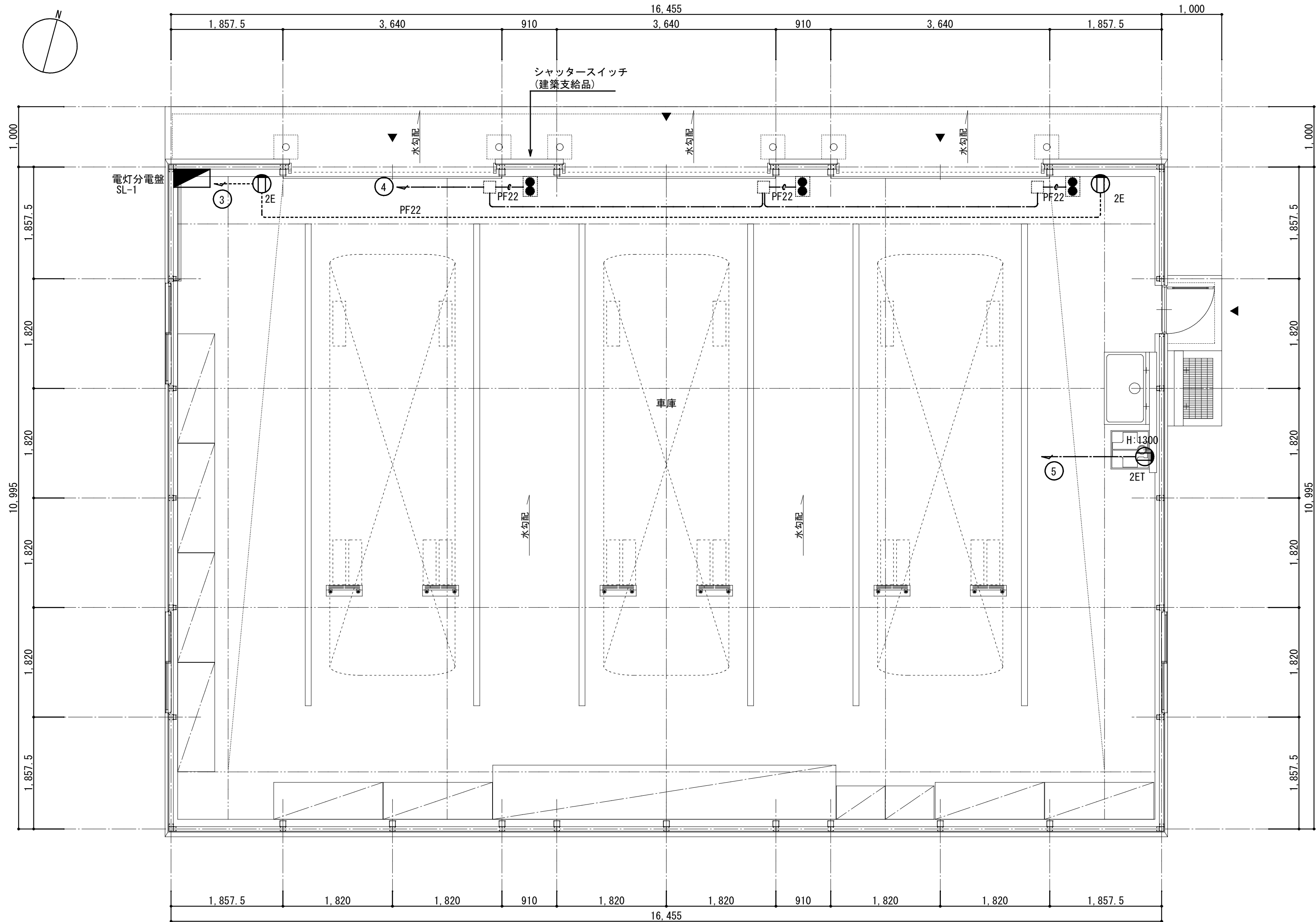


<p>配管・配線凡例</p> <p>注 記</p>	
<p>1. 特記無き配線配管は、下記による。</p>	
<p>ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。</p>	
<p>防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。</p>	
<p>— — — — — EM-EEF 2. 0-3C</p>	<p>保護配管 (PF22)</p>
<p>— — — — —</p>	
<p>— — — — —</p>	
<p>— — — — —</p>	
<p>— — — — — (Fn) ねじなし電線管 (nはサイズを示す。)</p>	
<p>— — — — — (PFn)</p>	<p>合成樹脂製可とう電線管 (nはサイズを示す。)</p>
<p>— — — — — (Gn)</p>	<p>厚鋼電線管 (nはサイズを示す。)</p>
<p>— — — — —</p>	
<p>— — — — —</p>	<p>天井ころがし配線</p>
<p>— — — — —</p>	<p>天井隠べい配線</p>
<p>— — — — —</p>	<p>床隠蔽配線</p>
<p>— — — — —</p>	<p>露出配線</p>
<p>— — — — —</p>	
<p>— — — — —</p>	

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO.	E-08
DATE	R08. 03. 19	農作業小屋 コンセント分岐設備図	SCALE	(A2) 1/50	
					  
		株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字緑谷町91番地20 TEL: 0173 (35) 8331 (代)	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		

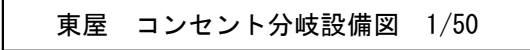





No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. No.	E-09
DATE	R08.03.19	農機具庫 コンセント分岐設備図	SCALE	(A2)	1/50
					  
		株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所	青森県知事登録	第604号
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	1級建築士	国土交通大臣登録	第24444号
			管理建築士	館 山 良 子	

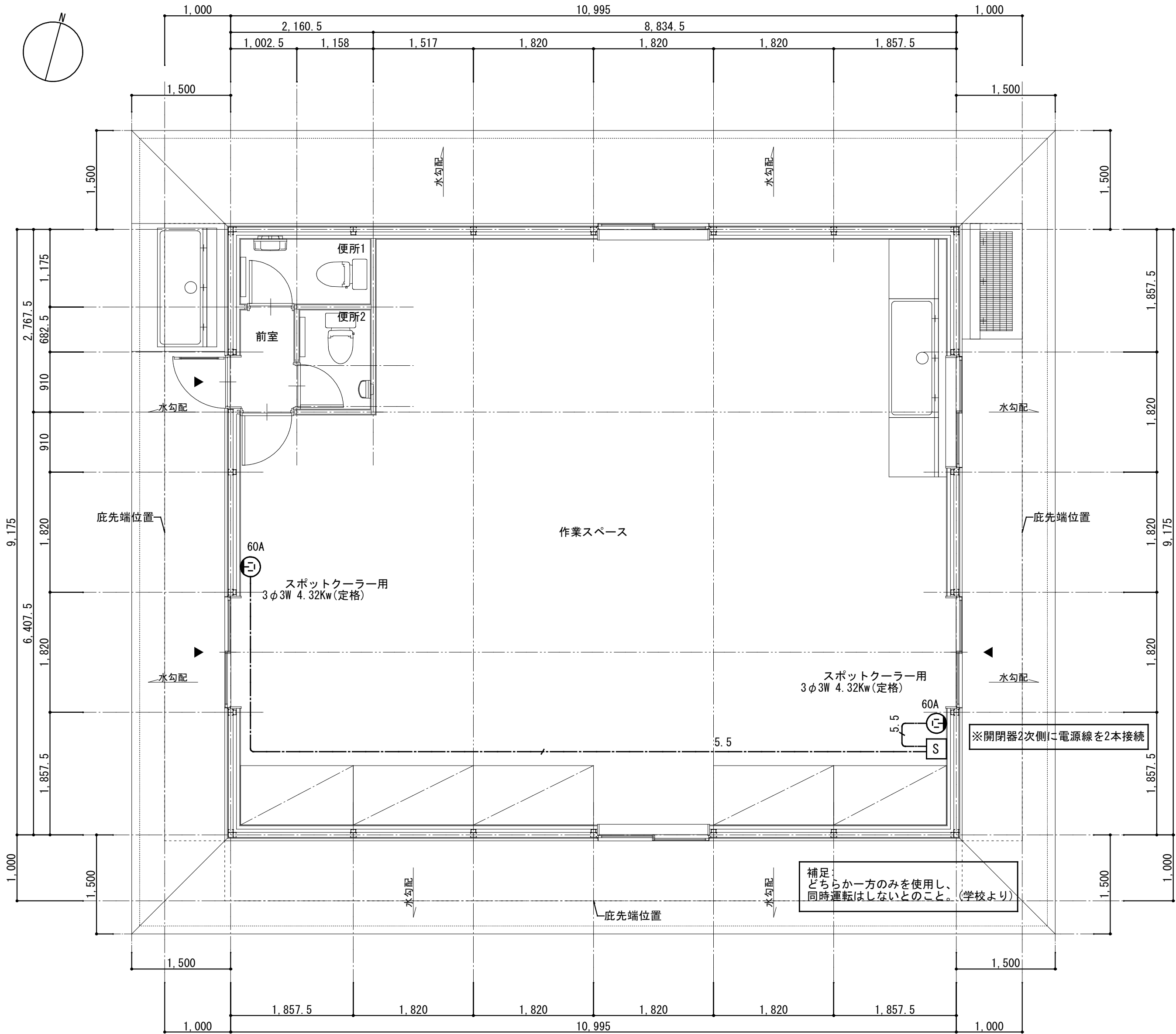


車庫 コンセント分岐設備図 1/50

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図 DR. NO. E-10
DATE R08.03.19	車庫 コンセント分岐設備図	SCALE (A2) 1/50
	<div>青和設計</div>	
	<div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子</div>	



No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計図 DR. No. E-11
DATE	R08. 03. 19	
	東屋 コンセント分歧設備図	
	SCALE (A2) 1/50	
	  	
株会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子



農作業小屋 動力分岐設備図 1/50

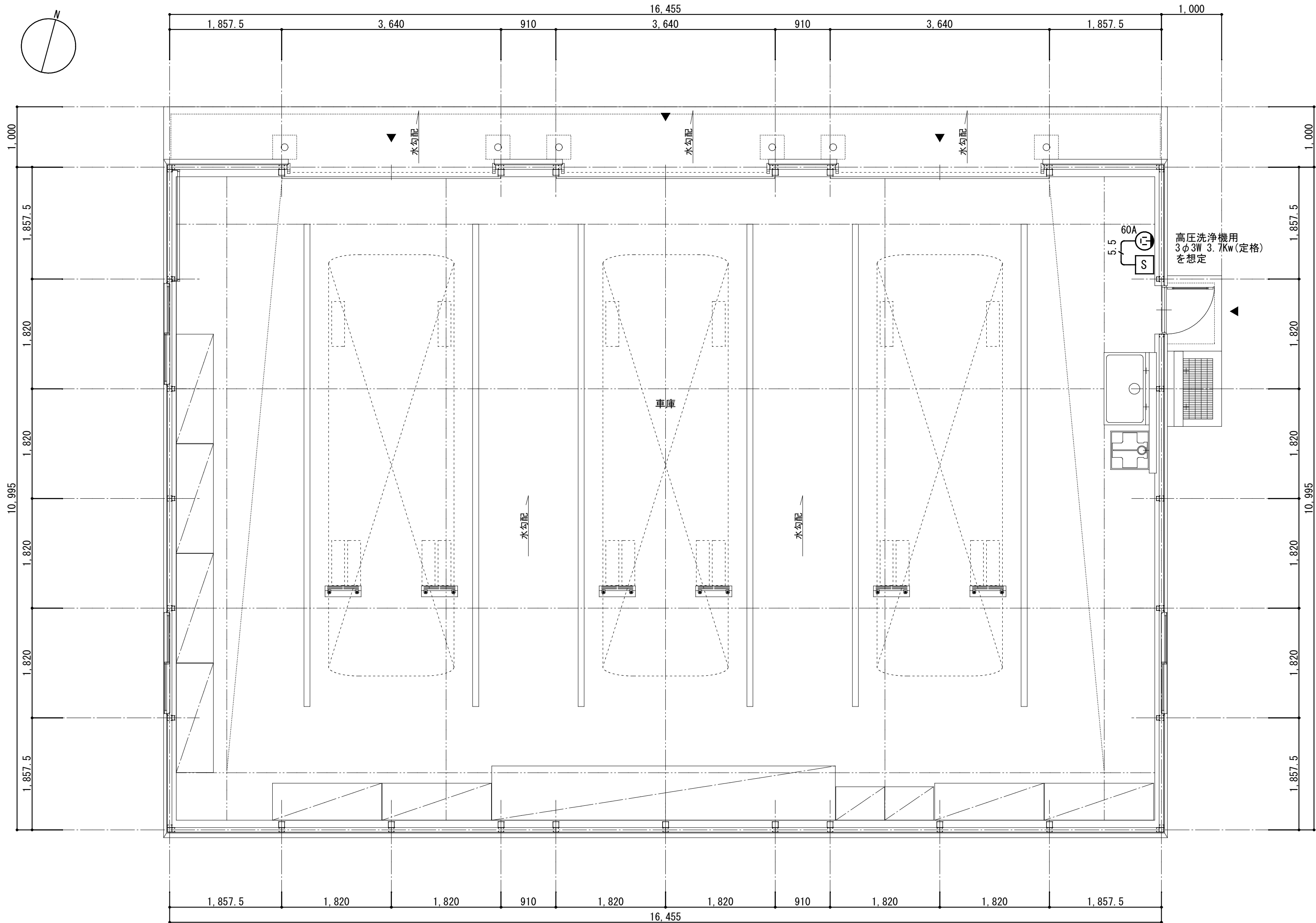
機器凡例

特記なき記号は下記による。	
図記号	名 称
Ⓢ 60A	露出コンセント 4P60A
Ⓢ	手元開閉器盤 屋内型 ELCB 3P100AF/n ×1

配管・配線凡例

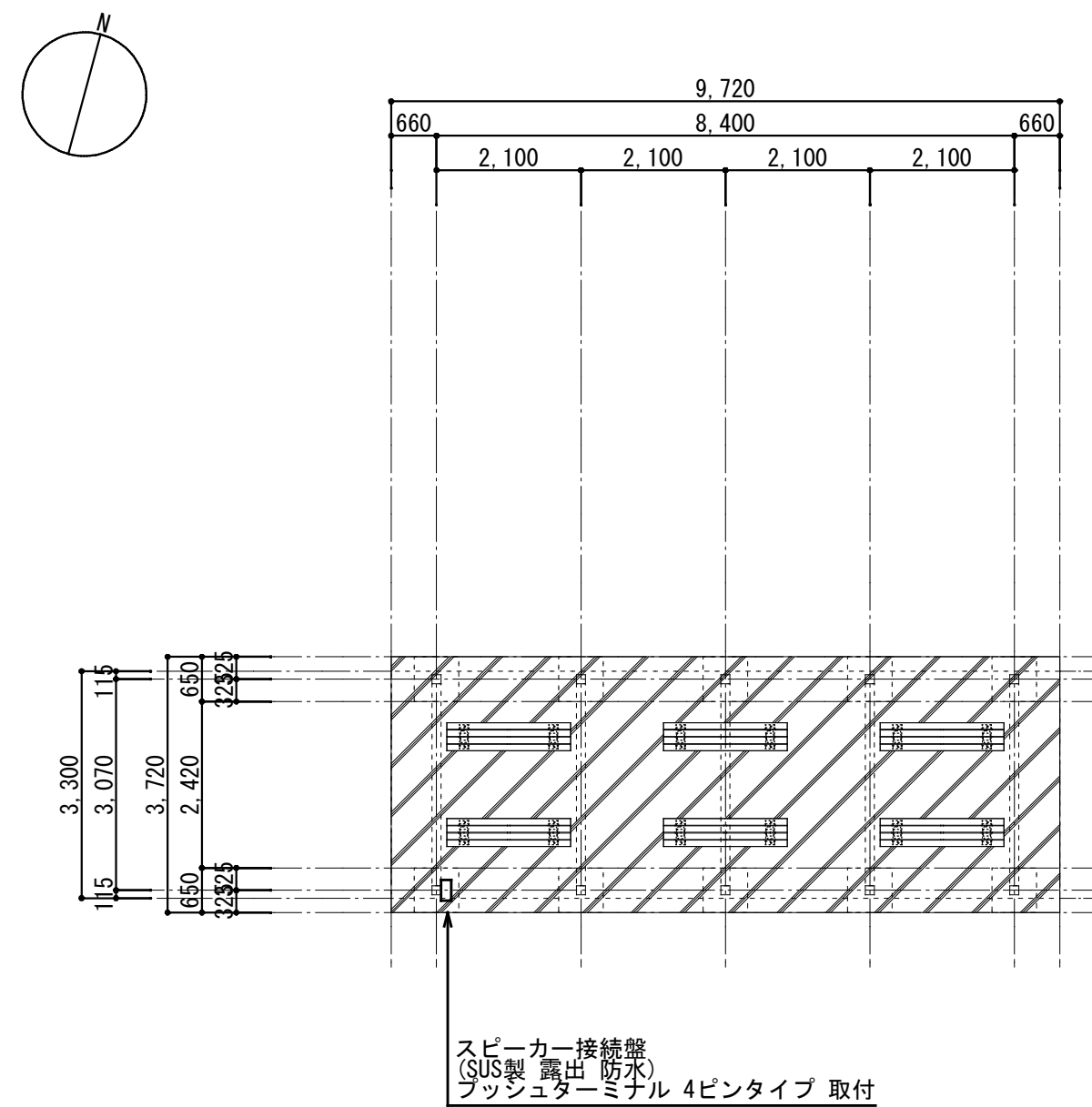
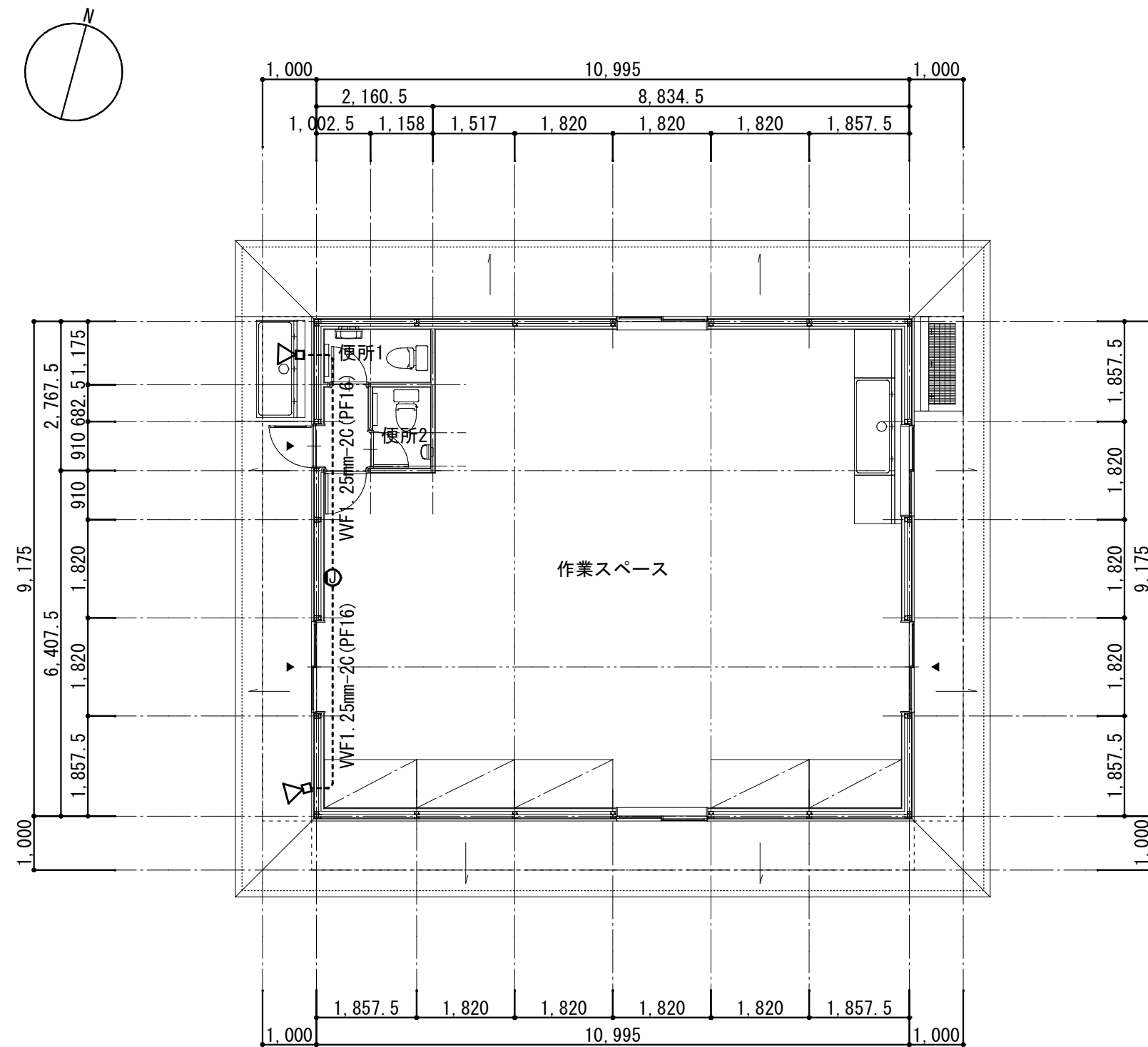
注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。	
5.5	保護配管 (PF22)
EM-CE5.5°-4C	
(En)	ねじなし電線管 (nlはサイズを示す。)
(PFn)	合成樹脂製可とう電線管 (nlはサイズを示す。)
(Gn)	厚鋼電線管 (nlはサイズを示す。)
天井ころがし配線	
天井隠ぺい配線	
床隠蔽配線	
露出配線	

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図 DR. NO. E-12
DATE R08.03.19		
	農作業小屋 動力分岐設備図	SCALE (A2) 1/50
	青和設計	
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子	





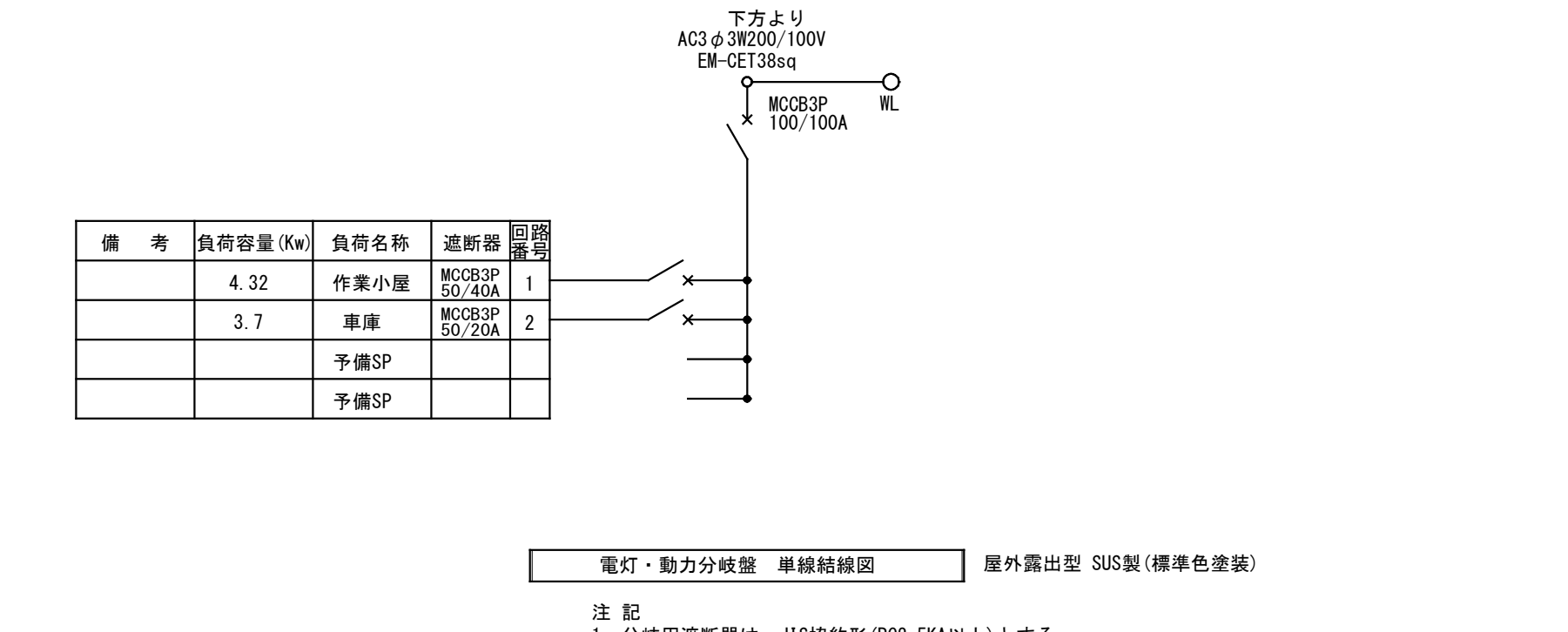
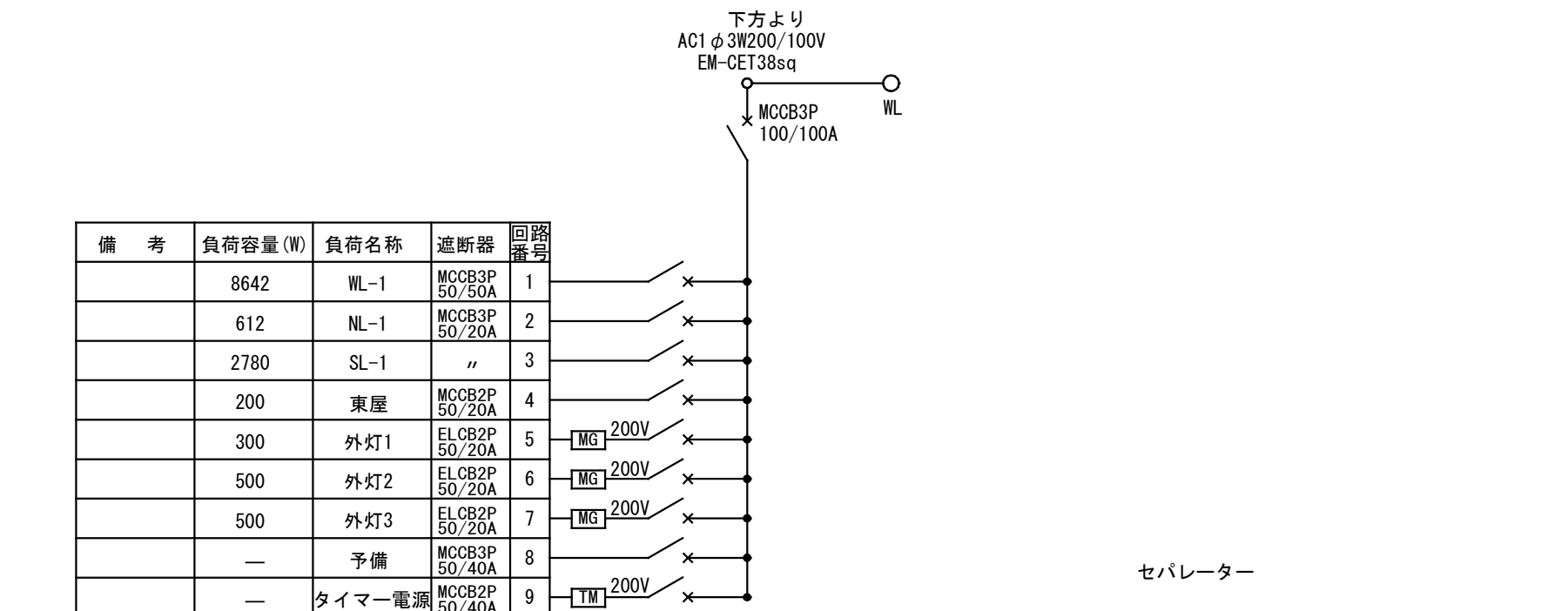
車庫 動力分岐設備図 1/50

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事		設 計 図	DR. NO. E-13
DATE R08.03.19	車庫 電灯分岐設備図		SCALE (A2) 1/50	
			青 和 設 計	
			1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子	



機器凡例	
特記なき記号は下記による。	
図記号	名 称
□	スピーカー接続盤 SUS製 露出 防水 W250×L350×D100 相当
▷	ワイドホーンスピーカー
㊦	ジャンクションボックス OB 中四角 深型 (ブラנקプレート共)

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. No.	E-14
DATE	R08. 03. 19	農作業小屋・東屋 音響設備図	SCALE	(A2) 1/100	
			  		
		株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)			



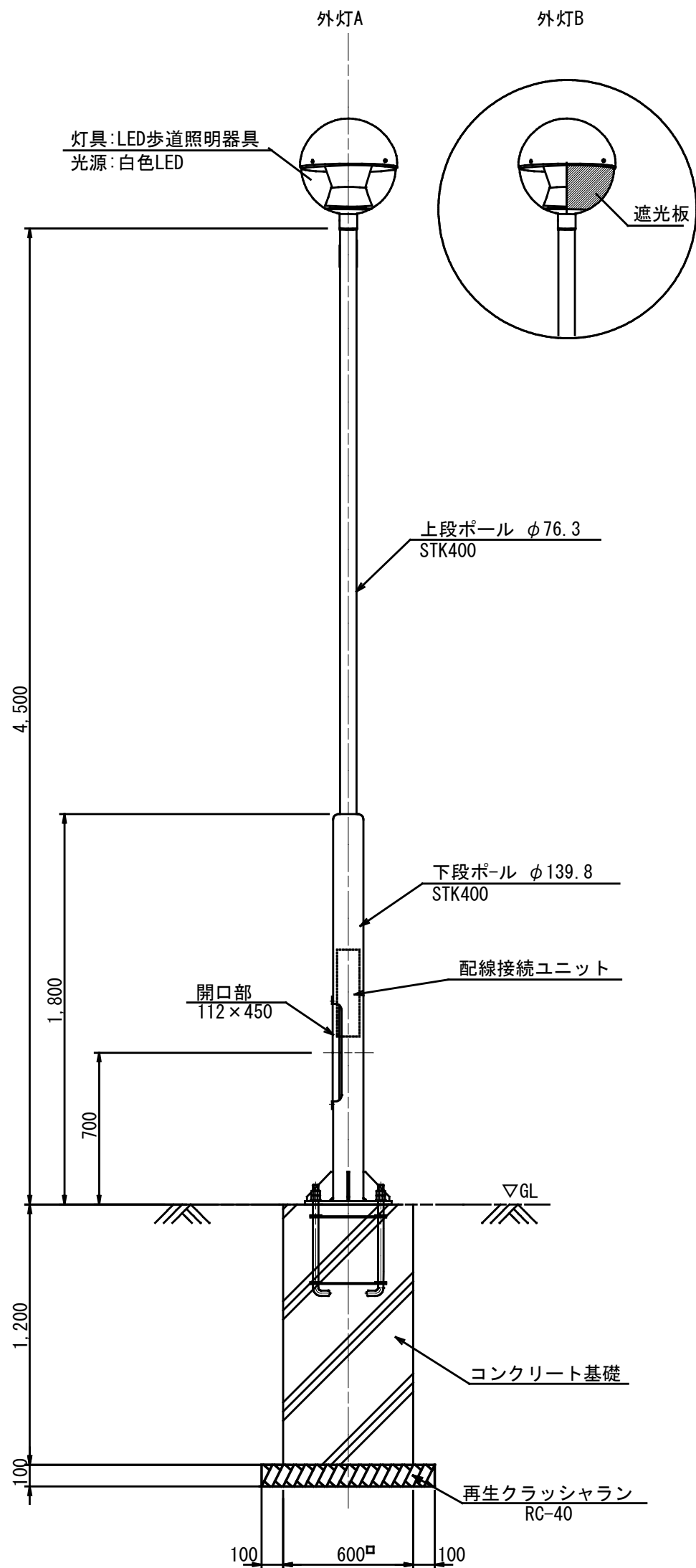
No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計図 DR.NO. E-15 分電盤 単線結線図 SCALE    株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
DATE	R08.03.19	

照明灯参考図

照明灯外形图 S=1/25

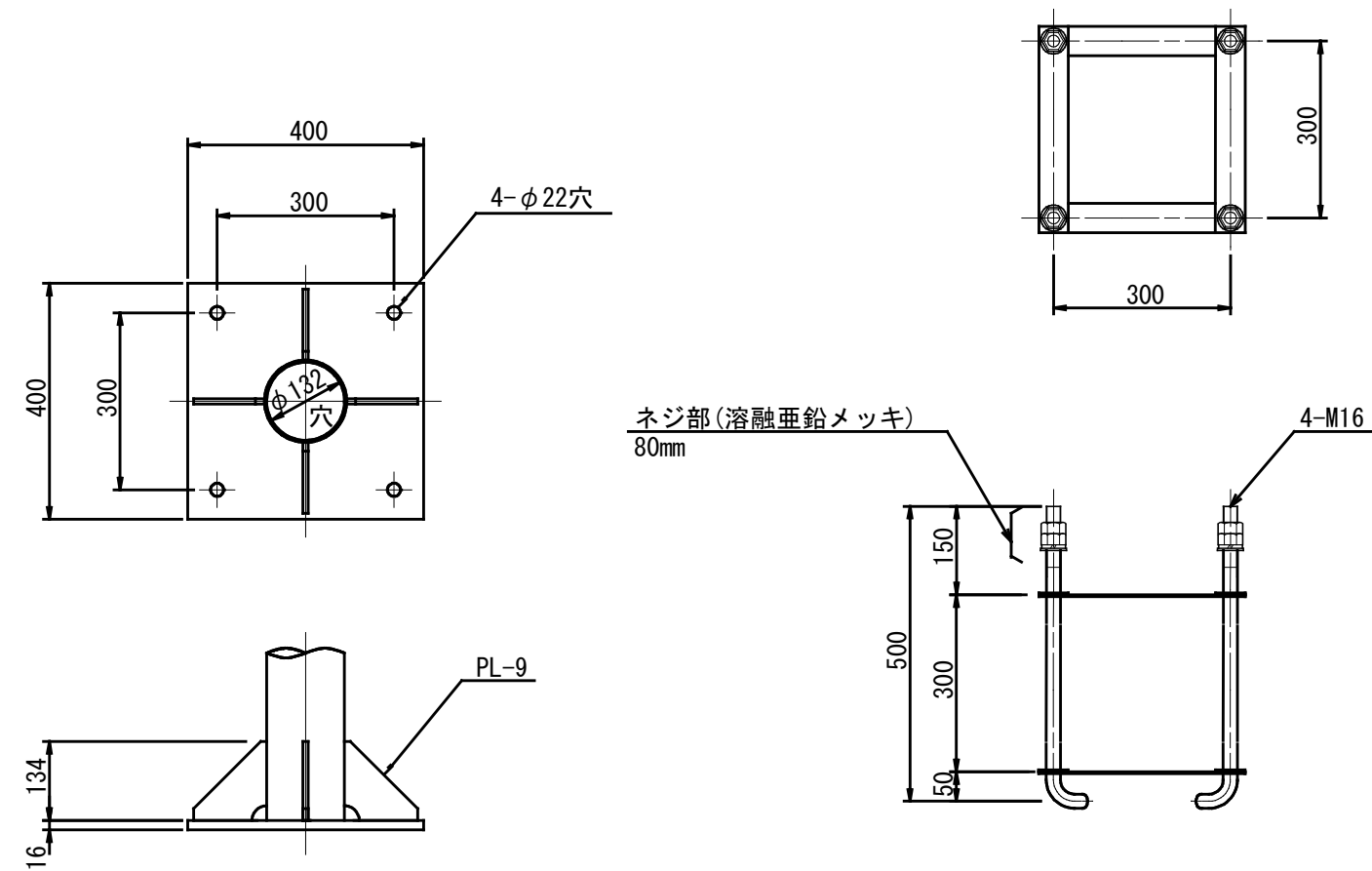
S=1/25

公共品番 TB4.5

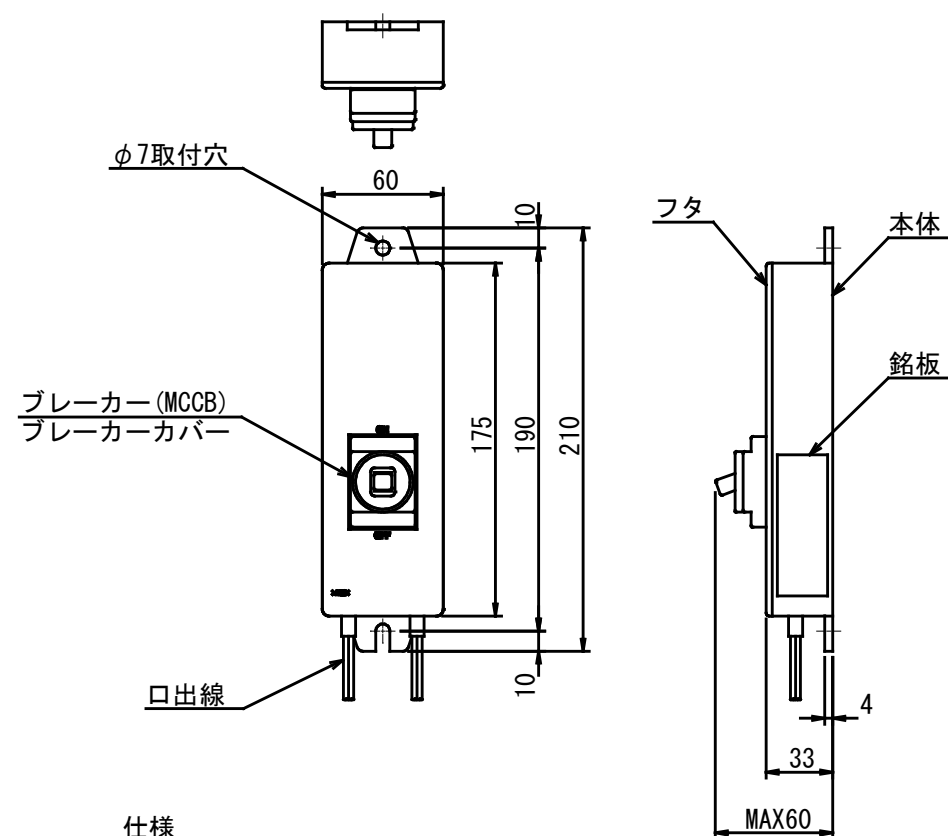


注) ポールは溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

ベースプレート図 S=1/10

 $S=1/10$ 

配線接続ユニット外形図 S=1/3

$$S=1/3$$


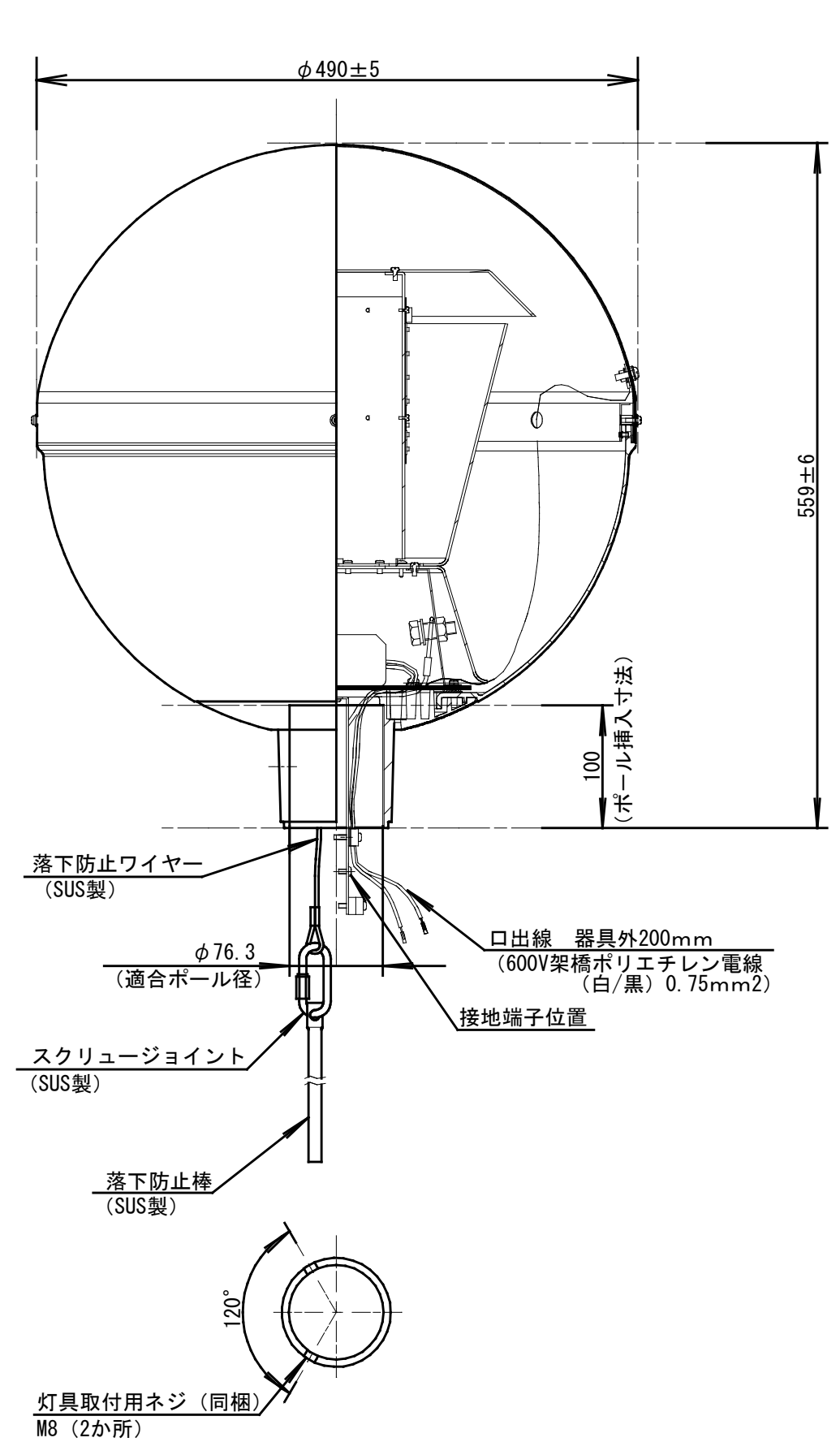
仕様

1. 保護等級 : IP67
2. 使用溫度範圍: -10°C~50°C

注記

付属品: 取付ネジ M6×16 (ミガキ座金、バネ座金付き) 2/台

アンカーボルトセット図 S=1/10

 $S=1/10$ 

仕 様

1. 電源は、専用電源装置内蔵
2. 光源：白色LED（5000K, Ra70）
3. 光源定格寿命:60,000h
4. 周囲温度：-20℃～+35℃
5. 耐風速：60m/s
6. 電源電圧：AC200V

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設計図 外灯 姿図（参考） <div><div>印</div><div>案</div><div>図</div></div>	DR. NO.	E-17
DATE	R08.03.19		SCALE	(A2) 1/25 1/10 1/5 1/3
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		

機械設備工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

青森県黒石市あけぼの町 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第1の区分	施設の種類	備考
農業小舎	S造	1	100.87	6項(ニ)	一般の施設	新築1棟
農機庫	S造	1	75.83	14項	一般の施設	新築1棟
車庫	S造	1	180.92	13項(イ)	一般の施設	新築1棟

3. 工事種目

●印のついたものが対象工事

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別	屋 外
○空気調和設備			
●換気設備	一式	一式	一式
○排煙設備			
○自動制御設備			
●衛生器具設備	一式		一式
●給水設備	一式	一式	一式
●排水設備	一式	一式	一式
●給湯設備	一式		
○冷気設備			
○暖房設備			
○厨房機器設備			
○雨水利用設備			
○浄化槽設備			

4. 指定部分

○ 無 ○ 有 指定部分工期：令和 年 月 日 対象部分 ()

5. 設備概要

●印の付いたものを適用する。)

方式及び種別	設 備 概 要
空気調和方式	○ダクト方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○パッケージ方式
主要熱源機器	○鋼製ボイラー ○鋼製簡易ボイラー ○小型貫流ボイラー ○簡易貫流ボイラー ○鋳鉄製ボイラー ○鋳鉄製簡易ボイラー ○温風暖房機 ○温水発生機 (○真空式 ○無圧式) ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷凍機 ○吸収冷温水機 ○吸収冷温水機ユニット ○パッケージ形空気調和機 ○マルチパッケージ形空気調和機
換気設備	●1種換気 ○2種換気 ●3種換気
排煙設備	○建築基準法 ○消防法
自動制御設備	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	●水道直結方式 ○水道直結増圧方式 ○高圧タンク方式 ○受水タンク＋ポンプ直送方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水 (○分流式 ●合流式) ポンプ排水 ○有 ○汚水 雑排水 ○湧水 ○無 放流先 汚 水 (●直放流下水管 ○浄化槽) 雑排水 (●直放流下水管 ○浄化槽)
給湯設備	●局所式 ○中央式
消火設備	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○粉末消火設備 ○不活性ガス消火設備 () ○連結送水管設備 ○連結取水設備 ○フード等用簡易自動消火装置
ガス設備	○都市ガス (種別 , 高位発熱量 MJ/?(N)、低位発熱量 MJ/?(N)、供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名：) ○液化石油ガス

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和7年版)」(以下、「標準図」という。)による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章 項 目 特 記 事 項

●1. 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。
● 風圧力
風速 (Vo= 34 m/s)、地表面粗度区分 (III)
● 積雪荷重
平成12年建設省告示第1455号における区域 別表 (十一)

●2. 機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものである。
(2) 別表に機材名等が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。
別 表 (品質及び性能に該当する材料・機材等)

鋼製簡易ボイラー	鋼製小型ボイラー	鋼製小型ボイラー
鋼製ボイラー	真空式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)	真空式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)
チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	吸収冷温水機	吸収冷温水機
吸収冷温水機ユニット	遠心冷凍機	冷却塔
ユニット形空気調和機	ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット	マルチパッケージ形空気調和機
コンパクト形空気調和機	パッケージ形空気調和機	マルチパッケージ形空気調和機
ガスエンジンヒートポンプ形空気調和機	エアフィルター (バネ形・折込形)	自動差取エアフィルター
電気集じん器	全熱交換器 (回転形・静止形)	遠心式風機 (多翼形・送風機)
給湯送風機	輸流送風機	消音ボックス付送風機
換気送風機	水中モーターポンプ (汚水用・雑排水用・汚物用)	
立形遠心ポンプ	直車ユニット (定流量・変流量) 自動制御システム	
衛生器具ユニット	密閉形陽圧式膨張タンク (空調用・給湯用)	
FRP製パネルタンク	ステンレス鋼板製パネルタンク (溶接組立形)	
ステンレス鋼板製パネルタンク (ボルト組立形)	スプリングアー消火システム	ハロゲン化物消火システム
不活性ガス消火システム	泡消火システム	
厨房システム	マンホールふた・弁類ふた	

●3. 機材の承諾図

●4. 環境への配慮

●5. 足場その他

●6. 埋戻し土

●7. 容量等の表示

●8. 電源周波数

●9. 電動機

●10. 耐震施工

一般 共通 事項

●1. 総合運転調整

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。
○風量調整 ●水量調整 ○室内外空気温度湿度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音測定
○水質の測定 (○飲料水 ○雑用水 (※本工事に費用は含まない))

●12. 弁等のサイズ

●13. 建物導入部配管の変位吸収

●14. 絶縁継手取付箇所

●15. 支持及び固定

●16. 支持金物・固定金具

●17. 地中埋設機等

●18. 配管

機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。

(1) 本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号) に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和8年2月閣議決定)」による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。
ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。
(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。
①合板、木質系フローリング材、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く) が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
※別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○本工事で設置する、(図参照)
足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等作業に関する基準」における2の (1) 手すり据置き方式又は (2) 手すり先行専用足場方式により行う。

イ) 管周囲の保護 ※山砂の類 (ただし、コンクリート管の周囲は根切り土の良質土)
ロ) 埋戻し土 ※根切り土の中の良質土 ○山砂の類
(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。
50 Hzとする。
換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。
(1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
①設計用水平地震力
機器の重量 [kN] (水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量) に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

	機 器 種 別	特定の施設	一般の施設
		重要機器	一般機器
上 層 階	機 器	2.0	1.5
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0
	水 槽 類	2.0	1.5
中間階	機 器	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5
	水 槽 類	1.5	1.0
地階・1階	機 器	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0

・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・水槽類はオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
[名称: 、記号:] [名称: 、記号:]
[名称: 、記号:] [名称: 、記号:]
[名称: 、記号:] [名称: 、記号:]
[名称: 、記号:] [名称: 、記号:]
②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とする。
③機器類および支持架台類固定用のワッシャーの選定は座屈防止を十分検討する。
(2) 1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計算書を提出する。

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。
○風量調整 ●水量調整 ○室内外空気温度湿度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音測定
○水質の測定 (○飲料水 ○雑用水 (※本工事に費用は含まない))
特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
図示の箇所に施工する。
施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配管要領 (一)、(二) による。
() (○ (a)) (○ (b)) (○ (c))
取り付け箇所及び仕様は図示による。
標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠ぺい形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものである。
イ) ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製 (SUS304) とする。
ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
ハ) 冷水及び冷温水管の吊干渉等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
二) 冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートを、断熱材被覆銅管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。

(1) 地中埋設機 (図示の位置) ※要 ○不要
2) 埋設表示テープ (排水管用を除く) ※要 ○不要
(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。
※呼び径60Su以下 (OSAS322を満足した継手 () 式 ○)
(2) 溶接部の非破壊検査 ※不要 ○要
(3) 呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。
ただし、樹脂ライニング鋼管 (ポリ紛体鋼管を除く) のねじ加工は切削ねじ加工とする。
(4) 排水管の90° 曲管は原則として大曲管とする。

●19. 技能士の適用

●20. 他工事との工事区分

●21. 塗装

●22. 電線類

●23. 案内板等

●24. 監視・制御システムのサイバセキユリティ

●25. 保温外装

●26. 計器類

●27. 土工事

●28. 貫通部の処理

空気 調 和 設 備

●1. 設計温度湿度

●2. ばい煙濃度計

●3. 鋼板製煙道

●4. ダクト

●5. 風量測定口

●6. ダンパー

●7. 弁類

●8. 銅管用伸縮管継手

●9. 温度計

●10. 瞬間流量計

●11. チャンパー

●配管施工 (配管工事) ●建築板金施工 (ダクト製作及び取付け)
○熱絶縁施工 (保温工事)
○冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ形空調調和機の取付け及び整備)
工事区分表による。
(1) ○保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管 (銅管)、ダクトには塗装を行う。
○図示による。
(2) 露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。
○屋外架空部 ○機械室 ○屋内一般
電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
機器等の取扱い方法及び系統を書いた図面呼称A1の図面 (枚) をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。
屋外に設置する危険物表示版等の材質はアルミニウム製とする。
外部ネットワークと接続する制御システム
○あり (対象設備) ○なし
外部ネットワークとの接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ファイアウォール ○統合脅威管理 (UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○製造者の標準鍵
○鍵の指定あり
対策機器 (○監視盤 ○自動制御盤 ○)
(1) 屋内露出の保温外装は、合成樹脂カバー2とする。
(2) 床下暗室内 (ビツ内を含む) の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色分類は、以下を標準とする。

	外装色
消火管	白系
給水管	青系
給湯管	黒系
冷水・冷温水管	緑系
温水・蒸気管	赤系

(1) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属する。
(2) 圧力計、達成計、水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。
(1) 配管は下記による。

埋設深さ (m)	土工事区分	埋戻し用土
構内一般 構内車路	機械土工 人工土工	固結土 寄土
給水管 0.6	※	○ ●
排水管 1.2	※	○ ●
ガス管	※	○
消火管	※	○
油管	※	○

(2) 公道部は、水道事業者、下水道事業者、ガス供給事業者及び道路管理者規定による。
(3) 設計図書に示された配管工事で掘削深さが1,500mmを超える場合は、図示による方法で土留めを行う。
(4) 土中埋設配管は、配管下100mm・配管上100mmを山砂等で埋め戻す。
(5) 残土 (発生土を含む) 処理
※ 構内指示の場所に堆積
○ 構外搬出適正処理：※本工事 (約 km (搬出調書等を提出する))
○ 別契約工事
標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、鞘管を入れ隙間を断熱材等で埋める。

		外気条件		屋内 (調整目標)			
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏季	9時	29.5℃	66.9%	28℃	45%	℃	%
	12時	31.8℃	59.4%				
	14時	31.8℃	60.9%				
	16時	31.0℃	62.9%				
冬季		-5.4℃	74.7%	22℃	40%	℃	%

熱源機器の水温度条件

送水温度	70.0℃	℃	℃	℃
出入口温度差	15.0℃	℃	℃	℃

取付箇所は図示による。
板厚は煙径毎300mm以下は3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。
煙道を設置する場合、ばいじん測定口 (口径100φ、タッピング) を設ける。
(煙径毎400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。)
※低圧ダクト (長方形ダクトは、※コーナーボルト施工) ○アングルフランジ工法)
○高圧1ダクト (適用範囲は図面による)
取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式 (定格入力はD C24V、0.7A以下とする。) 2) ヒストンダンパー 復帰方式 遠隔式
※5K
呼び径65A以上の弁は、バタフライ弁とする。
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り (標準図施工38・42) の弁は仕切弁とする。
○ベローズ形 ○スリーブ形
円形指示計とする。
止水コック付とする。 (※ 固定形 ○ 着脱形)
着脱形の流量指示部 (○40A用 個、○100A用 個、○250A 個) を付属。
イ) 内貼を施すチャンパー類の表示寸法は、外形寸法を示す。
ロ) 空気調和機に取り付けるサフ라이チャンパー、レタンチャンパー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
ハ) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパーは雨水の滞留のないように施工する。

No. 25900

DATE R08.03.19

黒石養護学校農業小舎外新築その他工事 設計図 DR.NO. M-01

SCALE

株式会社 青 和 設 計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市子鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子

○12. 保温

●1. 準拠事項

○2. 開放形通気器用排気フード

○3. 厨房用排気ダクト

○4. 厨房用排気フード

○5. 多湿箇所の排気ダクト

○6. 保温

●7. 換気扇類

●8. 給排気口

○1. ダクト

○2. 排煙口の形式

○3. 排煙口開放及び復帰方法

○4. 排煙風量測定方法

○1. システム構成その他

○2. 計装用配線

○3. 電動弁

○4. 弁耐圧

○5. その他

○1. 衛生器具ユニット

○2. 身障者用洗浄弁

●3. 大器器用便座

●4. 注記版

イ) 蒸気還り管は保温不要とする。(屋内露出は除く)
ロ) 屋外露出管 (弁、フランジを含む) の保温は、標準仕様書第2編3.1.4表2.3.3 E2・ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。
ハ) 遠気ダクトの保温 ※不要 ○要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
ニ) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※要 ○不要
ホ) 排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。(チャンパーボックスを含む)
ヘ) 冷媒管の保温外装
居室露出部 ※保温化粧ケース (樹脂製)
居室露出部 ※保温化粧ケース (樹脂製)
屋外 ※保温化粧ケース (※亜鉛めっき鋼板製 ○SUS製)
ト) 建物内のエア抜き管の保温はエア抜き弁 (エア抜き弁を含む) までとし、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。
チ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さ： mm
リ) 温水暖房のバルブヒーターへの屋内露出管
○施工する ※施工しない
ヌ) 蒸気管の保温
暖房する室の暖房用蒸気立て管 (主管を除く) 及び分枝管：
○施工する ※施工しない
次の部位に使用するダクトには塗装を行う
○制気口ボックス内 (居室・便所の見えかき部)
○図示による。
吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは図示による。
オイルサーピスタックに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。
○単独形 ○共用形 (○ 油量指示計 ○ ローリーアース)
※亜鉛鉄板
○自己消火性のポリスチレンフォーム製
○
※鋼板製 ○アルミ製 ○
(1) ケーシングはステンレス製とする。
(2) 便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。

[空気調和設備の当該事項に準ずる。]
●ダクト ○風量測定口 ○ダンパー
○チャンパー ○塗装
○別契約工事 ○本工事
アングルフランジ工法とする。
○亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 (SUS304)
(板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚表による)
イ) 材質 (天幕とも) ○ステンレス鋼板 (SUS304) ○
ロ) フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ○取り付ける ○取り付けない
ハ) フードコック ○取り付ける ○取り付けない
イ) 厨房系統、浴室系統 (シャワー室及び脱衣室を含む) のダクトのシールは「標準図」シールの施工例 (一)、(二) のNシール+Aシール+Bシールとする。
ロ) 水抜き管 ○ 要 ○ 不要
全熱交換器 (空調換気扇) の外気取り入れダクト (OA)、給気ダクト (SA) 及び排気ダクト (EA) はすべて保温する。
換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。
外壁に設置するベントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。

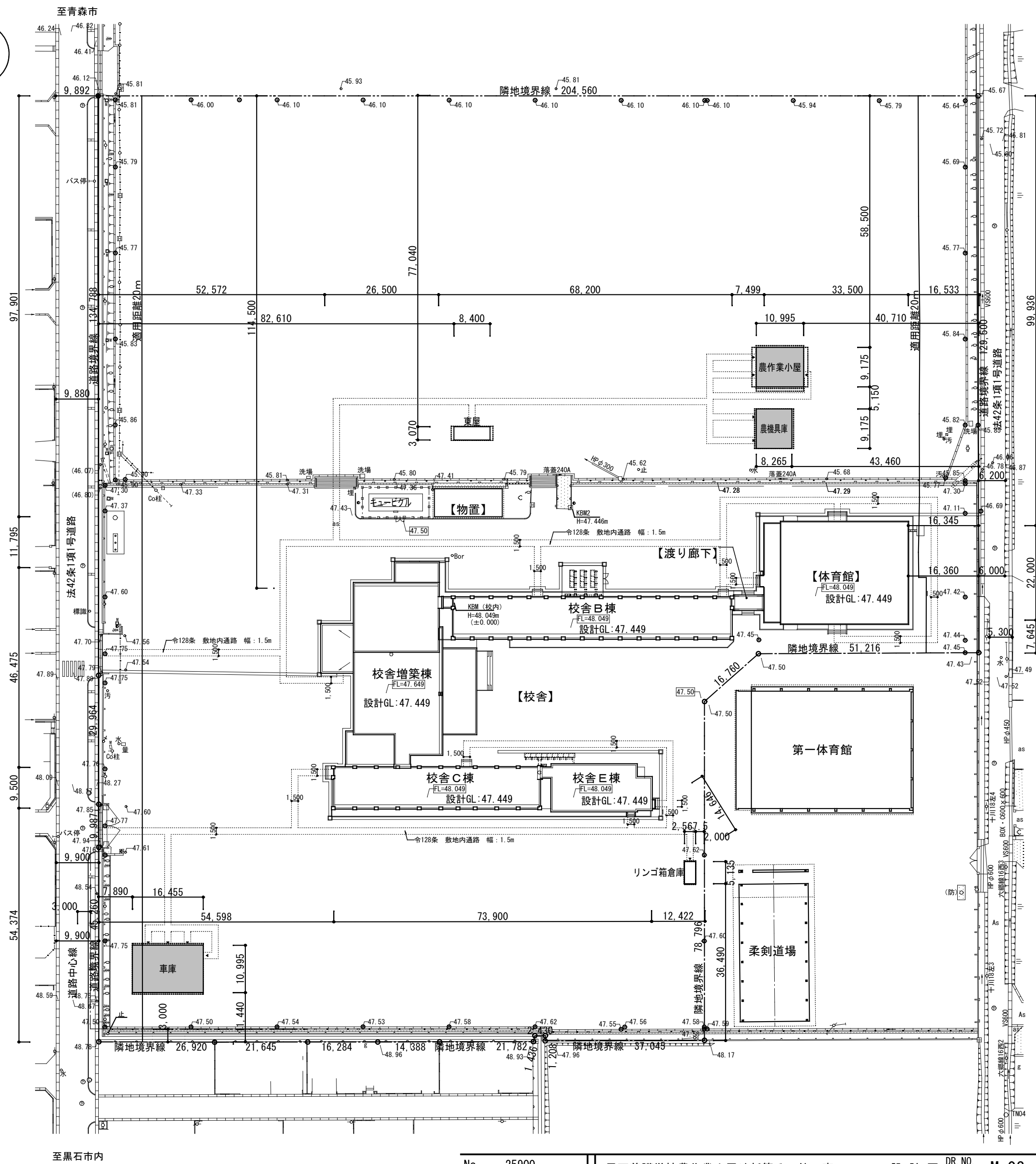
別図による。
電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいのケーブルは、図面に特記がなければころがし配線とする。
開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。
MP a
(1) 室内温度湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。
(2) 電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。

別図による。
※ センサー式 ○ タッチスイッチ式 ○ くつばり式押しボタン
※ 温水洗浄便座：
加熱方式： ● 貯湯式 ○ 瞬間式
付加機能： ※ 節電機能 ※ 脱臭機能
○ 温風乾燥機能 ○ 暖房装置 ○ リモコン
温水洗浄便座への給水は市水と接続する。
○ 暖房便座 (○ 脱臭機能付 ○ 暖房装置付) ○ 普通便座
※ 設けない ○ 設ける (※ 陶器製 ○ 樹脂製)
対象器具は図示による。

[illegible]






案 内 図



1/800

■部分は今回工事範囲とする。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. M-03
DATE R08.03.19	案内図 全体配置図	SCALE (A2) 1/800	
			  
	株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子	

暖房機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考(参考品番)
			φ	V	kW			
EPH-1	電気パネルヒーター	壁掛けスチール製	1	100	0.5	2	便所	株式会社インターセントラル
		暖房能力:0.5kW						NX-500
		付属品 いたずら防止カバー						

換気機器表

記号	機器名称	機器仕様	数	消費電力			設置場所	備考(参考品番)
				φ	V	W		
FE-2	天井換気扇(排気用)	低騒音形(24時間機能付)	1	1	100	100	作業スペース	三菱電機株式会社
		150φ × 500m3/h × 60Pa						VD-23ZV6
		SUS製深形フード150φ、他付属品共						
FE-3	天井換気扇(排気用)	低騒音形	2	1	100	20	便所	三菱電機株式会社
		100φ × 50m3/h × 30Pa						VD-13ZSC14
		SUS製深形フード100φ、他付属品共						
S-2	天井電動給気シャッター(給気用)	天井埋込形電動給気シャッター150φ	1	1	100	10	作業スペース	FE-2連動(本工事)
		SUS製深形フード150φ						三菱電機株式会社
								P-18QDZ3

※ 特記事項
・換気扇用コントロールスイッチ取付及び配線工事共(電気設備工事)。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. M-04
DATE R08.03.19	農作業小屋 暖房・換気設備 機器表	SCALE	
	株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL.:0173(35)8331(代)	管理建築士 館 山 良 子

衛生機器表

記号	機器名称	設置場所	機器仕様	数量	電気容量			備考(参考品番)
					φ	V	kW	
WHE-1	電気温水器	作業スペース	小型電気温水器(流し下設置)	3	1	100	1.1	水栓へフレキホースにて接続
			貯湯容量:12L					TOTO
			排水ホッパー、フレキホース、他付属品共					REKB12A12

衛生器具表

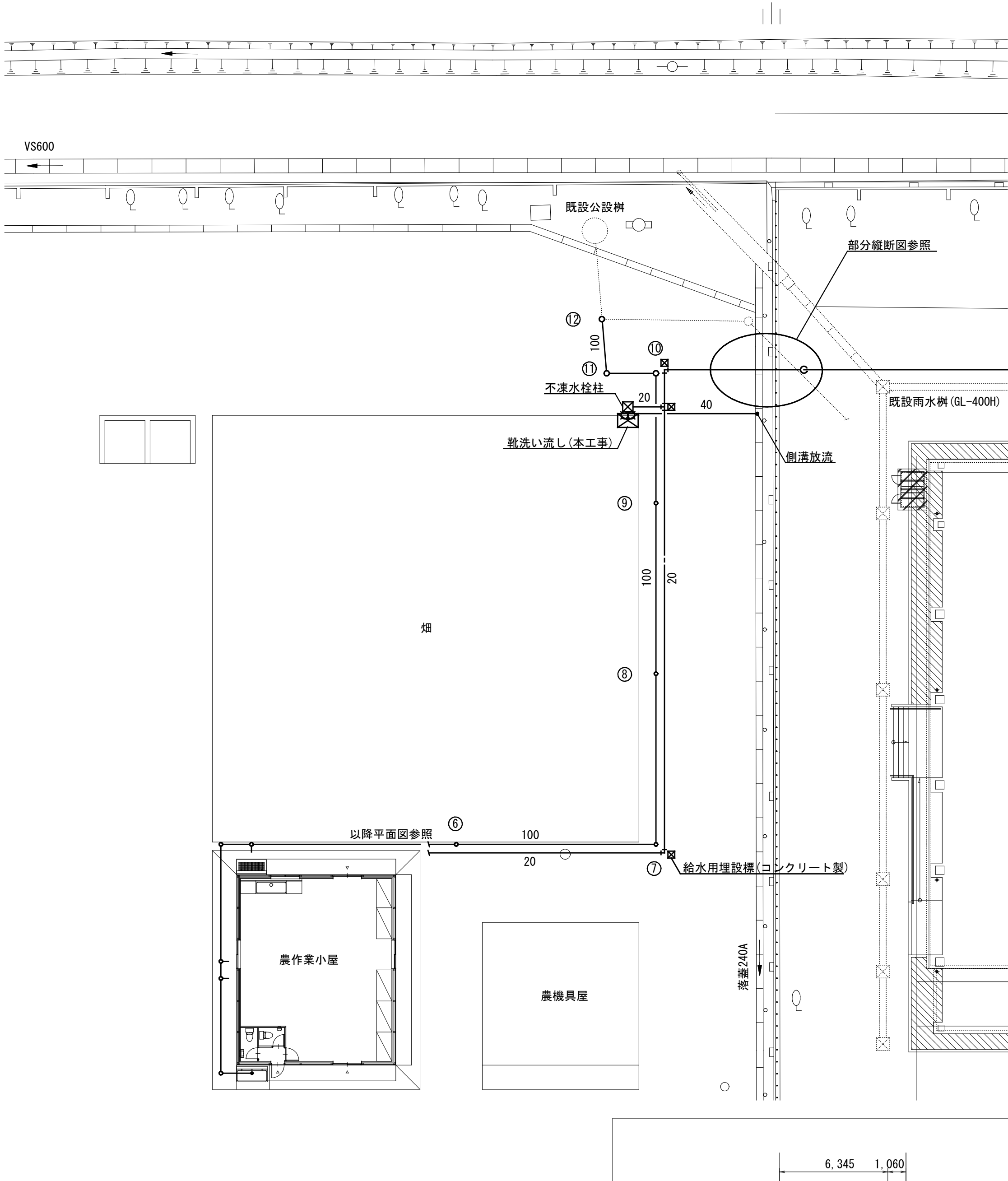
名称	仕様	便所	作業スペース	屋外 スルス流し	屋外 靴洗流し	数	備考	記号(JIS)
洋風大便器	防露式密結形ロータンク、温水洗浄便座	2				2	床給水、床排水	C1200S
	棚付ワンタッチ紙巻器(スベア付)							
手洗器	コンパクト手洗器、単水栓、トラップカバー	1				1	床給水、床排水	TOTO:LSL870BSFRMR
	トラップカバー							LIXIL:L-A74HC2D
手洗器	コンパクト手洗器、単水栓、トラップカバー	1				1	床給水、床排水	TOTO:LSL570BSFRMR
								LIXIL:AWL-71UA
化粧鏡	約350mm×450mm、耐食鏡	2				2		
台所水栓	台付シングル混合水栓(ハンドシャワー・吐水切り替えタイプ)		3			3		TOTO:TKS05321J
								LIXIL:JF-AP461SYX
立水栓(自在形)	スパウト170mm			3		3		TOTO:T130AUN13C
								LIXIL:LF-12-13-U
横水栓	ホース接続形13A				1	1		13-F12
横水栓	吐水口回転タイプ13A				2	2		13-F7

注記 国土交通省記号以外は参考品番とする。

排水樹リスト (勾配:1/130)
GL基準高さ(GL±0H)

記号	名称	記号	樹径	樹深さ	蓋仕様	備考
①	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 300H	樹脂製蓋	
②	排水用小口径塩ビ樹	90Y	150φ	GL- 330H	樹脂製蓋	
③	排水用小口径塩ビ樹	90Y	150φ	GL- 380H	樹脂製蓋	
④	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 400H	樹脂製蓋	
⑤	排水用小口径塩ビ樹	90Y	150φ	GL- 410H	樹脂製蓋	
⑥	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 500H	樹脂製蓋	
⑦	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 600H	樹脂製蓋	
⑧	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 680H	樹脂製蓋	
⑨	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 760H	樹脂製蓋	
⑩	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 820H	樹脂製蓋	
⑪	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 850H	樹脂製蓋	
⑫	排水用小口径塩ビ樹	90Y	150φ	GL- 880H	樹脂製蓋	既設塩ビ樹150φ×90L(880H)撤去後、⑫新設

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. NO. M-06
DATE R08.03.19	農作業小屋 衛生設備 機器表・器具表	SCALE	
	<div>青和設計</div>		
	<div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子</div>		



衛生器具表

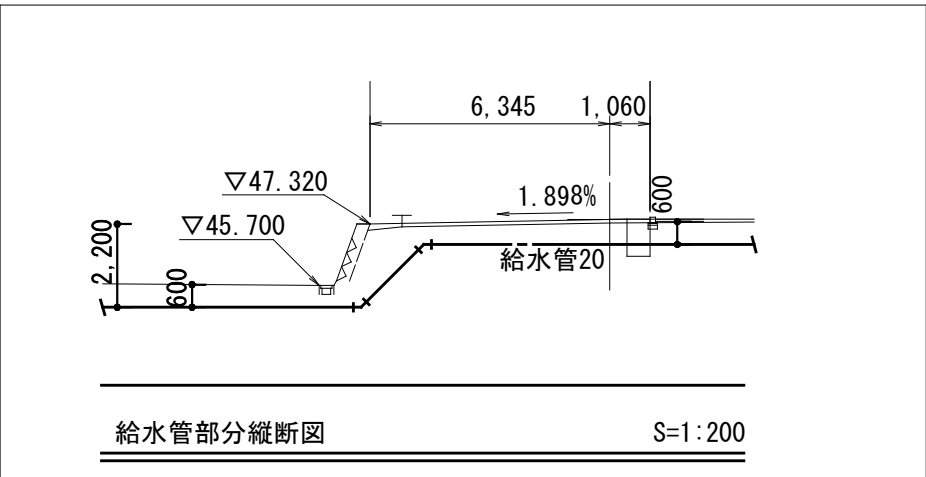
名称	仕様	数	備考(参考品番)
横水栓	二口・吐水口回転タイプ	1	TOTO:T250SN LIXIL:LF-7Y-13-U
不凍水栓柱	アルミ製13A×1200H	1	株式会社竹村製作所 D-A(1.2m)
靴洗い流し	流しコンクリート製、グレーチング蓋付	1	タキロンシーアイ
	排水栓、排水ホース		550-D(参考)

注記 上記品番は参考品番とする。

アスファルト舗装範囲
土中根切り・埋め戻し:本工事
アスファルト舗装:別途土木工事

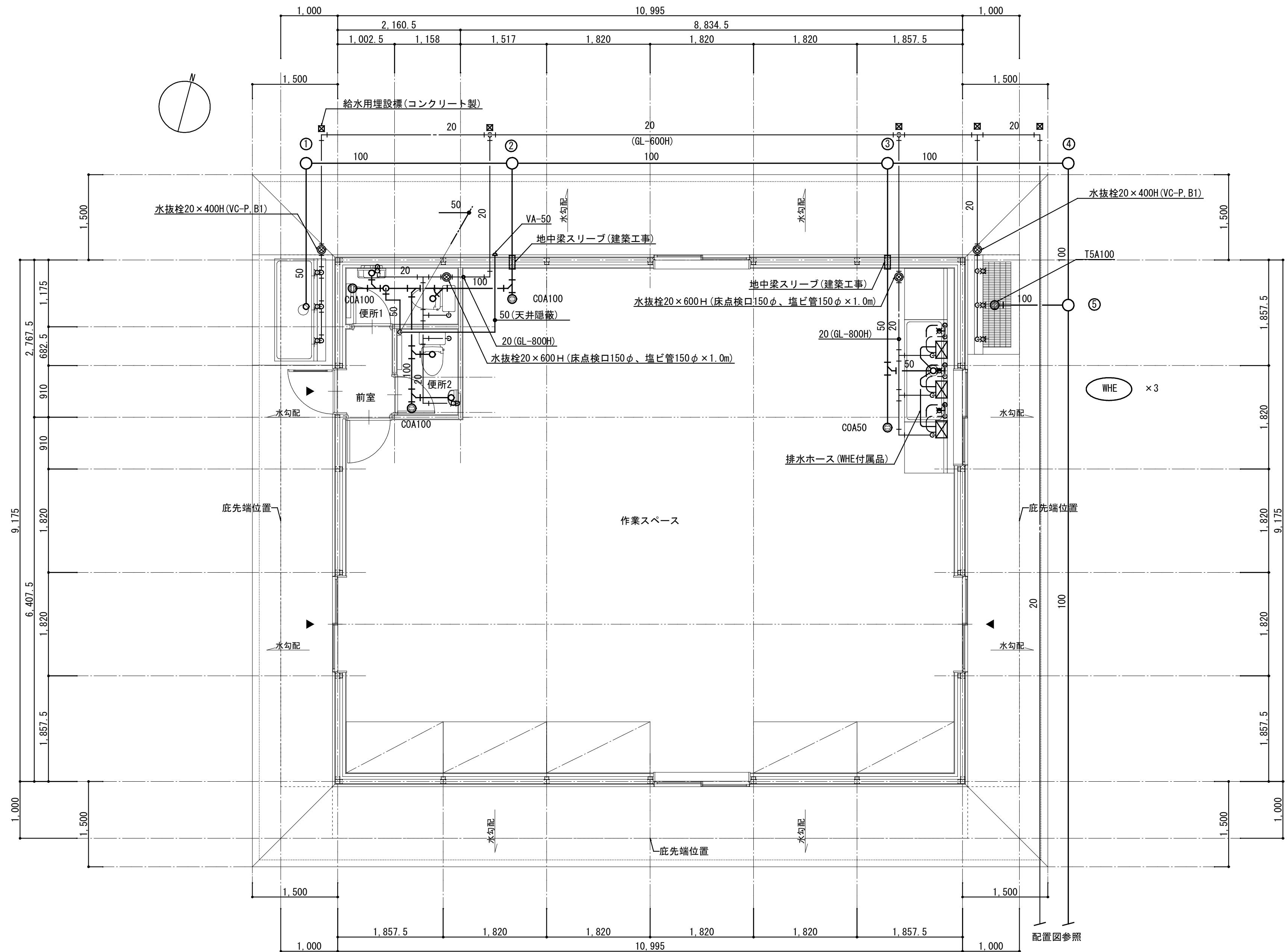
GV20 (VC-P, B1)
既設給水管32より分岐

屋外配管図 S=1:200



給水管部分縦断面図 S=1:200

No. 25900	黒石養護学校農業小屋外新築その他工事	設計図 DR. NO. M-07
DATE R08.03.19	農業小屋 衛生設備 屋外配管図	SCALE (A2) 1/200
<div>株式会社 青 和 設 計</div> <div>青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)</div> <div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子</div>		



農作業小屋 衛生設備図 1/50

No.	25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設計図	DR. No.	M-08
DATE	R08. 03. 19		農作業小屋 衛生設備図	SCALE	(A2) 1/50
		株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL: 0173 (35) 8331 (代)			

黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事 設 計 図 DR. NO. M-08

農作業小屋 衛生設備図 SCALE (A2) 1/50

株式会社 青 和 設 計





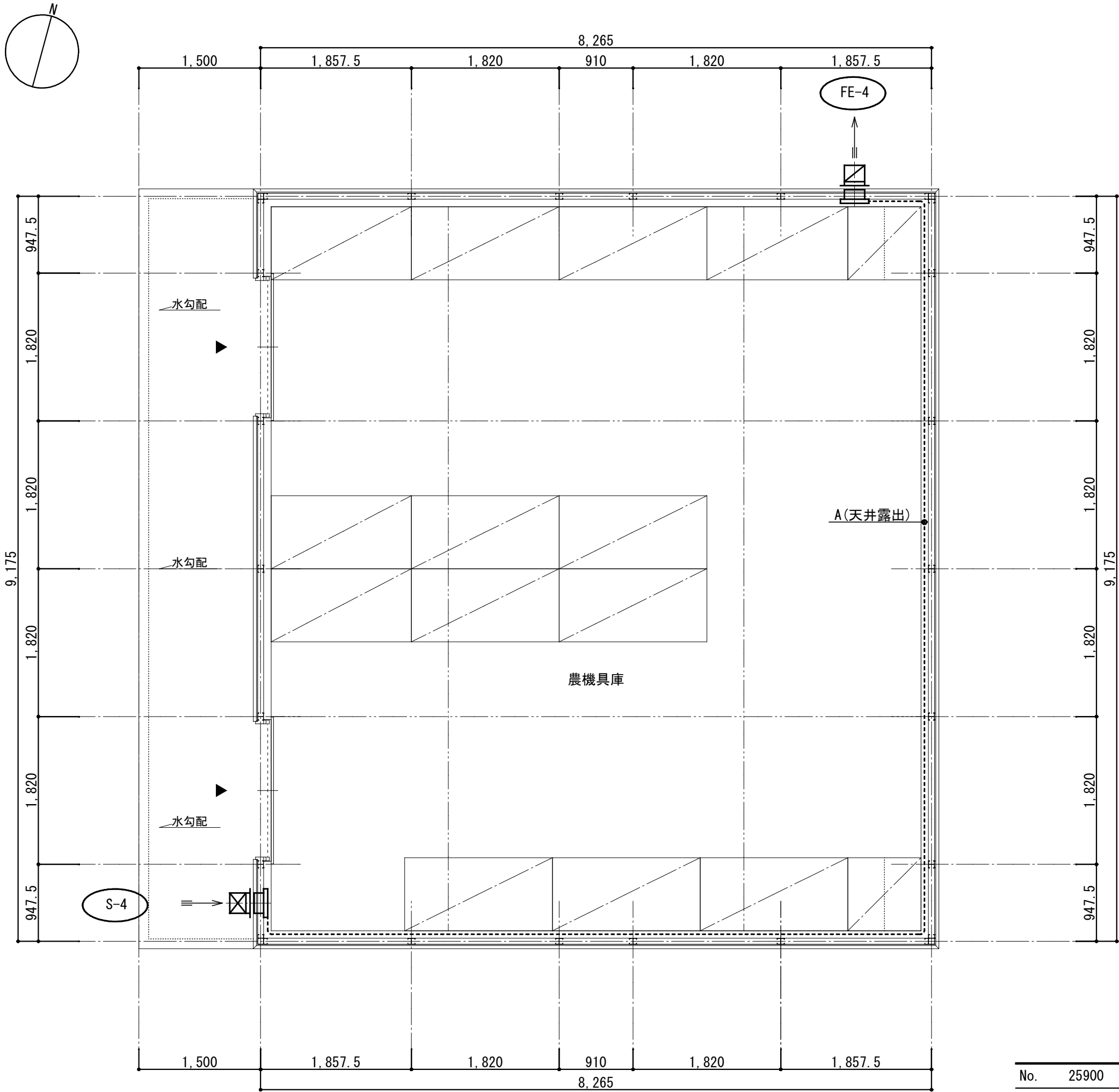
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
 管理建築士 館 山 良 子

青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL: 0173(35)8331(代)

換気機器表

記号	機器名称	機器仕様	数	消費電力			設置場所	備考
				φ	V	W		
FE-4	壁扇(排気用)	壁扇(電気式シャッター)	1	1	100	30	農機具庫	三菱電機株式会社
		25cm × 800m3/h						EX-25EH9
		SUS製ウェザーカバー(防鳥網付), 他付属品共						
S-4	電動シャッター(給気用)	有圧換気扇用シャッター(電動式)25cm	1	1	100	10	農機具庫	FE-4連動(本工事)
		SUS製ウェザーカバー(防鳥網付), 他付属品共						三菱電機株式会社
								PS-25SMA3

- ※ 特記事項
- ・換気扇用コントロールスイッチ取付及び配線工事共(電気設備工事)。



配管・配線表

記号	電 線	電 線 管			接続機器
		露出	スラブ	埋設	
A	EM-CEEST1. 25sq ー2C	E19			FS～FE

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. M-09
DATE R08.03.19	農機具庫 換気設備図 機器表	SCALE	(A2) 1/50
	<div>青和設計</div>		
	<div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子</div>		

換気機器表

記号	機器名称	機器仕様	数	消費電力			設置場所	備考(参考品番)
				φ	V	W		
FS-1	有圧換気扇(給気用)	銅板製	2	1	100	100	車庫	三菱電機株式会社
		35cm × 1300m3/h × 50Pa						EWF-35CSA2-Q
		取付枠、電動シャッター		1	100	10		
		SUS製ウェザーカバー(防鳥網付), 他付属品共						
FE-1	有圧換気扇(排気用)	銅板製	2	1	100	100	車庫	FS-1連動(本工事)
		35cm × 1300m3/h × 50Pa						三菱電機株式会社
		取付枠、電動シャッター		1	100	10		EWF-35CSA2
		SUS製ウェザーカバー(防鳥網付), 他付属品共						

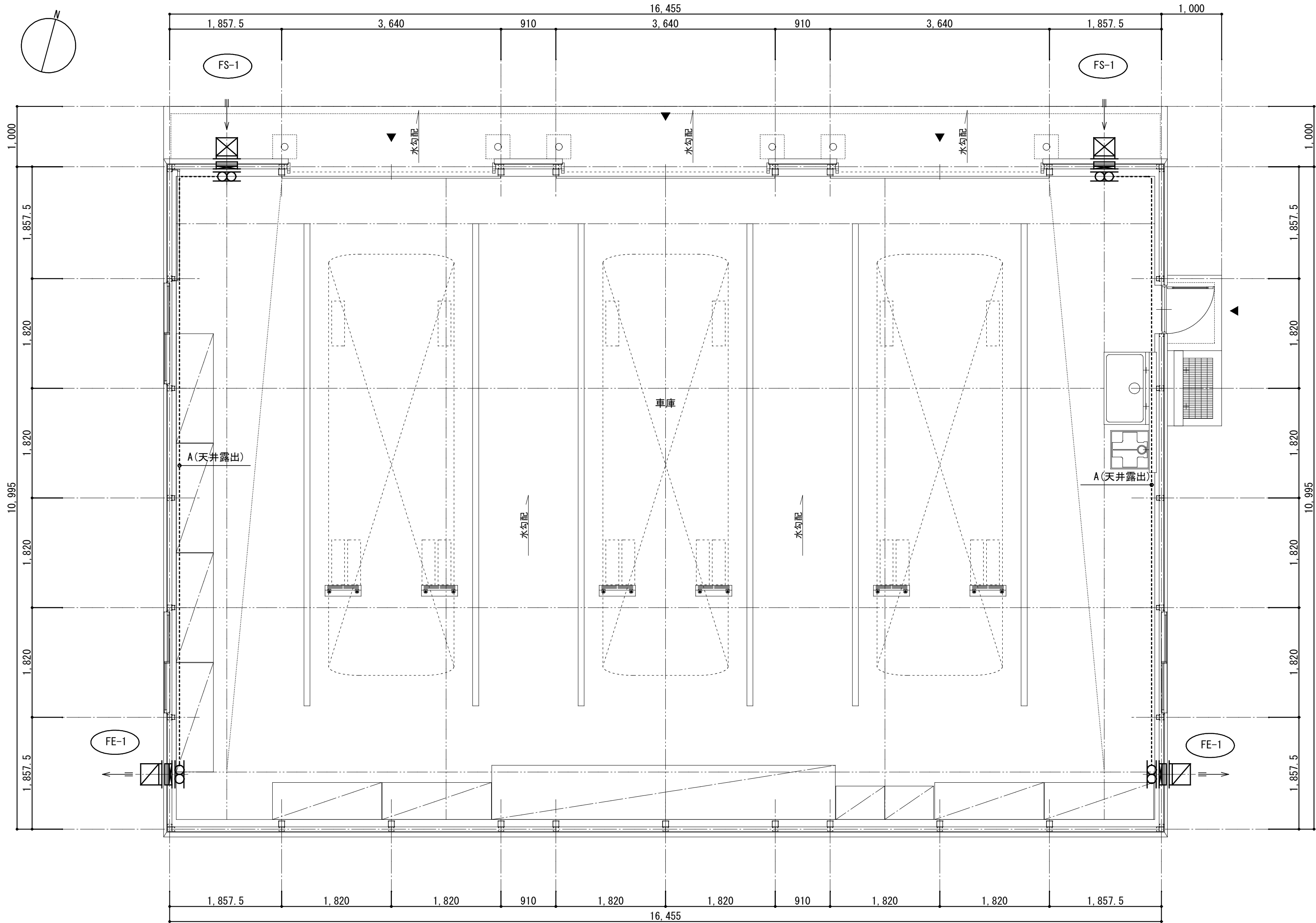
※ 特記事項
・換気扇用コントロールスイッチ取付及び配線工事共(電気設備工事)。

衛生器具表

名称	仕様	車庫	屋外	数	記号(JIS)
立水栓(自在形)	スパウト170mm	2		2	TOTO:T130AUN13C
					LIXIL:LF-12-13-U
洗濯機水栓	洗濯機用緊急止水栓付横水栓	1		1	TOTO:TW11R
					LIXIL:LF-WJ50KQA
洗濯機パン	640×640、縦引きトラップ	1		1	TOTO:PWP640N2W
					LIXIL:PF-H6464AC
横水栓	ホース接続形13A		1	1	13-F12
横水栓	吐水口回転タイプ13A		1	1	13-F7

注記 国土交通省記号以外は参考品番とする。

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図	DR. NO. M-10
DATE R08. 03. 19	車庫 換気・衛生設備 機器表	SCALE	
	株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子	

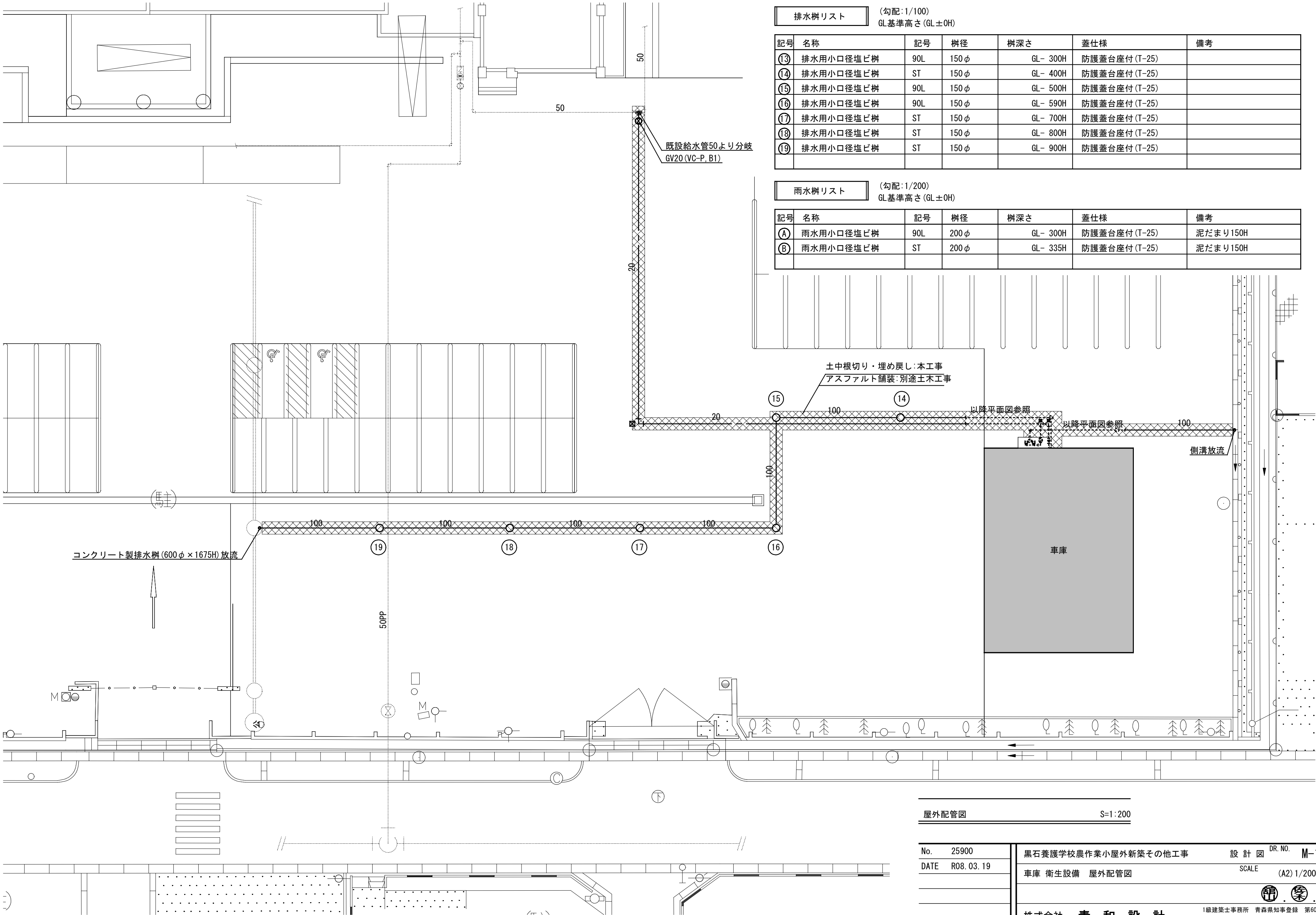


配管・配線表

記号	電 線	電 線 管			接続機器
		露出	スラブ	埋設	
A	EM-CES1.25sq ー2C	E19			FS～FE

車庫 換気設備図 1/50

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図 DR. NO. M-11
DATE R08.03.19	車庫 換気設備図	SCALE (A2) 1/50
	<div>青和設計</div> <div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子</div>	



排水樹リスト		(勾配:1/100) GL基準高さ (GL±0H)				
記号	名称	記号	樹径	樹深さ	蓋仕様	備考
⑬	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 300H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑭	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 400H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑮	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 500H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑯	排水用小口径塩ビ樹	90L	150φ	GL- 590H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑰	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 700H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑱	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 800H	防護蓋台座付 (T-25)	
⑲	排水用小口径塩ビ樹	ST	150φ	GL- 900H	防護蓋台座付 (T-25)	

雨水樹リスト		(勾配:1/200) GL基準高さ (GL±0H)				
記号	名称	記号	樹径	樹深さ	蓋仕様	備考
Ⓐ	雨水用小口径塩ビ樹	90L	200φ	GL- 300H	防護蓋台座付 (T-25)	泥だまり150H
Ⓑ	雨水用小口径塩ビ樹	ST	200φ	GL- 335H	防護蓋台座付 (T-25)	泥だまり150H

屋外配管図 S=1:200

No. 25900	黒石養護学校農作業小屋外新築その他工事	設 計 図 DR. NO. M-12
DATE R08. 03. 19	車庫 衛生設備 屋外配管図	SCALE (A2) 1/200
	<div>青和設計</div>	
	<div>青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 青森県知事登録 第604号 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子</div>	

